

平成22年度検証調査における「後発医薬品使用状況調査」の 検討経過について

- 8月16日 第1回調査検討委員会
- 8月25日 中医協総会（調査票審議1回目）
- 9月 8日 中医協総会（調査票審議2回目、承認）
- 9月17日 薬局・患者調査 調査票発送（締切：10月7日）
- 9月22日 病院・診療所調査 調査票発送（締切：10月8日）
- 医師調査 調査票発送（締切：10月12日）
- 10月15日 督促状発送（締切：10月29日）
- 11月30日 第2回調査検討委員会

平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 22 年度調査）

後発医薬品の使用状況調査 結果概要（速報）（案）

1 . 目的

- ・ 保険薬局における後発医薬品の調剤状況の変化等の把握
- ・ 医療機関における後発医薬品の使用状況や医師の処方に関する意識等の把握
- ・ 患者における後発医薬品に対する意識等の把握

2 . 調査対象

- ・ 本調査では、「保険薬局調査」「病院調査」「医師調査」「診療所調査」「患者調査」の 5 つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。
- ・ 保険薬局調査：全国の保険薬局の中から無作為に抽出した 1,500 施設。
- ・ 診療所調査：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した 2,000 施設。
- ・ 病院調査：全国の病院の中から無作為に抽出した 1,500 施設。
- ・ 医師調査：上記「病院調査」の対象施設に勤務する、診療科の異なる 2 名の医師。
- ・ 患者調査：上記「保険薬局調査」の対象施設に調査日に来局した患者。ただし、1 施設につき最大 4 名の患者とした。

3 . 調査方法

- ・ 対象施設・医師・患者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・ 保険薬局調査については、施設属性、処方せん枚数等を尋ねる「様式 1」と、実際に調剤した薬剤料を尋ねる「様式 2」の 2 種類の調査票を配布した。
- ・ 診療所調査については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、後発医薬品の使用状況と使用に関する意識、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「診療所票」を配布した。
- ・ 病院調査については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「病院票」を配布した。
- ・ 医師調査については、後発医薬品の使用状況と使用に関する意識等を尋ねる「医師票」を配布した。配布に際しては、上記の「病院調査」の対象施設を通じて行った。
- ・ 患者調査については、後発医薬品の使用に対する意識等を尋ねる「患者票」を配布した。配布に際しては、上記の「保険薬局調査」の対象施設を通じて行った。
- ・ 医師調査及び患者調査の回収は、各医師及び患者から、事務局宛の返信用専用封筒にて直接回収した。
- ・ 調査実施時期は平成 22 年 9 月 17 日～平成 22 年 10 月 29 日。

4 . 調査項目

区分	主な調査項目
(1)保険薬局調査	<p>薬局の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織形態、職員数 ・ 調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無、後発医薬品調剤体制加算の有無、処方せんの応需状況、後発医薬品調剤率 <p>処方せんの受付状況等（平成 22 年 8 月 1 か月間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処方せん発行医療機関数、後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等が 9 割以上ある機関数、先発医薬品・後発医薬品を銘柄指定している機関数、1 か月間に受け付けた処方せん枚数等 <p>取り扱い処方せん枚数の内訳（平成 22 年 9 月 27 日～10 月 3 日 1 週間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り扱い処方せん枚数、後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等がない処方せん枚数、1 品目でも後発医薬品を調剤した処方せん枚数、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん枚数等 ・ 後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等がある処方せん枚数、後発医薬品を銘柄指定している処方せん枚数等 <p>後発医薬品への対応状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の調剤に関する考え、後発医薬品の調剤に積極的に取り組んでいない場合の理由 ・ 後発医薬品の説明を行った患者の割合、説明をしなかった理由、後発医薬品の説明を行った患者のうち後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合 ・ 後発医薬品から先発医薬品に戻した患者の割合、その主な理由 ・ 患者が後発医薬品への変更を希望したにもかかわらず変更できなかった割合、備蓄がなかった場合の対応等 ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数・在庫金額・医薬品廃棄額の変化等 ・ 含量違いまたは類似した別剤形の後発医薬品への変更調剤が可能となったことの影響 ・ 変更調剤の際に効能の違いがある場合の対応等 <p>ジェネリック医薬品希望カードの認知度等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、提示されて後発医薬品に変更調剤した患者の割合等 ・ 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫等 <p>後発医薬品使用についての考えや今後の課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用についての考え

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用を進める上で医師やメーカー、卸業者に望むこと等 薬剤料の変化 ・ 処方せんの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料及び実際に調剤した薬剤料等
(2)診療所調査	<p>回答者の属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、担当診療科 <p>施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所在地、開設者、種別、許可病床数、主たる診療科、医師数・薬剤師数 ・ オーダリングシステムの導入状況 ・ 1か月間の外来延べ患者数、1か月間の外来診療実日数等 <p>後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、購入額、廃棄額 ・ 後発医薬品の備蓄品目数の今後の予定 ・ 1年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化 ・ 後発医薬品の採用・選定の際に行ったこと、情報収集源、採用に際して重視すること ・ 採用医薬品リストの薬剤師会等への提供状況等 <p>入院患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使用しない場合の理由 ・ 後発医薬品を使用して生じた問題点 ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応等 <p>外来患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院外処方せん発行の有無 ・ 後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由 ・ 1年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・ 後発医薬品への変更不可欄に署名した処方せん発行の有無、割合、その理由等 ・ 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への変更不可と記載した処方せんの発行経験の有無、割合、その理由 ・ 後発医薬品に関心のある患者数の変化 ・ 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい情報提供等 <p>ジェネリック医薬品希望カードの認知度等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、提示されて後発医薬品を処方した患者の割合等 <p>後発医薬品の使用にあたっての課題等</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用にあたっての課題等
(3)病院調査	<p>施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設者、標榜診療科、病院種別、DPC の対応状況、特定入院料の状況、許可病床数、医師数・薬剤師数 ・ オーダリングシステムの導入状況 ・ 1 か月間の外来延べ患者数、1 か月間の外来診療実日数、平均在院患者数等 <p>後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用体制加算の状況 ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、購入額、廃棄額 ・ 後発医薬品の備蓄品目数の今後の予定 ・ 1 年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化 ・ 後発医薬品の採用・選定の際に行ったこと、情報収集源、採用に際して重視すること ・ 採用医薬品リストの薬剤師会等への提供状況等 <p>外来患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内投薬及び院外処方における後発医薬品の使用状況 ・ 院外処方せんを発行している診療科のうち後発医薬品の使用割合が相対的に高い診療科・低い診療科、院外処方せん発行枚数等 <p>入院患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使用しない場合の理由 ・ 後発医薬品を使用して生じた問題点 ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応等 <p>ジェネリック医薬品希望カード等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫等 <p>後発医薬品の使用にあたっての課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の使用にあたっての課題等
(4)医師調査	<p>属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、担当診療科、1 日あたり外来診察患者数 <p>外来患者に対する後発医薬品の使用状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由 ・ 1 年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・ 後発医薬品への変更不可欄に署名した処方せん発行の有無、割合、その理由等 ・ 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への変更不可と記載した処方せんの発行経験の有無、割合、その理由

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品に関心のある患者数の変化 ・ 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい情報提供等 ジェネリック医薬品希望カードの認知度等 ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、提示されて後発医薬品を処方した患者の割合等 後発医薬品使用についての考え ・ 後発医薬品の承認に関する認知度 ・ 後発医薬品の処方を進める上で望まれる対応等 後発医薬品の使用にあたっての課題等 ・ 後発医薬品の使用にあたっての課題等
(5)患者調査	<p>属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢 ・ 診療を受けた診療科、薬局への来局頻度、かかりつけ薬局の有無、加入している健康保険の種類 ・ 自己負担額、後発医薬品処方の有無、後発医薬品への変更の有無 後発医薬品の使用に対する意識等 ・ 後発医薬品の認知度、関心の有無 ・ 医師や薬剤師からの後発医薬品についての説明の有無 ・ 後発医薬品処方を申し出た経験の有無、申し出のしやすさ ・ 後発医薬品処方の申し出をしやすくするために望まれること ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、保有の有無、入手先、効果、利用経験、利用意向 ・ ジェネリック軽減額通知受取りの希望 ・ 後発医薬品の使用経験の有無 ・ 後発医薬品に対する満足度、窓口での薬代の負担感 ・ 後発医薬品の使用意向 ・ 後発医薬品を使用する上で重要なこと ・ 後発医薬品を使用する際の軽減額と使用意向との関係等

5 . 結果概要

(1) 回収の状況

図表 1 回収の状況

調査区分	有効回収数	有効回収率
①保険薬局調査		
保険薬局数(様式 1)	870	58.0%
様式 2 に記載された処方せん枚数(558 薬局分)	12,915	—
②診療所調査		
一般診療所数	662	33.1%
③病院調査		
病院数	574	38.3%
④医師調査		
医師数	708	—
⑤患者調査		
患者数	1,788	—

(2) 保険薬局調査の概要

【調査対象等】

調査票 様式 1

調査対象：全国の保険薬局の中から無作為に抽出した保険薬局

回答数：870 施設

回答者：管理者

調査票 様式 2

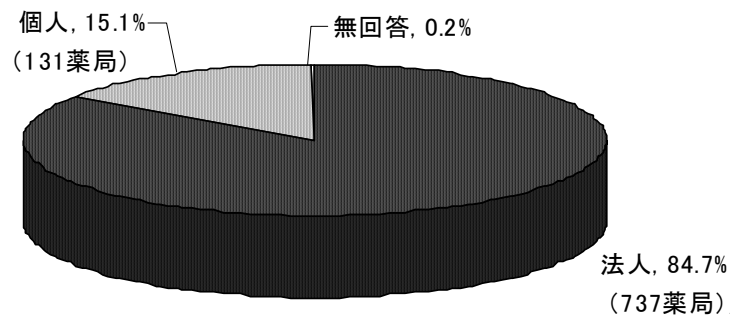
処方せん枚数：12,915 枚 (558 薬局分)

回答者：管理者

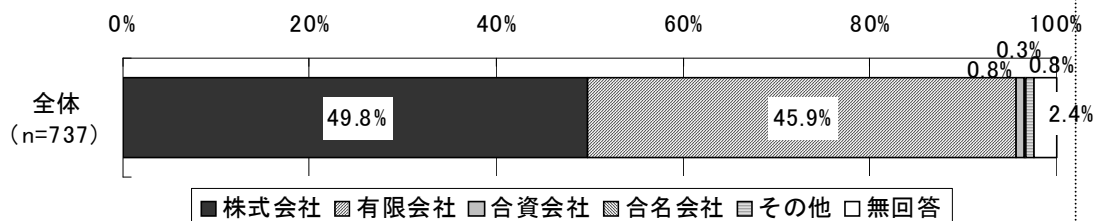
薬局の属性

1) 組織形態

図表 2 組織形態 (法人・個人別) (n=870)

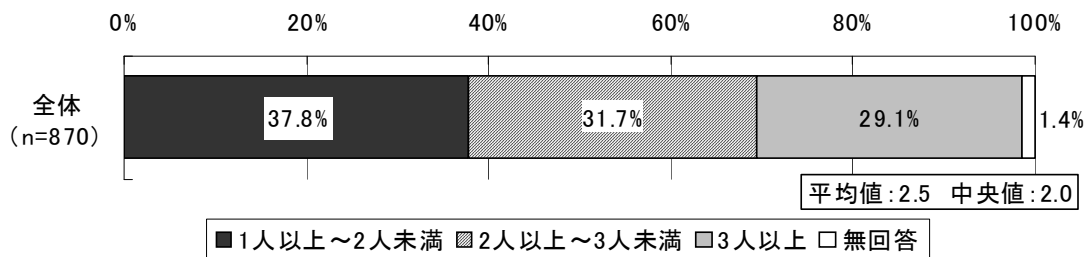


図表 3 法人薬局の内訳 (n=737)



2) 職員数

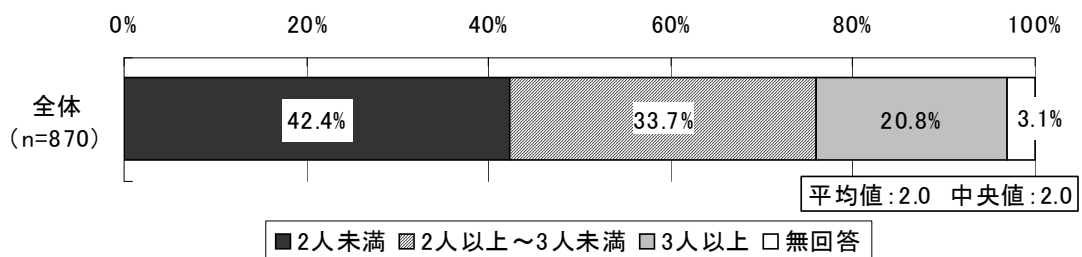
図表 4 薬剤師の職員数（常勤換算）



(注) 常勤換算は、次の計算式で算出した。また、常勤換算後の職員数は小数点以下第1位までとした(以下、同様である)。

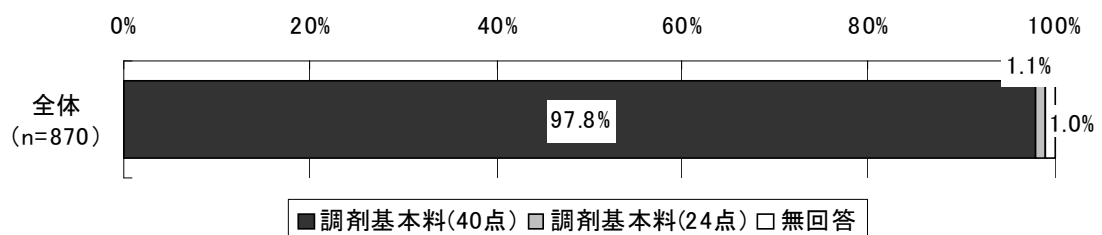
- ・ 1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (当該薬局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)
- ・ 1か月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1か月の勤務時間) ÷ (当該薬局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間 × 4)

図表 5 その他（事務職員等）の職員数（常勤換算）

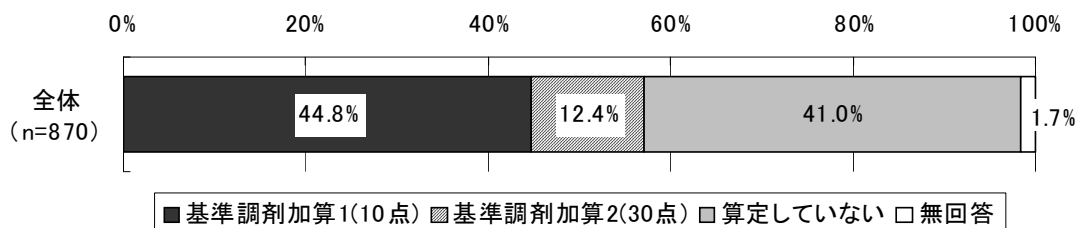


3) 調剤の状況等

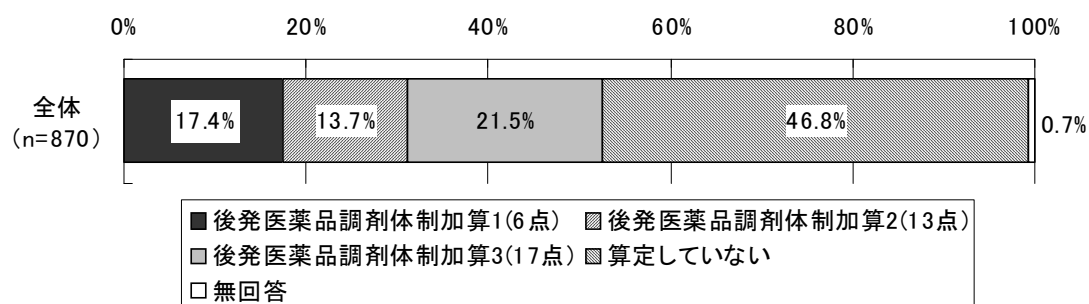
図表 6 調剤基本料



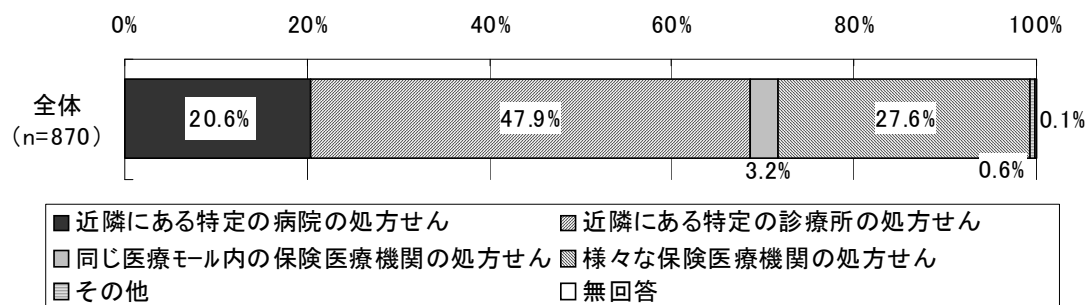
図表 7 基準調剤加算



図表 8 後発医薬品調剤体制加算の算定状況



図表 9 処方せんの応需状況



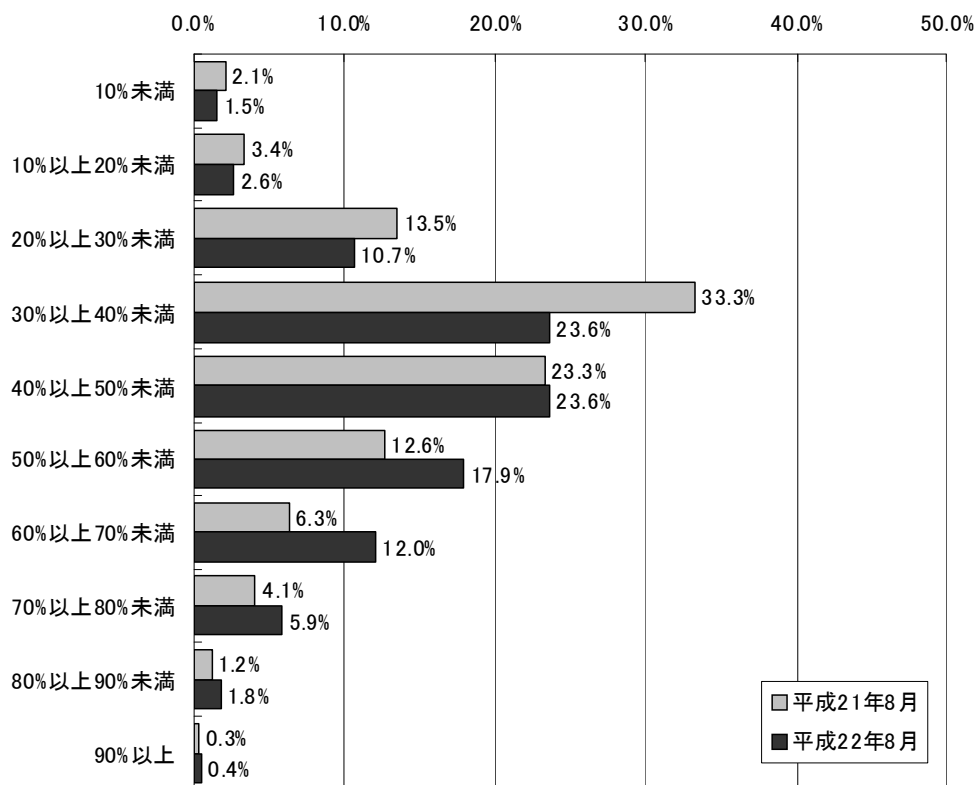
図表 10 後発医薬品調剤率 (n=682)

(単位：%)

	平成 21 年			平成 22 年					
	処方せんベース			処方せんベース			数量ベース		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1 月	42.1	16.8	40.7	43.3	15.7	41.6	19.6	10.0	17.8
2 月	41.2	16.4	39.3	43.8	15.9	41.9	20.2	10.0	18.6
3 月	40.7	16.3	38.8	44.3	16.3	42.6	21.0	10.4	19.6
4 月	40.8	15.9	38.7	45.8	16.7	44.3	22.3	10.9	20.6
5 月	41.0	16.0	39.2	46.2	16.8	44.7	22.7	10.9	21.2
6 月	40.7	15.9	38.2	46.0	16.7	44.4	23.0	10.9	21.8
7 月	41.0	15.7	38.9	46.2	16.5	44.4	22.8	10.9	21.3
8 月	41.1	15.6	39.2	45.9	16.4	44.4	22.8	10.8	21.5

(注) すべての項目に回答があった 682 施設を集計対象とした。

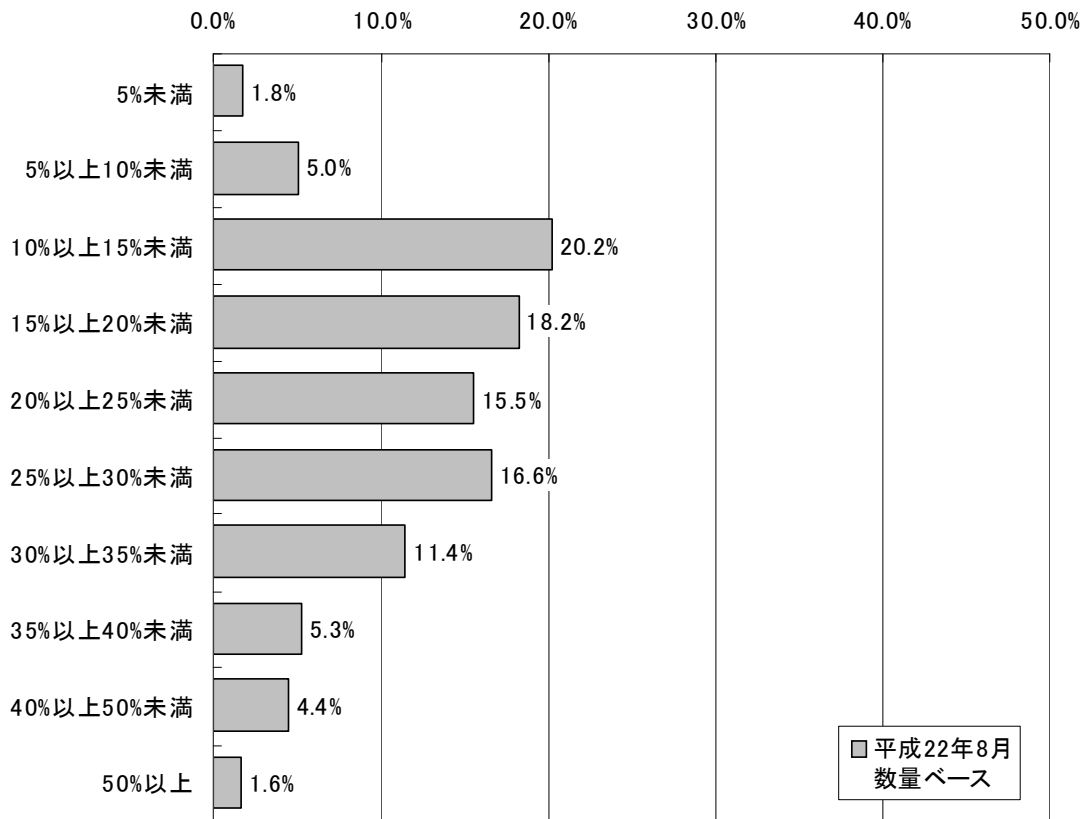
図表 11 後発医薬品調剤率 (処方せんベース) にみた薬局数の分布
(平成 21 年 8 月及び平成 22 年 8 月、n=682)



(注)・すべての項目に回答があった 682 施設を集計対象とした。

・処方せんベース：1 か月間の後発医薬品の調剤件数 ÷ 1 か月間の全調剤件数 × 100

図表 12 後発医薬品調剤率（数量ベース）にみた薬局数の分布（平成 22 年 8 月、n=682）



(注)・各月すべてに回答があった 682 施設を集計対象とした。

・数量ベース： $\frac{1 \text{ か月間に調剤した後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量}}{1 \text{ か月間に調剤した全調剤について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量}} \times 100$

4) 処方せん発行医療機関（平成 22 年 8 月 1 か月間）

図表 13 処方せん発行医療機関数

	医療機関種別			合計
	病院	一般診療所	歯科診療所	
処方せん発行医療機関数(A)	10.49	19.76	1.51	31.76
(うち)「変更不可」欄に処方医の署名等が9割以上ある機関数(施設)(B)	1.74	3.70	0.11	5.55
(うち)主として先発医薬品を銘柄指定している機関数(施設)	1.44	2.78	0.10	4.32
(うち)主として後発医薬品を銘柄指定している機関数(施設)	0.25	0.81	0.02	1.07
処方せん枚数(枚)	370.9	806.1	9.1	1,186.1
「変更不可」欄に処方医の署名等が9割以上ある医療機関数の割合(B/A)(%)	16.6%	18.7%	7.3%	17.5%
薬局数	705			

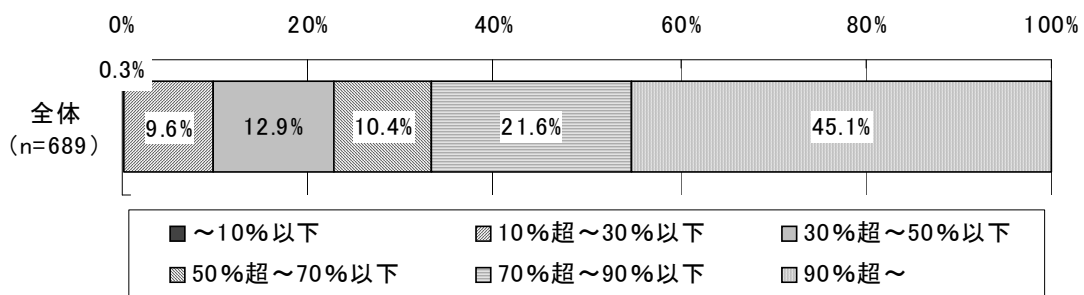
(注) すべての項目に回答があった 705 施設を集計対象とした。

図表 14 取り扱い処方せん枚数が最も多い1医療機関の処方せん枚数（n=689）

	平均値	標準偏差	中央値
処方せん枚数(枚)	947.2	805.6	798.0

(注) 処方せん枚数について回答があった 689 施設を集計対象とした。

図表 15 特定の保険医療機関に係る処方せん割合（最も多いもの）



(注) 特定の保険医療機関に係る処方せん割合は、次の計算式による。

(当該薬局で受付枚数が最も多い医療機関が発行した処方せんの受付枚数) ÷ (当該薬局での受付処方せん枚数の総数)

5) 営業日数（平成 22 年 8 月 1 か月間）

図表 16 営業日数（平成 22 年 8 月 1 か月間）

	平均値	標準偏差	中央値
営業日数(日)	22.5	3.7	22.5

(注) 半日の開局は 0.5 日として計算した。

取り扱い処方せん状況（平成 22 年 9 月 27 日～10 月 3 日の 1 週間）

1) 1 週間の取り扱い処方せん枚数の内訳

図表 17 1 週間の取り扱い処方せん枚数の内訳（687 薬局分）

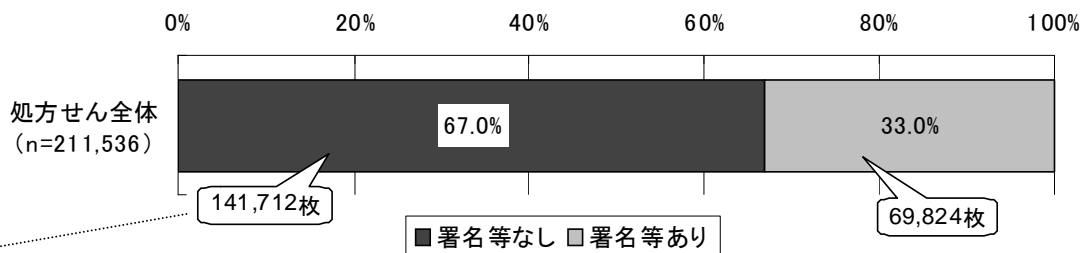
	枚数(枚)	割合
① すべての取り扱い処方せん	211,536	100.0%
② ①のうち、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」欄に処方 医の署名等がない処方せん	141,712	67.0%
③ ②のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	63,298	29.9%
④ ③のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん	12,132	5.7%
⑤ ④のうち、後発医薬品情報提供料(10点)を算定した処方せん	2,941	1.4%
⑥ ④のうち、後発医薬品分割調剤加算(5点)を算定した処方せん	29	0.0%
⑦ ③のうち、1品目でも、後発医薬品を他の銘柄の後発医薬品に変更し た処方せん	937	0.4%
⑧ ③のうち、1品目でも、含量違いの後発医薬品に変更した処方せん	102	0.0%
⑨ ③のうち、1品目でも、類似した別剤形の後発医薬品に変更した処方 せん	160	0.1%
⑩ ②のうち、いずれの先発医薬品にも後発医薬品が薬価収載されておらず、 後発医薬品に変更できなかった処方せん	14,745	7.0%
⑪ ②のうち、患者が希望しなかったため、1品目も後発医薬品に変更できな かった処方せん(過去に確認済みの場合を含む)	36,242	17.1%
⑫ ②のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更 できなかった処方せん(クリーム、ローション、軟膏はそれぞれ別剤形とする)	1,770	0.8%
⑬ ①のうち、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」欄に処方 医の署名等がある処方せん	69,824	33.0%
⑭ ⑬のうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん	29,875	14.1%

2) 後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）

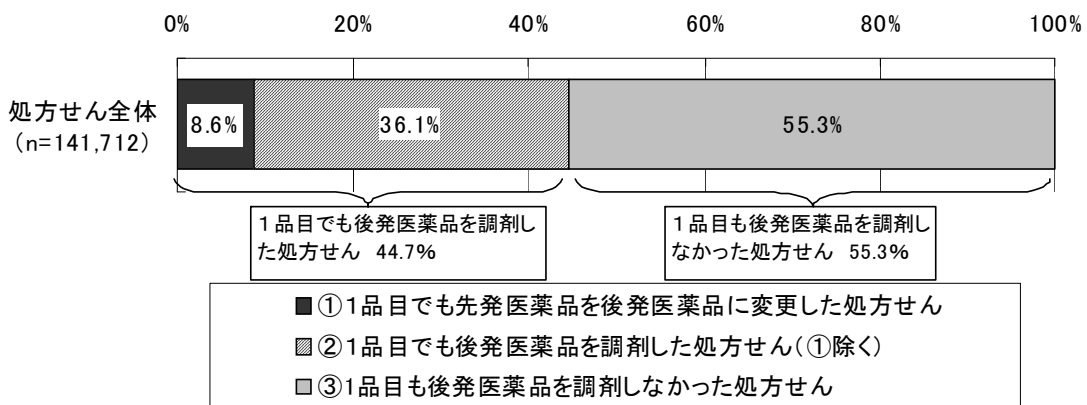
図表 18 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん（n=141,712）
 における、後発医薬品への変更状況
 （平成 22 年 9 月 27 日～10 月 3 日 1 週間分の処方せんベース、687 薬局分）

	枚数(枚)	割合
① 「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」欄に処方医の <u>署名等がない</u> 処方せん	141,712	100.0%
② ①のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	63,298	44.7%
③ ②のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん	12,132	8.6%
④ ③のうち、後発医薬品情報提供料(10点)を算定した処方せん	2,941	2.1%
⑤ ③のうち、後発医薬品分割調剤加算(5点)を算定した処方せん	29	0.0%
⑥ ②のうち、1品目でも、後発医薬品を他の銘柄の後発医薬品に変更した処方せん	937	0.7%
⑦ ②のうち、1品目でも、含量違いの後発医薬品に変更した処方せん	102	0.1%
⑧ ②のうち、1品目でも、類似した別剤形の後発医薬品に変更した処方せん	160	0.1%
⑨ ①のうち、いずれの先発医薬品にも後発医薬品が薬価収載されておらず、後発医薬品に変更できなかった処方せん	14,745	10.4%
⑩ ①のうち、患者が希望しなかったため、1品目も後発医薬品に変更できなかった処方せん(過去に確認済みの場合を含む)	36,242	25.6%
⑪ ①のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった処方せん(クリーム、ローション、軟膏はそれぞれ別剤形とする)	1,770	1.2%

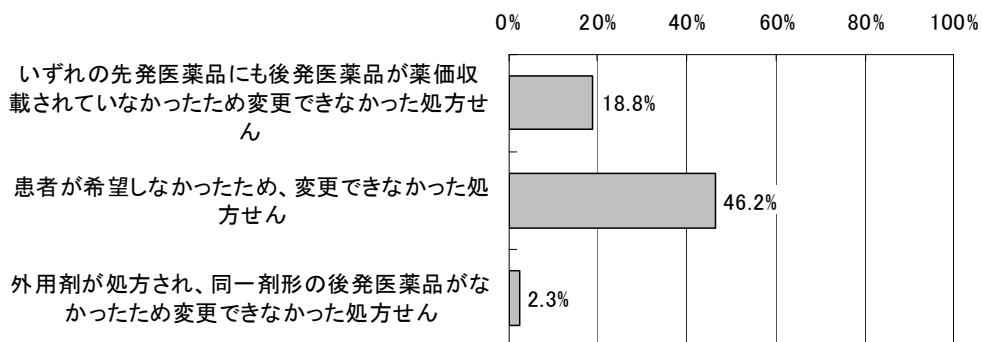
図表 19 すべての処方せんにおける、「後発医薬品への変更不可」欄の処方医の署名等の有無（平成 22 年 9 月 27 日～10 月 3 日 1 週間の処方せんベース）



図表 20 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん（n=141,712）における、後発医薬品への変更状況（平成 22 年 9 月 27 日～10 月 3 日 1 週間の処方せんベース）

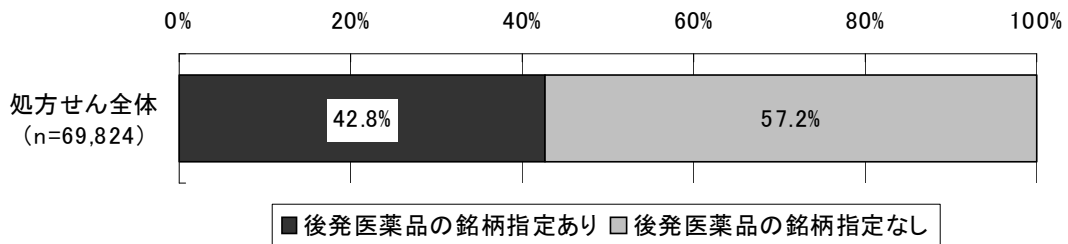


図表 21 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんのうち、1品目も後発医薬品を調剤しなかった処方せん（n=78,414）の内訳（平成 22 年 9 月 27 日～10 月 3 日 1 週間の処方せんベース、複数回答）



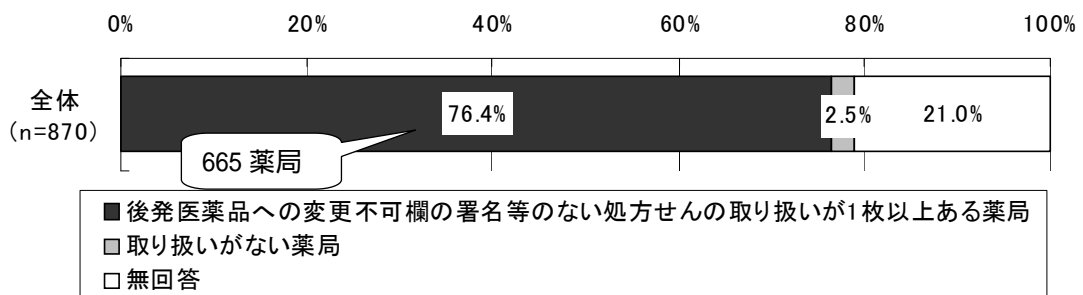
3) 「変更不可」欄に処方医の署名等がある処方せんのうち、後発医薬品を銘柄している処方せんの割合

図表 22 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がある処方せん (n=69,824) における、後発医薬品の銘柄指定をしている処方せん割合 (平成 22 年 9 月 27 日 ~ 10 月 3 日 1 週間の処方せんベース)

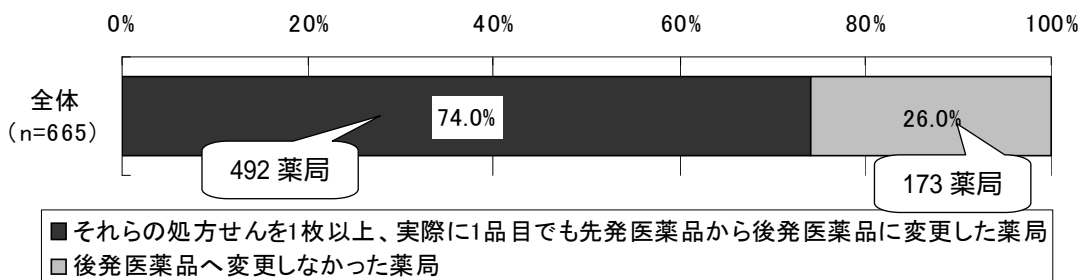


4) 後発医薬品への変更割合 (薬局数ベース)

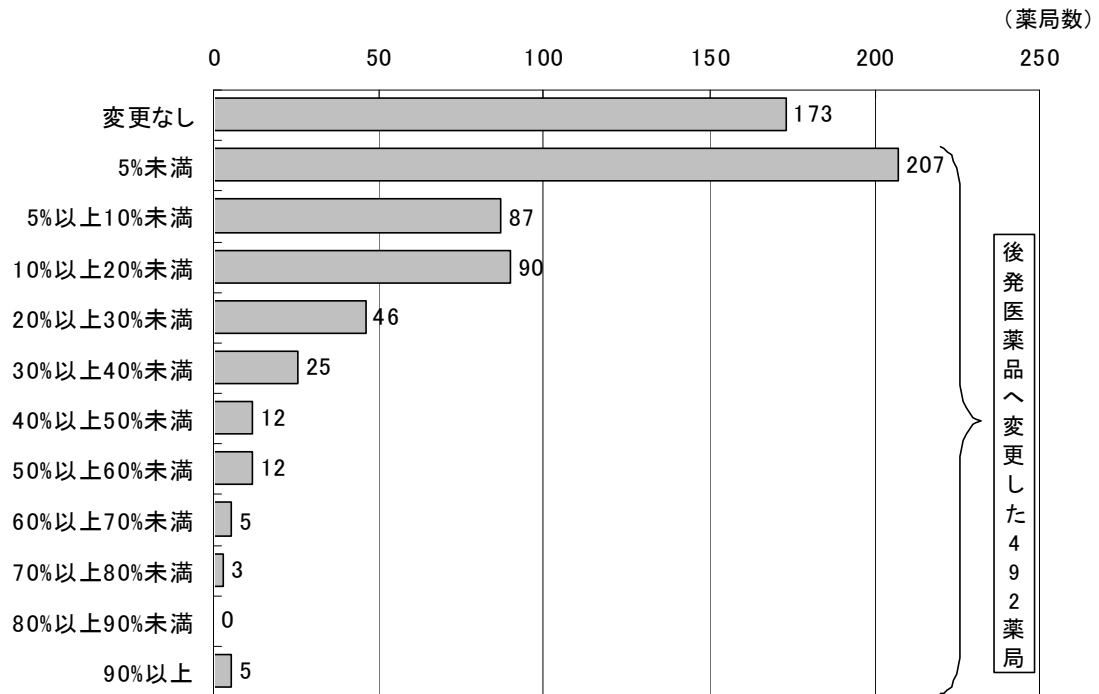
図表 23 1 か月間の取り扱い処方せんのうち、「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局数の割合 (薬局数ベース)



図表 24 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局 (665 薬局) のうち、実際に 1 品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した薬局数の割合 (薬局数ベース)



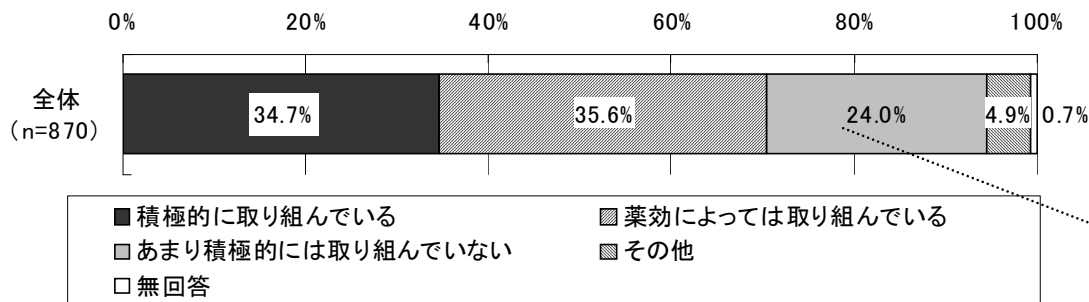
図表 25 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局（665 薬局）における、後発医薬品への変更可の処方せんに占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（薬局数ベース）



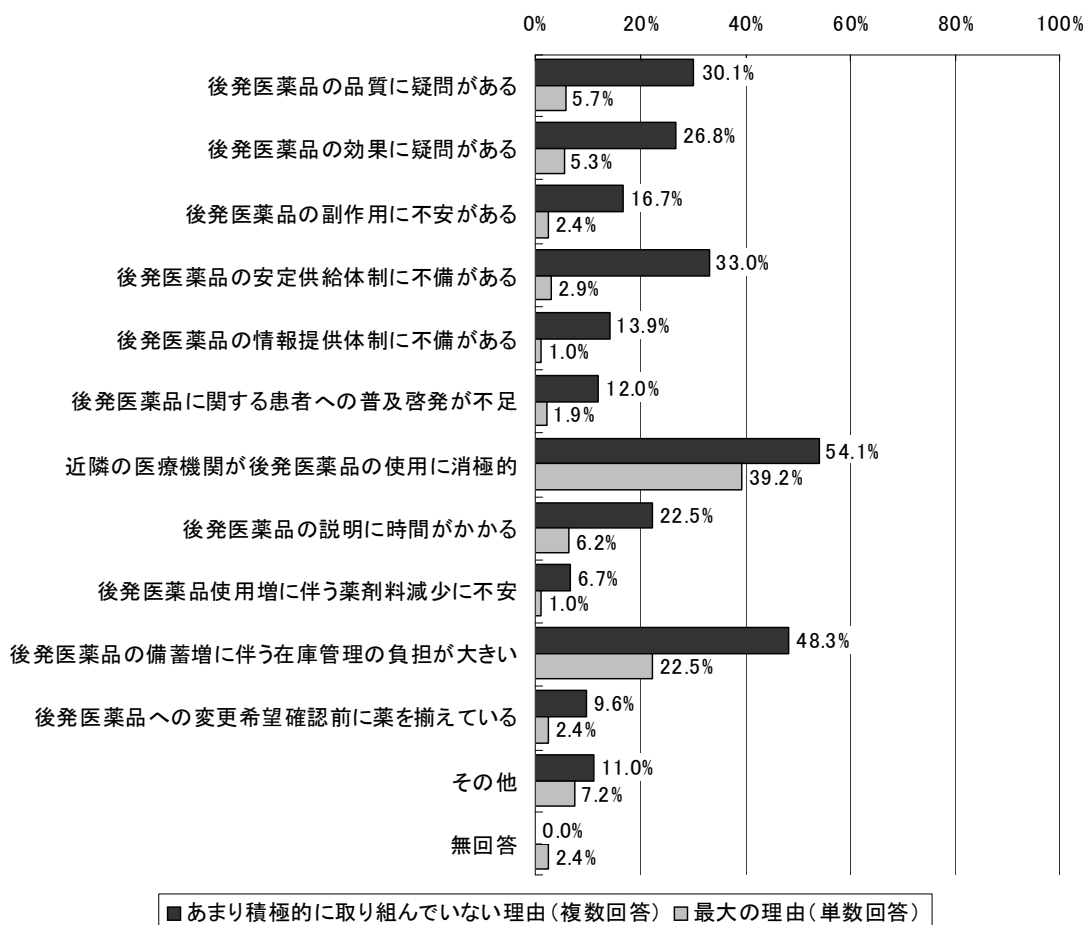
後発医薬品への対応状況（平成 22 年 4 月以降）

1) 後発医薬品の調剤に関する考え方

図表 26 後発医薬品の調剤に関する考え方



図表 27 あまり積極的に取り組んでいない理由（n=209）



図表 28 後発医薬品の調剤にあまり積極的に取り組んでいない理由の根拠
(経験の内容や時期、問題点などについての主な意見、自由記述式)

【1 . 後発医薬品の品質に疑問がある】

- ・ P T P 品を一包化のためヒートから出す際、先発医薬品は壊れることがなかったが、後発医薬品はかなりの頻度で壊れた。
- ・ ヒートから出して一包化したとき、明らかに変色していることあり。遮光保存している様子もない。メーカーとして注意書きもない。
- ・ 外用剤(軟膏、クリーム)の占める割合が多いが、先発医薬品と後発医薬品では基剤により、使用感、吸収率などに差がある。
- ・ 患者から味が悪いなどのクレームがあった。外用などすぐはがれてしまう(気管支拡張) / 等

【2 . 後発医薬品の効果に疑問がある】

- ・ 患者から効果が無かったと言われた(睡眠薬、降圧剤)。
- ・ 後発医薬品に変更後安定剤など効果が弱いとの訴えがあった。
- ・ 後発医薬品に変えたら血圧が下がらなかった。
- ・ 後発医薬品に変更してから、検査値が悪化して先発医薬品に戻した患者が何名もいた。
- ・ 患者さんの薬の効果が悪く、何度か医師より変更不可の連絡が来た。 / 等

【3 . 後発医薬品の副作用に不安がある】

- ・ 後発医薬品に変更後湿疹が出たとの訴えがあった。
- ・ 後発医薬品に変えたところ、体調不良及び効果に疑問を訴えた患者が数名続いた。
- ・ Ca拮抗剤を変更したところ、頭痛等の副作用が複数例発生した。
- ・ 今まで先発医薬品を服用していた患者に、ジェネリックに変更したところ、口内炎の副作用が出てトラブルになった。 / 等

【4 . 後発医薬品の安定供給体制に不備がある】

- ・ 9月中に、処方せん記載の後発医薬品を発注したところ、メーカーが増産していないため品薄とのことで納品が遅れた。
- ・ 後発医薬品の専門メーカーとの取引がありません。現在取引のある卸に発注しますがすぐ間に合わず、5～6日かかります。
- ・ ジェネリック希望の患者がいたため、ジェネリックを注文したところ、「今品薄でいつ入るかわからない」と問屋に言われた。
- ・ 後発医薬品が通知もなく製造中止となっていた。 / 等

【 5 . 後発医薬品の情報提供体制に不備がある 】

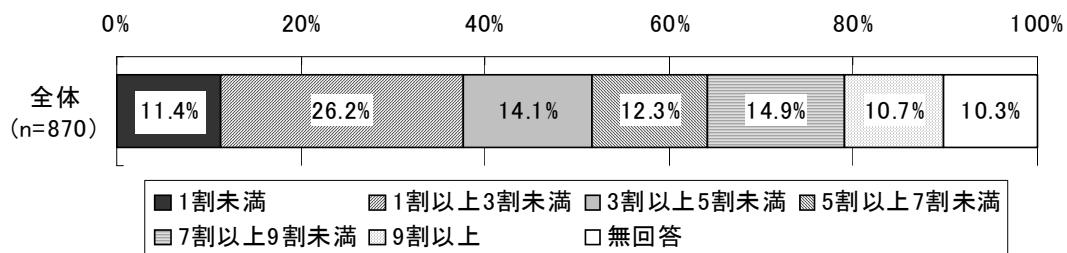
- ・ MR の絶対数不足。ひどいメーカーだと県に一人しかいない。問い合わせの返事に時間がかかる。
- ・ 試験データ不明問題。
- ・ MR の訪問もないので、そのような情報を伝えるシステムもない。
- ・ 刻印や包装変更の際の連絡が不十分なメーカーが多い。
- ・ MR も訪問に来ないメーカーの薬剤を安易に調剤することはできない。 / 等

【 10 . 後発医薬品の備蓄増に伴う不動態在庫の拡大等、在庫管理の負担が大きい 】

- ・ 先発医薬品をすべてそろえて管理するのも大変なのに、後発医薬品を揃えたところ不動態在庫の処分が薬局の経営に差し障っている。
- ・ 長期処方の場合に一度に全部の錠数が入手できず、2 度に分けて患者さん宅にお届けをしなくてはならなかったので予め準備しておいたら、来局されなくなってしまった。その薬の先発医薬品は他の患者さんも使用しているが。
- ・ 取り揃えたものの、処方医もコンスタントにそのアイテムを処方しないケースがあるため、そのような場合に不動態在庫となる。また当薬局は広域で処方せんを受けているため、門前と違い、確実に在庫がはける訳でもない。
- ・ 変更後、効果に不満で先発医薬品に戻ったり、一度来局後に再来しない。病院、クリニック等での使用薬剤が違い、変更不可の印があるため同一成分なのに多く種類を揃えなれないといけない。薬価も減となり、負担がさらに増（差益でのフォローも難に）。
- ・ 後発医薬品への変更により先発医薬品の不動態在庫化、期限切れによる損失。
- ・ 後発医薬品の在庫スペースの確保、ピッキングミス防止策の増加、その実施による業務量の増加。 / 等

2) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての説明を行った患者の割合

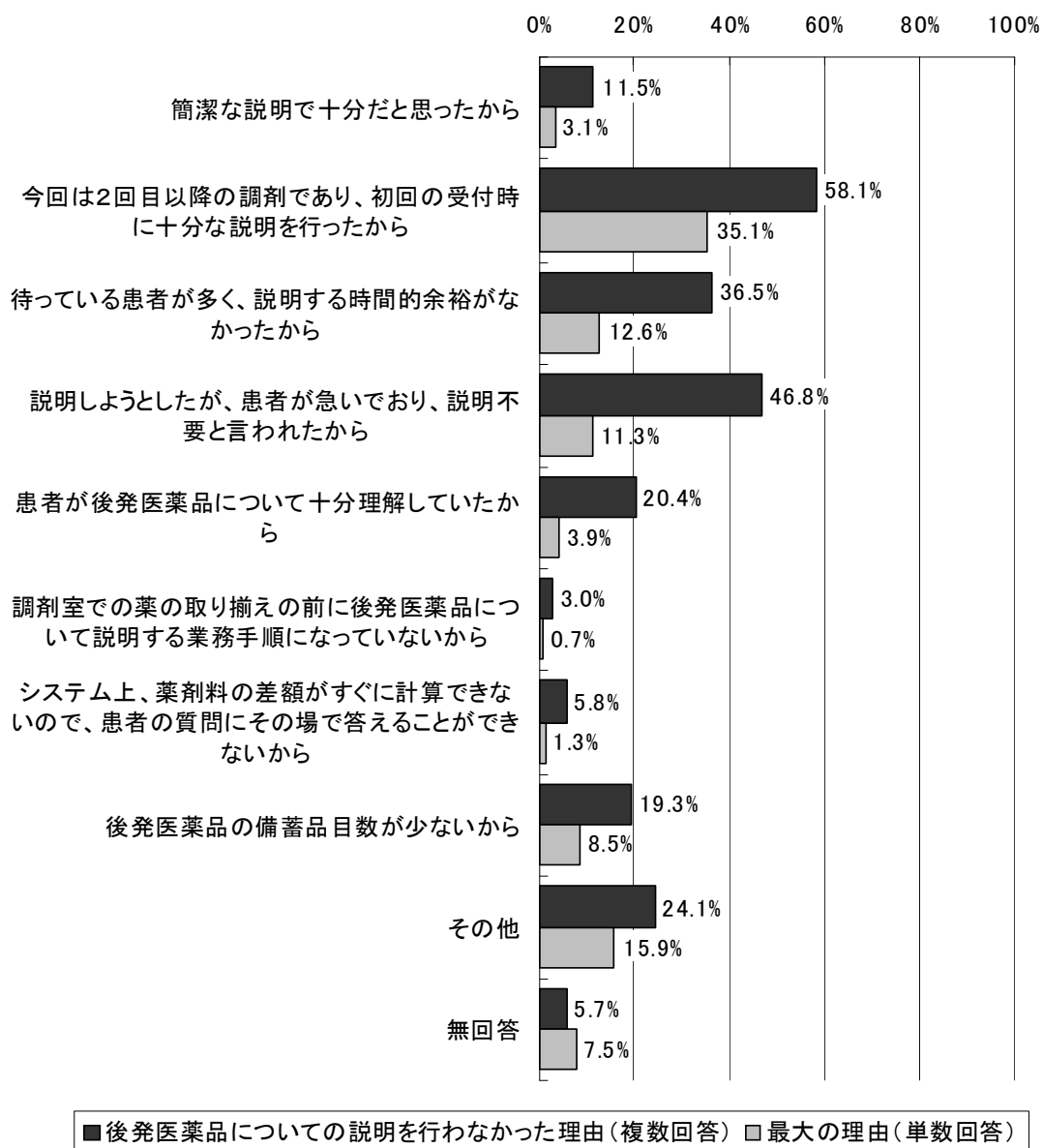
図表 29 後発医薬品への変更可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての説明を行った患者の割合（平成 22 年 4 月以降、薬局数ベース）



(注)・「後発医薬品への変更可能な処方せん」とは、変更可能な先発医薬品が処方された処方せんで「変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん。

・「後発医薬品についての説明」とは、後発医薬品と先発医薬品とが同等であること（例えば、品質、安定性、生物学的同等性試験結果など）の説明に加え、患者の処方せんにおける変更前の薬剤料と変更後の薬剤料の差額等についての説明など。

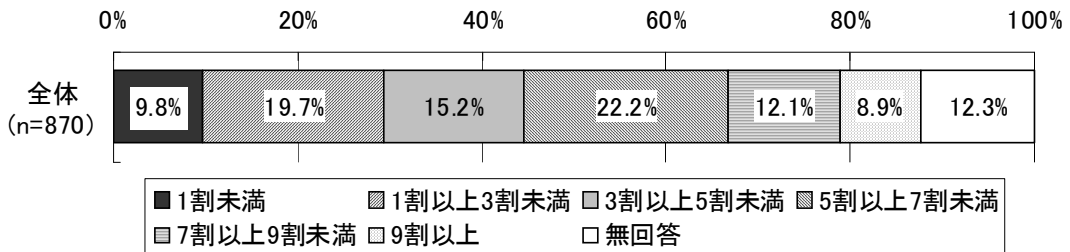
図表 30 後発医薬品への変更可能な処方せんを持参した患者に後発医薬品についての説明をしなかった理由 (n=838)



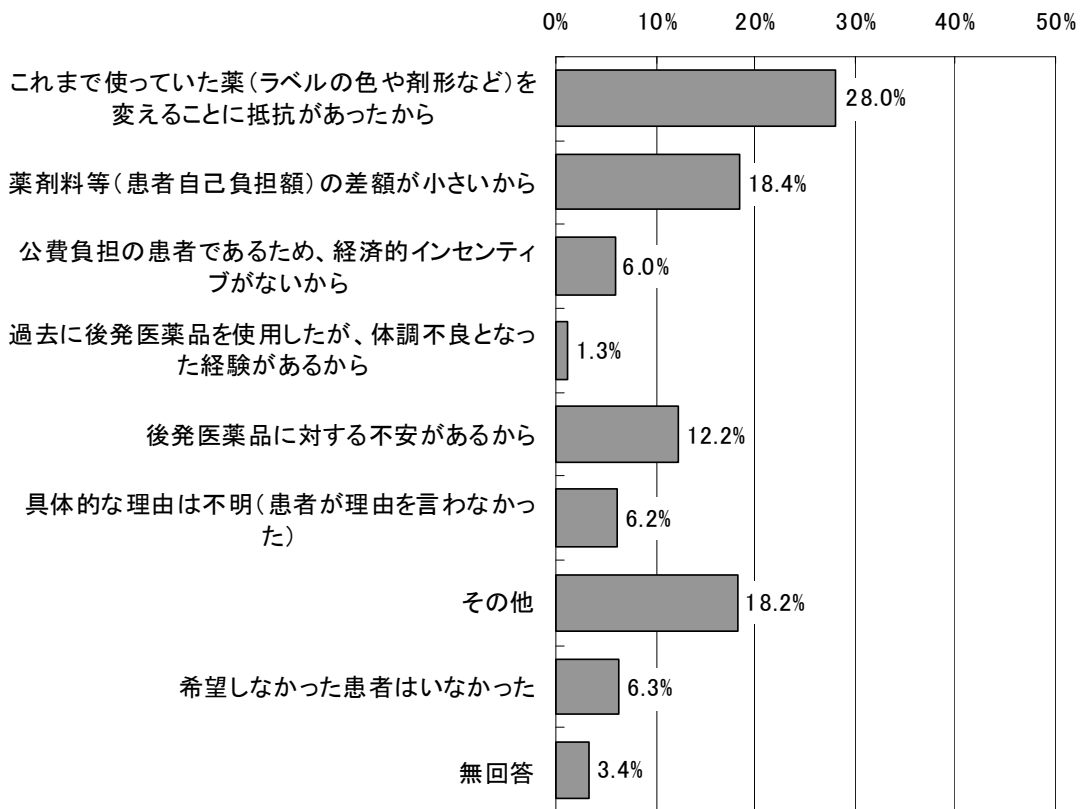
(注) 後発医薬品への変更可能な処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品についての説明を行った患者の割合が「10割」と回答した32施設以外の施設を集計対象とした。

3) 後発医薬品について説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合

図表 31 後発医薬品について説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合（薬局数ベース）

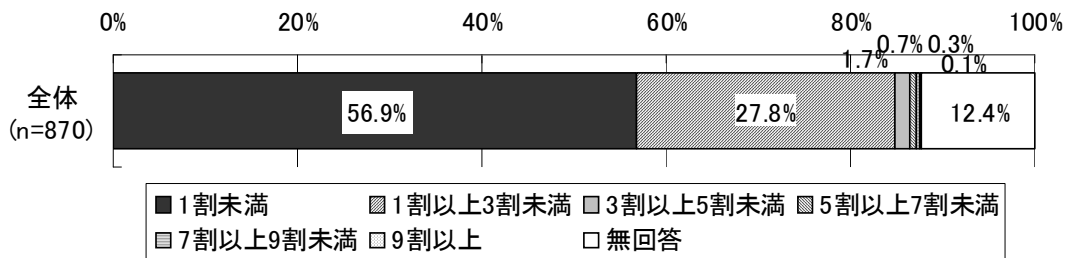


図表 32 後発医薬品についての説明を行ったにもかかわらず、患者が後発医薬品の使用を希望しなかった理由で最も多いもの（単数回答、n=870）

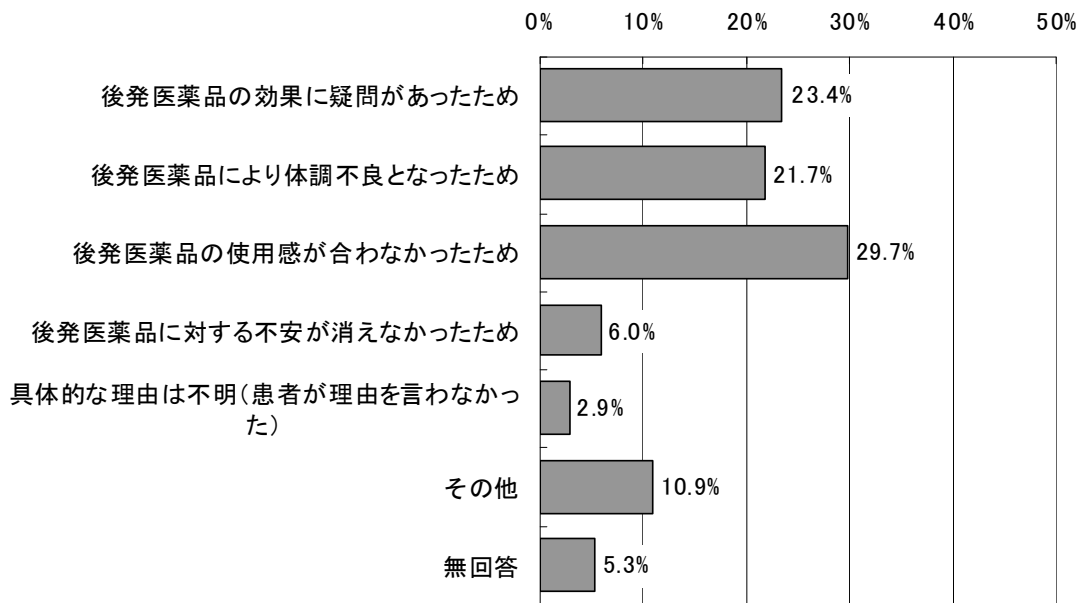


4) 後発医薬品へ変更したが、その後、患者の希望により後発医薬品から先発医薬品に戻した患者の割合（平成 22 年 4 月以降）

図表 33 後発医薬品へ変更したが、その後、患者の希望により後発医薬品から先発医薬品に戻した患者の割合（平成 22 年 4 月以降、薬局数ベース）



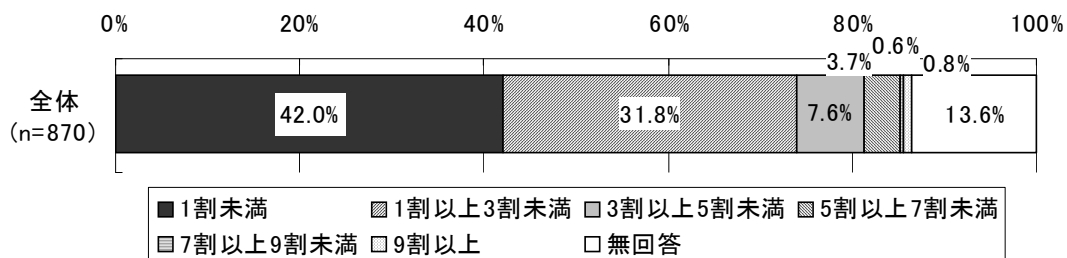
図表 34 後発医薬品から先発医薬品に戻した理由で最も多いもの（単数回答、n=585）



(注) 後発医薬品へ変更したが、その後、患者の希望により後発医薬品から先発医薬品に戻した患者の割合について回答のあった施設のみを集計対象とした。

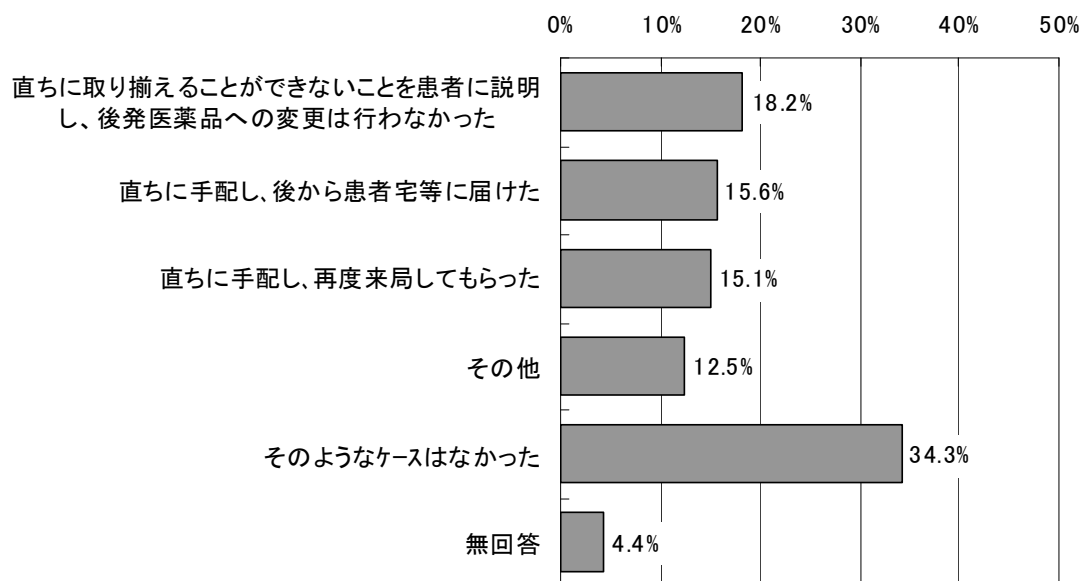
5) 後発医薬品に変更できなかった患者の割合

図表 35 後発医薬品への変更を希望したが、後発医薬品に変更できなかった患者の割合
(平成 22 年 4 月以降、薬局数ベース)



6) 後発医薬品の備蓄がなかったため直ちに取り揃えることができなかった患者に対する主な対応

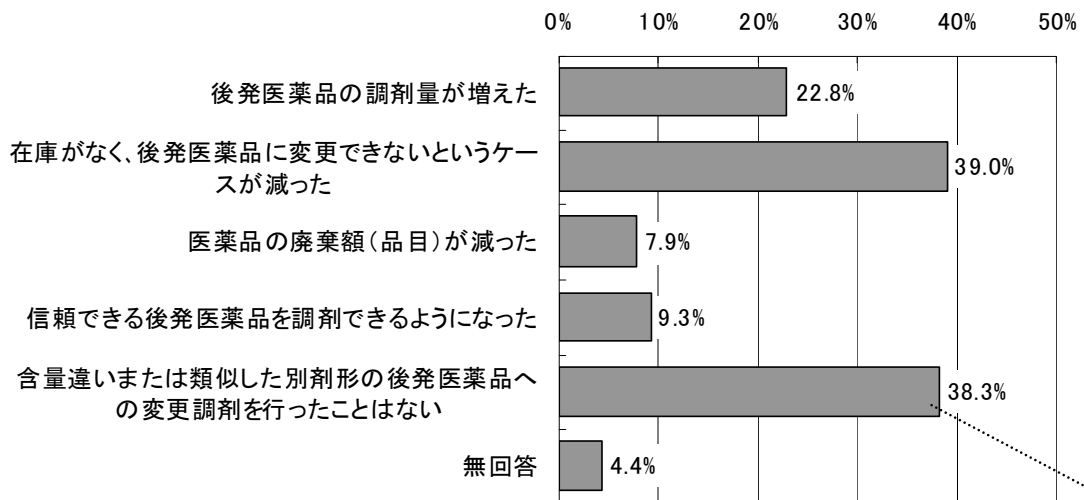
図表 36 後発医薬品の備蓄がなかったため直ちに取り揃えることができなかった患者に対する主な対応 (単数回答、n=870)



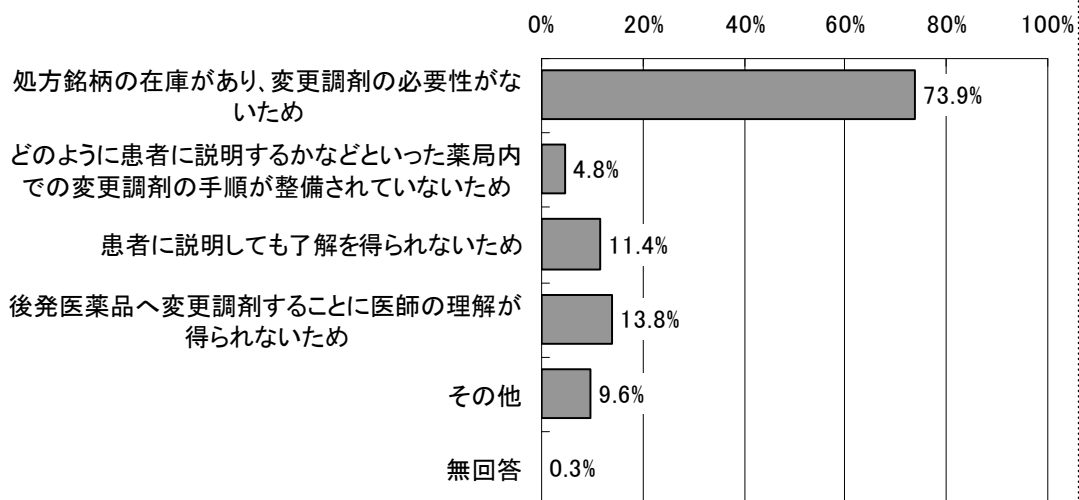
(注)「その他」の内容として、「今回は変更しなかったが、次回以降、後発医薬品を取り揃えた」という回答が多く挙げられた。

7) 含量違いや類似した別剤形の後発医薬品への変更調剤を行えるようになったことの影響

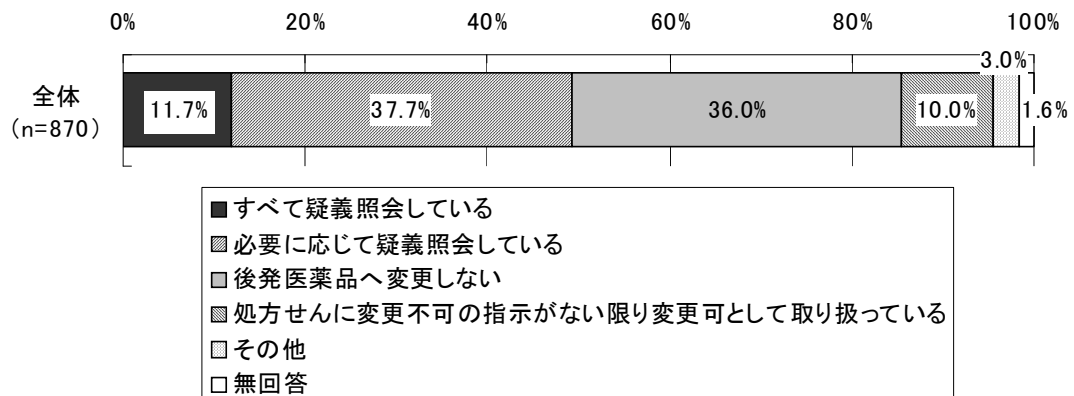
図表 37 含量違いまたは類似した別剤形の後発医薬品への変更調剤を行えるようになったことの影響（複数回答、n=870）



図表 38 含量違いまたは類似した別剤形の後発医薬品への変更調剤を行ったことがない理由（複数回答、n=333）

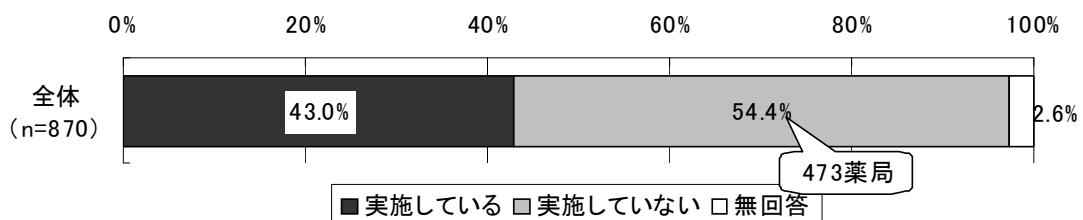


図表 39 変更調剤の際、先発医薬品と後発医薬品の効能の違いがある場合の対応

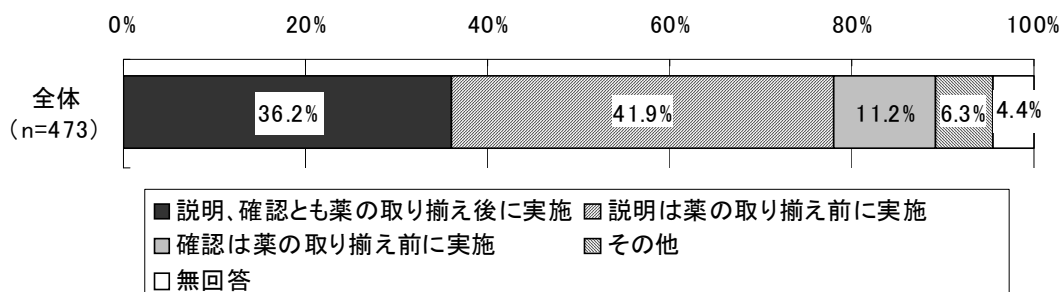


8) 処方せん受付時の手順等

図表 40 処方せん受付時における、患者への「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」の実施状況



図表 41 患者に対して「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」を行うタイミング

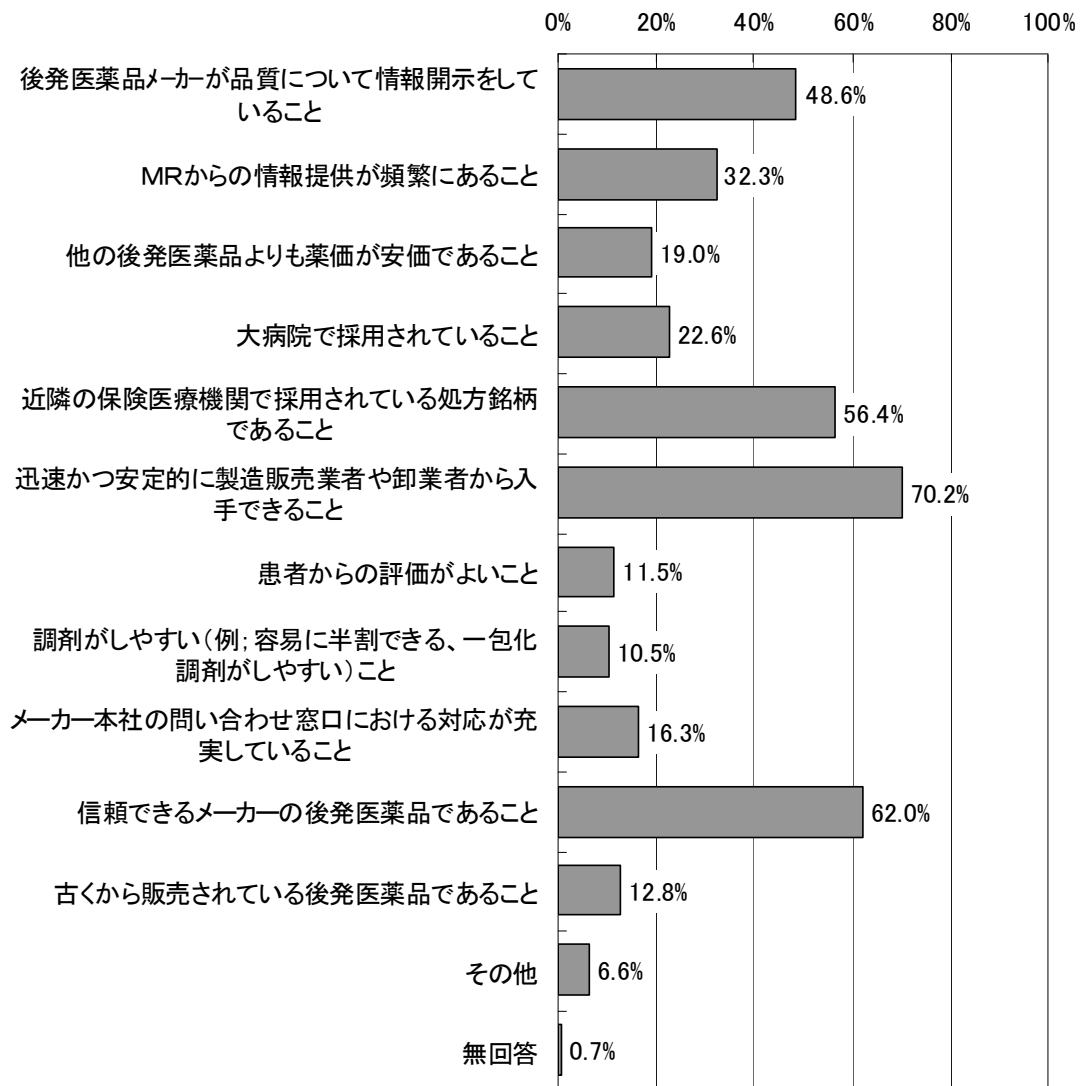


(注)「説明」とは後発医薬品についての説明、「確認」とは薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認を意味する。

備蓄医薬品の状況等

1) 後発医薬品の採用基準

図表 42 後発医薬品の採用基準（複数回答、n=870）



2) 医薬品の備蓄品目数

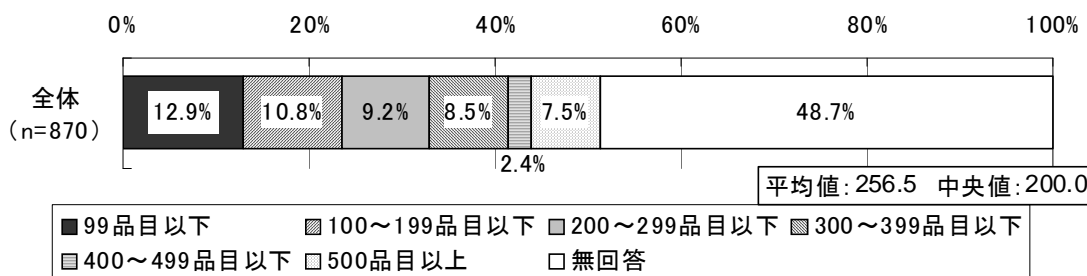
図表 43 備蓄医薬品品目数の変化 (n=349)

		平成 21 年 8 月 または把握可 能な 21 年度の 1 か月分	平成 22 年 8 月 または把握可 能な直近 1 か 月分	増加率
医薬品全品目数(A)	平均値	784.4	842.4	7.4%
	標準偏差	413.2	426.8	
	中央値	690.0	735.0	6.5%
うち、後発医薬品の品目数 (B)	平均値	112.5	142.8	26.9%
	標準偏差	95.9	104.8	
	中央値	88.0	120.0	36.4%
うち、複数銘柄の後発医薬 品を備えている先発医薬品 の品目数	平均値		15.3	
	標準偏差		35.8	
	中央値		6.0	
(B) / (A)	平均値	14.3%	17.0%	
	中央値	12.8%	16.3%	

(注) すべての項目に回答のあった 342 施設を集計対象とした。

3) 備蓄がなかったため後発医薬品に変更できないケースをないようにするために必要な後発医薬品の備蓄品目数

図表 44 備蓄がなかったため後発医薬品に変更できないケースをないようにするために必要な後発医薬品の備蓄品目数



4) 医薬品の在庫金額及び廃棄額（1か月分）

図表 45 医薬品の在庫金額及び廃棄額（1か月分、n=415）

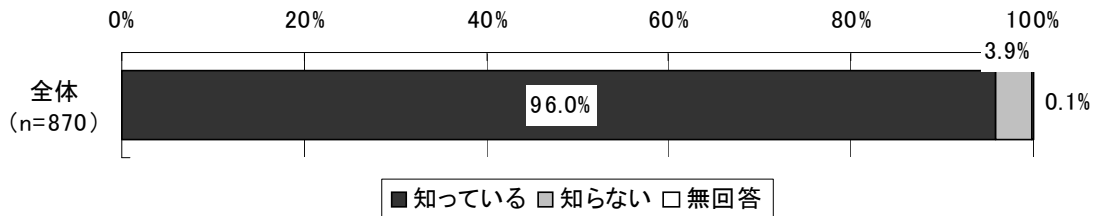
			平成 21 年 8 月 または把握可 能な 21 年度の 1 か月分	平成 22 年 8 月 または把握可 能な直近 1 か 月分	増加率
在庫金額 (円)	医薬品全品目	平均値	6,776,756	7,320,850	8.0%
		標準偏差	6,842,373	8,750,506	
		中央値	4,730,000	5,015,409	6.0%
	うち、後発医薬品	平均値	577,518	734,232	27.1%
		標準偏差	714,697	857,696	
		中央値	354,560	460,000	29.7%
廃棄額 (円)	医薬品全品目	平均値	45,988	46,139	0.3%
		標準偏差	107,246	107,094	
		中央値	10,000	8,200	-18.0%
	うち、後発医薬品	平均値	10,649	11,033	3.6%
		標準偏差	57,005	50,732	
		中央値	444	438	-1.4%

(注) すべての項目に回答のあった 415 施設を集計対象とした。

「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度等

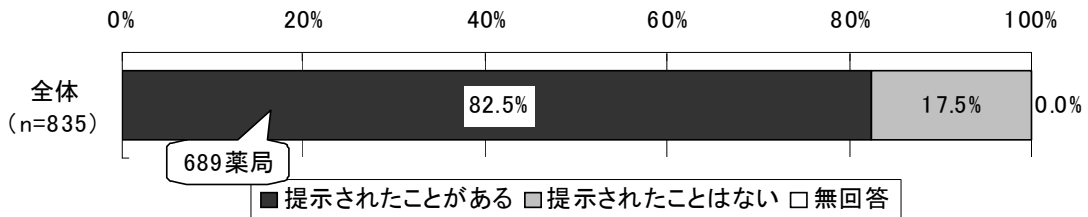
1) 「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度

図表 46 「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度



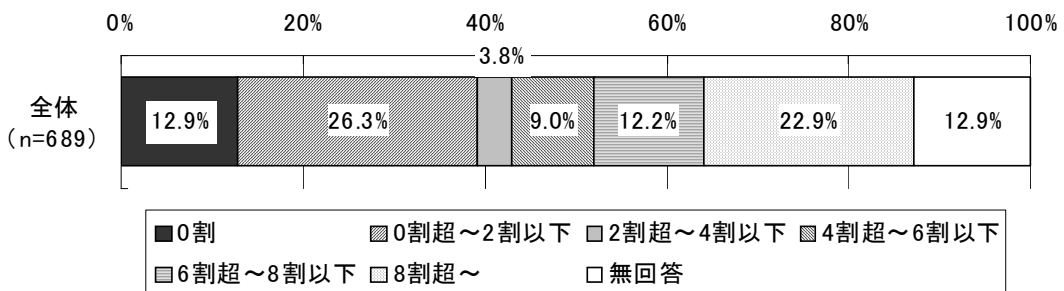
2) 「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された経験の有無

図表 47 「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された経験の有無
(「ジェネリック医薬品希望カード」を知っていると回答した薬局)



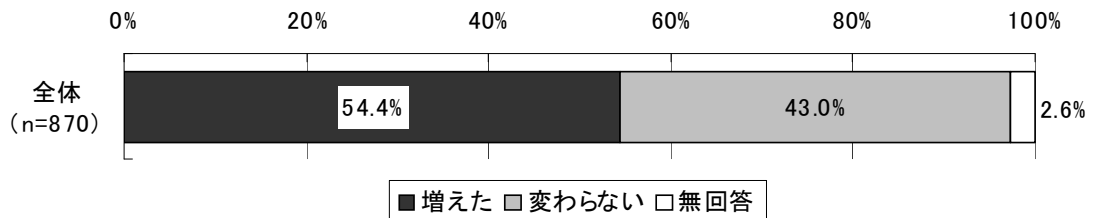
3) 「ジェネリック医薬品希望カード」を提示した患者における、先発医薬品から後発医薬品への変更調剤を行った患者の割合 (平成 22 年 4 月以降)

図表 48 「ジェネリック医薬品希望カード」を提示した患者における、
先発医薬品から後発医薬品への変更調剤を行った患者の割合
(平成 22 年 4 月以降、提示されたことがある薬局)



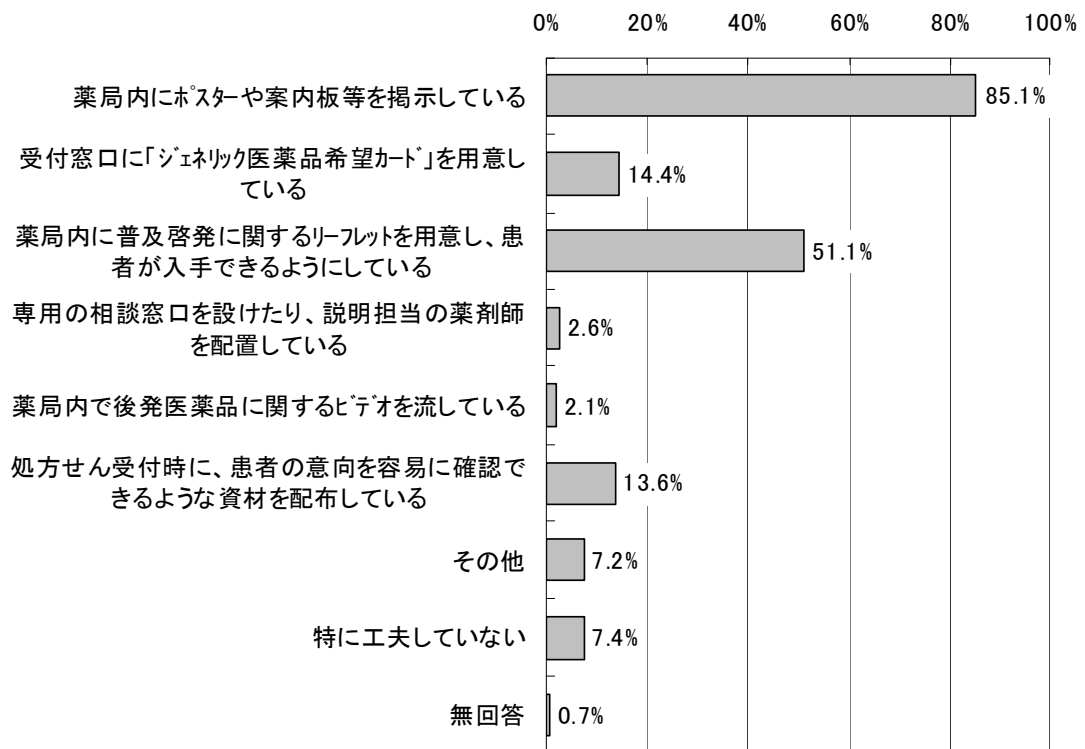
4)「ジェネリック医薬品希望カード」配布後（平成 21 年 4 月以降）における後発医薬品を希望する患者数の変化

図表 49 「ジェネリック医薬品希望カード」配布後（平成 21 年 4 月以降）における後発医薬品を希望する患者数の変化



5) 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫

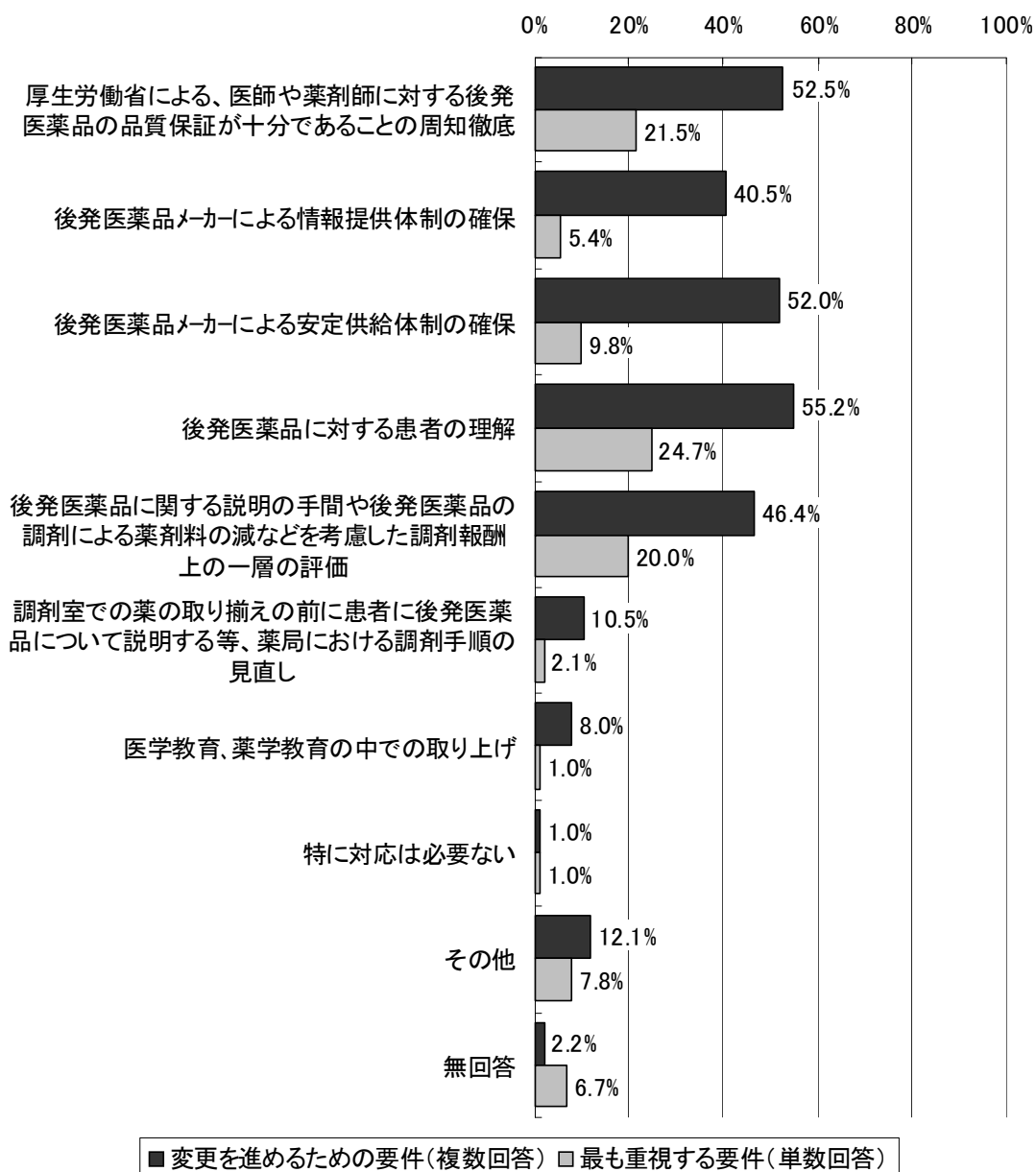
図表 50 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫（複数回答、n=870）



後発医薬品への変更を進めるための要件

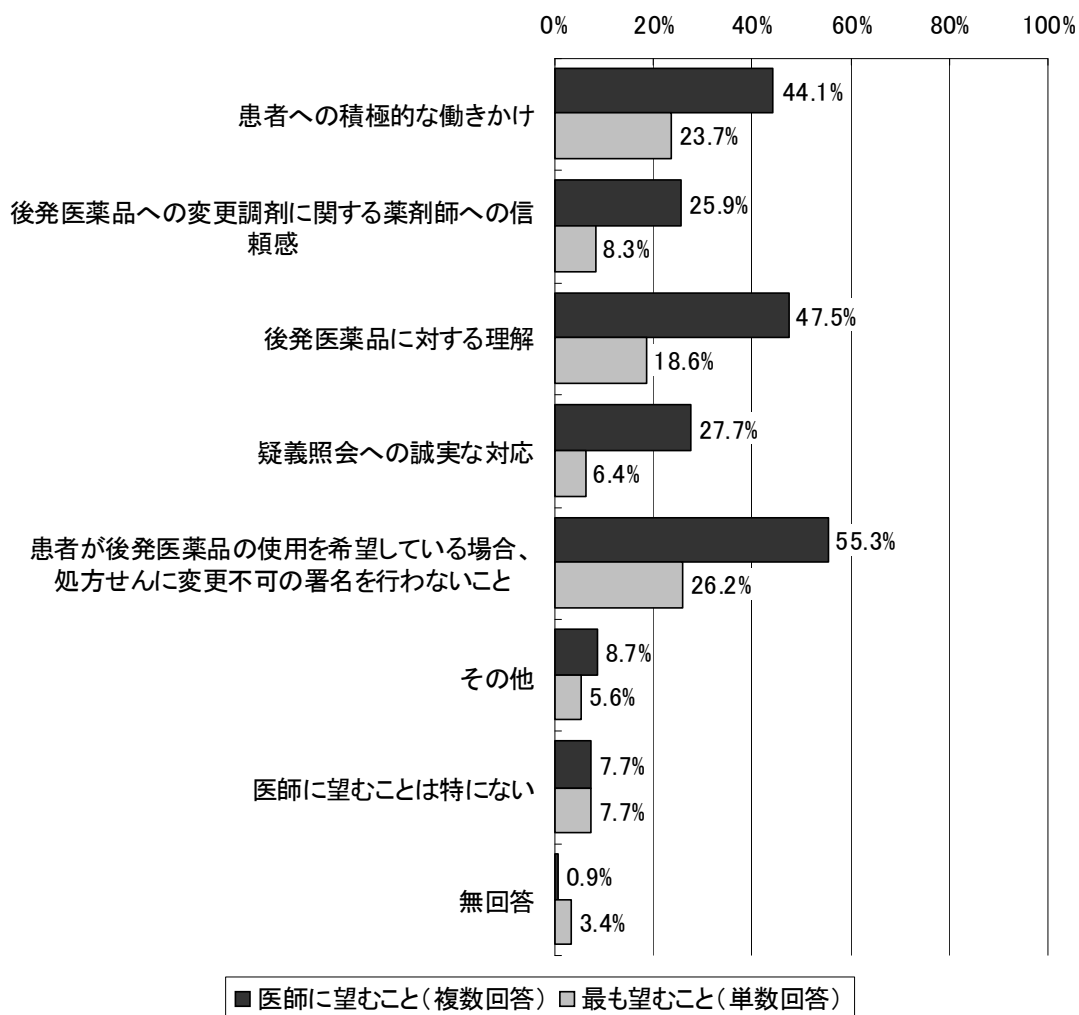
1) 薬局として後発医薬品への変更を進めるための要件

図表 51 処方せんの「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がなかったが、変更しなかった場合について、今後、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための要件 (n=870)



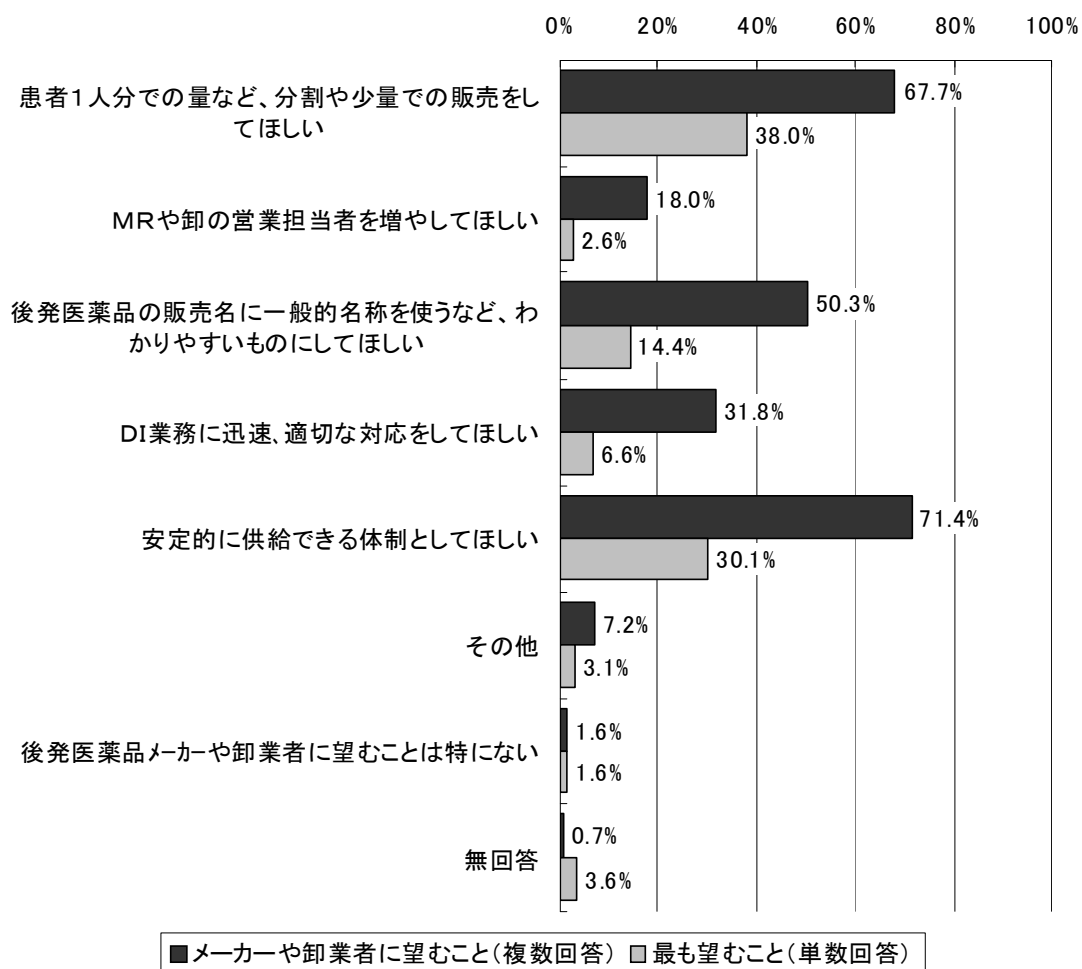
2) 医師に望むこと

図表 52 後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと (n=870)



3) 後発医薬品メーカーや卸業者に望むこと

図表 53 後発医薬品の使用を進める上で後発医薬品メーカーや卸業者に望むこと (n=870)



後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況

図表 54 9/27～10/3 に後発医薬品に変更して調剤された処方せん（12,915 枚）の状況

	平均値	標準偏差	中央値
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)	826.6	1489.6	392.0
実際に調剤した薬剤料(B)(点)	662.1	1336.6	295.0
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)(%)	80.1		75.3

図表 55 患者一部負担金割合別にみた、9/27～10/3 に後発医薬品に変更して調剤された処方せん（12,915 枚）の状況

	患者一部負担金割合					
	全体	0割	1割	2割	3割	10割
処方せん枚数(枚)	12,915	1,199	3,762	88	7,823	20
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)	826.6	767.3	1054.6	260.3	735.0	371.5
実際に調剤した薬剤料(B)(点)	662.1	653.0	861.1	216.5	574.9	302.3
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)(%)	80.1	85.1	81.7	83.2	78.2	81.4

(注) 患者一部負担金割合の「全体」には、患者一部負担金割合が不明だった処方せん 23 枚が含まれる。

(3) 診療所・病院・医師調査の結果概要

【調査対象等】

診療所調査

調査対象：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した一般診療所

回答数：662 施設

回答者：開設者・管理者

病院調査

調査対象：全国の病院の中から無作為に抽出した病院

回答数：574 施設

回答者：開設者・管理者

医師調査

調査対象：上記「病院調査」の対象施設で外来診療を担当する医師

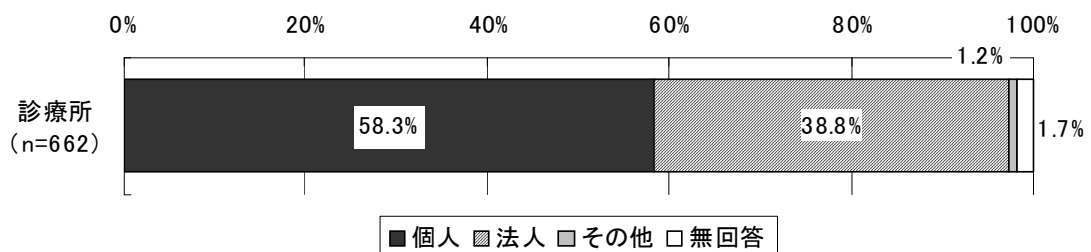
1 施設につき、診療科の異なる医師 2 名

回答数：708 人

診療所の施設属性

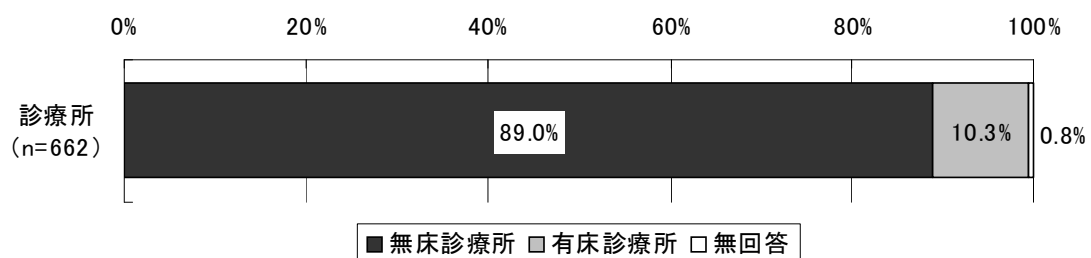
1) 診療所の開設者

図表 56 診療所の開設者

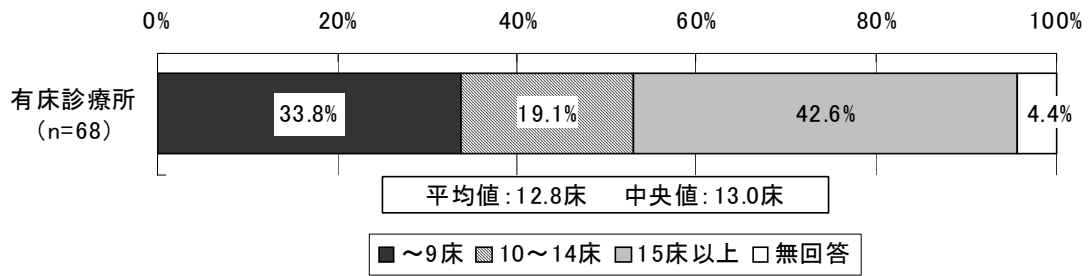


2) 診療所の種別

図表 57 診療所の種別



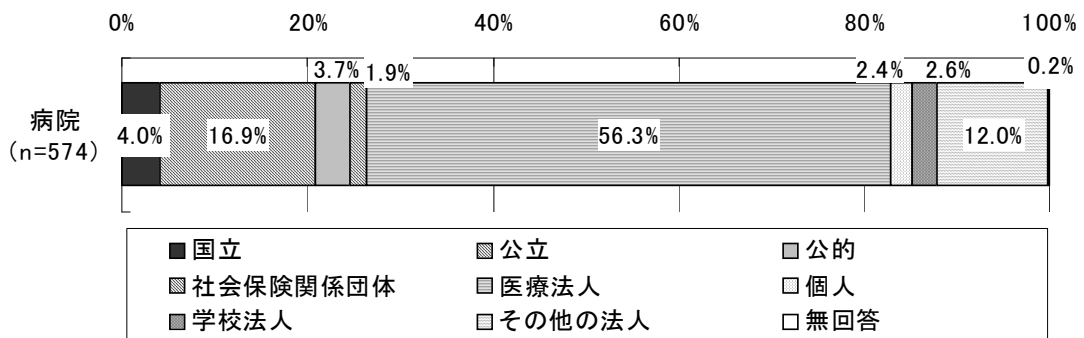
図表 58 有床診療所の病床規模



病院の施設属性

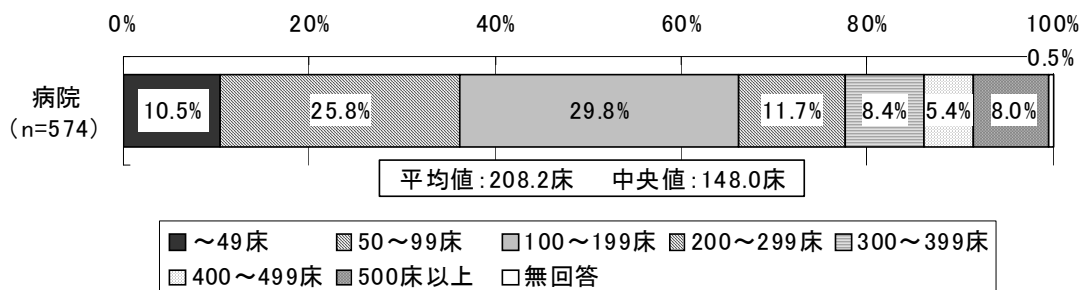
1) 病院の開設者

図表 59 病院の開設者



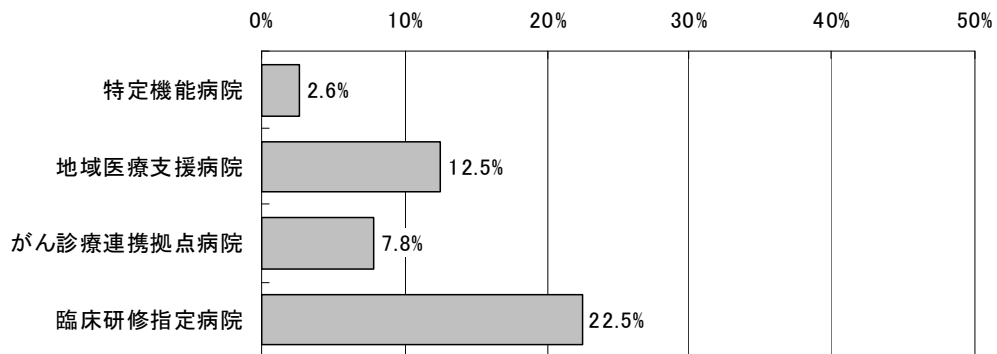
2) 病院の病床規模

図表 60 病院の病床規模



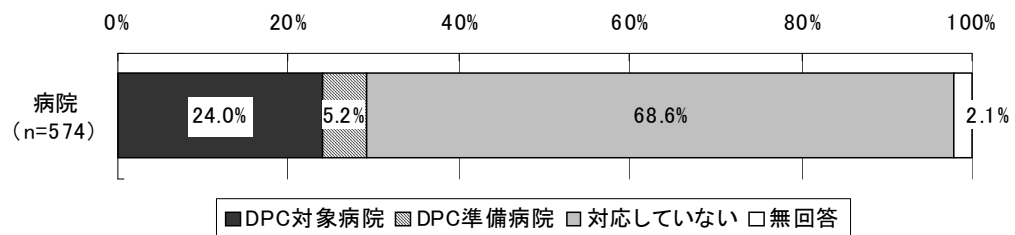
3) 病院の種別

図表 61 病院の種別（複数回答、n=574）



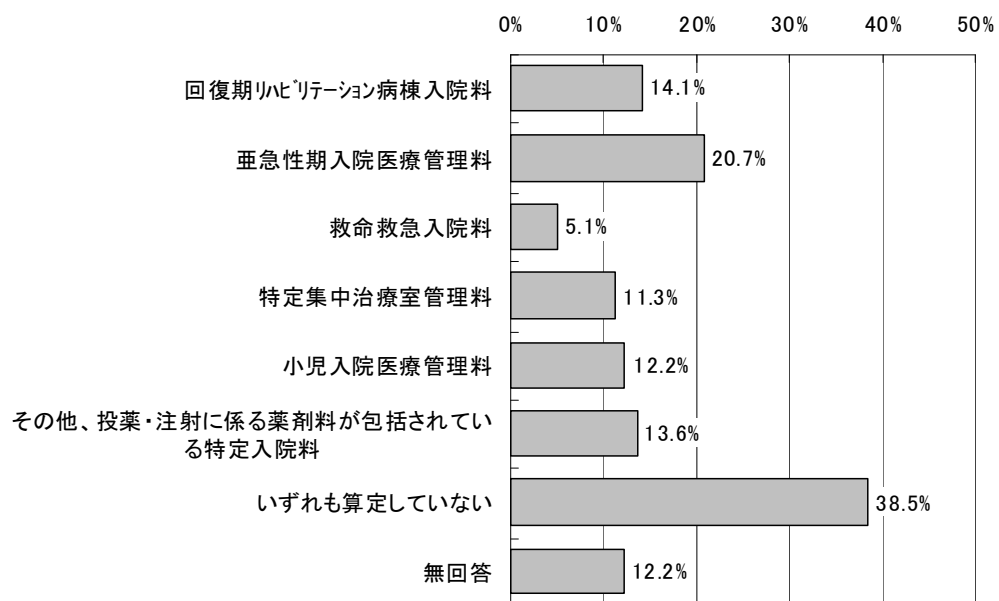
4) D P C の対応状況

図表 62 D P C の対応状況



5) 特定入院料の状況

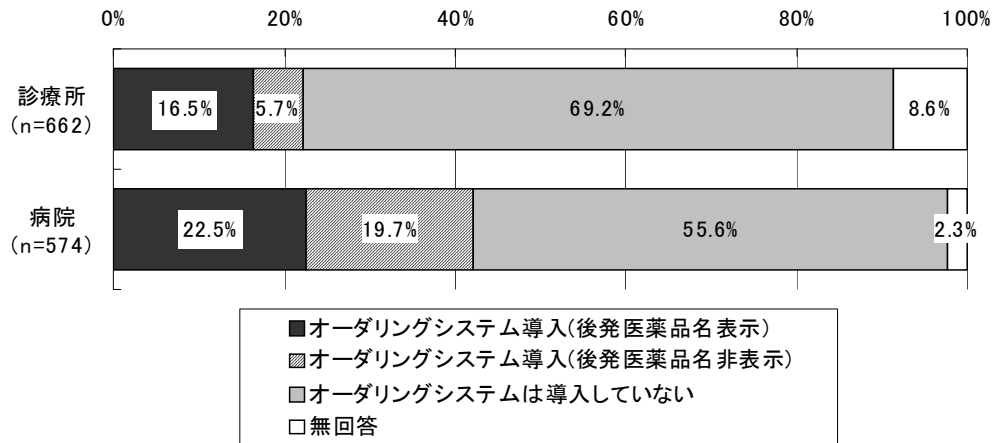
図表 63 特定入院料の状況（複数回答、n=574）



オーダーリングシステムの導入状況等

1) オーダリングシステムの導入状況

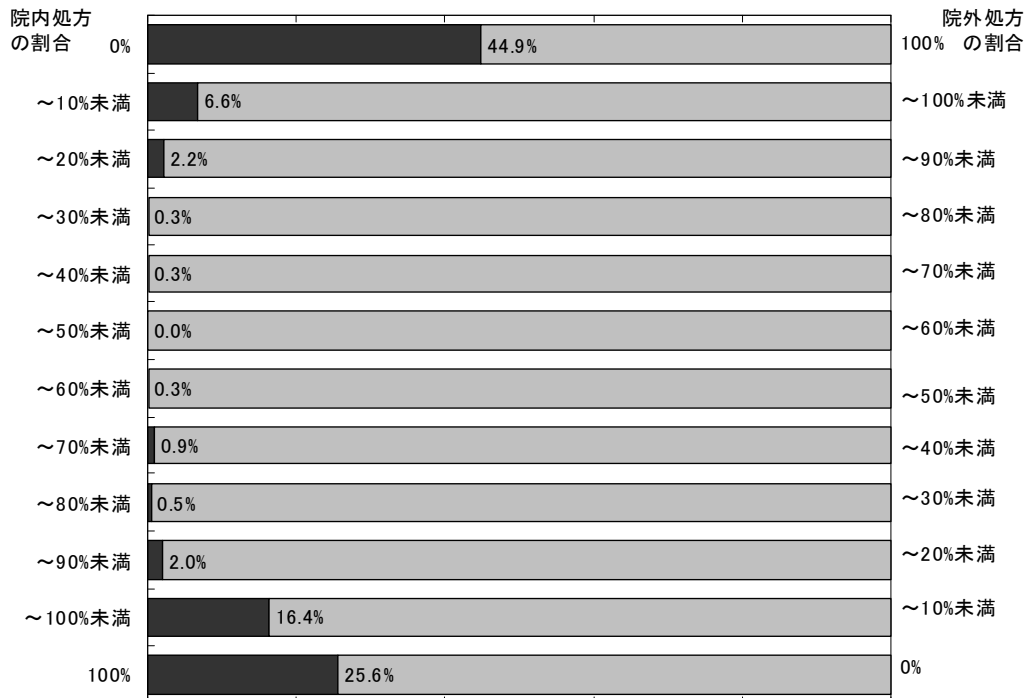
図表 64 オーダリングシステムの導入状況



2) 院内処方と院外処方の割合

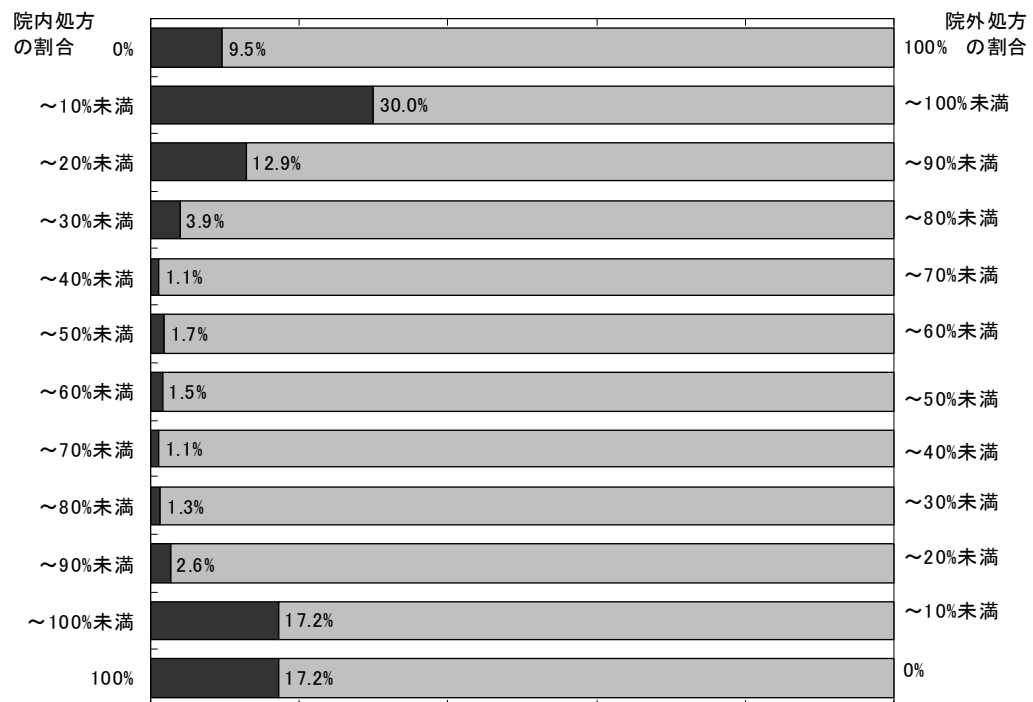
図表 65 院内処方と院外処方の割合

【診療所】 n=648



(注) 院内処方、院外処方の割合について回答のあった 648 施設を集計対象とした。

【病院】 n=536

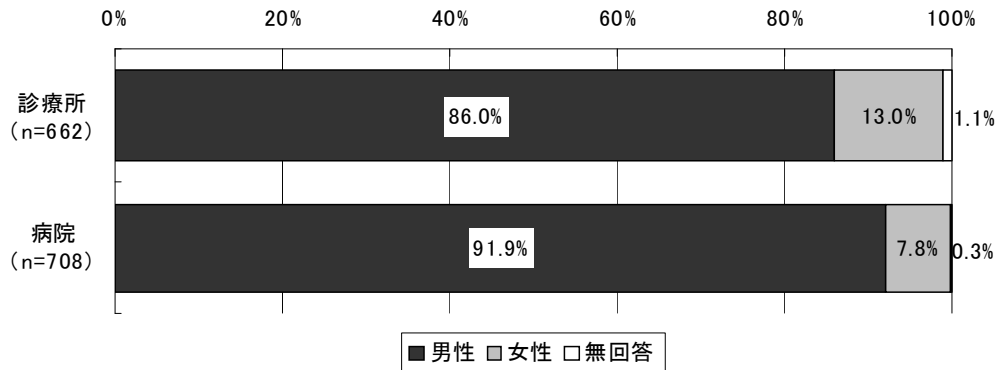


(注) 院内処方、院外処方の割合について回答のあった 536 施設を集計対象とした。

医師の属性

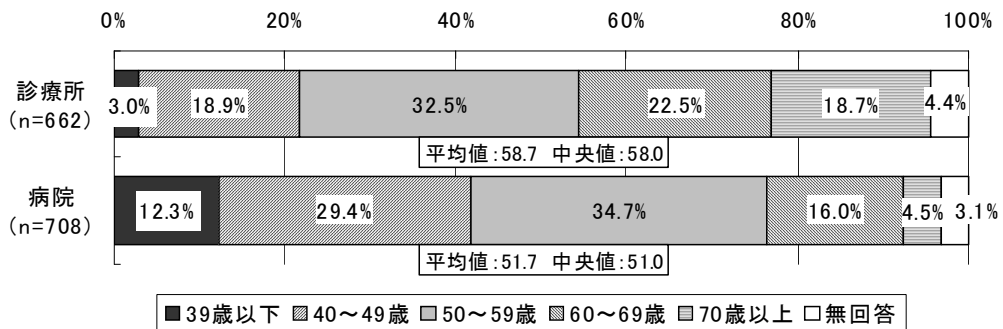
1) 医師の性別

図表 66 医師の性別



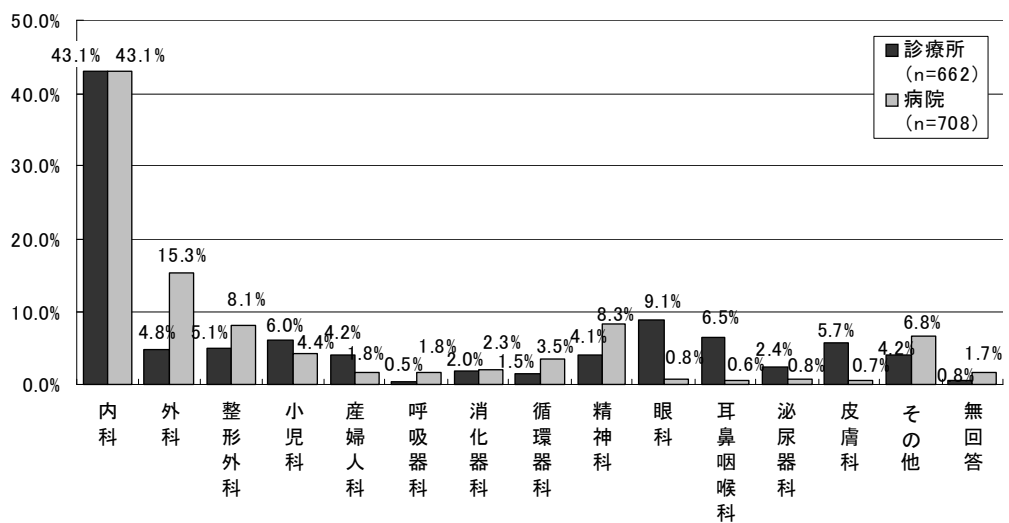
2) 医師の年齢

図表 67 医師の年齢



3) 医師の主たる担当診療科

図表 68 医師の主たる担当診療科



診療所・病院の診療体制

図表 69 診療所における常勤の医師数・薬剤師数 (n=653)

	平均値	標準偏差	中央値
医師数(人)	1.2	0.4	1.0
薬剤師数(人)	0.1	0.3	0.0

(注) 医師数・薬剤師数ともに記載のあった施設のみを集計対象とした。

図表 70 病院における医師数・薬剤師数(常勤換算)(n=546)

	平均値	標準偏差	中央値
医師数(人)	32.2	71.3	9.0
薬剤師数(人)	6.4	9.1	3.0

(注) 医師数・薬剤師数ともに記載のあった施設のみを集計対象とした。

診療所・病院における医薬品の備蓄状況等

1) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況等

図表 71 診療所における医薬品の備蓄状況等

	【無床診療所】院外処方率 50%未満 (n=149)			【無床診療所】院外処方率 50%以上 (n=227)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1. 医薬品備蓄品目数(品目)						
①全医薬品	176.4	115.4	150.0	16.8	28.8	2.0
②①のうち、後発医薬品	40.2	55.9	22.0	2.7	5.9	0.0
③後発医薬品割合(②/①)	22.8%		14.7%	16.2%		0.0%
2. 調剤用医薬品購入額(円)						
①全医薬品	2,117,114	3,157,073	1,000,000	62,587	232,814	0
②①のうち、後発医薬品	284,096	497,215	100,000	13,827	67,220	0
③後発医薬品割合(②/①)	13.4%		10.0%	22.1%		-
3. 調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	11,248	43,308	0	144	1,215	0
②①のうち、後発医薬品	2,399	9,850	0	22	239	0
③後発医薬品割合(②/①)	21.3%		-	15.2%		-

	【有床診療所】(n=35)		
	平均値	標準偏差	中央値
1. 医薬品備蓄品目数(品目)			
①全医薬品	169.5	155.4	120.0
②①のうち、後発医薬品	33.4	57.6	15.0
③後発医薬品割合(②/①)	19.7%		12.5%
2. 調剤用医薬品購入額(円)			
①全医薬品	1,451,717	2,025,147	520,000
②①のうち、後発医薬品	145,058	319,150	25,007
③後発医薬品割合(②/①)	10.0%		4.8%
3. 調剤用医薬品廃棄額(円)			
①全医薬品	4,586	12,008	0
②①のうち、後発医薬品	1,143	5,298	0
③後発医薬品割合(②/①)	24.9%		-

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

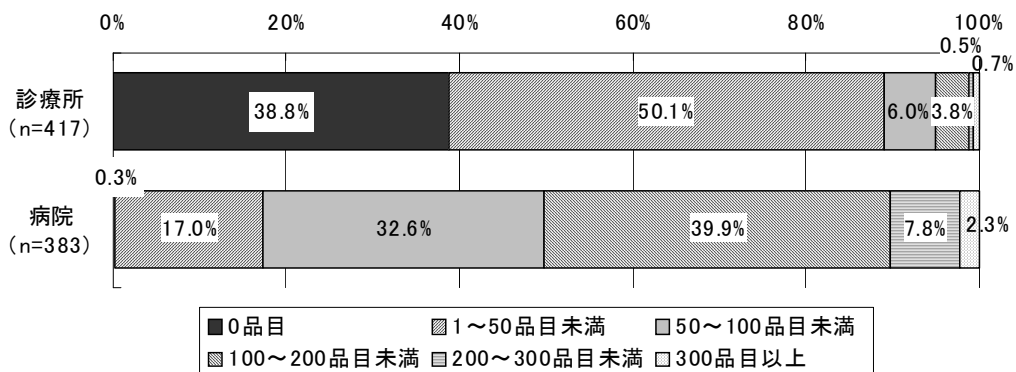
図表 72 病院における医薬品の備蓄状況等

	DPC対象病院(n=105)			DPC準備病院(n=21)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1. 医薬品備蓄品目数(品目)						
①全医薬品	1265.4	419.7	1261.0	792.7	338.6	700.0
②①のうち、後発医薬品	144.0	61.7	135.0	106.4	73.8	81.0
③後発医薬品割合(②/①)	11.4%		10.7%	13.4%		11.6%
2. 調剤用医薬品購入額(円)						
①全医薬品	92,637,060	92,632,534	69,218,836	23,408,847	35,570,688	10,000,000
②①のうち、後発医薬品	6,803,212	7,196,764	4,700,000	1,874,429	3,040,533	770,040
③後発医薬品割合(②/①)	7.3%		6.8%	8.0%		7.7%
3. 調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	85,732	162,315	26,796	30,649	47,154	10,000
②①のうち、後発医薬品	5,183	12,584	0	1,209	3,206	0
③後発医薬品割合(②/①)	6.0%		0.0%	3.9%		0.0%

	それ以外の病院(n=250)		
	平均値	標準偏差	中央値
1. 医薬品備蓄品目数(品目)			
①全医薬品	610.2	321.6	552.0
②①のうち、後発医薬品	99.2	86.0	87.0
③後発医薬品割合(②/①)	16.3%		15.8%
2. 調剤用医薬品購入額(円)			
①全医薬品	10,411,557	12,845,089	5,485,000
②①のうち、後発医薬品	914,614	996,784	600,000
③後発医薬品割合(②/①)	8.8%		10.9%
3. 調剤用医薬品廃棄額(円)			
①全医薬品	13,532	24,116	3,545
②①のうち、後発医薬品	1,164	3,032	0
③後発医薬品割合(②/①)	8.6%		0.0%

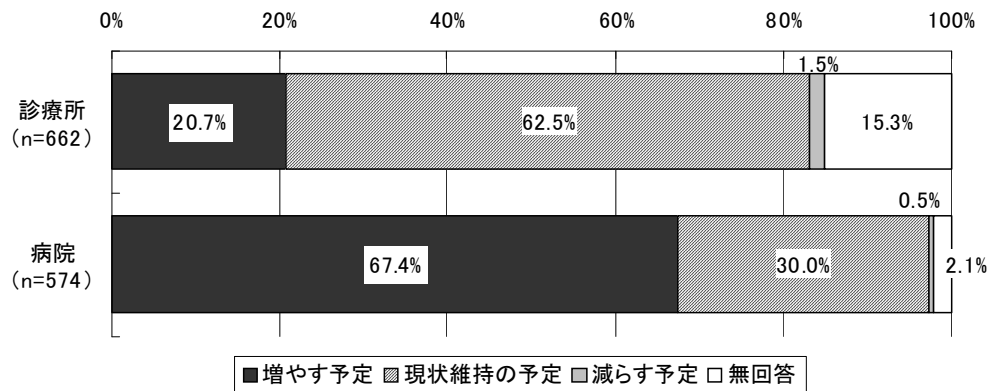
(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

図表 73 後発医薬品の備蓄状況



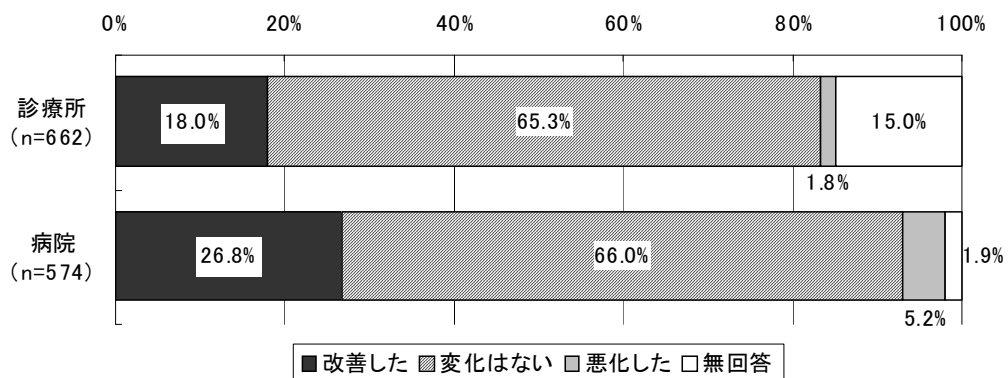
2) 診療所・病院における後発医薬品備蓄品目数の今後の予定

図表 74 診療所・病院における後発医薬品備蓄品目数の今後の予定



3) 後発医薬品の供給体制（1年前と比較して）

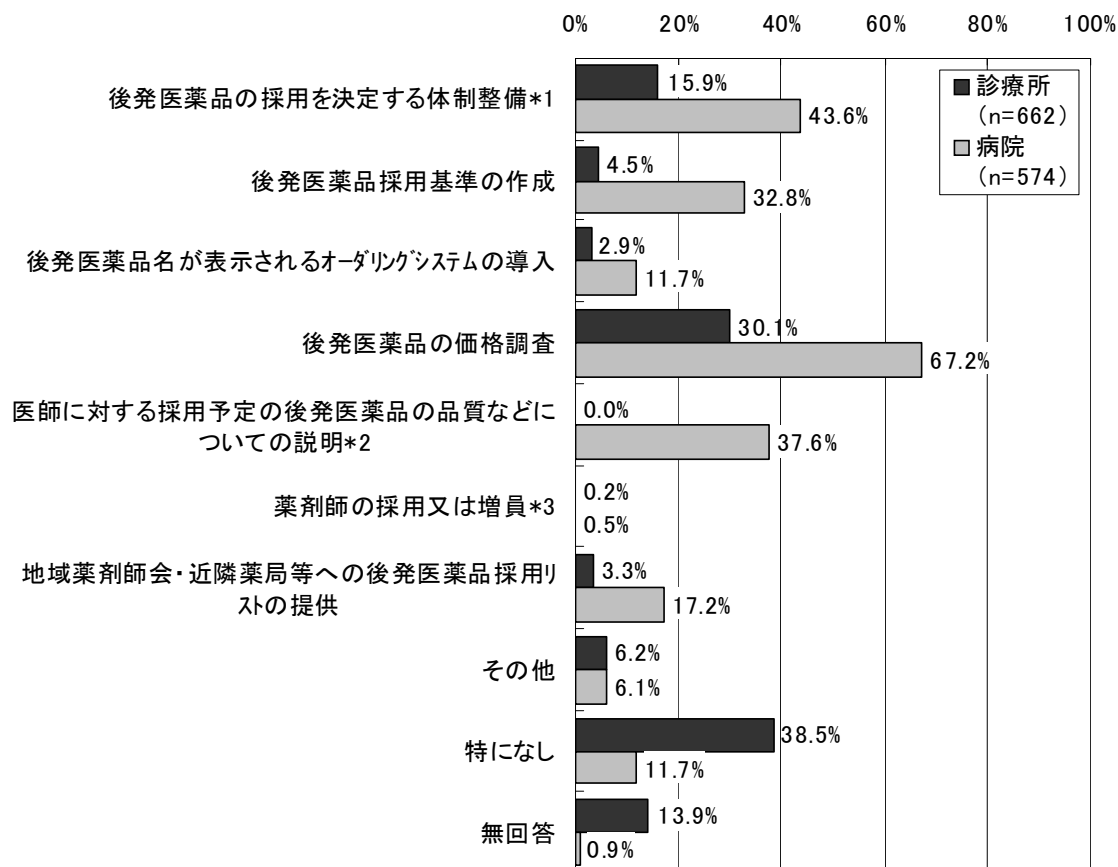
図表 75 後発医薬品の供給体制（1年前と比較して）



診療所・病院における後発医薬品の採用状況等

1) 診療所・病院で後発医薬品の採用・選定の際に行ったこと

図表 76 診療所・病院で後発医薬品の採用・選定の際に行ったこと（複数回答）



*1) 診療所調査と病院調査とでは選択肢の表現が異なる。

診療所：「薬剤部門又は薬剤師が後発医薬品の品質等の情報を収集・評価し、その結果を踏まえ後発医薬品の採用を決定する体制の整備」

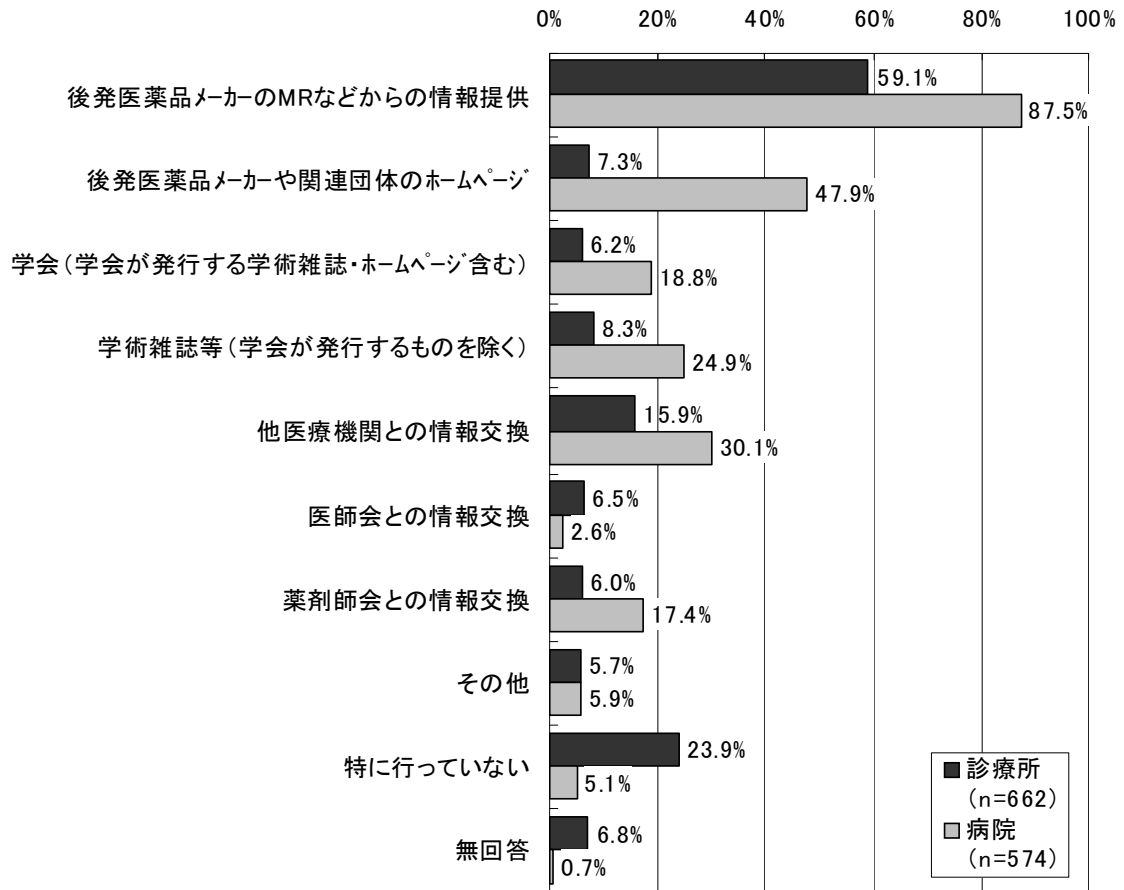
病院：「院内に診療部門や薬剤部門などからなる後発医薬品採用のための委員会の設置・開催」

*2) 病院調査のみの選択肢であり、診療所調査には当該選択肢はない。

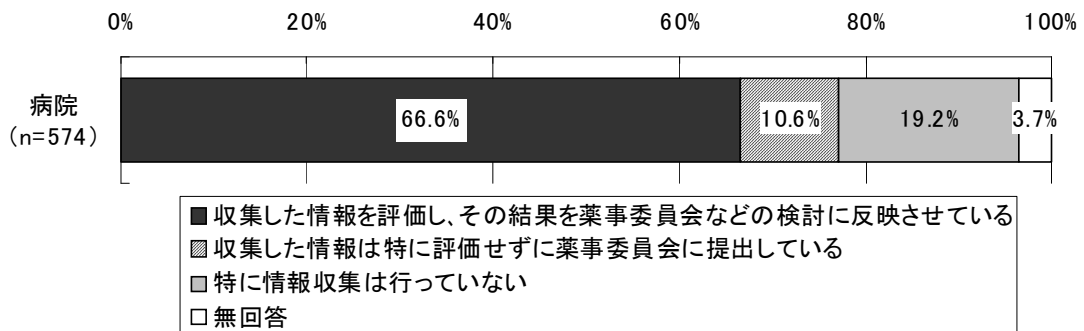
*3) 病院調査では「薬剤師の増員」となっている。

2) 後発医薬品に関する情報の収集源

図表 77 診療所・病院における後発医薬品に関する情報の収集源（複数回答）

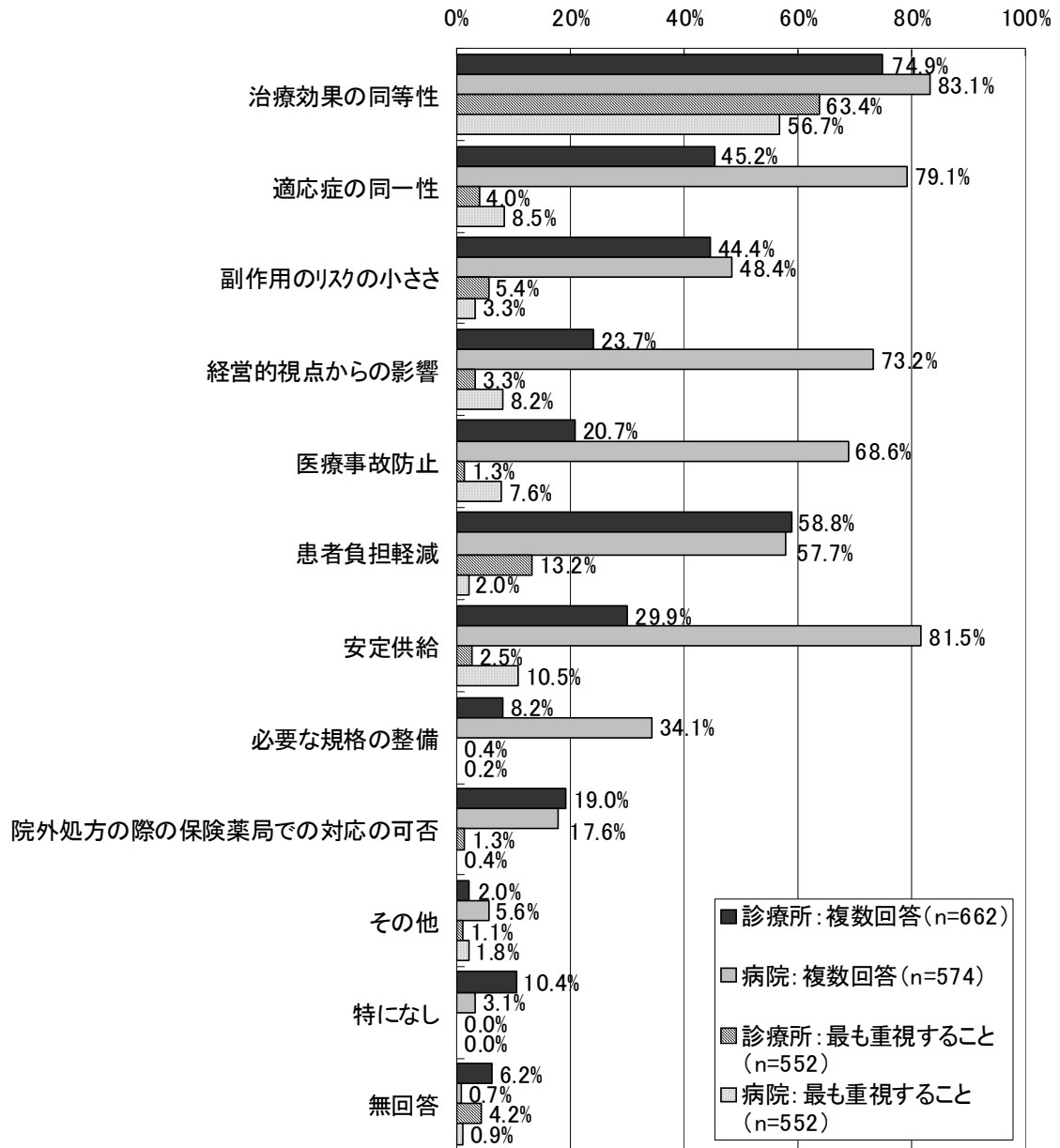


図表 78 病院における、薬剤部門が収集した後発医薬品情報の使い方



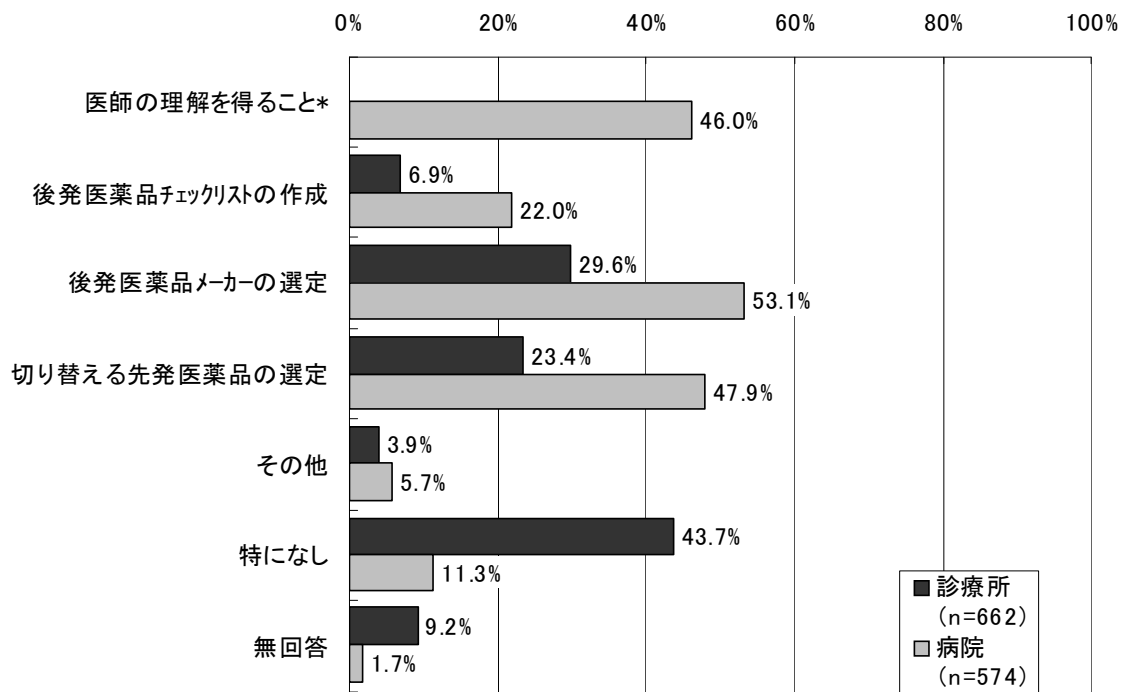
3) 後発医薬品を採用する際に重視すること

図表 79 診療所・病院における後発医薬品を採用する際に重視すること



4) 後発医薬品を導入する際に苦労したこと

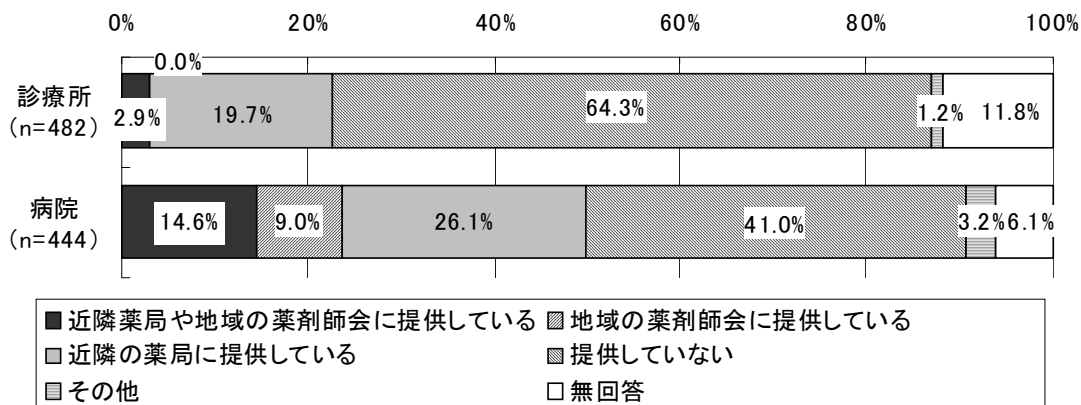
図表 80 後発医薬品を導入する際に苦労したこと（複数回答）



*病院調査のみでの選択肢である。

5) 後発医薬品リストの近隣薬局・地域薬剤師会等への提供状況

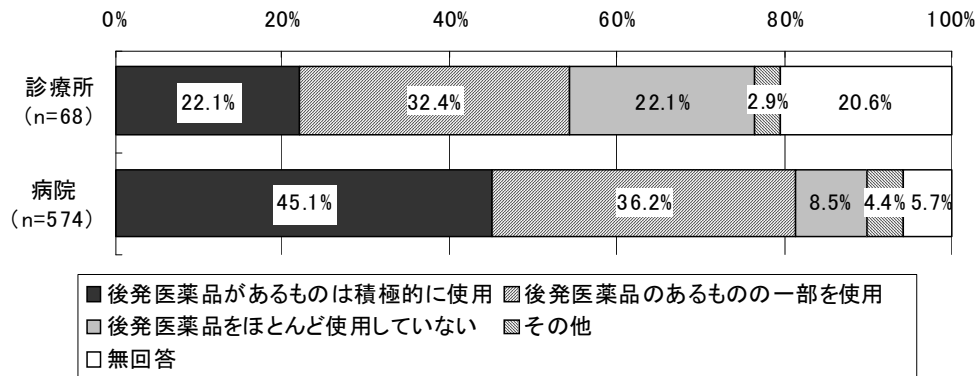
図表 81 後発医薬品リストの近隣薬局・地域薬剤師会等への提供状況
(院外処方せんを発行している施設のみ)



入院患者に対する後発医薬品の使用状況等

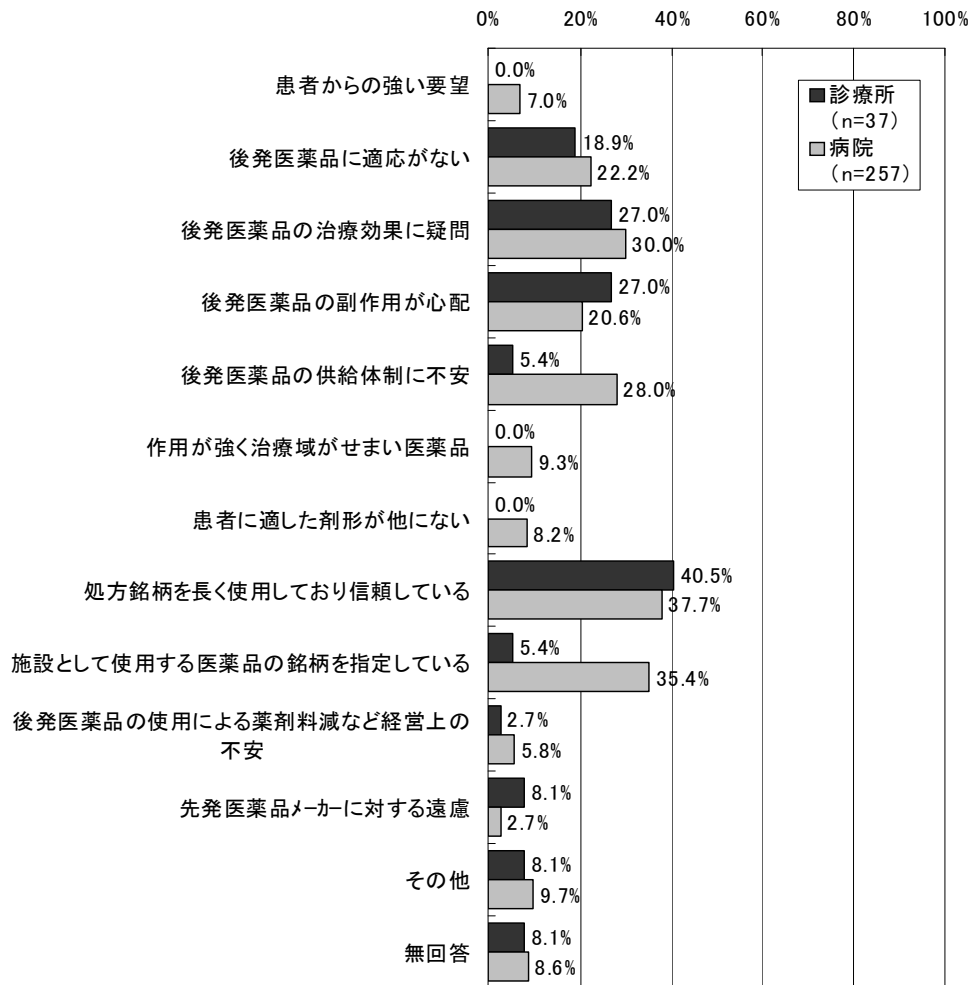
1) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況

図表 82 入院患者に対する後発医薬品の使用状況



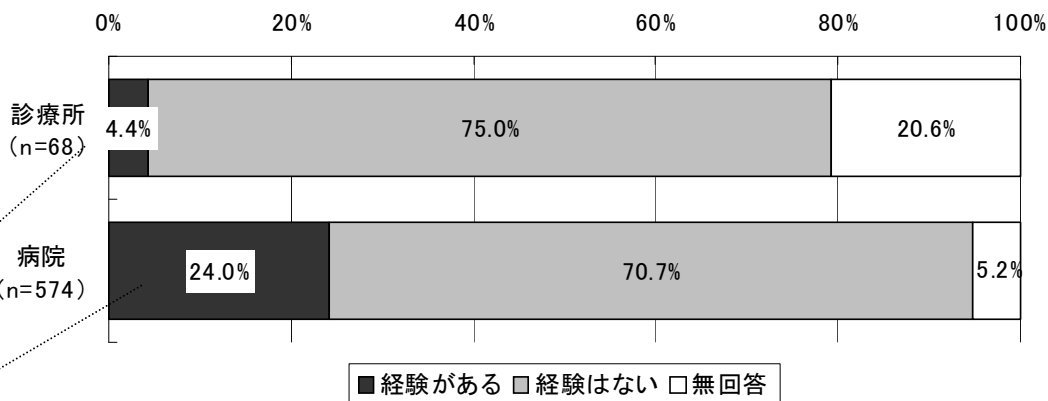
(注) 診療所は有床診療所である。

図表 83 入院患者に対して後発医薬品を積極的に使用しない理由 (複数回答)

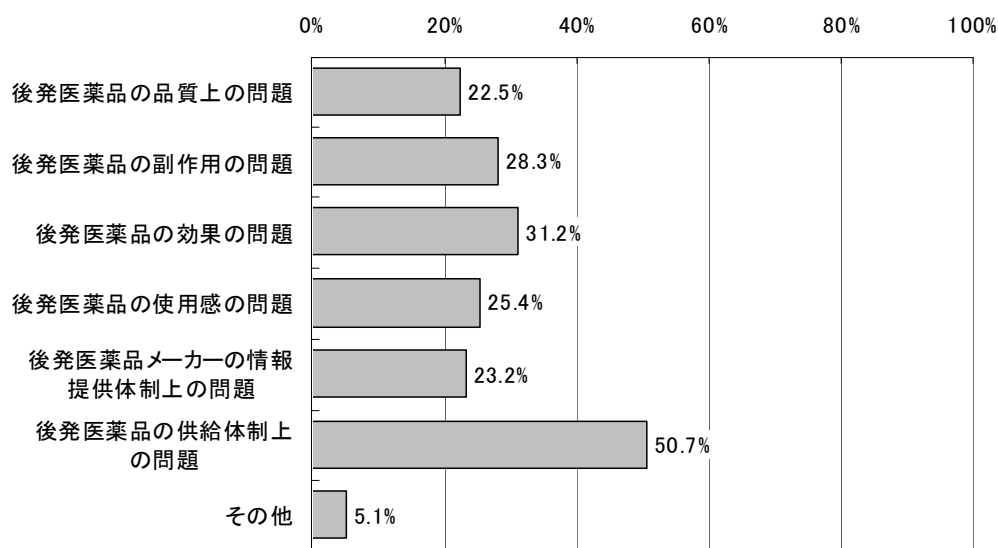


2) 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無（平成 22 年 4 月以降）

図表 84 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無
（平成 22 年 4 月以降）



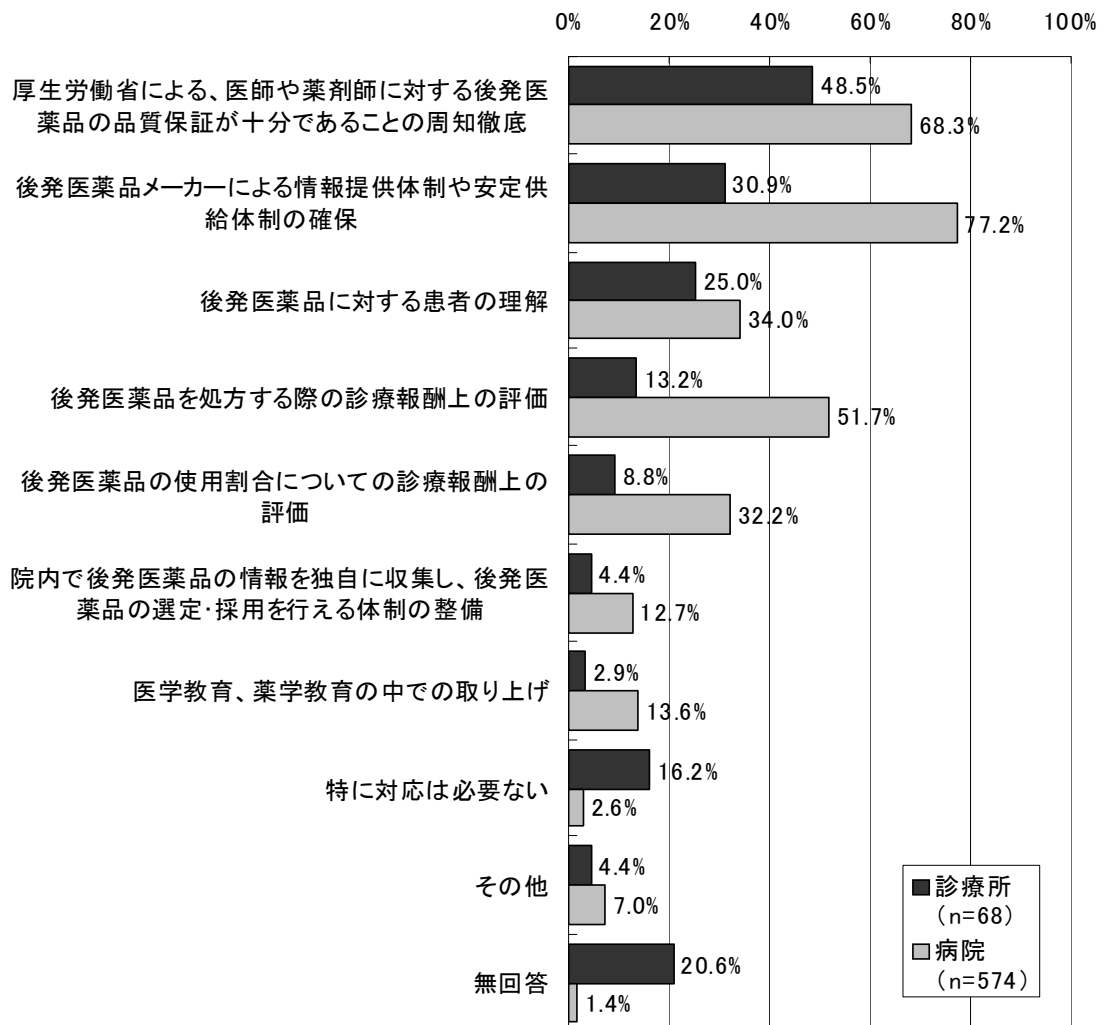
図表 85 「入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験がある」と回答した病院における、後発医薬品使用で生じた問題（複数回答、n=138）



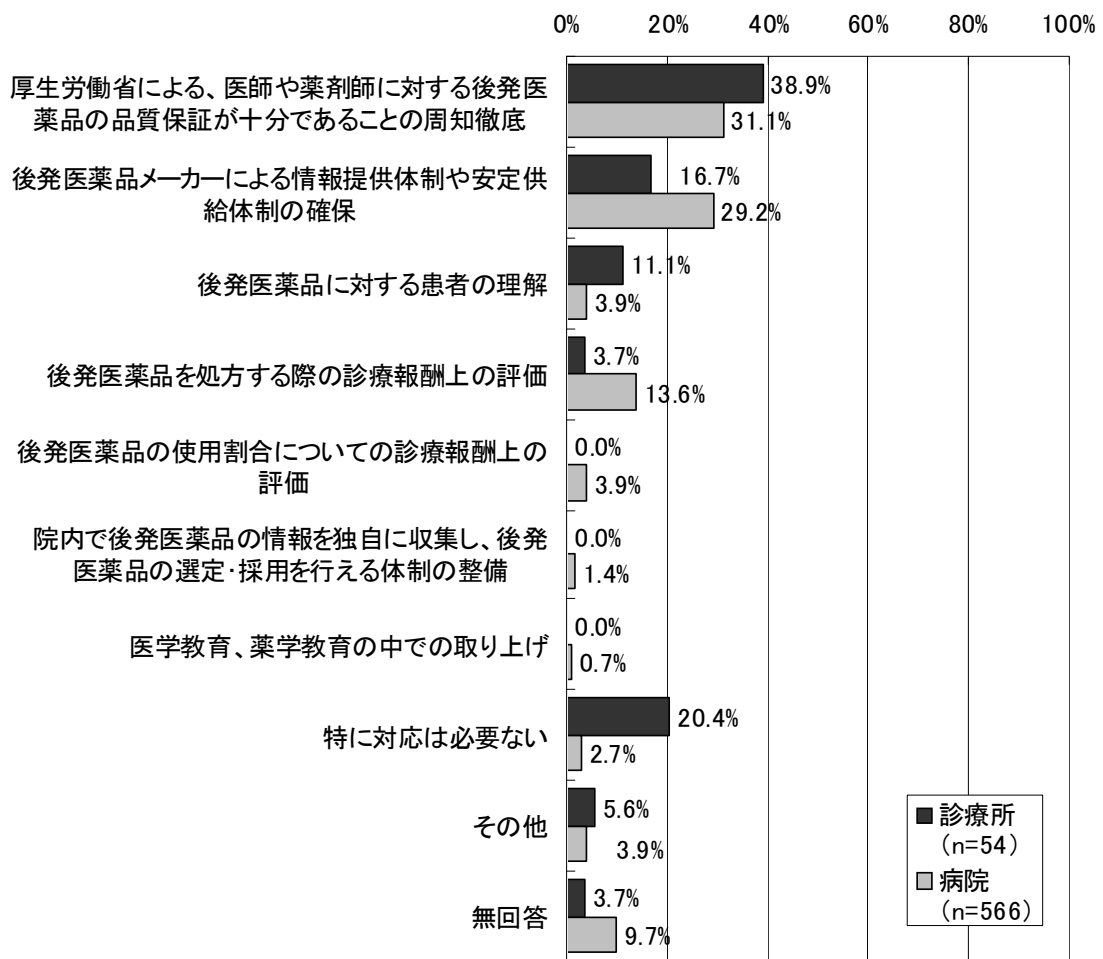
有床診療所 3 件の回答は、「後発医薬品の副作用の問題」が 3 件、「後発医薬品の効果の問題」が 1 件、「後発医薬品の使用感の問題」が 1 件であった。

3) 今後どのような対応が進めば施設として入院患者に後発医薬品の使用を進めてもよいか

図表 86 今後どのような対応が進めば施設として入院患者に後発医薬品の使用を進めてもよいか（複数回答）



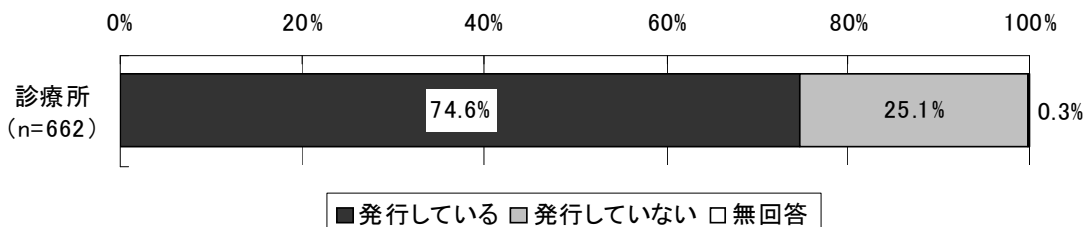
図表 87 今後どのような対応が進めば施設として後発医薬品の使用を進めてもよいか
 (最も重要なもの、単数回答)



外来患者に対する後発医薬品の使用状況等

1) 診療所における院外処方せん発行状況（平成 22 年 4 月以降）

図表 88 診療所における院外処方せん発行状況（平成 22 年 4 月以降）



2) 外来診療の状況

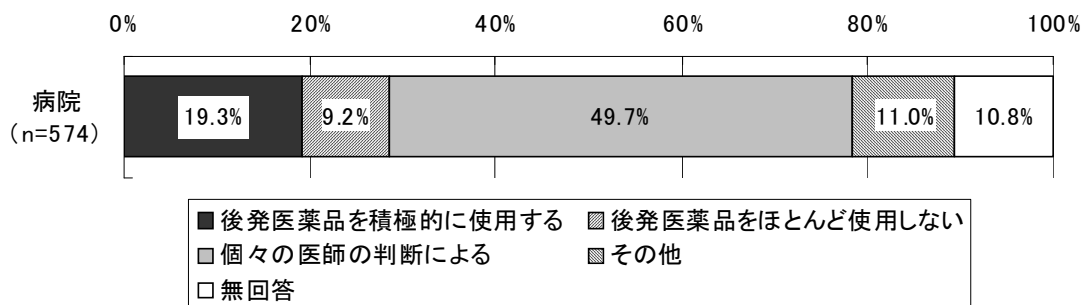
図表 89 診療所・病院における外来診療の状況

	診療所 (n=428)			病院 (n=574)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
①1か月間の外来診療実日数(日)	19.6	4.5	20.0	23.1	3.1	23.0
②1か月間の外来延べ患者数(人)	1,171.2	948.7	950.0	6,328.4	8,522.2	3,202.0
③1か月間の院外処方せん発行枚数(枚)	665.4	678.7	567.5	3,456.7	4,342.4	1,973.0

(注) 診療所は院外処方せんを発行している施設のみを対象としている。

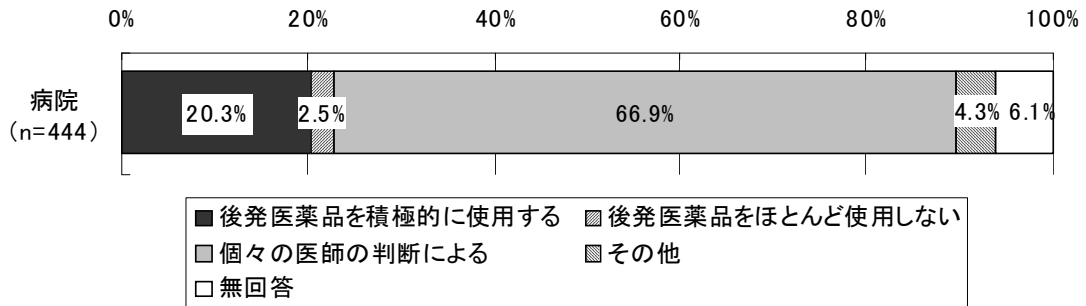
3) 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院内投薬する場合の施設としての対応方針

図表 90 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院内投薬する場合の施設としての対応



4) 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応方針

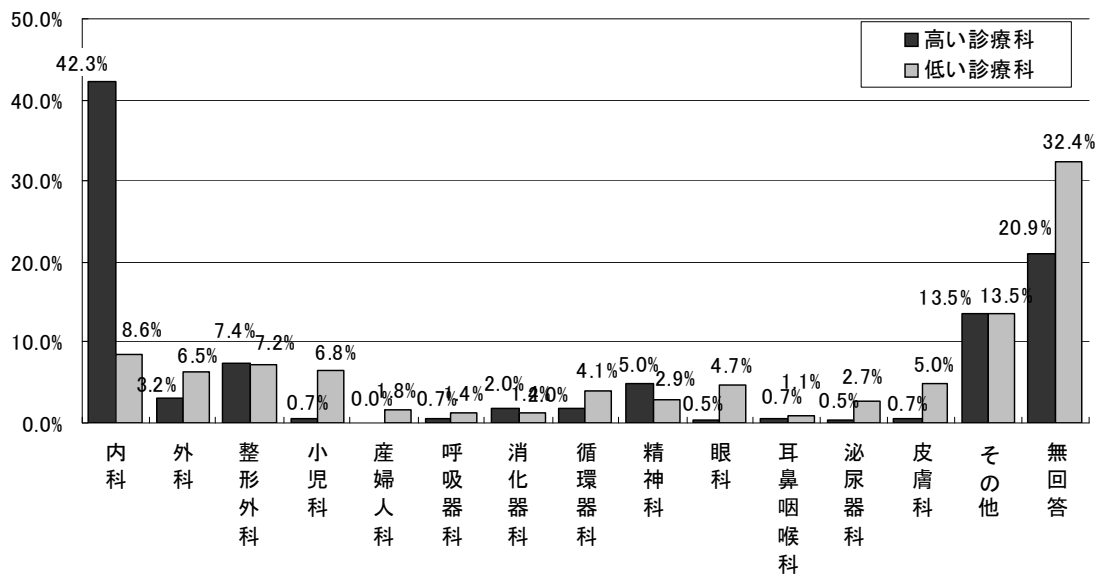
図表 91 病院における後発医薬品の使用について、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応



(注)・院内処方みの 130 施設を除く 444 施設を集計対象とした。
 ・「後発医薬品を積極的に使用する」とは、後発医薬品の銘柄処方のほか、院外処方せんの「後発医薬品への変更不可」欄に署名等を行わない場合を含む。

5) 病院における院外処方せんを発行している診療科のうち、後発医薬品の使用割合が相対的に高い診療科・低い診療科

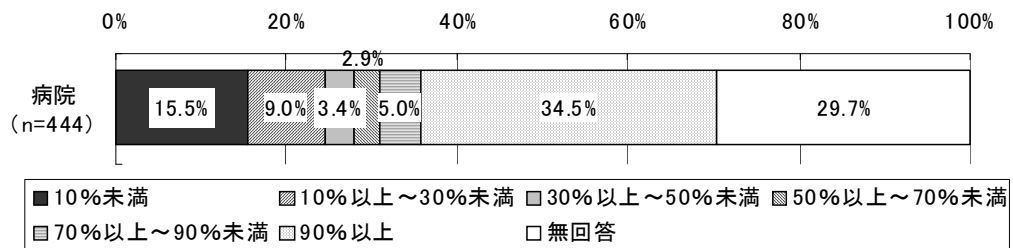
図表 92 病院における院外処方せんを発行している診療科のうち、後発医薬品の使用割合が相対的に高い診療科・低い診療科 (複数回答、n=444)



(注) 院内処方みの 130 施設を除く 444 施設を集計対象とした。

6) 病院における、院外処方せんのうち後発医薬品を銘柄指定した処方せんまたは「後発医薬品への変更不可」欄に署名等をしなかった処方せんの割合（平成22年8月1か月間）

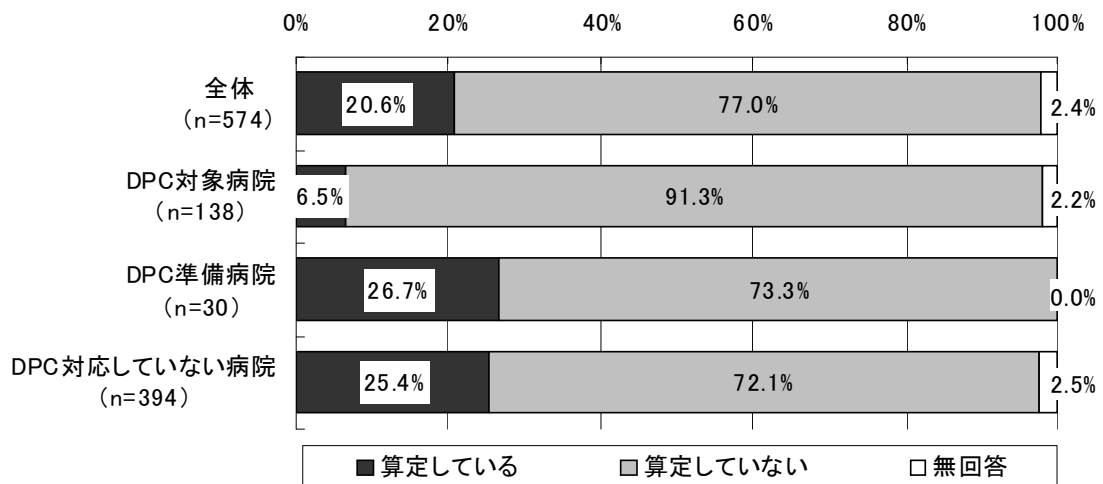
図表 93 病院における、院外処方せんのうち後発医薬品を銘柄指定した処方せんまたは「後発医薬品への変更不可」欄に署名等をしなかった処方せんの割合（平成22年8月1か月間）



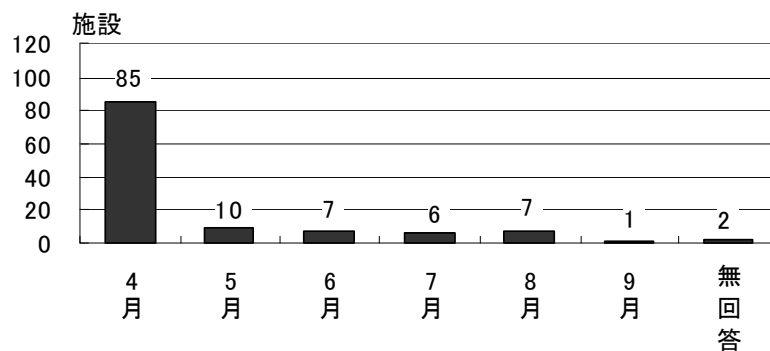
(注) 院外処方せんを発行していない病院を除いて集計した。

7) 病院における後発医薬品使用体制加算の状況

図表 94 病院における後発医薬品使用体制加算の状況



図表 95 加算算定病院における後発医薬品使用体制加算の施設基準届出時期
 (平成 22 年、n=118)



図表 96 加算算定病院における後発医薬品使用体制加算の算定回数
 (平成 22 年 8 月 1 か月間)

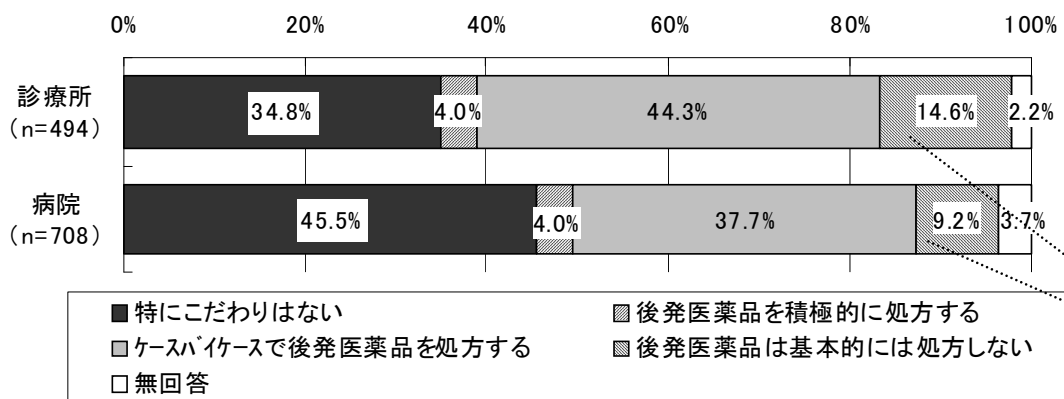
(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
全体	118	64.7	115.0	35.0
DPC 対象病院	9	51.5	116.2	0.0
DPC 準備病院	8	183.3	332.1	62.0
DPC 対応していない病院	100	56.0	74.6	35.0

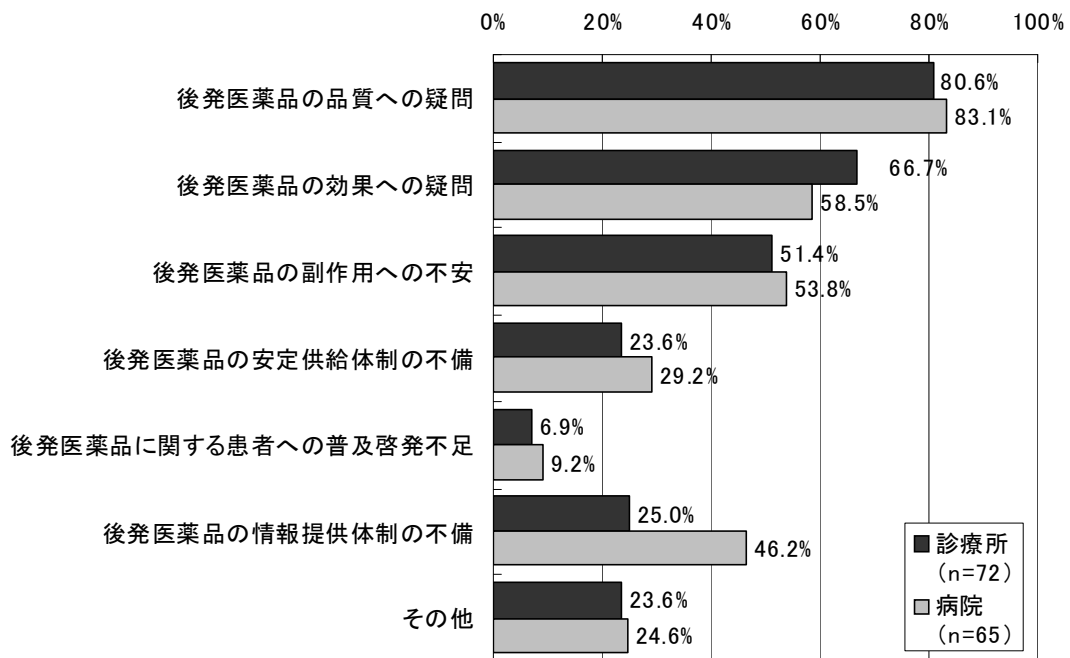
外来診療における院外処方せん発行時や後発医薬品の処方に関する医師の考え等

1) 外来診療における後発医薬品の処方に関する考え

図表 97 外来診療における後発医薬品の処方に関する考え（医師ベース）

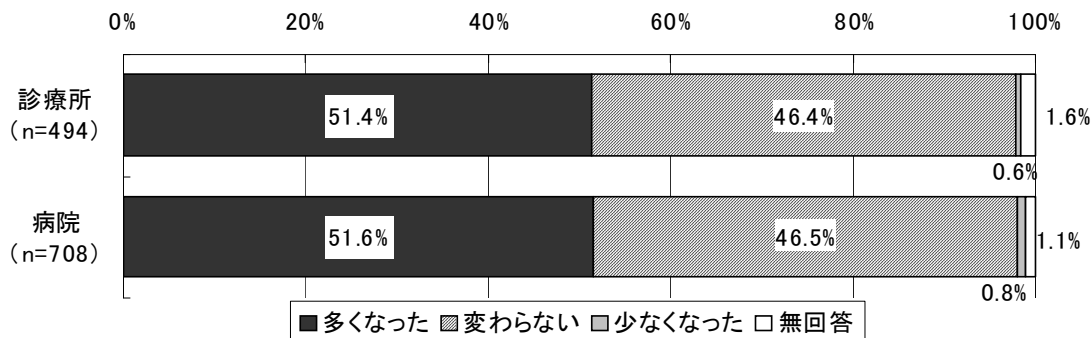


図表 98 外来診療において後発医薬品を基本的には処方しない理由
(複数回答、医師ベース)



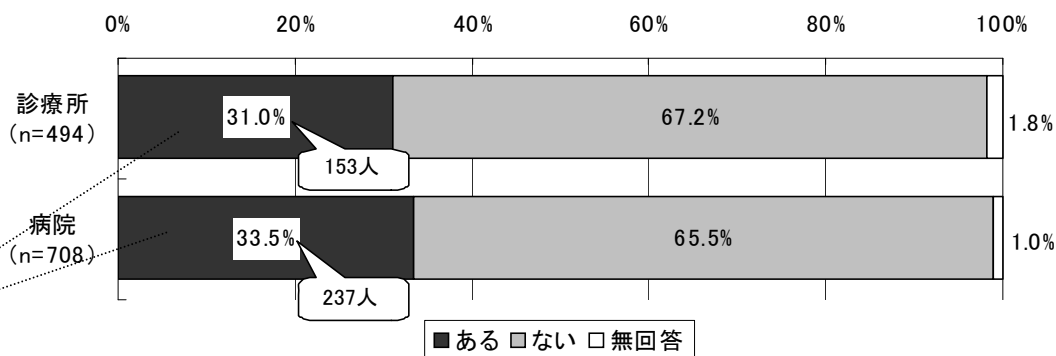
2) 外来診療における後発医薬品の処方の変化（1年前と比較して）

図表 99 外来診療における後発医薬品の処方の変化（1年前と比較して）（医師ベース）

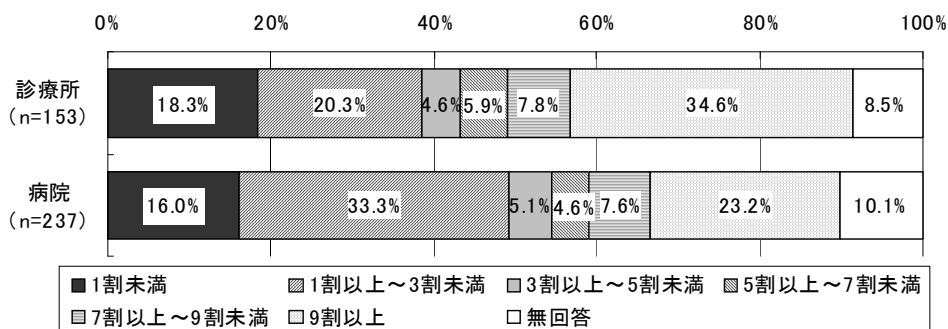


3) 「後発医薬品への変更不可」欄に署名した処方せんの発行経験等（平成22年4月以降）

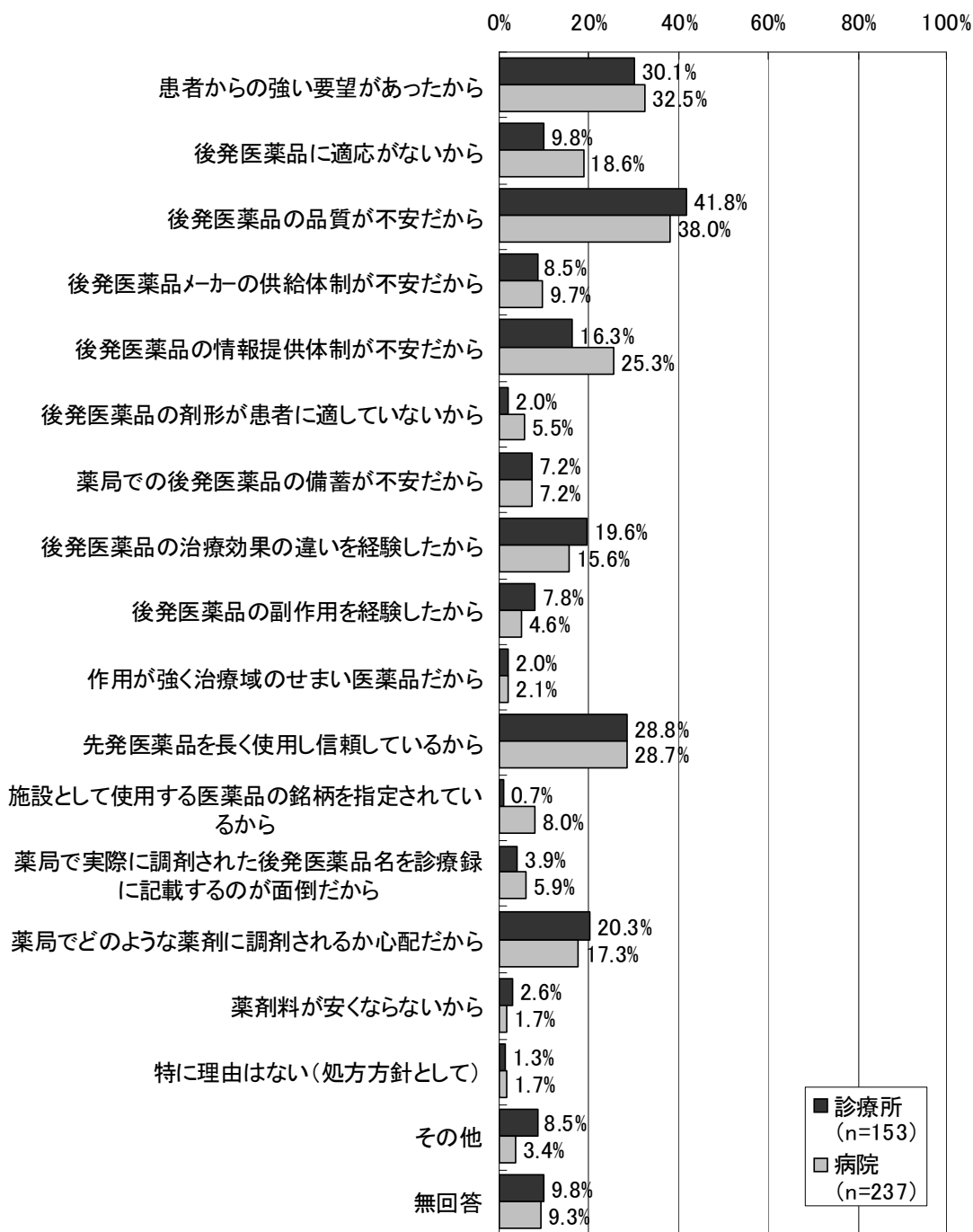
図表 100 「後発医薬品への変更不可」欄に署名した処方せんの発行経験の有無（平成22年4月以降、医師ベース）



図表 101 院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄に署名した処方せんの割合（医師ベース）

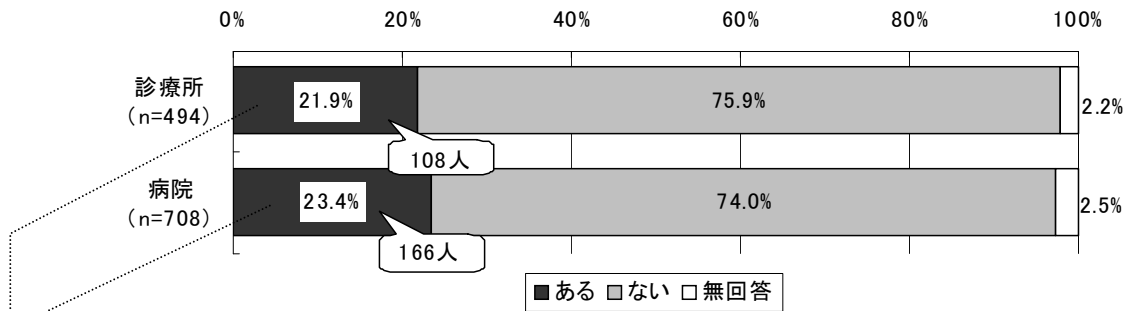


図表 102 「後発医薬品への変更不可」欄に署名した理由（医師ベース、複数回答）

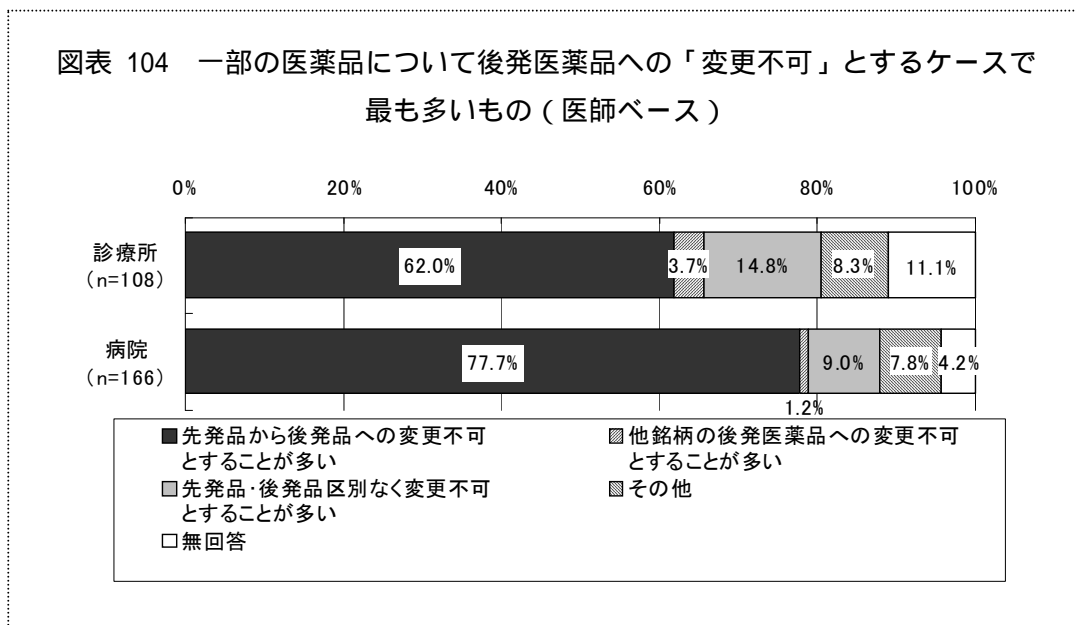


4) 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への「変更不可」と記載した処方せんの発行経験

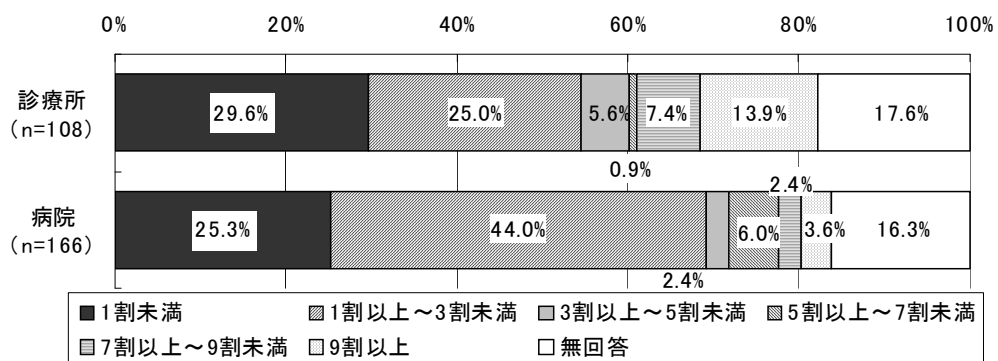
図表 103 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への「変更不可」と記載した処方せんの発行の有無（医師ベース）



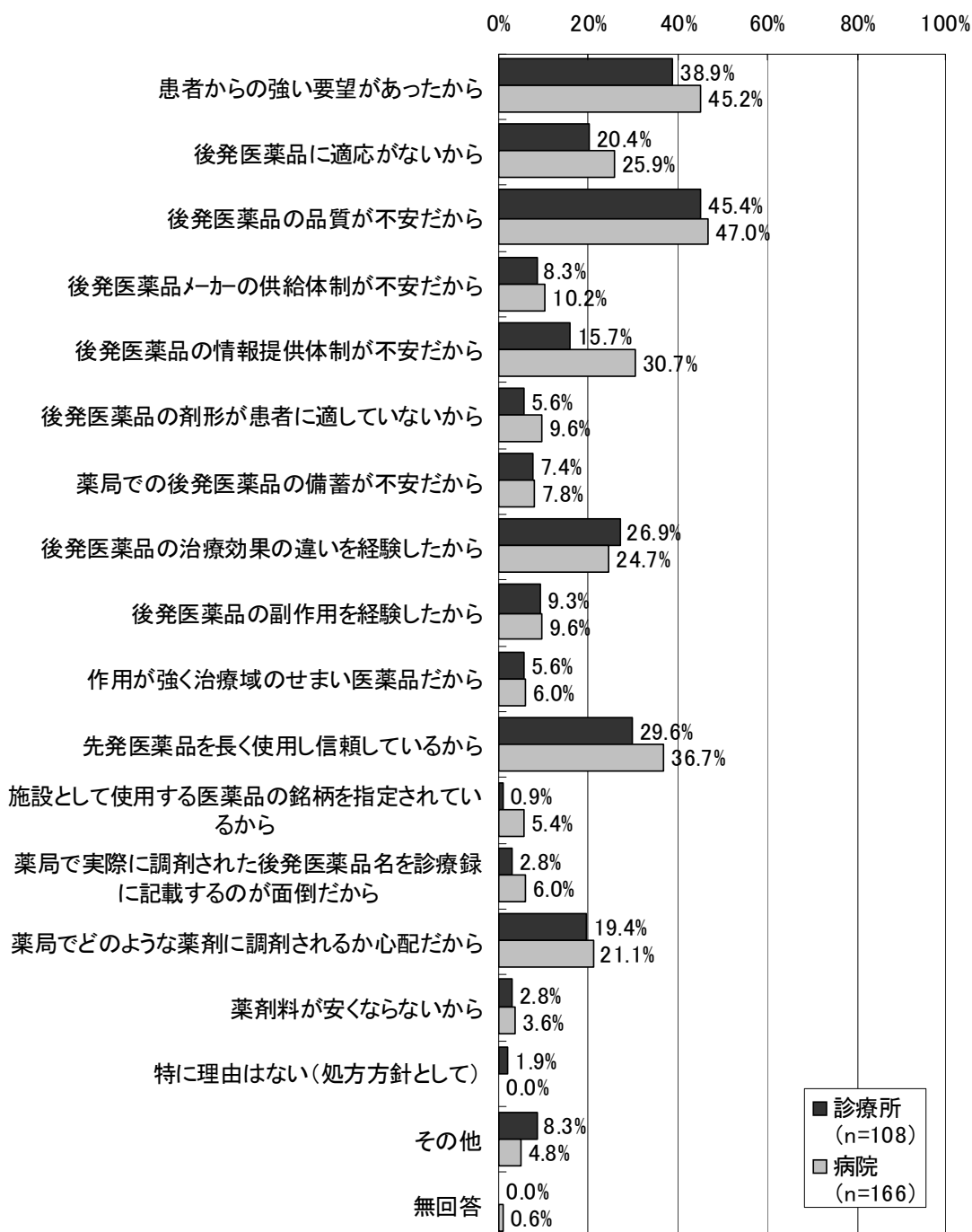
図表 104 一部の医薬品について後発医薬品への「変更不可」とするケースで最も多いもの（医師ベース）



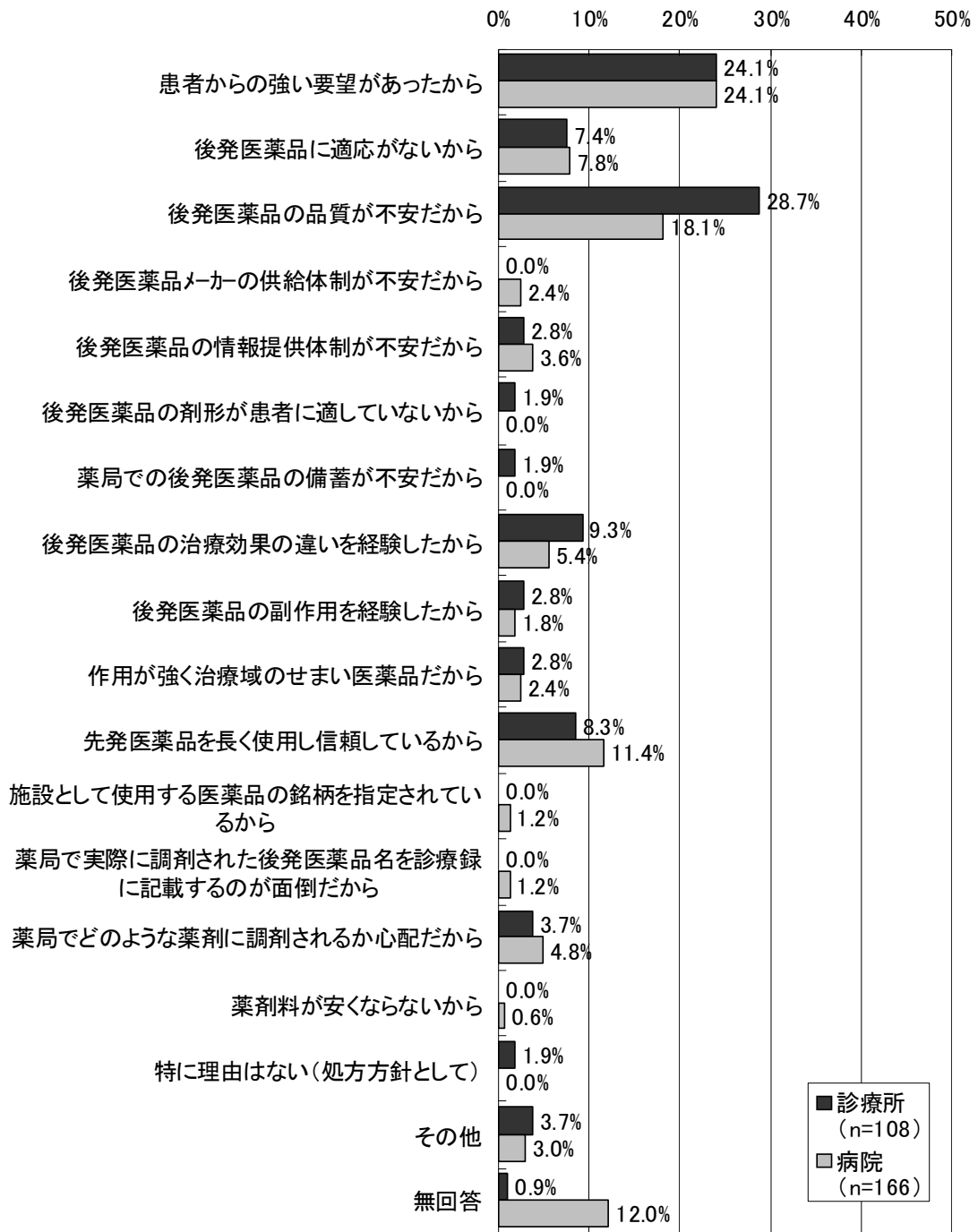
図表 105 一部の医薬品について「変更不可」と記載した処方せん枚数の割合（医師ベース）



図表 106 一部の医薬品について「変更不可」とする理由（医師ベース、複数回答）

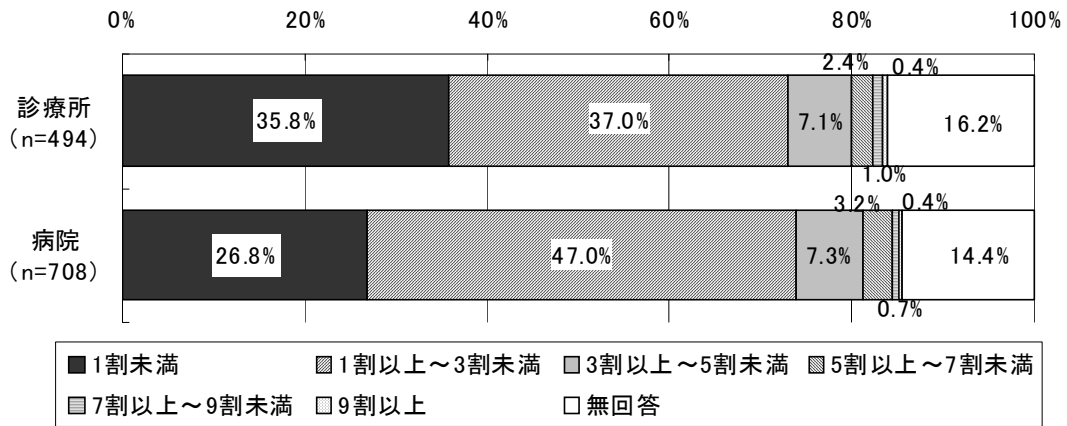


図表 107 一部の医薬品について「変更不可」とする最も多い理由（医師ベース、単数回答）

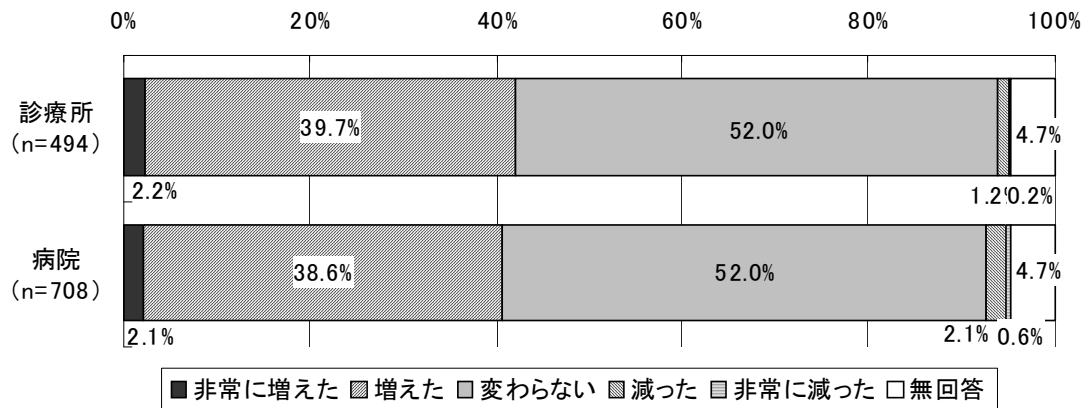


5) 後発医薬品について関心がある患者の割合

図表 108 外来患者のうち、後発医薬品について関心がある（医師に質問する、使用を希望する）患者の割合（医師ベース）

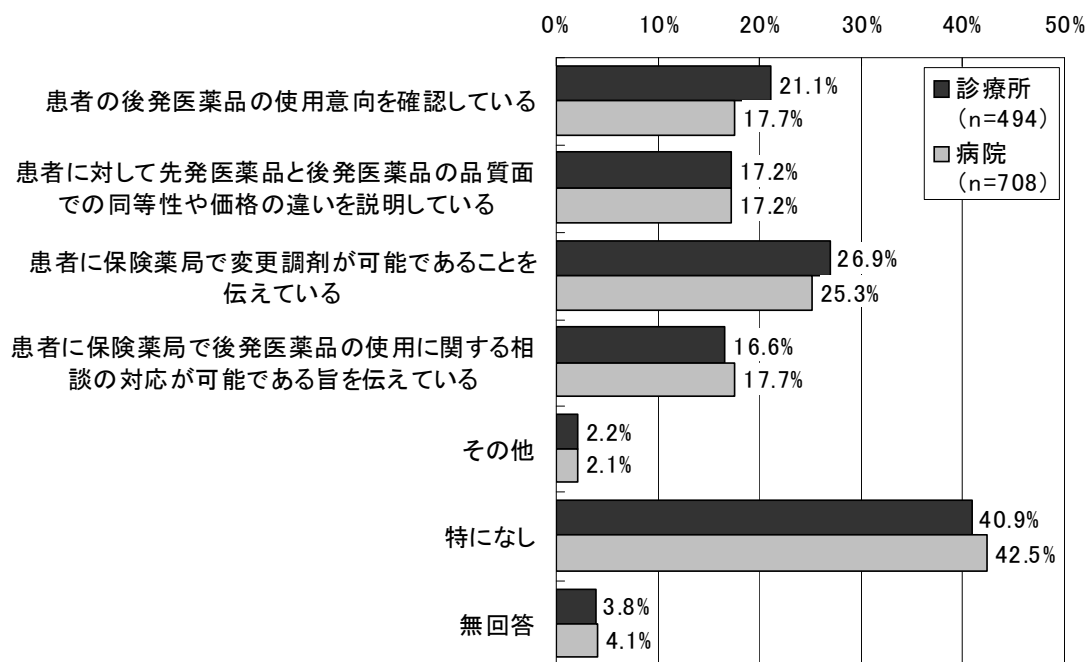


図表 109 後発医薬品について関心がある患者数の変化（1年前と比較して、医師ベース）



6) 投薬または処方せんの交付を行う際に、患者が後発医薬品を選択しやすくするために
 している対応

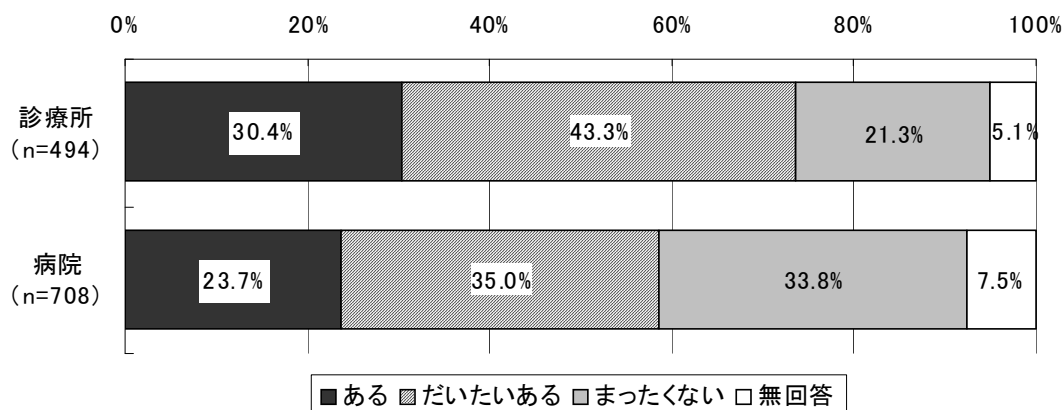
図表 110 投薬または処方せんの交付を行う際に、患者が後発医薬品を選択しやすくする
 ためにしている対応（医師ベース）



保険薬局からの情報提供についての意向

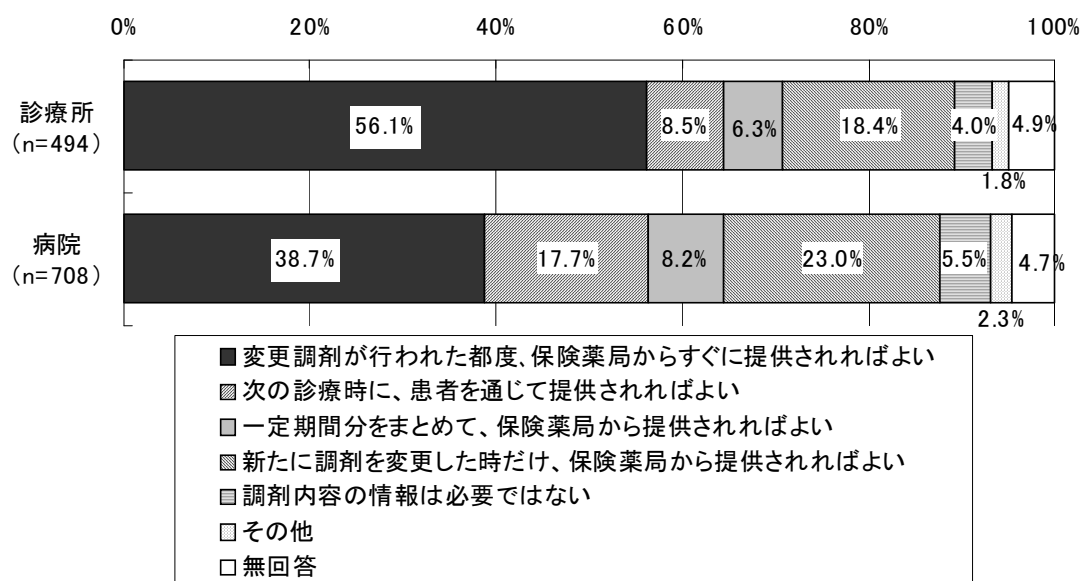
1) 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無

図表 111 保険薬局で後発医薬品に変更した場合、変更された銘柄等についての情報提供の有無（医師ベース）



2) 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の望ましい情報提供のあり方

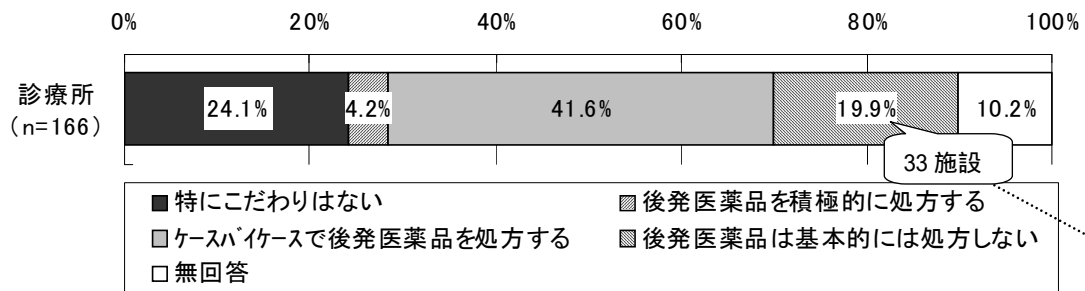
図表 112 保険薬局で後発医薬品に変更した場合、望ましい情報提供のあり方（医師ベース）



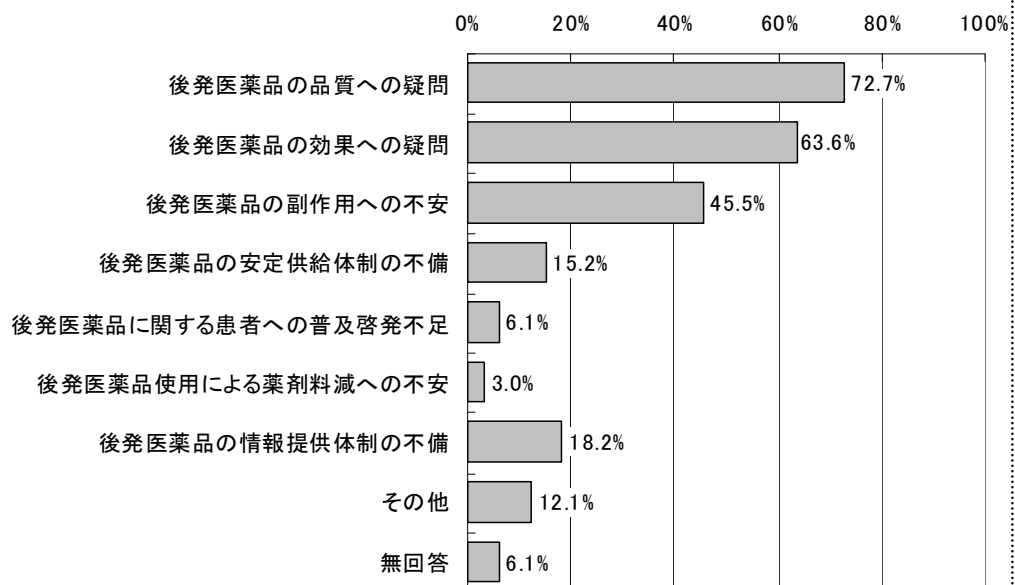
院外処方せんを発行していない診療所における院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関する
 考え

1) 院外処方せんを発行していない診療所における後発医薬品の処方に関する考え

図表 113 院外処方せんを発行していない診療所における後発医薬品の処方に関する考え

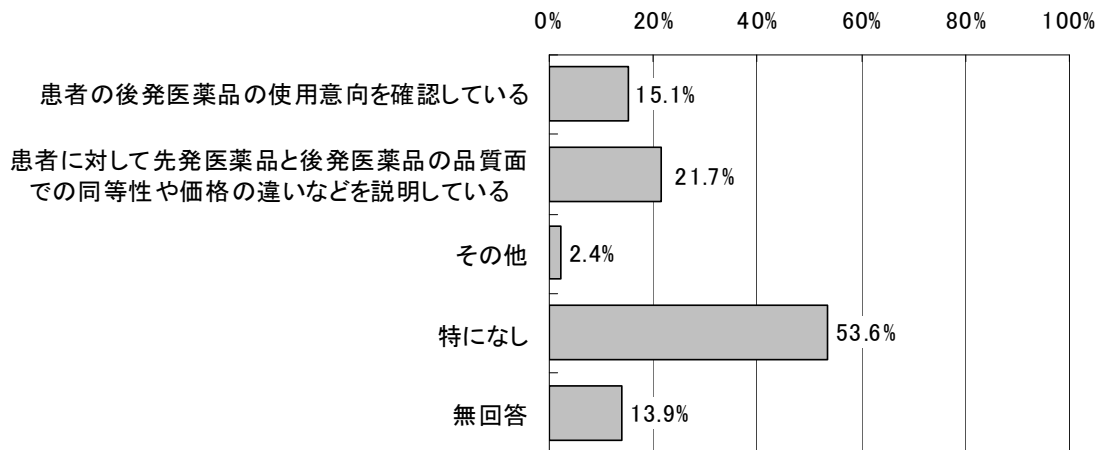


図表 114 後発医薬品を基本的には処方しない理由
 (院外処方せんを発行していない施設、複数回答、n=33)



2) 院外処方せんを発行していない施設における、患者が後発医薬品を選択しやすくするために
行っている対応

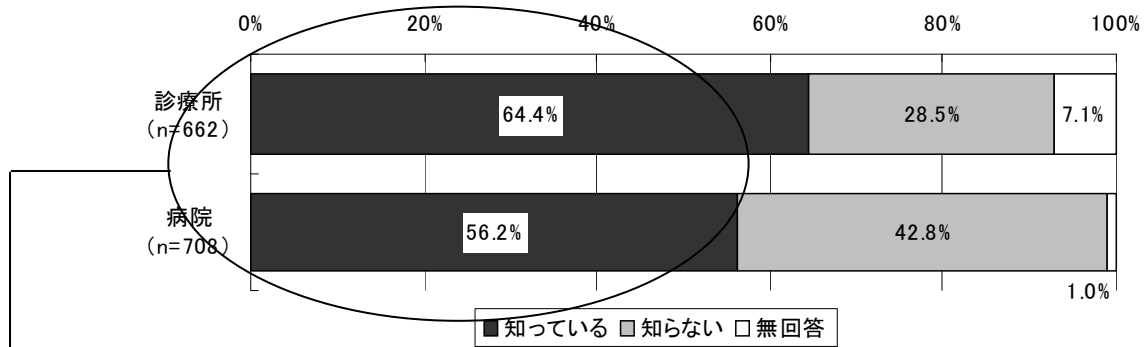
図表 115 院外処方せんを発行していない施設における、患者が後発医薬品を
選択しやすくするためにしている対応 (単数回答、n=166)



ジェネリック医薬品希望カードの認知度等

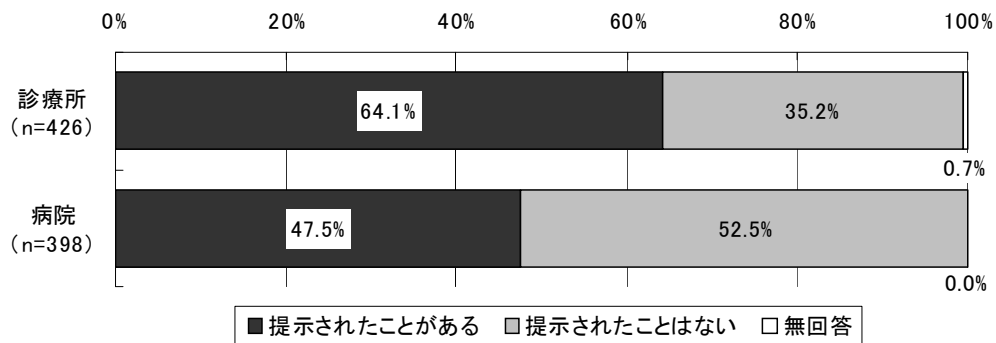
1)「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度

図表 116 「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度（医師ベース）



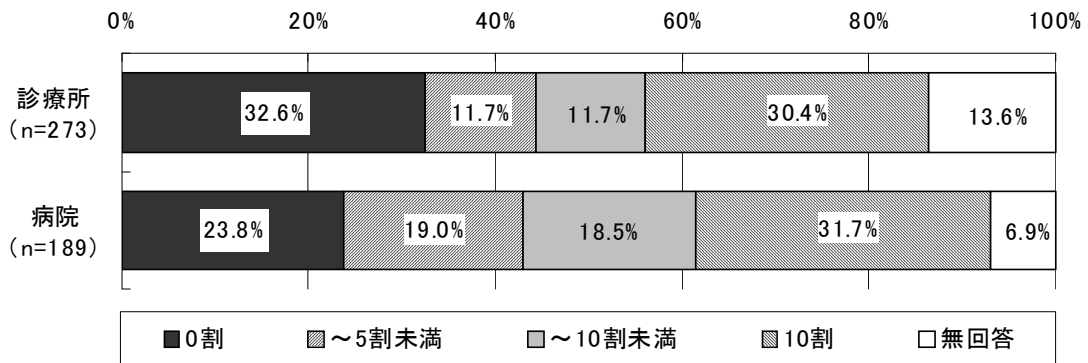
2)「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された経験

図表 117 「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された経験（医師ベース）



3)「ジェネリック医薬品希望カード」を提示した患者における、後発医薬品の処方または変更不可欄に署名等のない処方せんを発行した割合

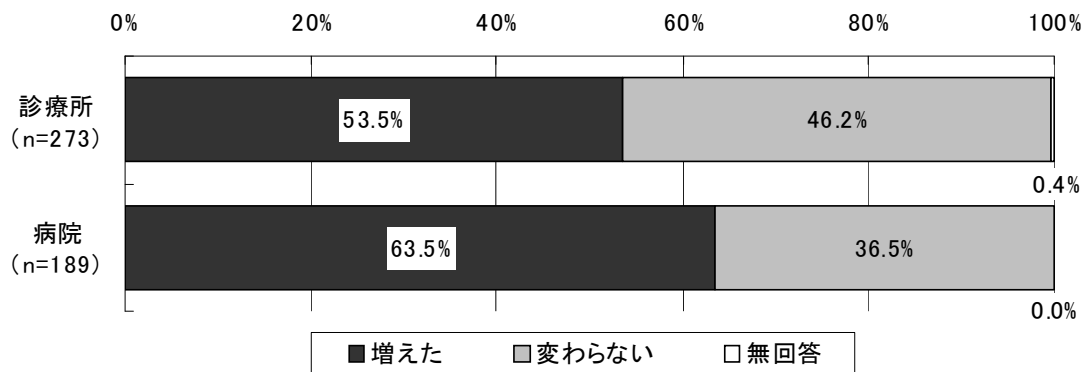
図表 118 「ジェネリック医薬品希望カード」提示した患者における、後発医薬品の処方または変更不可欄に署名等のない処方せんを発行した割合（医師ベース）



(注)「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された経験のある医師を対象。

4)「ジェネリック医薬品希望カード」配布後（平成 21 年 4 月以降）における後発医薬品を希望する患者割合の変化

図表 119 「ジェネリック医薬品希望カード」配布後（平成 21 年 4 月以降）における後発医薬品を希望する患者割合の変化（医師ベース）

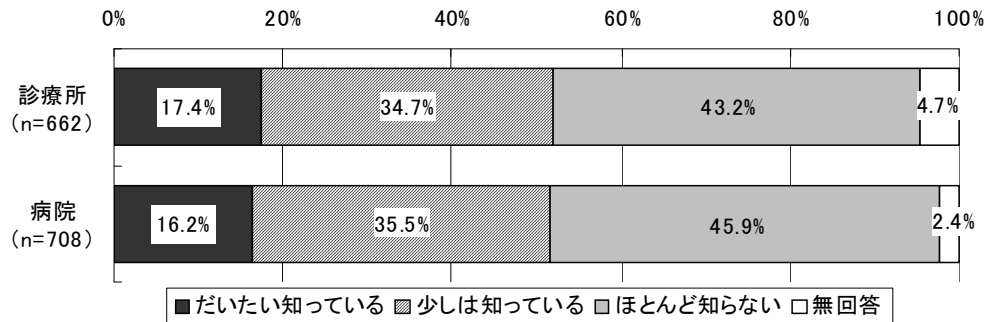


（注）「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された経験のある医師を対象。

医師における後発医薬品使用に関する意識等

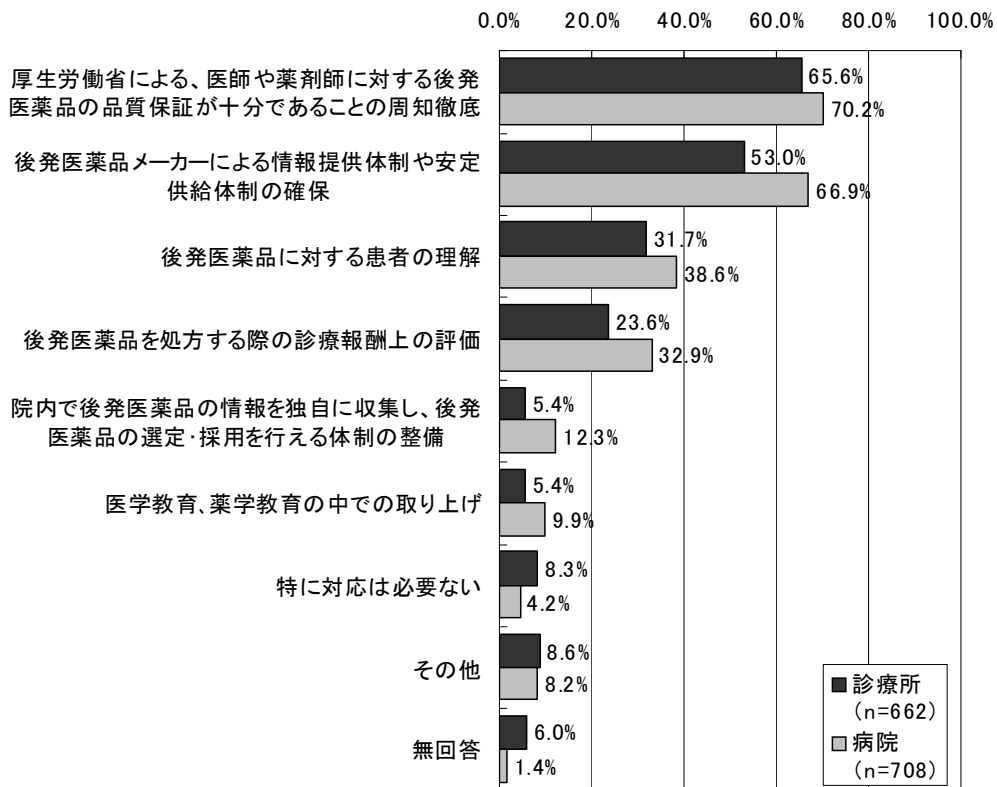
1) 医師における、薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況

図表 120 医師における、薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況

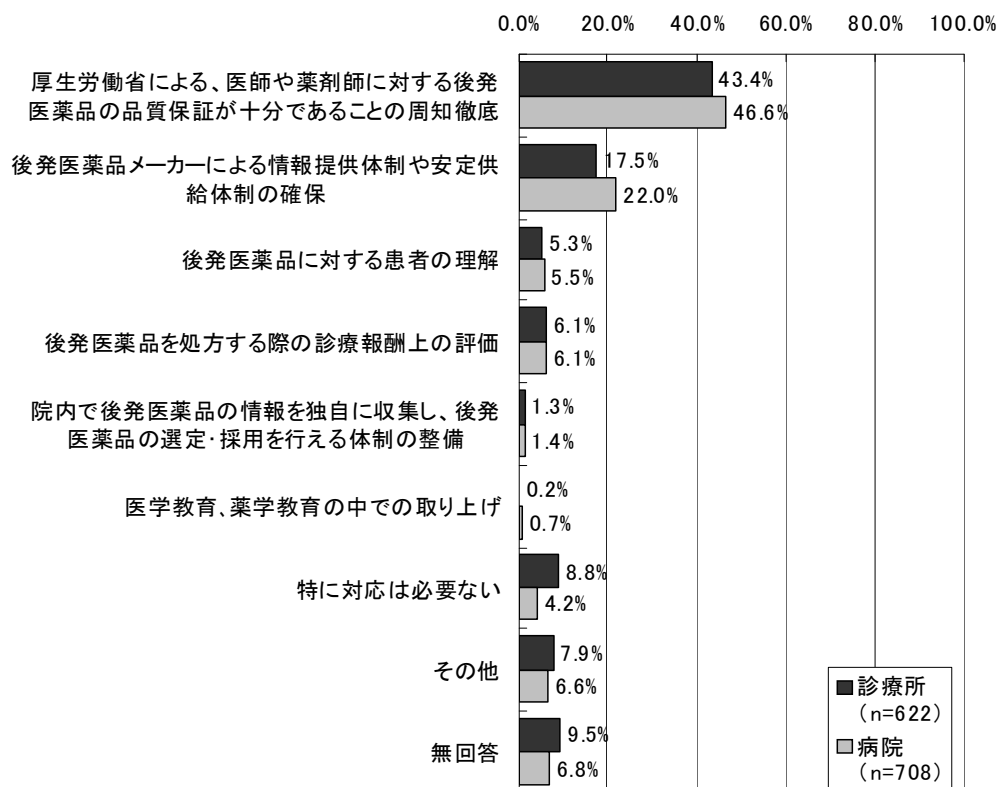


2) 後発医薬品の処方を進めるための環境

図表 121 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか (医師ベース、複数回答)



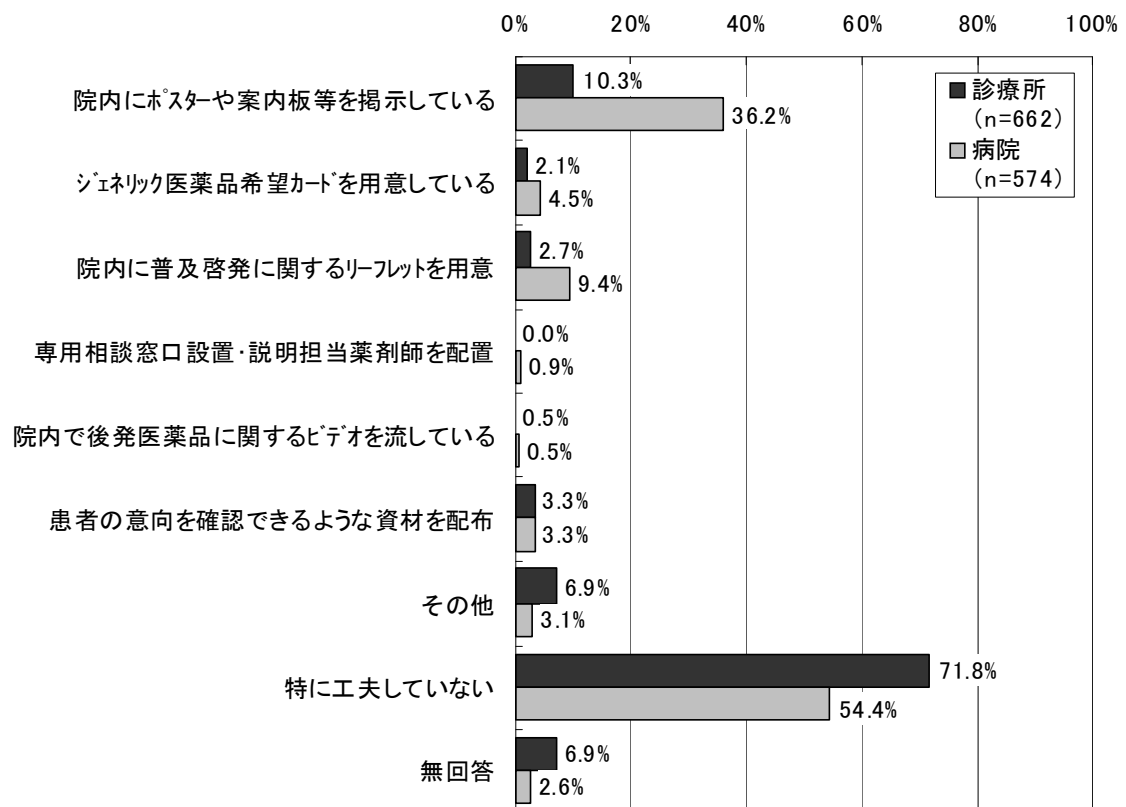
図表 122 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか（最も重要なもの、医師ベース、単数回答）



患者が後発医薬品を頼みやすくするための施設としての工夫

1) 患者が後発医薬品を頼みやすくするための施設としての工夫

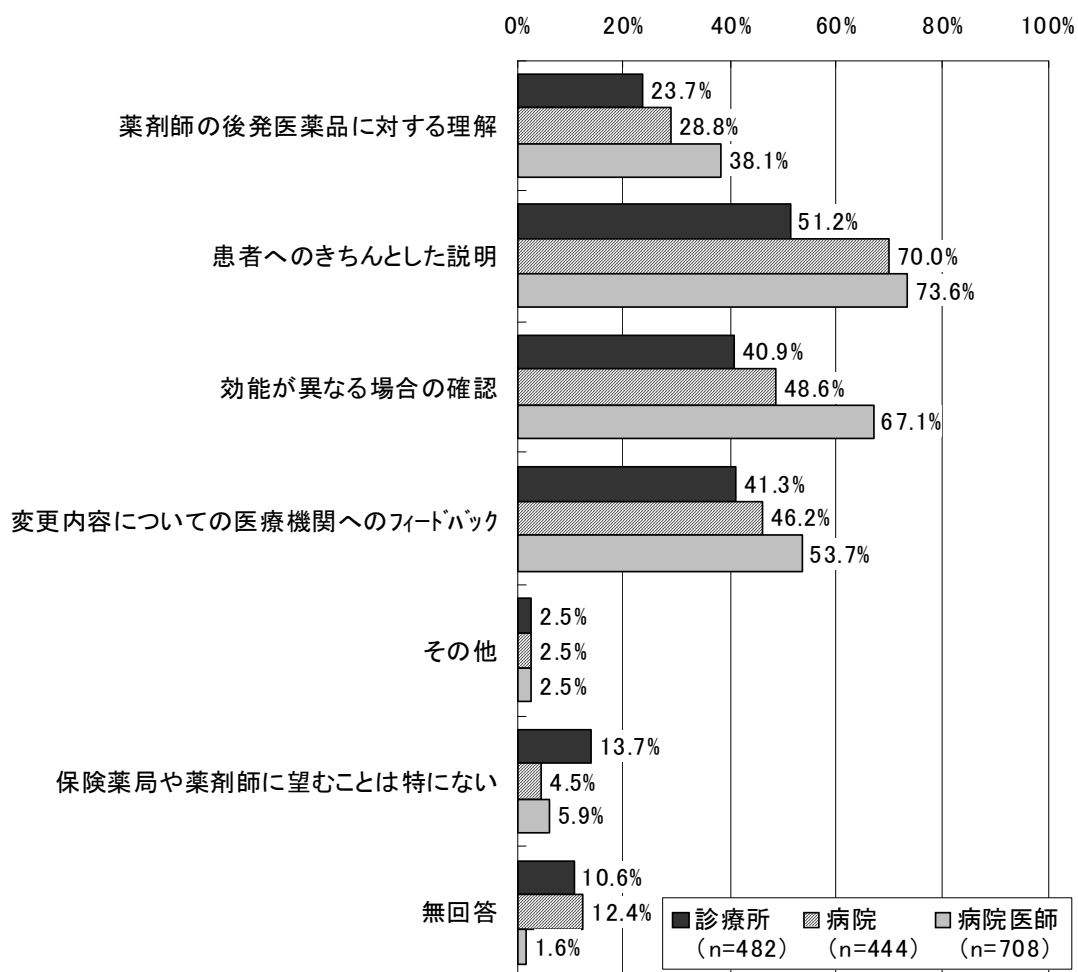
図表 123 患者が後発医薬品を頼みやすくするための施設としての工夫（複数回答）



後発医薬品の使用を進める上で望むこと

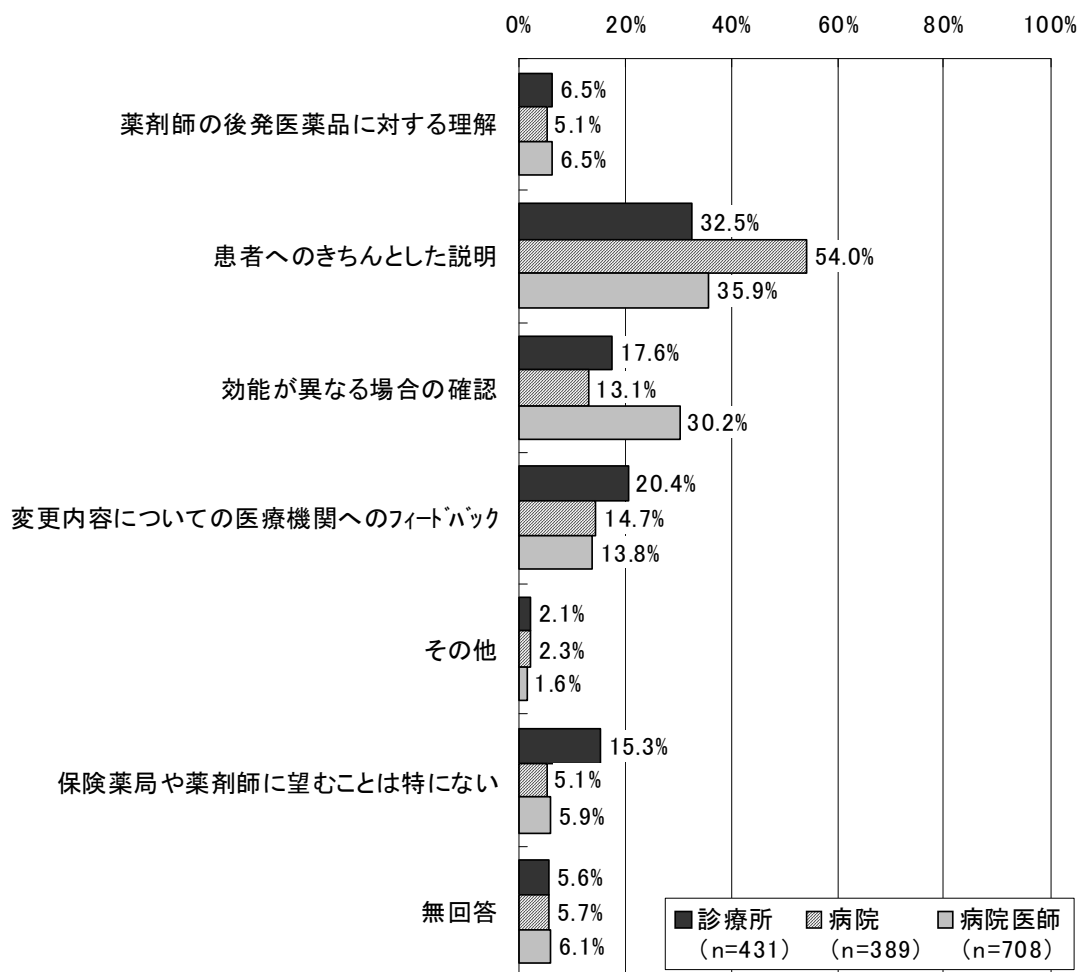
1) 後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むこと

図表 124 後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むこと（複数回答）



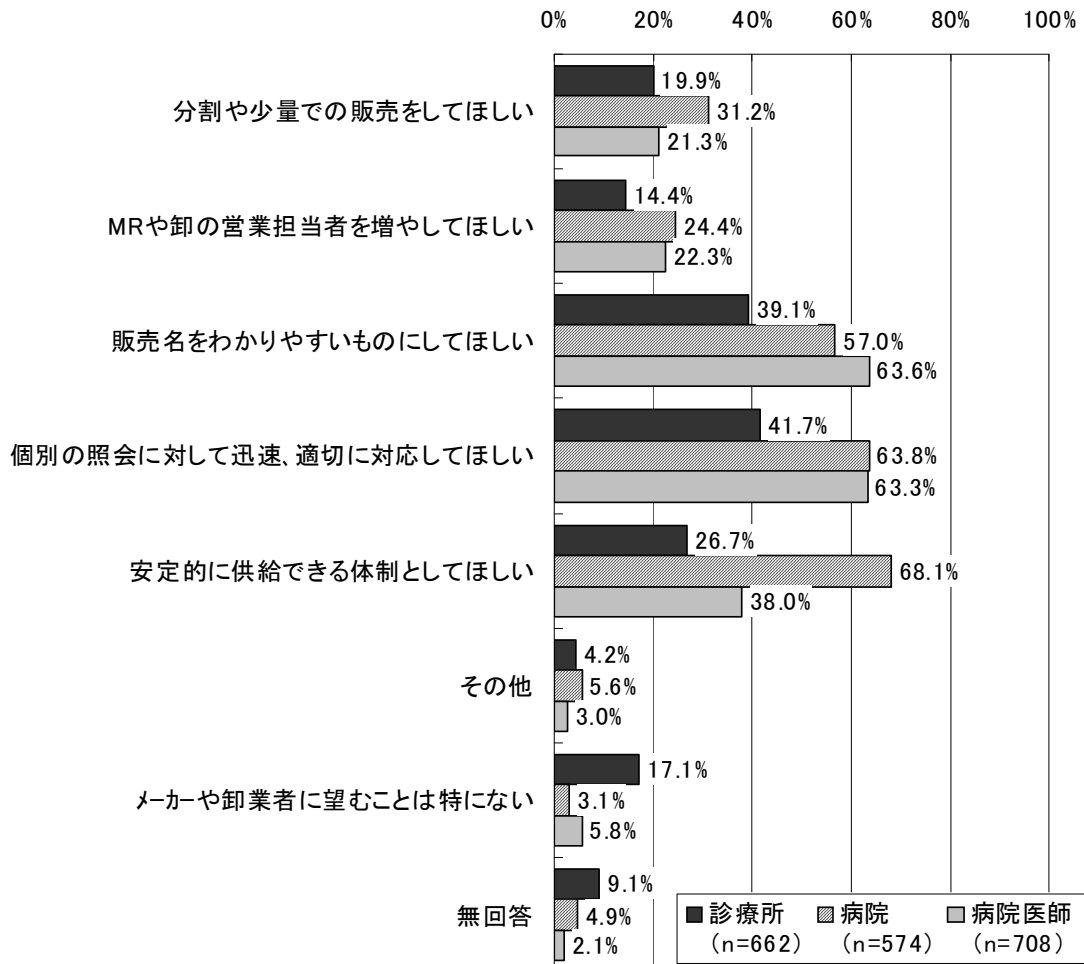
(注)「診療所」「病院」は院内処方みの施設を除いた施設を対象としている。

図表 125 後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に最も望むこと（単数回答）

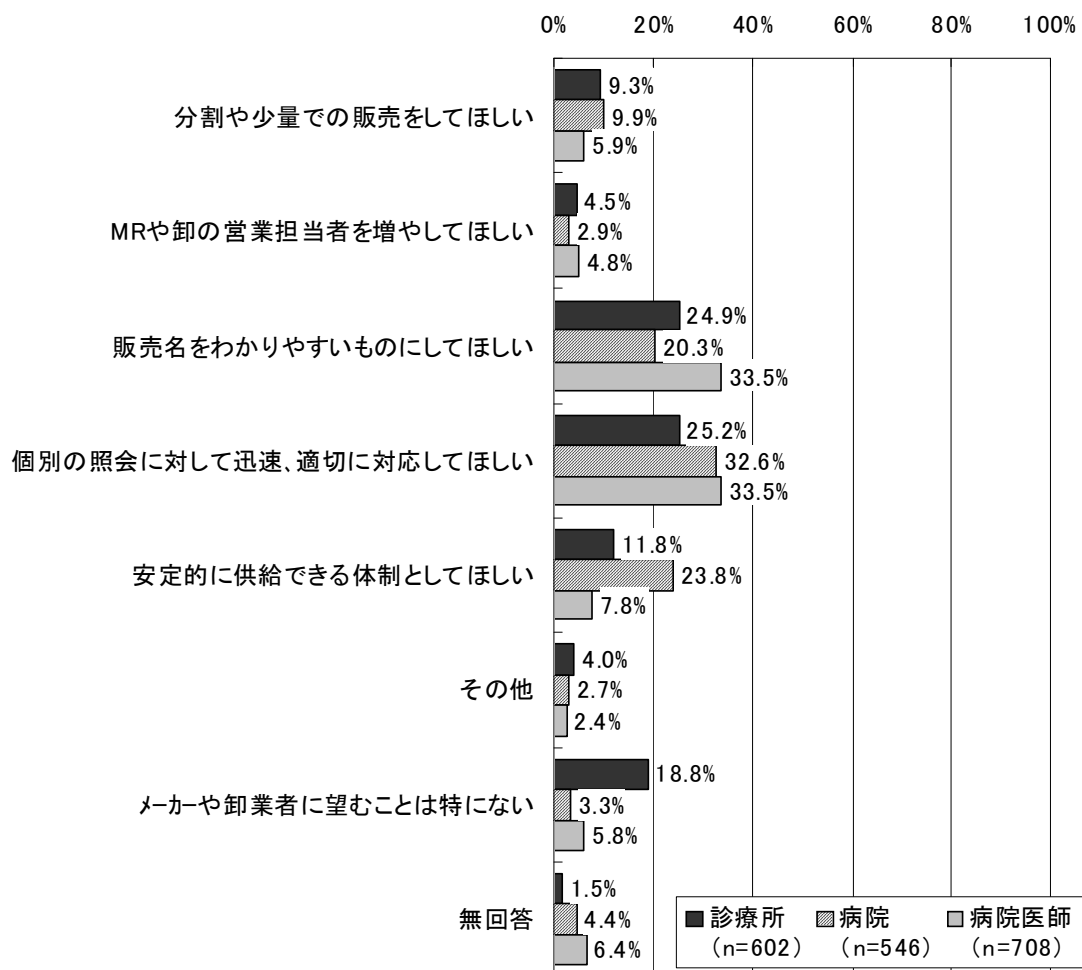


2) 後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むこと

図表 126 後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むこと（複数回答）



図表 127 後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に最も望むこと（単数回答）



(4) 患者調査の結果概要

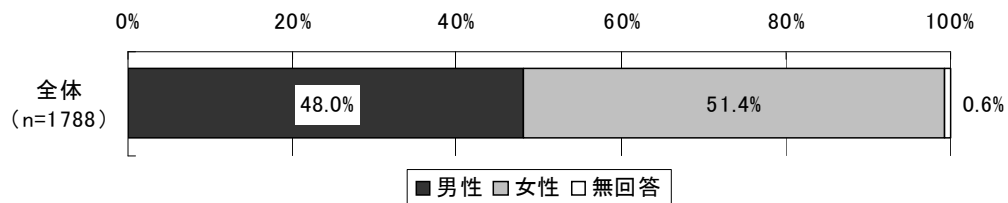
【調査対象等】

調査対象：「保険薬局調査」の対象施設に調査日に処方せんを持って来局した患者。
 ただし、1施設につき最大4名の患者を対象とした(4名の内訳は、65歳以上の男性・女性各1名、65歳未満の男性・女性各1名)
 回答数：1,788人
 回答者：患者本人または家族
 調査方法：調査対象薬局を通じて配布。回収は各患者から調査事務局宛の返信用封筒にて直接回収

回答者の属性

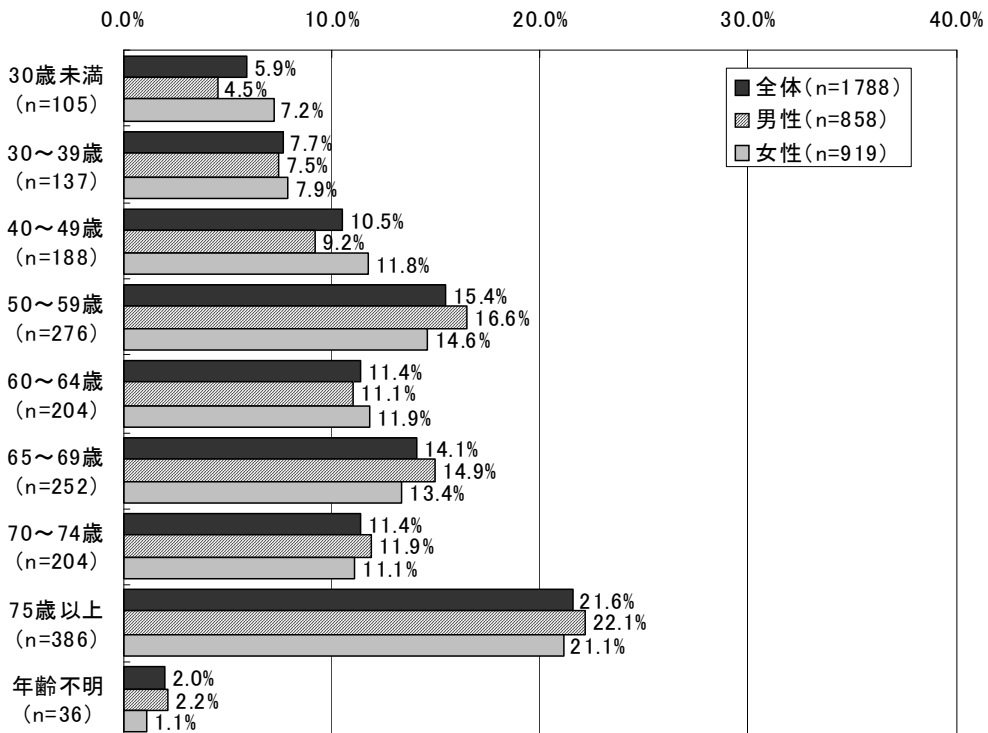
1) 性別

図表 128 性別



2) 年齢

図表 129 男女別 年齢分布



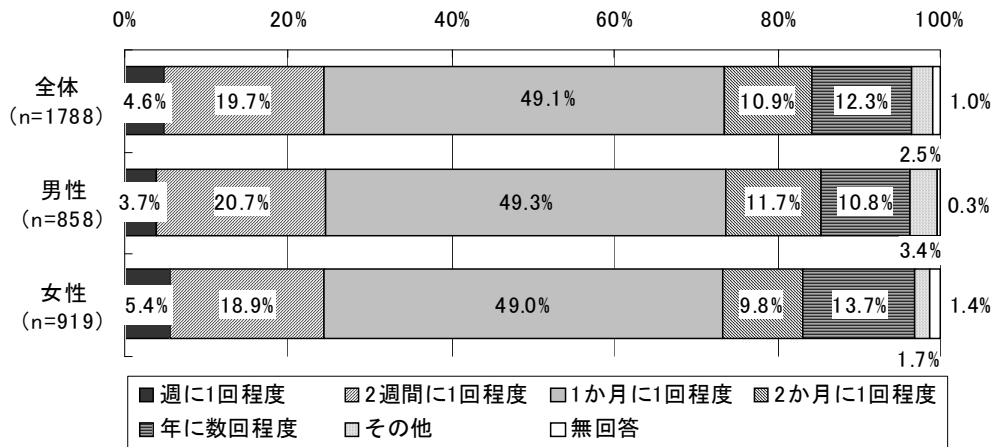
(注)「全体」には、「性別」について無回答の11人が含まれる。

図表 130 平均年齢

	平均値	標準偏差	中央値
年齢（歳）	60.2	17.1	64.0

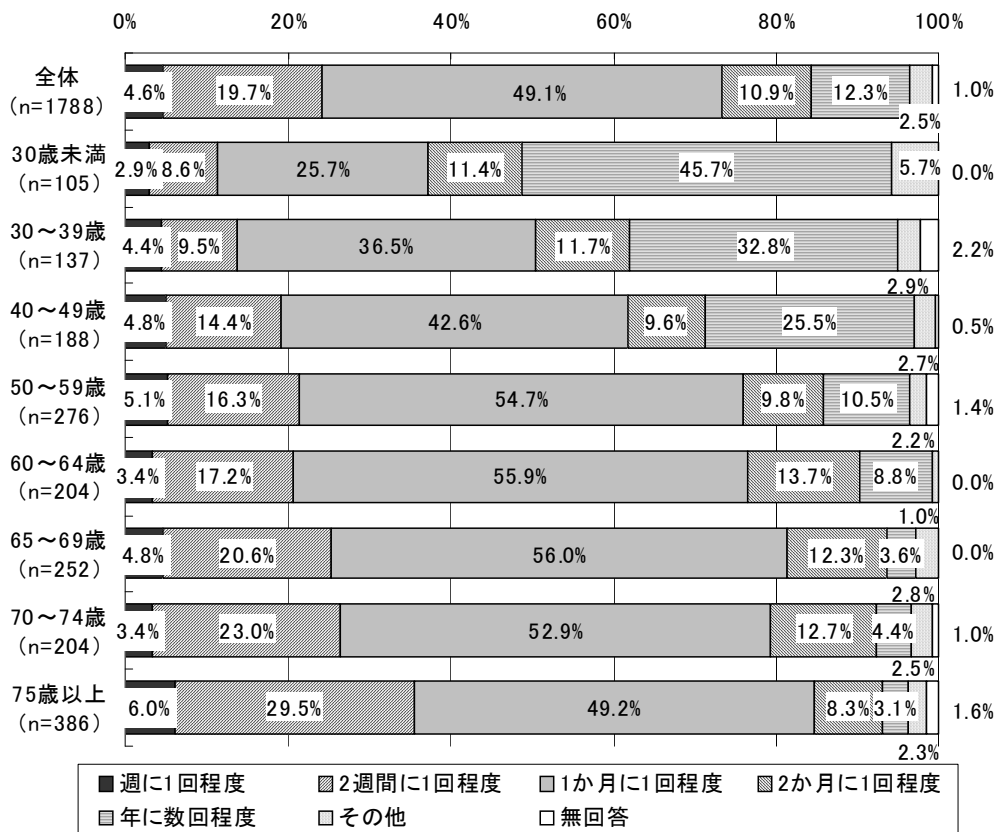
3) 薬局への来局頻度

図表 131 薬局への来局頻度（男女別）



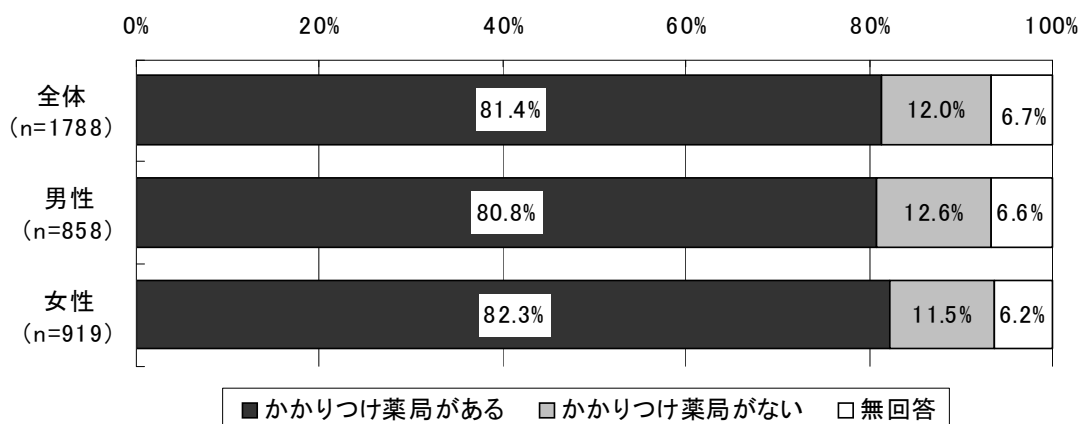
(注)「全体」には、「性別」について無回答の11人が含まれる。

図表 132 薬局への来局頻度（年齢階級別）



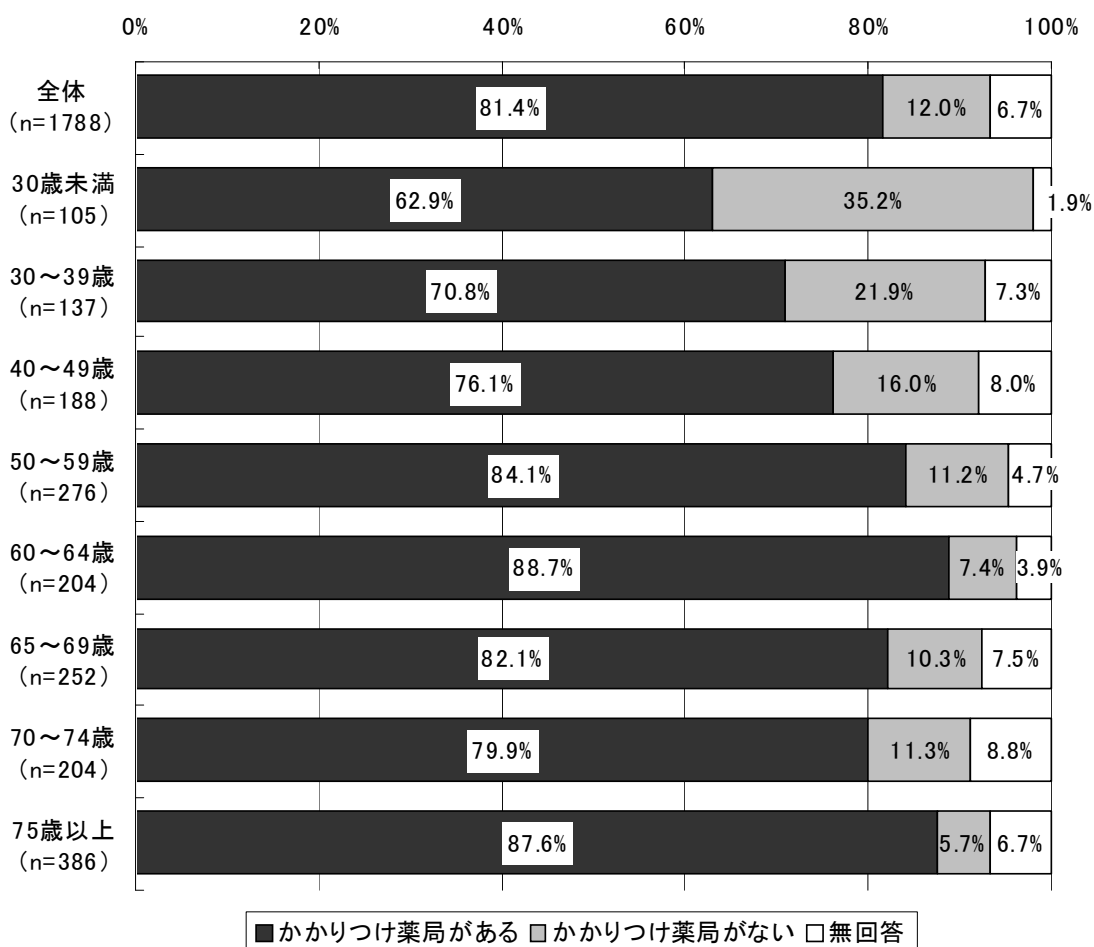
4) かかりつけの薬局の有無

図表 133 かかりつけの薬局の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の11人が含まれる。

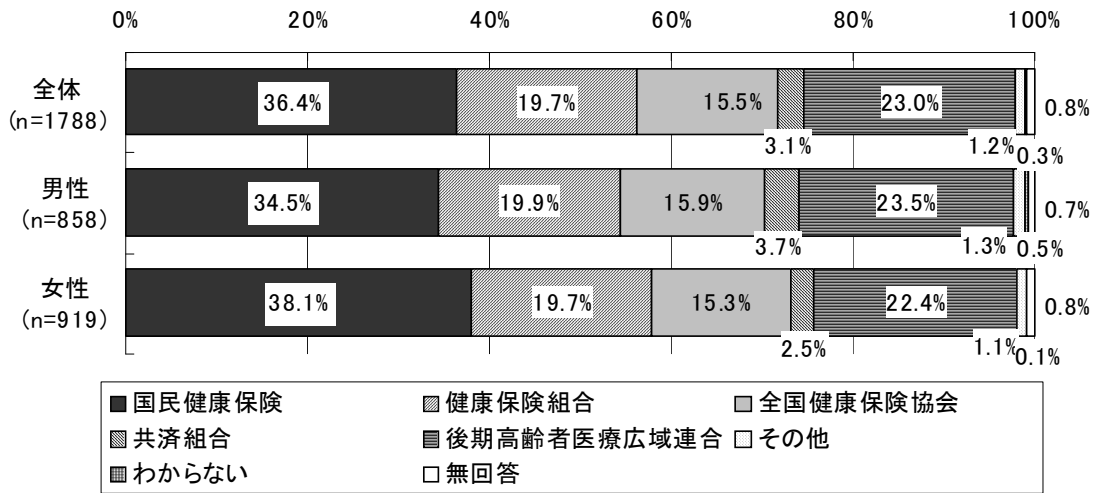
図表 134 かかりつけの薬局の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の36人が含まれる。

5) 公的医療保険の種類

図表 135 公的医療保険の種類（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の11人が含まれる。

図表 136 公的医療保険の種類（年齢階級別）

(単位：上段「人」/下段「%」)

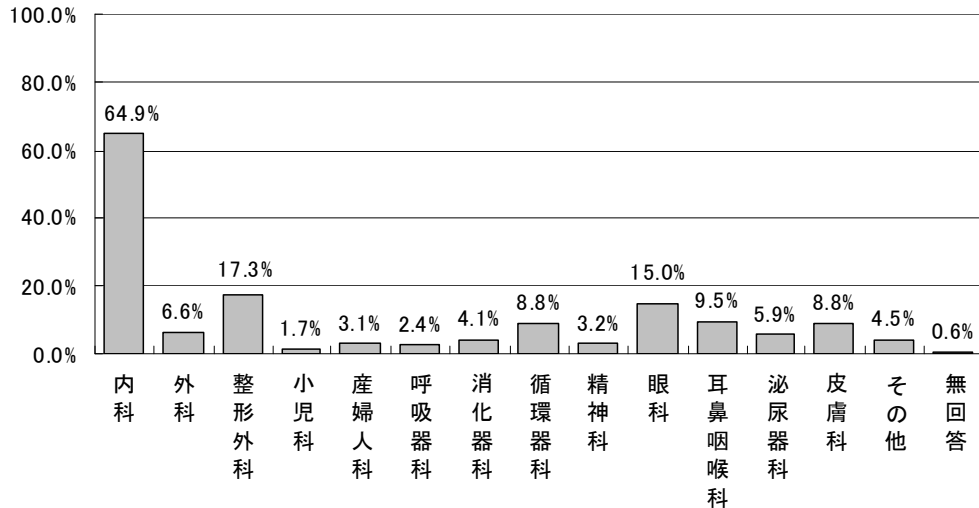
	総数	国民健康保険	健康保険組合	協会 全国健康保険	共済組合	広域連合 後期高齢者医療	その他	わからない	無回答
全体	1,788 100.0	651 36.4	352 19.7	278 15.5	55 3.1	412 23.0	21 1.2	5 0.3	14 0.8
30歳未満	105 100.0	26 24.8	42 40.0	29 27.6	4 3.8	0 0.0	2 1.9	1 1.0	1 1.0
30～39歳	137 100.0	23 16.8	59 43.1	46 33.6	7 5.1	0 0.0	0 0.0	1 0.7	1 0.7
40～49歳	188 100.0	44 23.4	74 39.4	53 28.2	12 6.4	0 0.0	2 1.1	0 0.0	3 1.6
50～59歳	276 100.0	92 33.3	80 29.0	73 26.4	21 7.6	0 0.0	7 2.5	0 0.0	3 1.1
60～64歳	204 100.0	112 54.9	50 24.5	31 15.2	6 2.9	0 0.0	4 2.0	0 0.0	1 0.5
65～69歳	252 100.0	179 71.0	31 12.3	29 11.5	3 1.2	4 1.6	3 1.2	1 0.4	2 0.8
70～74歳	204 100.0	153 75.0	11 5.4	16 7.8	2 1.0	16 7.8	3 1.5	1 0.5	2 1.0
75歳以上	386 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	386 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(注)「全体」には、「年齢」について無回答の36人が含まれる。

調査日における受診・調剤状況等

1) 受診した診療科

図表 137 受診した診療科（複数回答、n=1788）



2) 薬局窓口での自己負担額

図表 138 薬局窓口での自己負担額（男女別）

（単位：円）

	平均値	標準偏差	中央値
全体 (n=1,678)	2,189.7	2,727.4	1,365.0
男性 (n=810)	2,413.7	2,895.3	1,450.0
女性 (n=858)	1,975.9	2,550.3	1,295.0

(注)・「全体」には、「性別」について無回答の10人が含まれる。
・自己負担額について記入のあったものを集計対象とした。

図表 139 薬局窓口での自己負担額（年齢階級別）

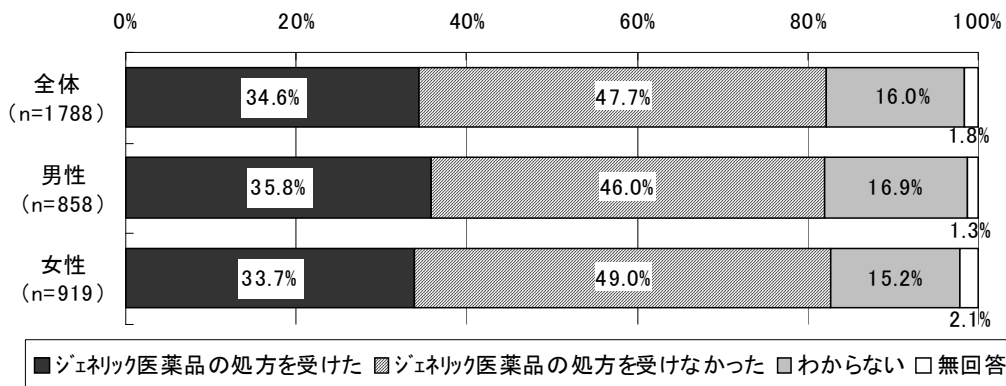
（単位：円）

	平均値	標準偏差	中央値
全体 (n=1,678)	2,189.7	2,727.4	1,365.0
30歳未満 (n=98)	1,411.2	1,901.6	820.0
30～39歳 (n=129)	1,676.3	2,209.5	1,010.0
40～49歳 (n=182)	2,066.9	1,973.5	1,395.0
50～59歳 (n=256)	2,640.6	3,195.4	1,780.0
60～64歳 (n=194)	2,793.8	3,112.5	1,990.0
65～69歳 (n=236)	3,111.1	3,088.4	2,300.0
70～74歳 (n=192)	1,625.2	2,090.8	960.0
75歳以上 (n=359)	1,733.1	2,701.6	1,000.0

(注)「全体」には、「年齢」について無回答の32人が含まれる。

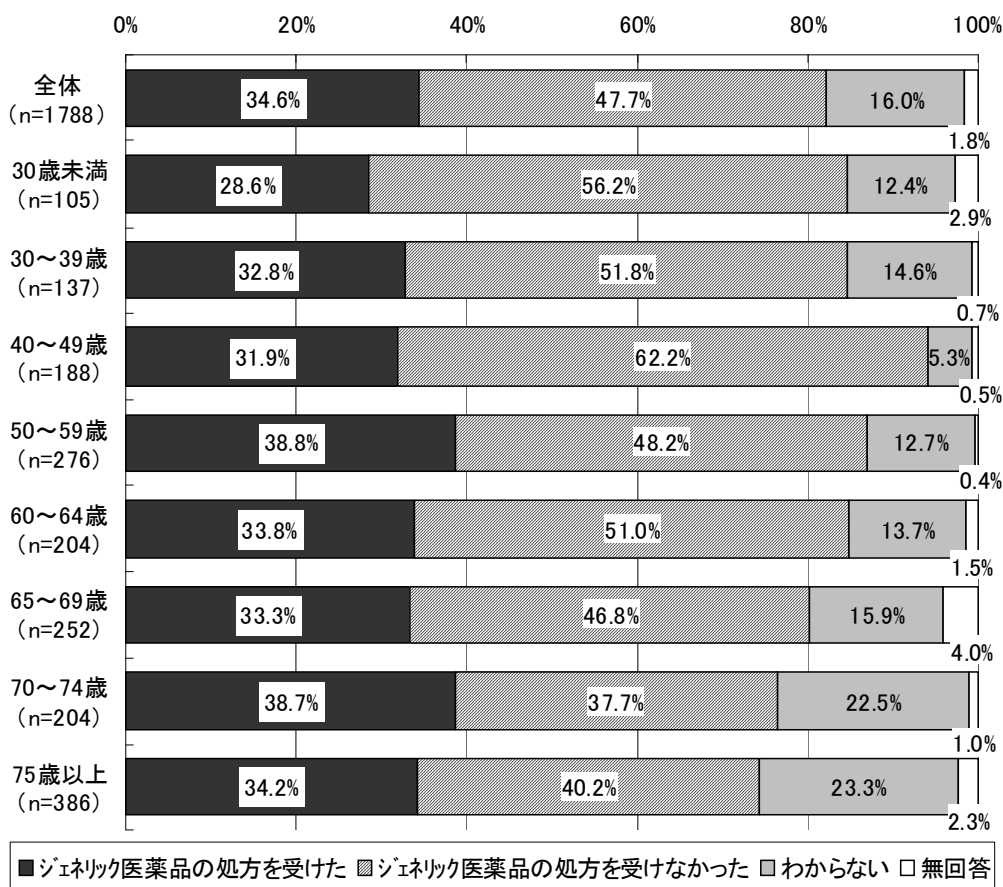
3) ジェネリック医薬品の処方の有無

図表 140 ジェネリック医薬品の処方の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の11人が含まれる。

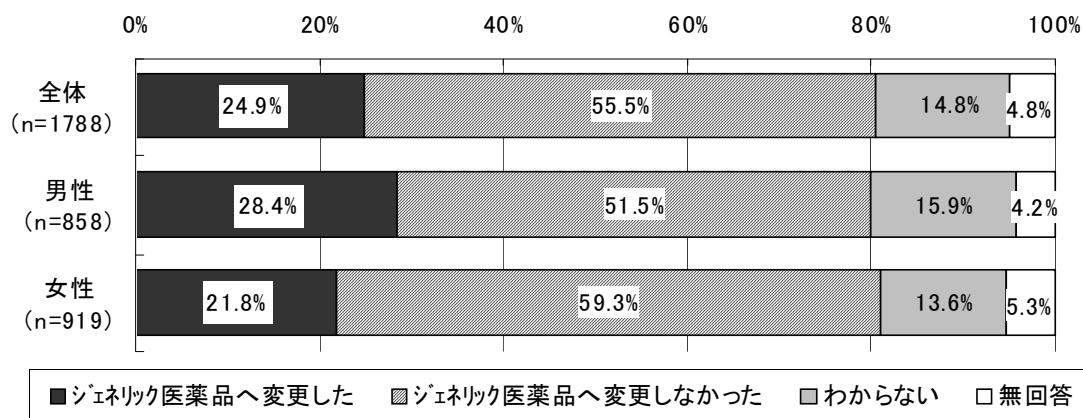
図表 141 ジェネリック医薬品の処方の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の36人が含まれる。

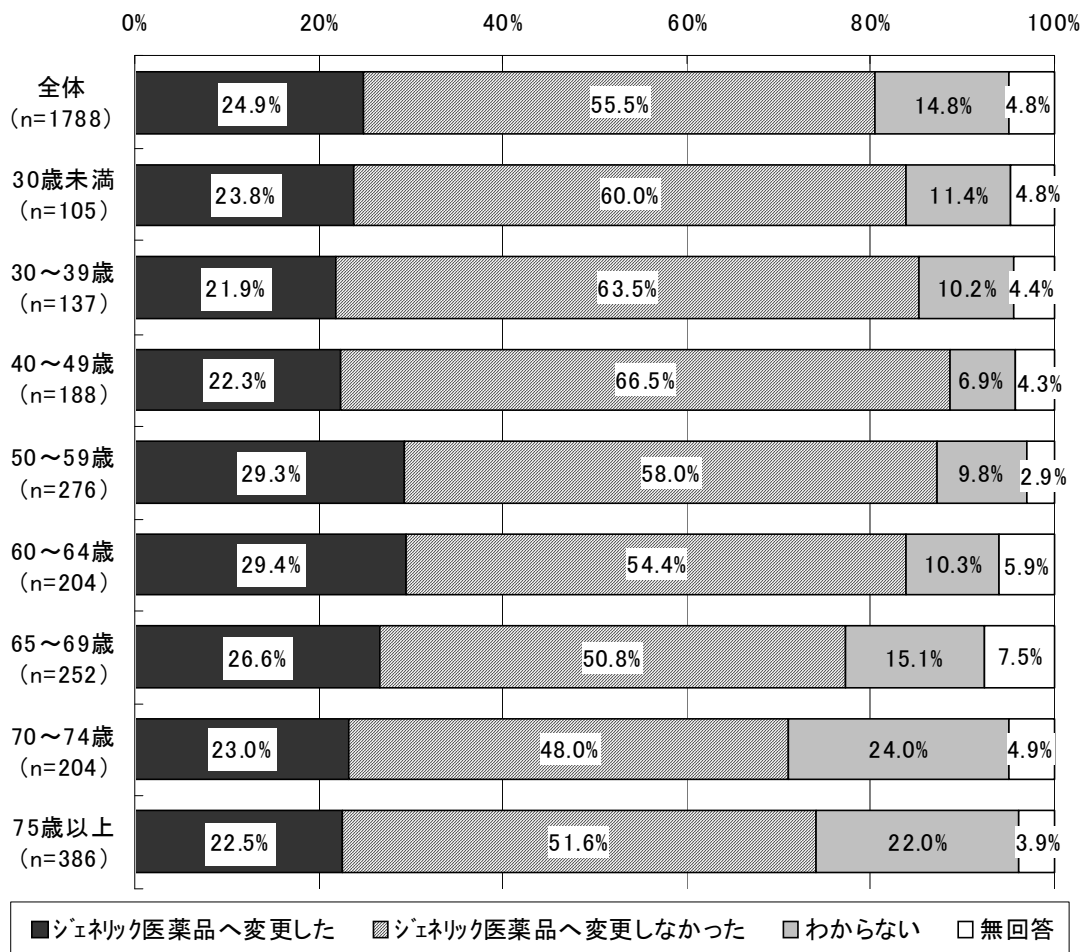
4) 薬局でのジェネリック医薬品への変更の有無

図表 142 薬局でのジェネリック医薬品への変更の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の11人が含まれる。

図表 143 薬局でのジェネリック医薬品への変更の有無（年齢階級別）

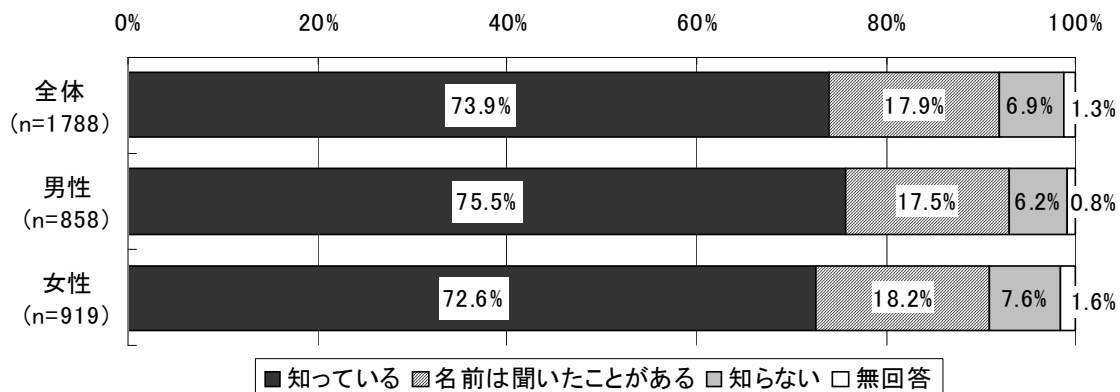


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の36人が含まれる。

後発医薬品の使用状況

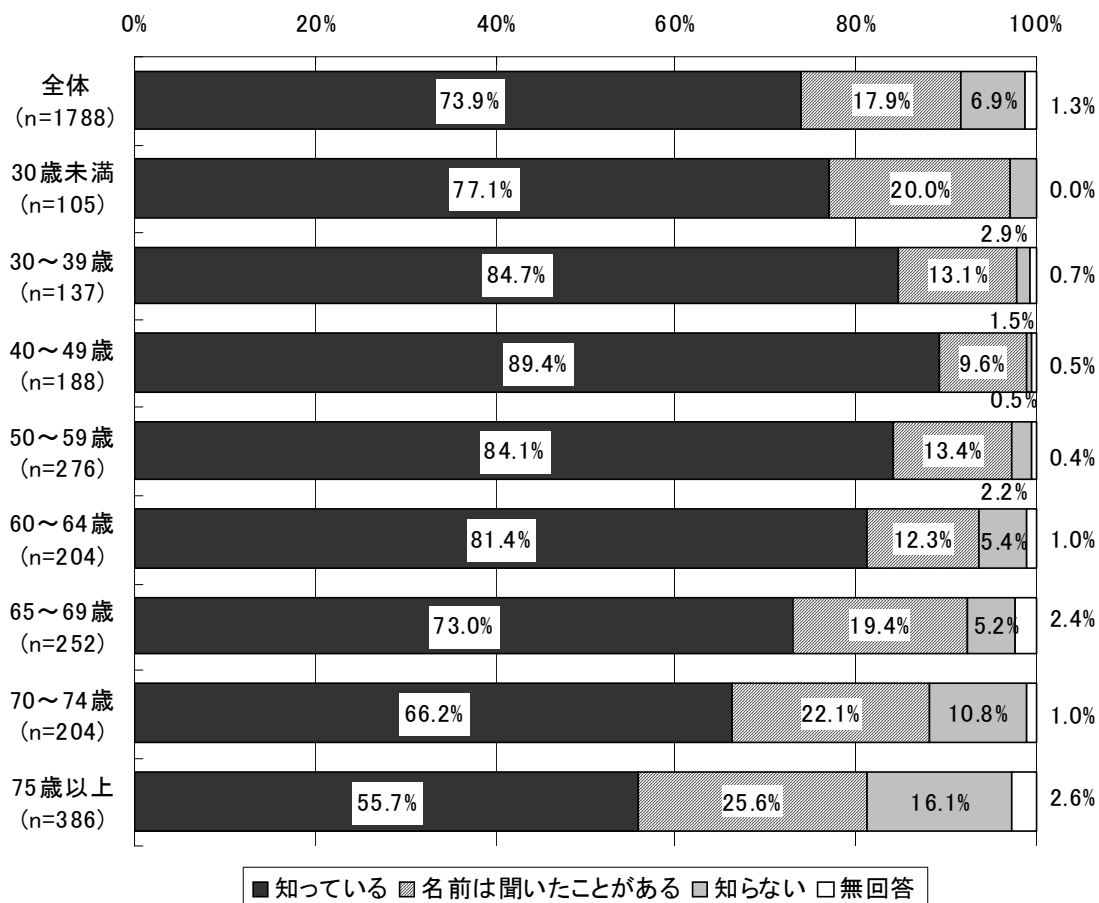
1) 後発医薬品の認知度

図表 144 後発医薬品の認知状況（男女別）



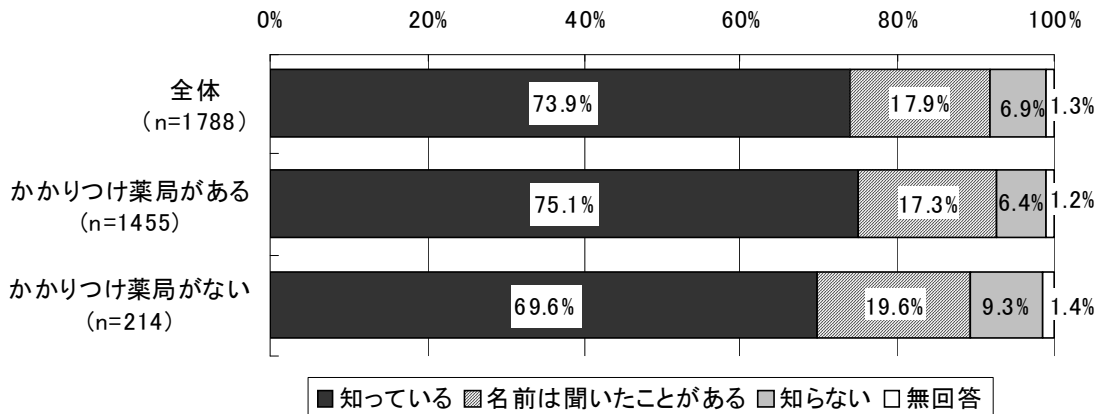
(注)「全体」には、「性別」について無回答の11人が含まれる。

図表 145 後発医薬品の認知状況（年齢階級別）



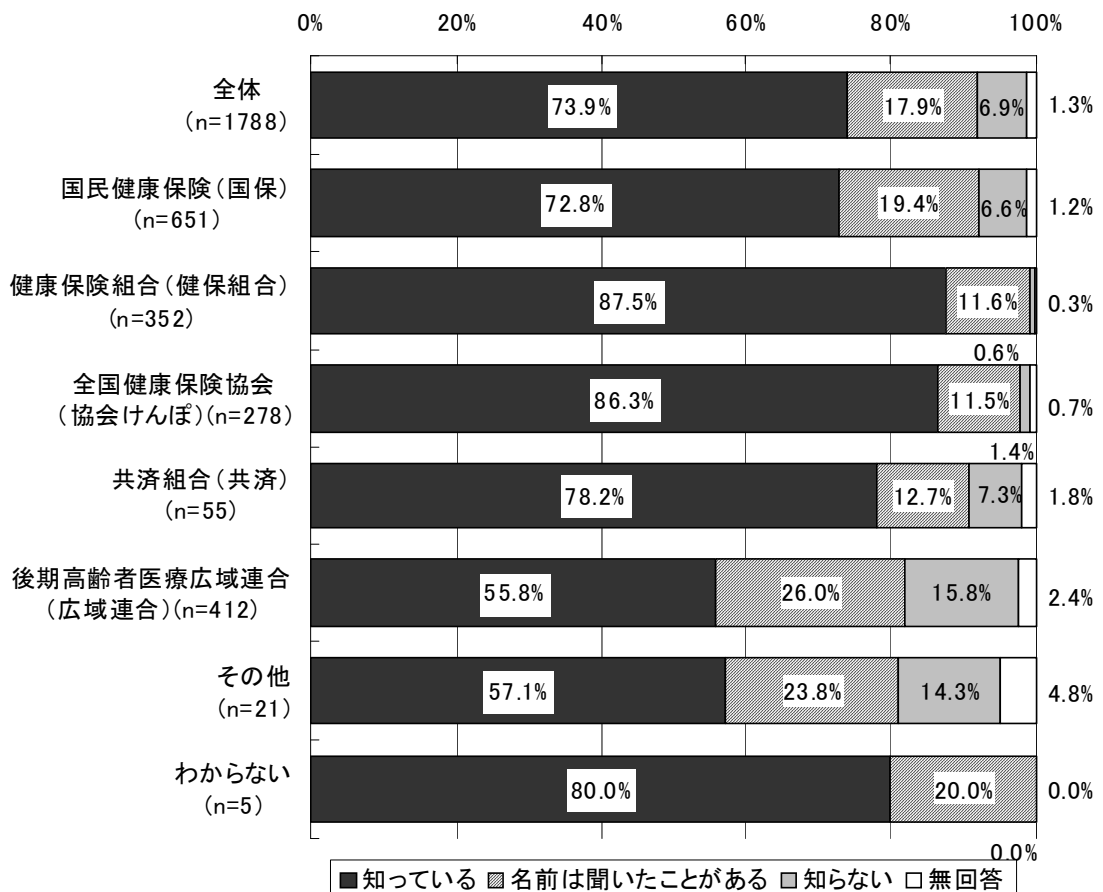
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の36人が含まれる。

図表 146 後発医薬品の認知状況（かかりつけの薬局の有無別）



(注)「全体」には、「かかりつけ薬局の有無」について無回答の119人が含まれる。

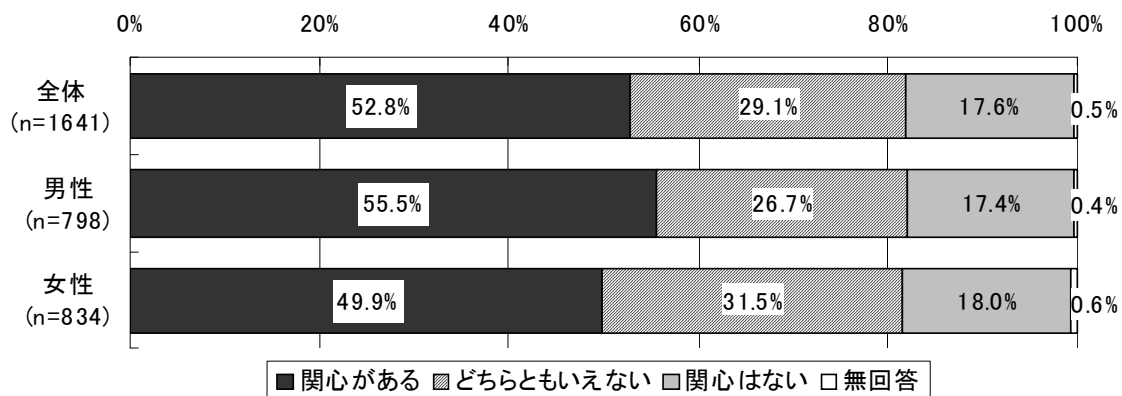
図表 147 後発医薬品の認知状況（公的医療保険の種類別）



(注)「全体」には、「公的医療保険の種類」について無回答の14人が含まれる。

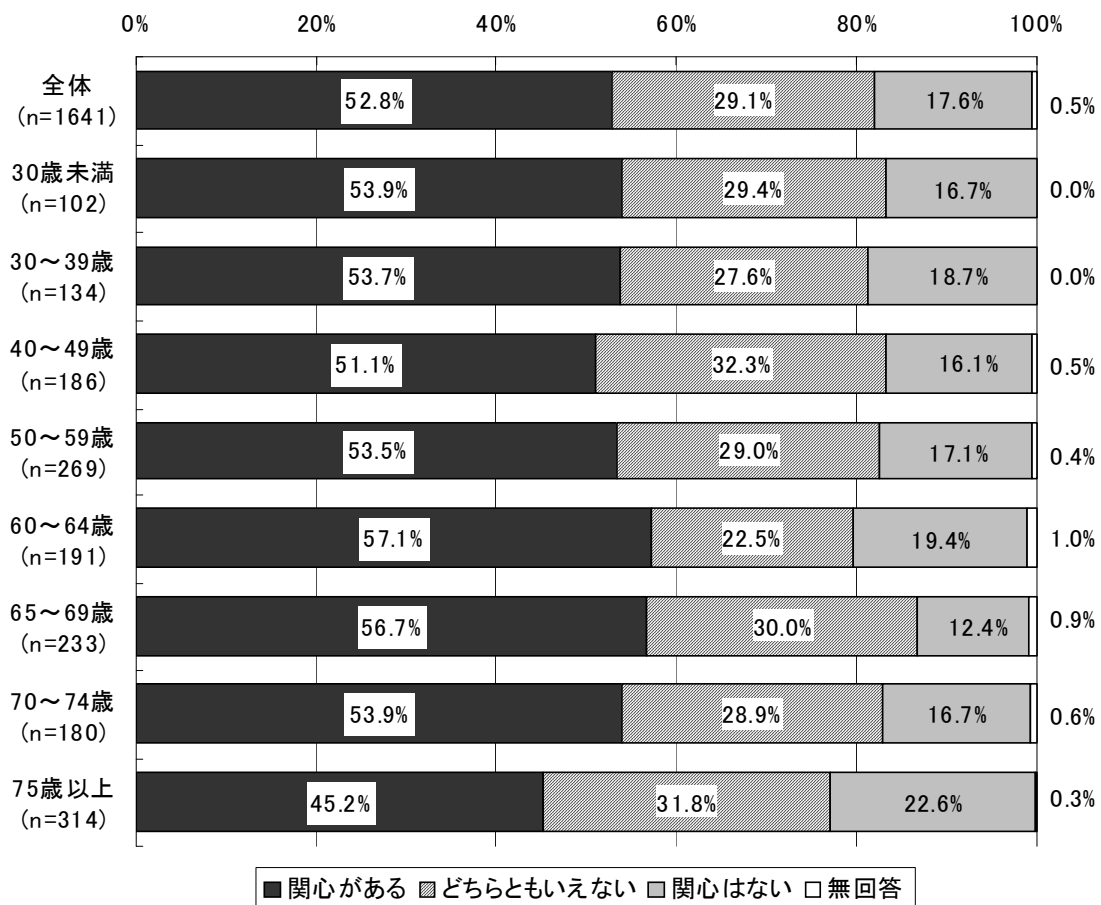
2) 後発医薬品に対する関心

図表 148 後発医薬品に対する関心（後発医薬品を知っている人、男女別）



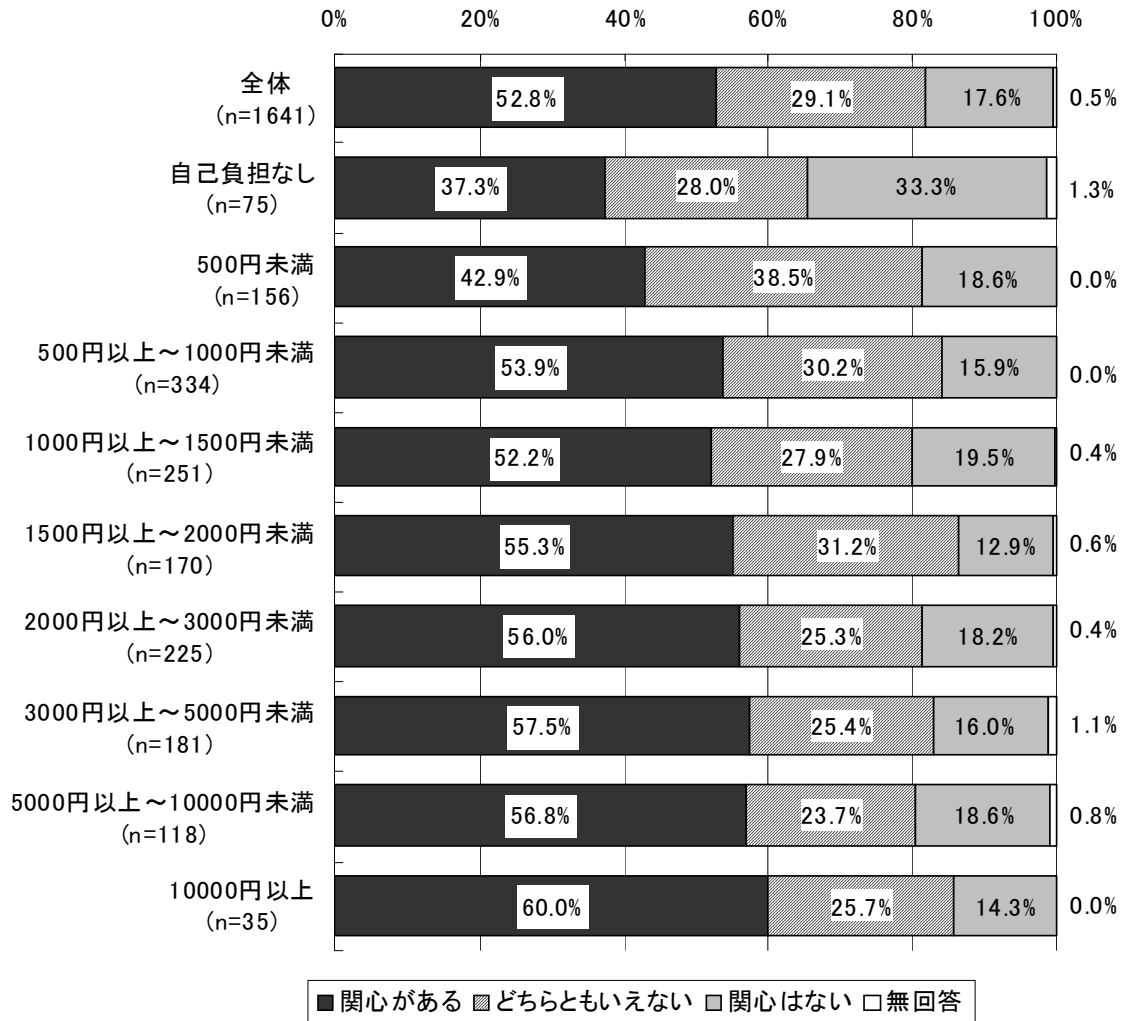
(注)「全体」には、「性別」について無回答の11人が含まれる。

図表 149 後発医薬品に対する関心（後発医薬品を知っている人、年齢階級別）



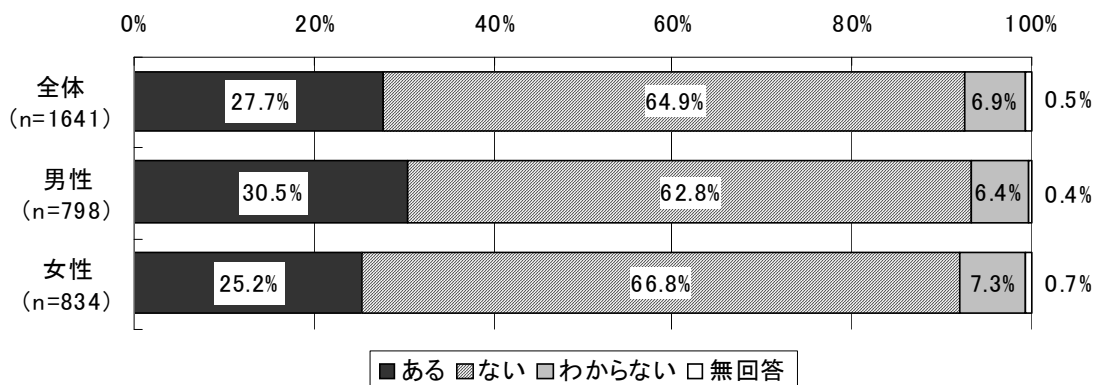
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の36人が含まれる。

図表 150 後発医薬品に対する関心（薬局窓口での自己負担額別）

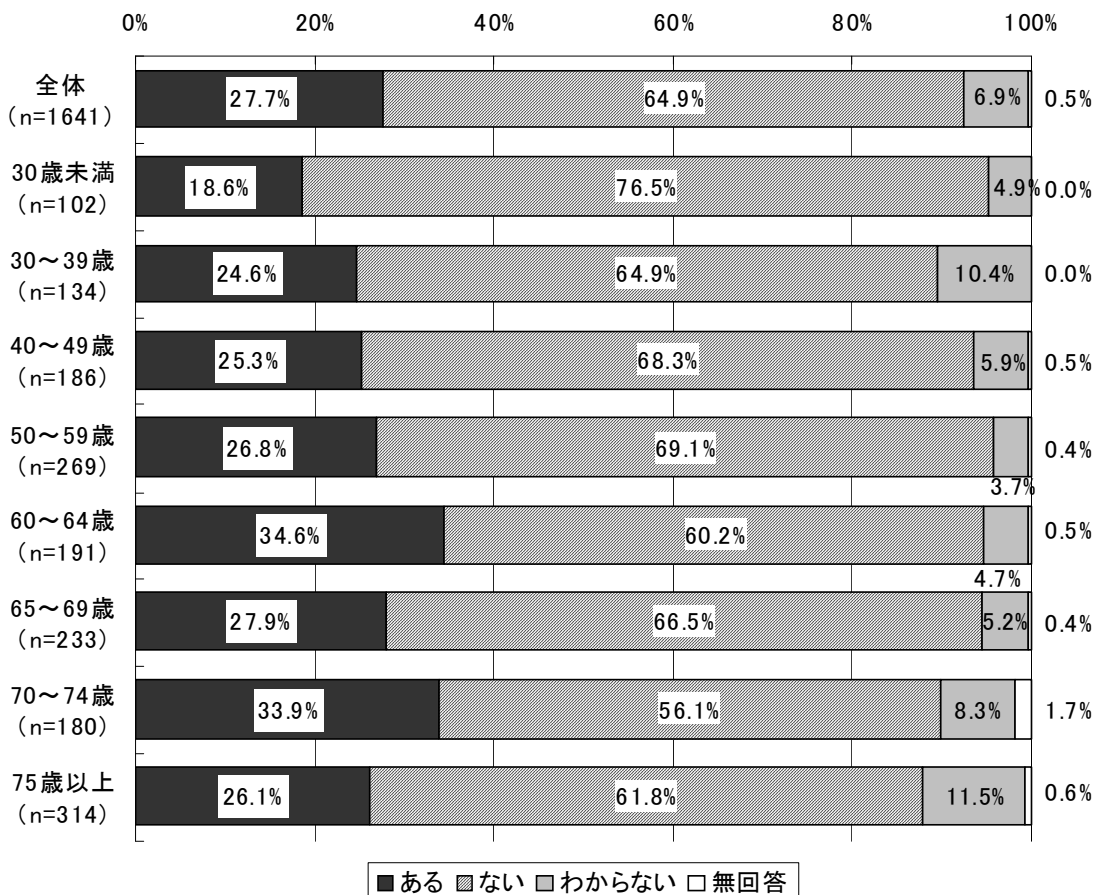


3) 医師からの後発医薬品についての説明の有無

図表 151 医師からの後発医薬品についての説明の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)

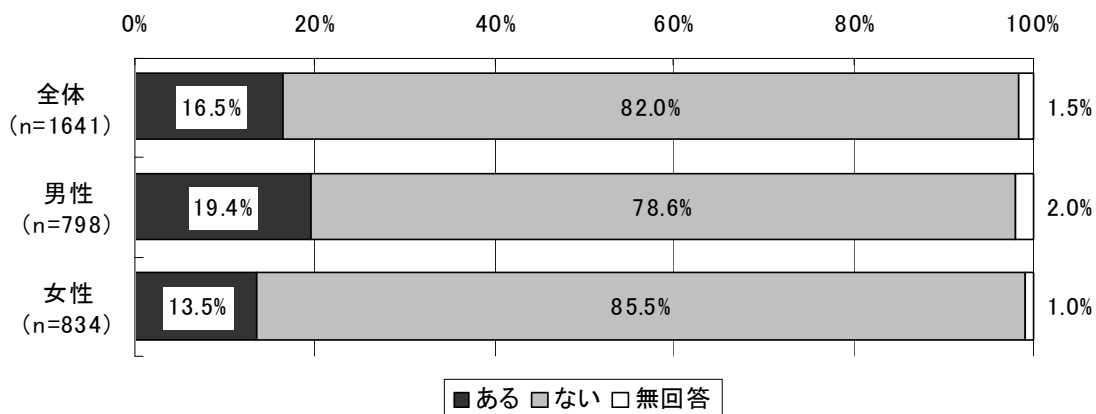


図表 152 医師からの後発医薬品についての説明の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)

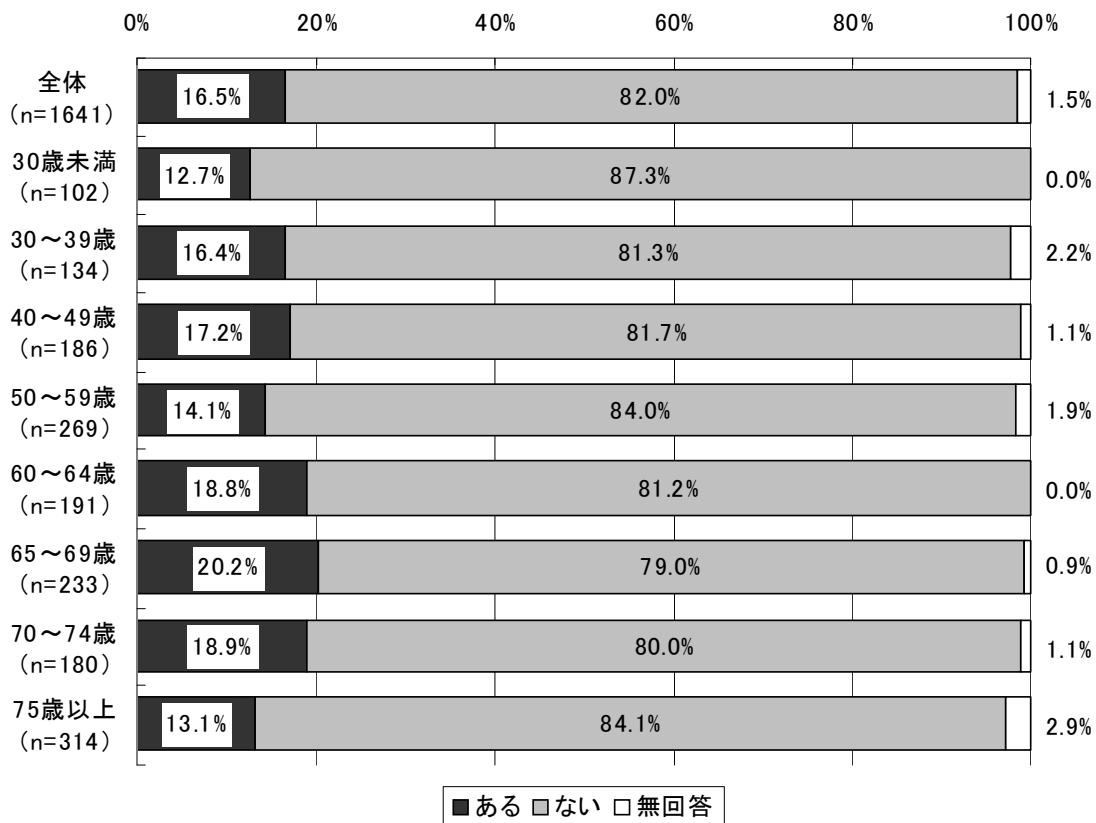


4) 医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無等

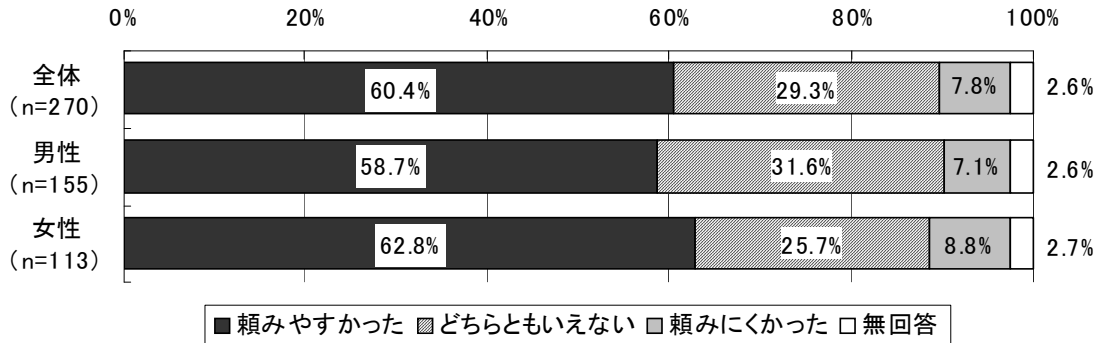
図表 153 医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)



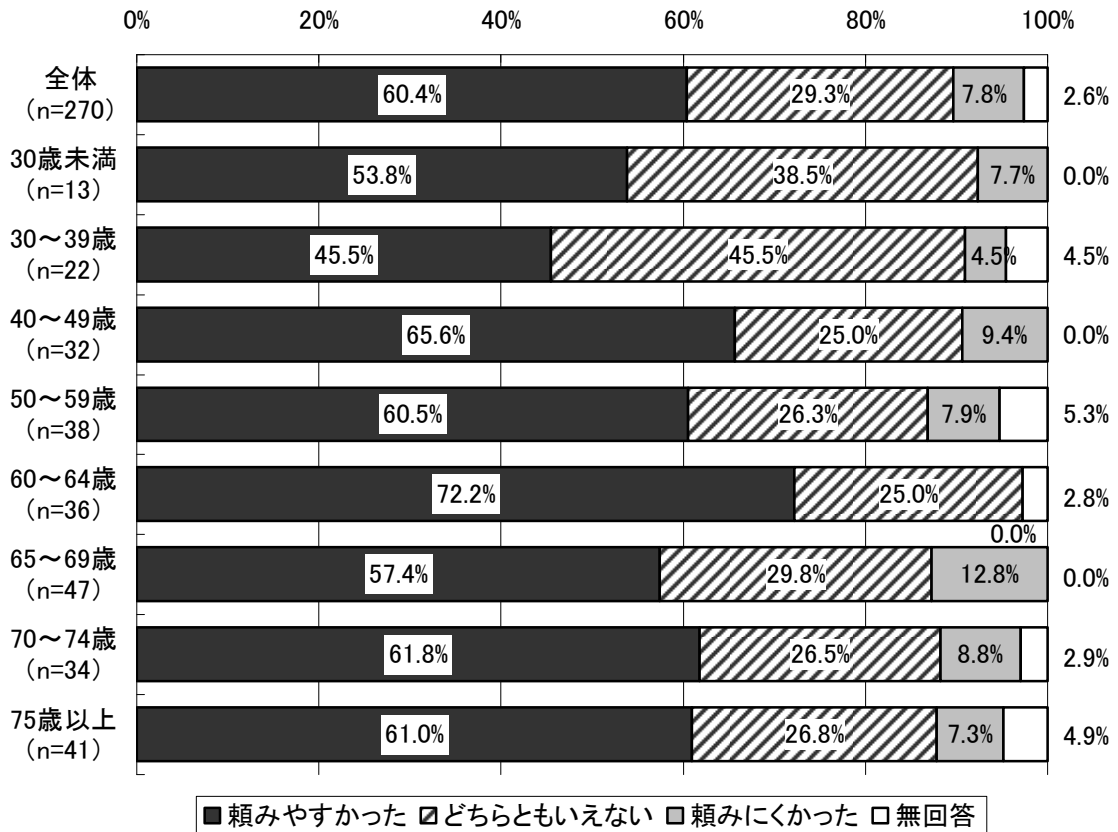
図表 154 医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)



図表 155 医師に後発医薬品の処方を頼みやすかったか
 (処方をお願いした経験のある人、男女別)

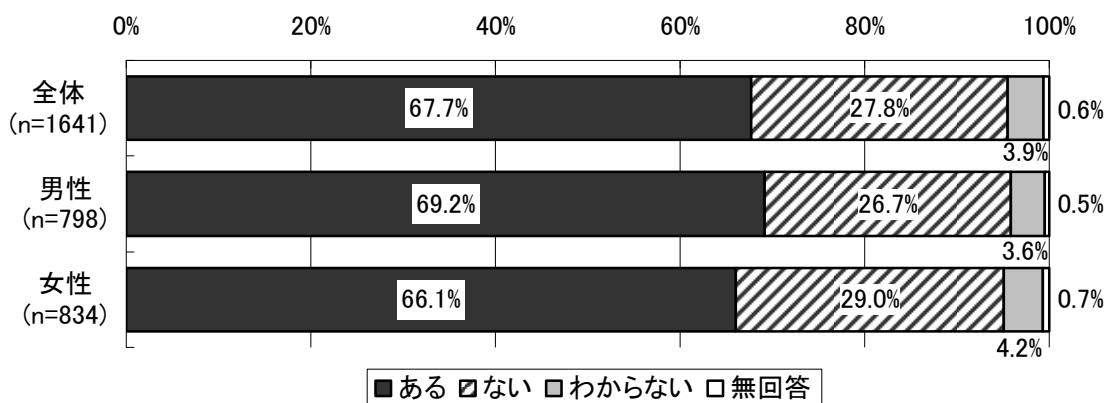


図表 156 医師に後発医薬品の処方を頼みやすかったか
 (処方をお願いした経験のある人、年齢階級別)

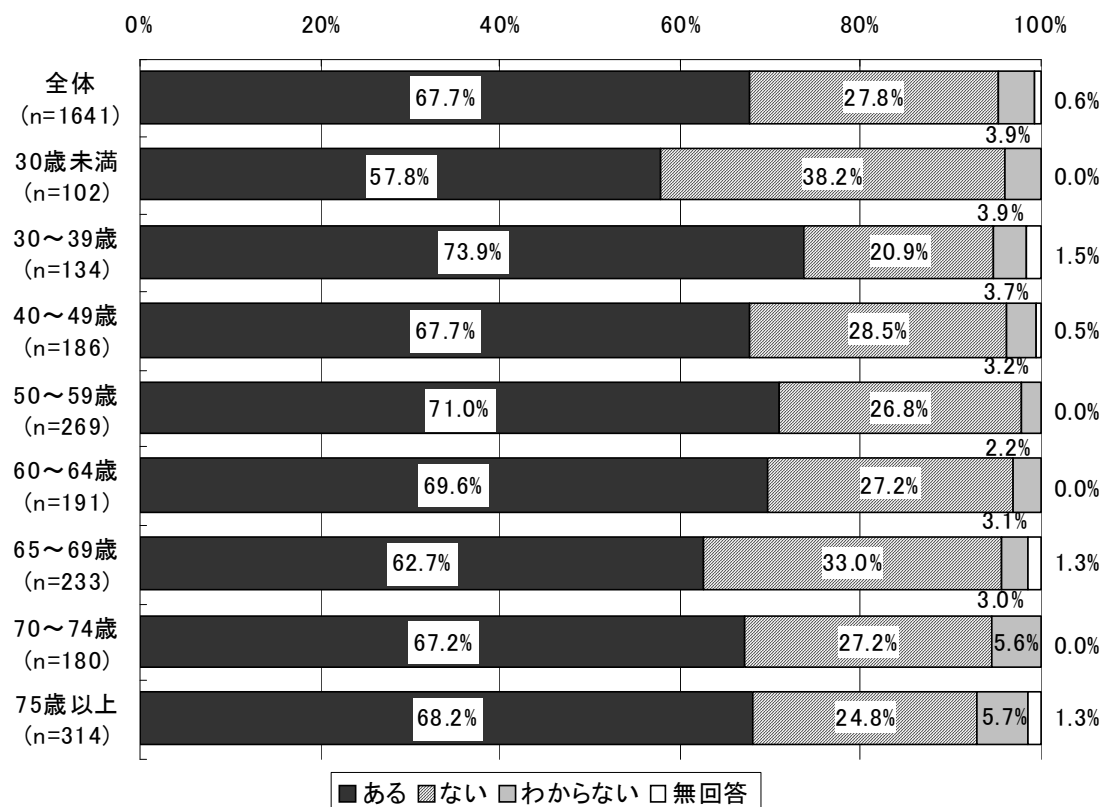


5) 薬剤師からの後発医薬品についての説明の有無

図表 157 薬剤師からの後発医薬品についての説明の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)

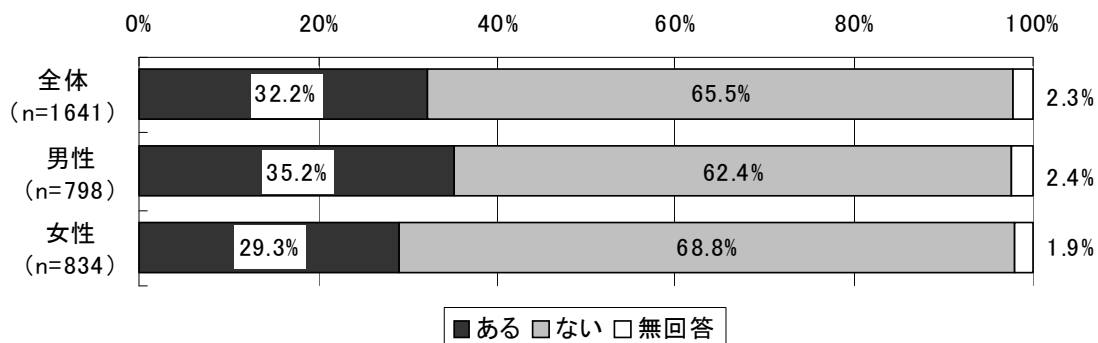


図表 158 薬剤師からの後発医薬品についての説明の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)

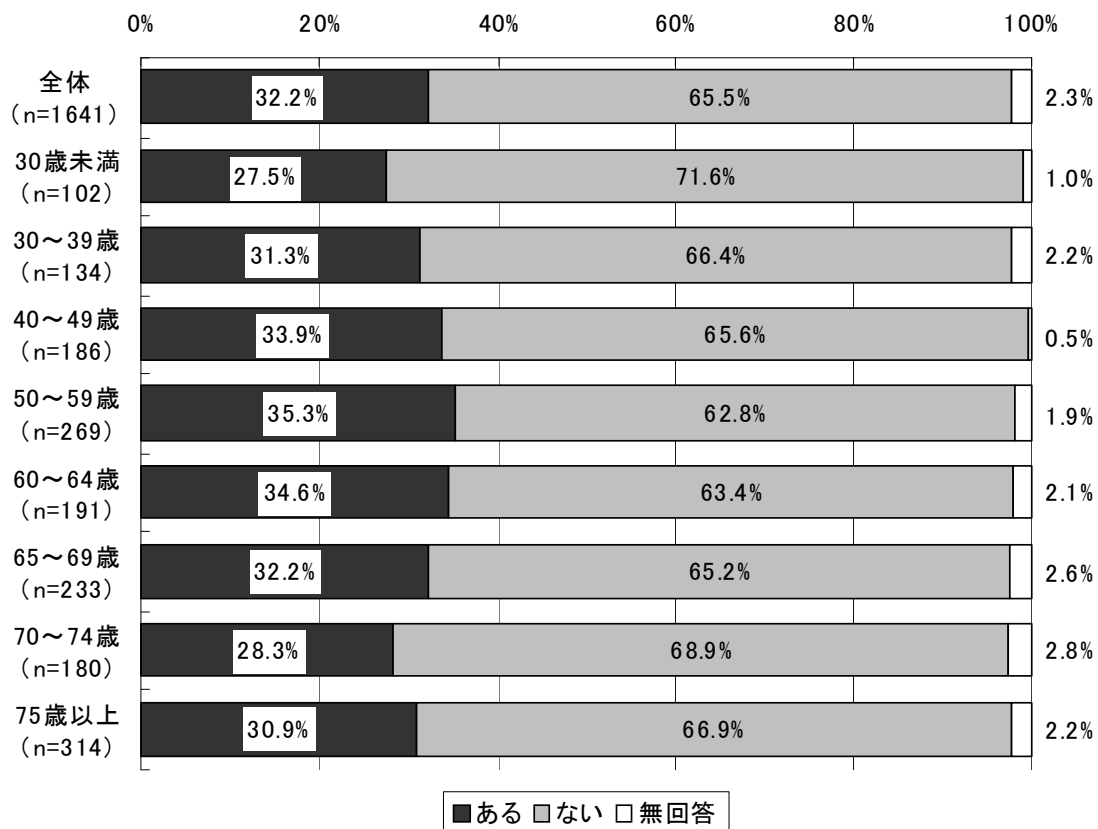


6) 薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無等

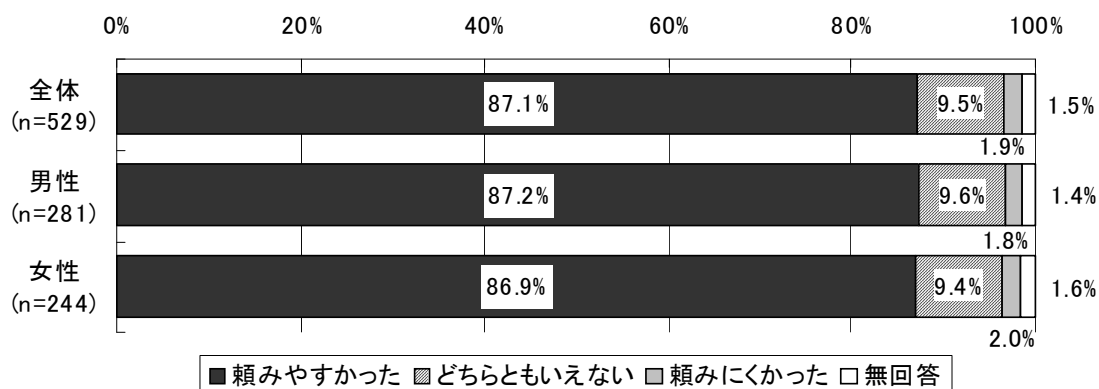
図表 159 薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)



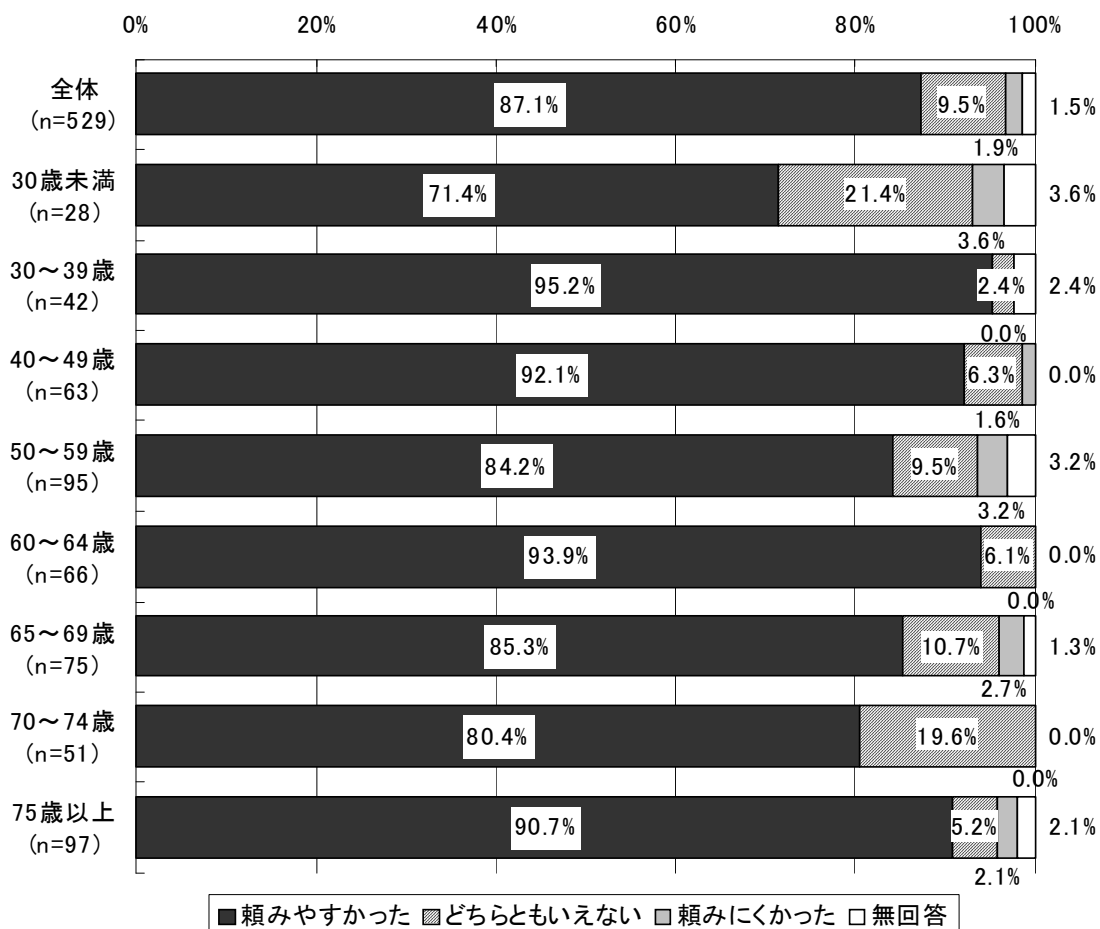
図表 160 薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)



図表 161 薬剤師に後発医薬品の調剤を頼みやすかったか
(調剤をお願いした経験のある人、男女別)

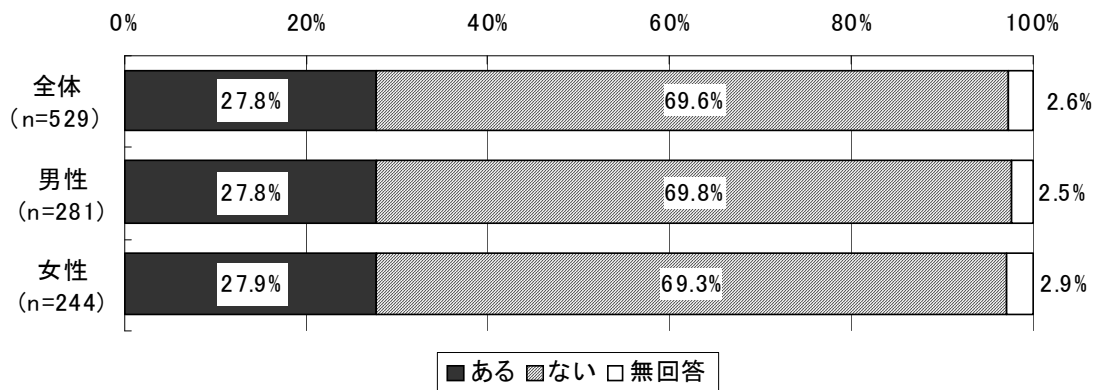


図表 162 薬剤師に後発医薬品の調剤を頼みやすかったか
(調剤をお願いした経験のある人、年齢階級別)

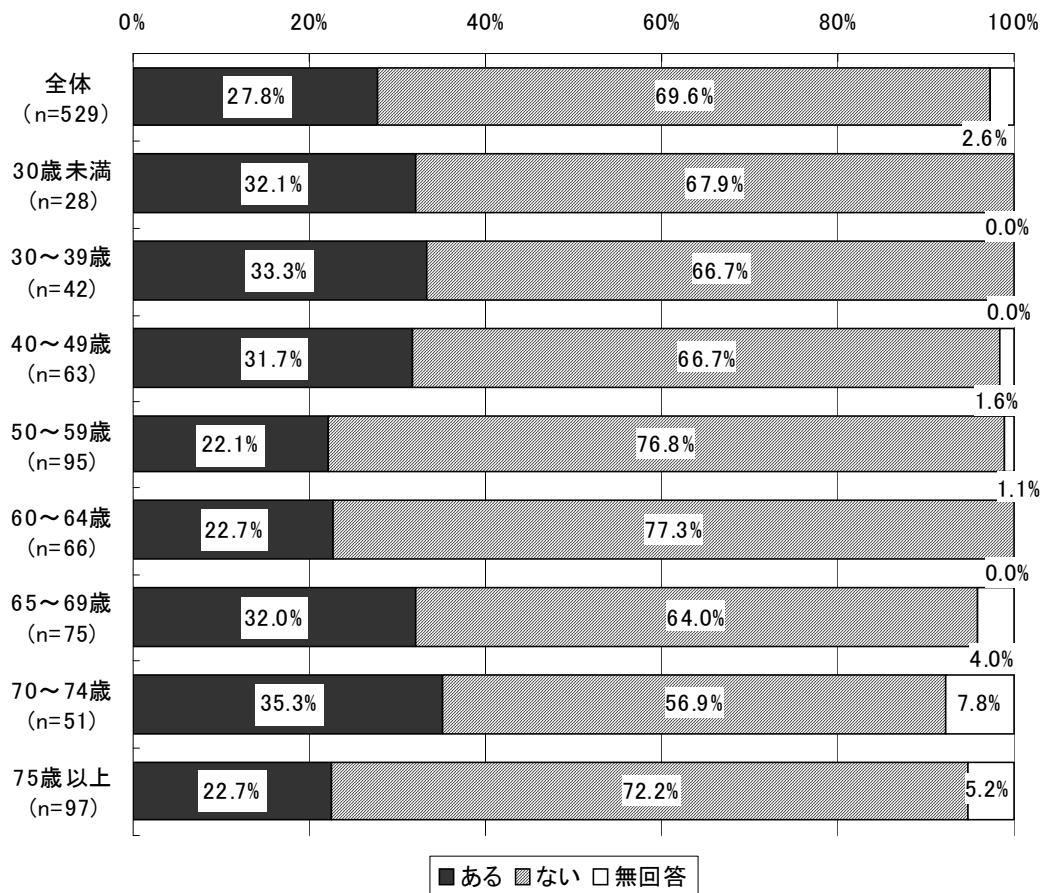


7) 薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験の有無等

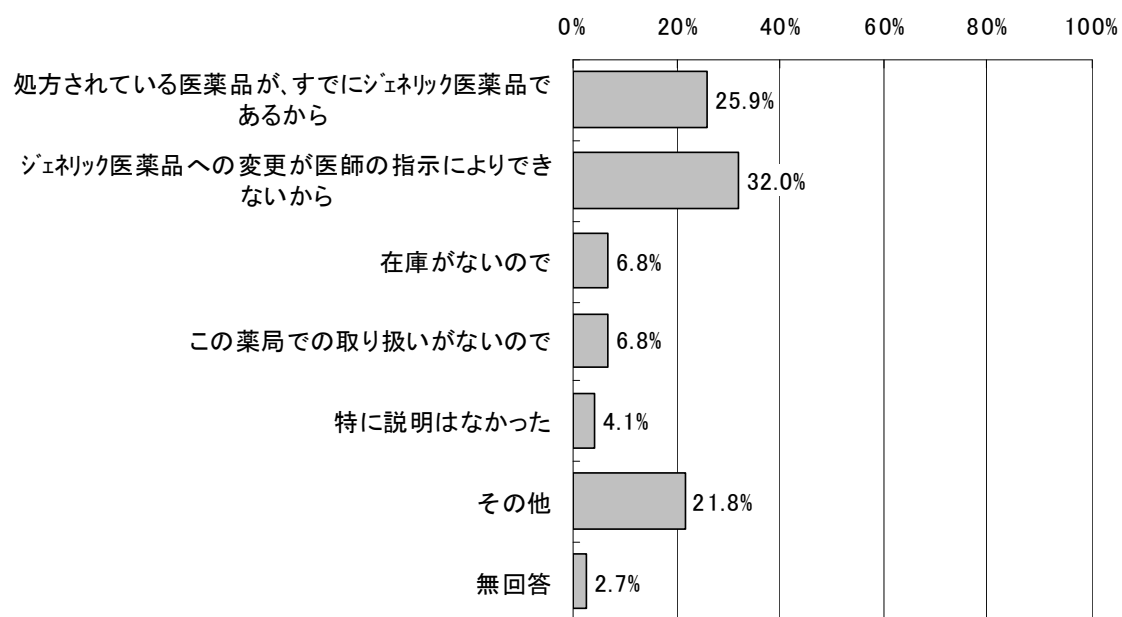
図表 163 薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験の有無
(薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験のある人、男女別)



図表 164 薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験の有無
(薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験のある人、年齢階級別)

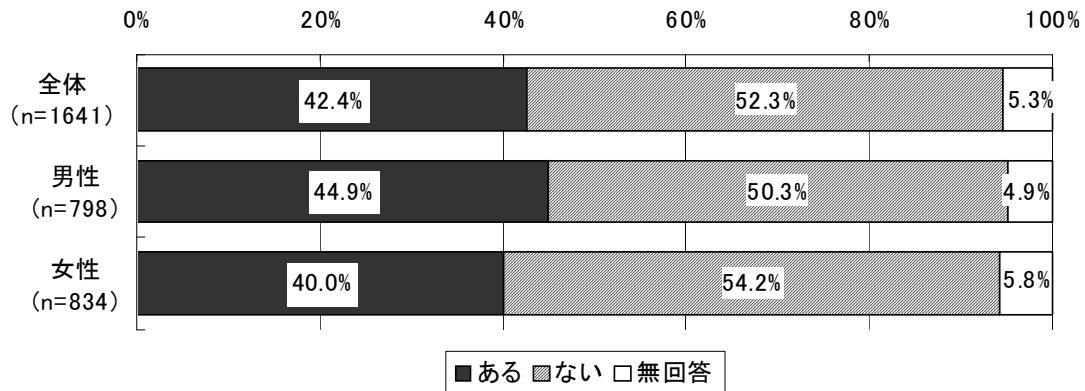


図表 165 後発医薬品に変更してもらえなかった際の薬局からの説明内容
 (薬局で後発医薬品に変更してもらえなかった経験のある人、単数回答、n=147)

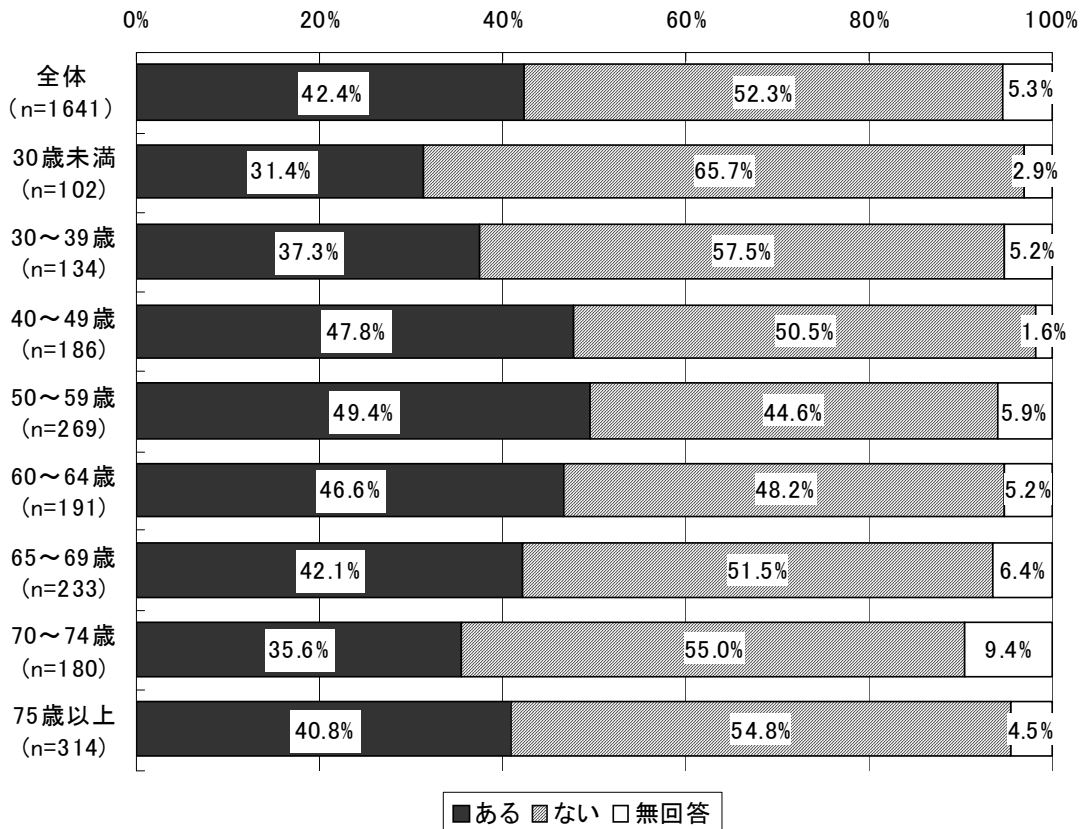


8) 先発医薬品との価格を比較した表等を提示された経験の有無

図表 166 先発医薬品との価格を比較した表等を提示された経験の有無
(後発医薬品を知っている人、男女別)

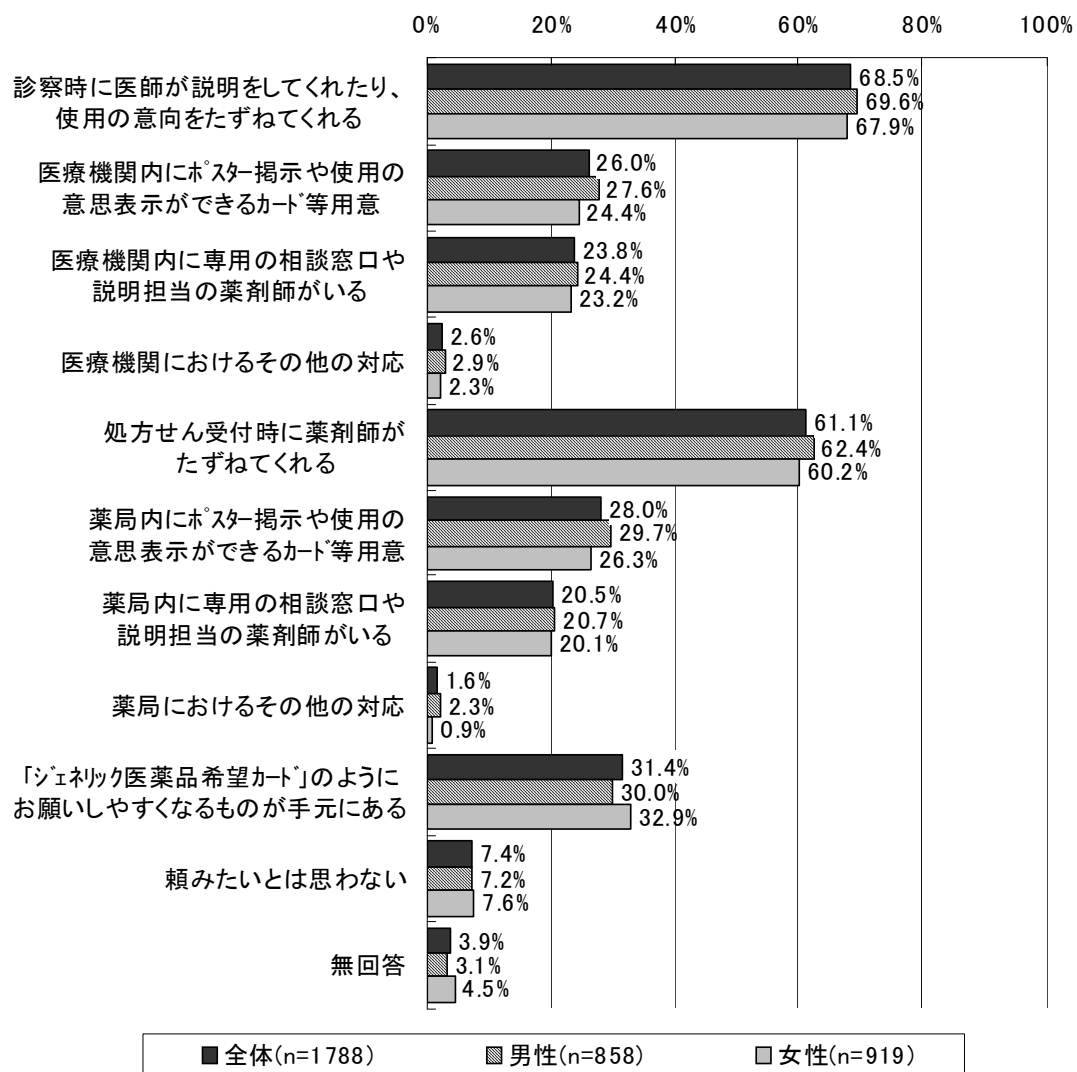


図表 167 先発医薬品との価格を比較した表等を提示された経験の有無
(後発医薬品を知っている人、年齢階級別)



9) 後発医薬品の処方や調剤が頼みやすくなるための方策

図表 168 後発医薬品の処方や調剤が頼みやすくなるための方策（複数回答、男女別）

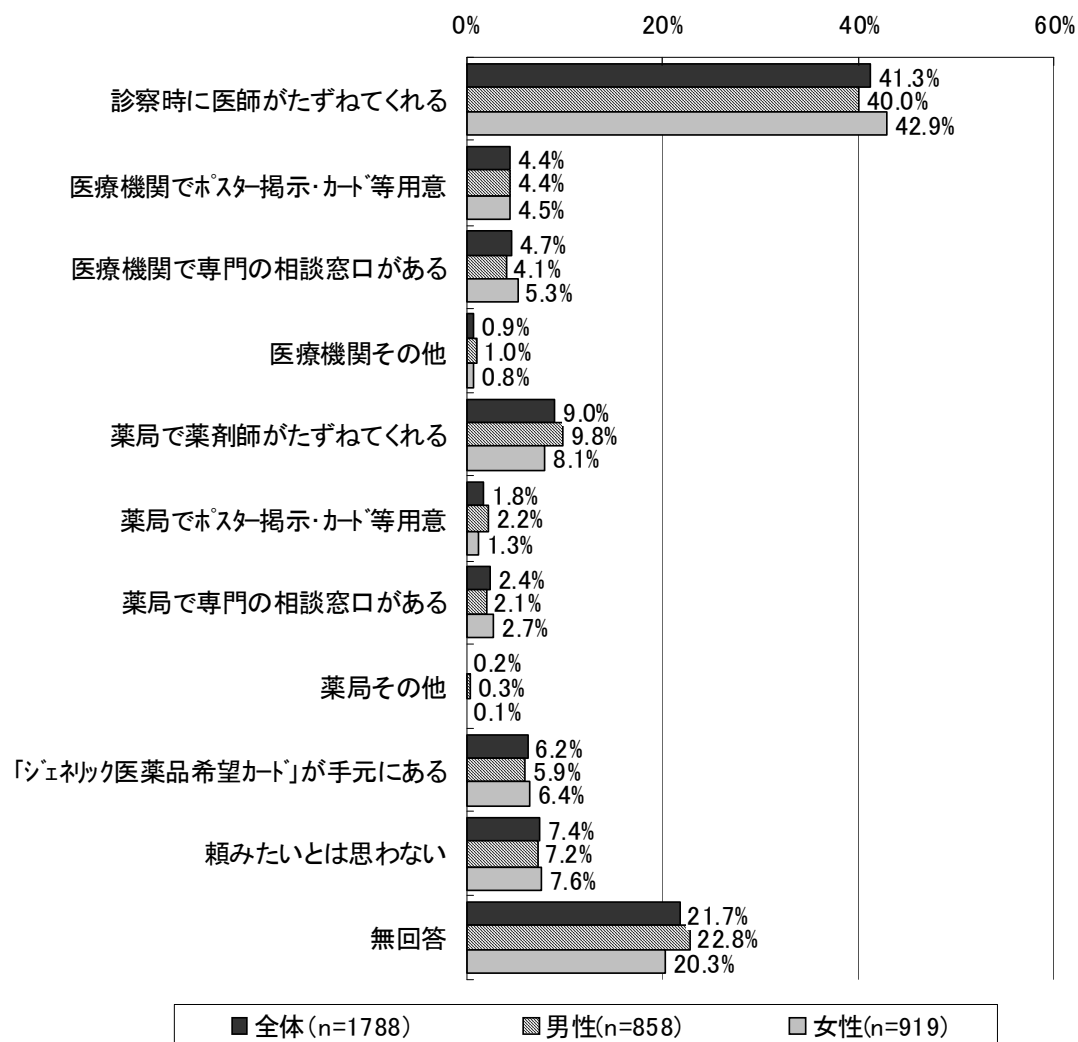


図表 169 後発医薬品の処方や調剤が頼みやすくなるための方策（複数回答、年齢階級別）

（単位：上段「人」/下段「%」）

	総数	診察時に医師が説明をしてくれたり、使用の意向をたずねてくれる	医療機関内にポスター掲示や使用の意思表示ができるカード等用意	医療機関内に専用の相談窓口や説明担当の薬剤師がいる	医療機関におけるその他の対応	処方せん受付時に薬剤師がたずねてくれる	薬局内にポスター掲示や使用の意思表示ができるカード等用意	薬局内に専用の相談窓口や説明担当の薬剤師がいる	薬局におけるその他の対応	「ジネリック医薬品希望カード」のようにお願いしやすくなるものが手元にある	頼みたいとは思わない	無回答
全体	1,788 100.0	1,225 68.5	465 26.0	425 23.8	46 2.6	1,093 61.1	501 28.0	366 20.5	28 1.6	562 31.4	132 7.4	70 3.9
30歳未満	105 100.0	70 66.7	37 35.2	23 21.9	2 1.9	57 54.3	42 40.0	23 21.9	2 1.9	38 36.2	5 4.8	2 1.9
30～39歳	137 100.0	109 79.6	38 27.7	34 24.8	7 5.1	97 70.8	38 27.7	33 24.1	3 2.2	46 33.6	2 1.5	1 0.7
40～49歳	188 100.0	141 75.0	50 26.6	54 28.7	5 2.7	120 63.8	62 33.0	54 28.7	4 2.1	63 33.5	16 8.5	2 1.1
50～59歳	276 100.0	194 70.3	68 24.6	63 22.8	7 2.5	177 64.1	74 26.8	53 19.2	4 1.4	99 35.9	26 9.4	5 1.8
60～64歳	204 100.0	136 66.7	61 29.9	52 25.5	1 0.5	131 64.2	61 29.9	45 22.1	0 0.0	81 39.7	15 7.4	4 2.0
65～69歳	252 100.0	170 67.5	76 30.2	64 25.4	6 2.4	148 58.7	82 32.5	53 21.0	5 2.0	76 30.2	16 6.3	14 5.6
70～74歳	204 100.0	139 68.1	43 21.1	40 19.6	8 3.9	121 59.3	42 20.6	38 18.6	3 1.5	51 25.0	9 4.4	11 5.4
75歳以上	386 100.0	247 64.0	83 21.5	84 21.8	7 1.8	225 58.3	85 22.0	61 15.8	6 1.6	99 25.6	40 10.4	29 7.5

図表 170 後発医薬品の処方や調剤を頼みやすくするために最も重要と思うこと
 (単数回答、男女別)



図表 171 後発医薬品の処方や調剤を頼みやすくするために最も重要と思うこと

(単数回答、年齢階級別)

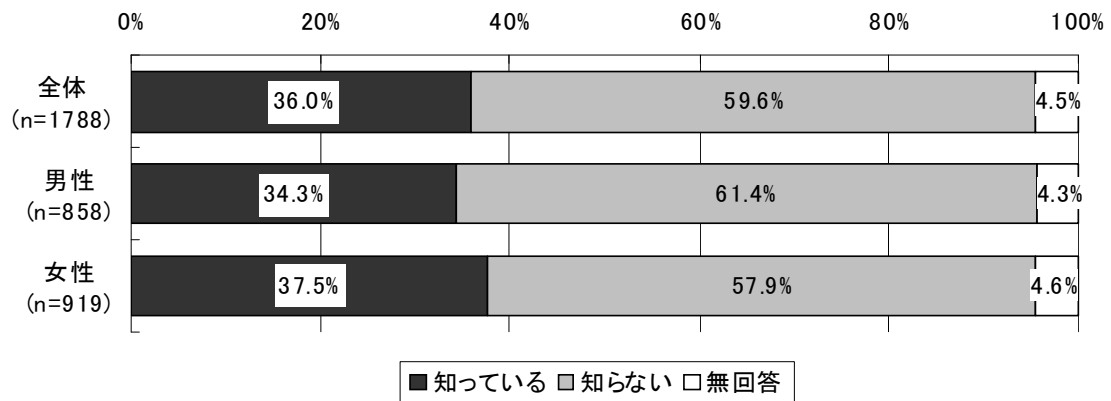
(単位：上段「人」/下段「%」)

	総数	診察時に医師が説明をしてくれたり、使用の意向をたずねてくれる	医療機関内にポスター掲示や使用の意思表示ができるカード等用意	医療機関内に専用の相談窓口や説明担当の薬剤師がいる	医療機関におけるその他の対応	処方せん受付時に薬剤師がたずねてくれる	薬局内にポスター掲示や使用の意思表示ができるカード等用意	薬局内に専用の相談窓口や説明担当の薬剤師がいる	薬局におけるその他の対応	コジエネリック医薬品希望カードのよう にお願いしやすくなるものが手元にある	頼みたいとは思わない	無回答
全体	1,788 100.0	738 41.3	79 4.4	84 4.7	16 0.9	161 9.0	32 1.8	43 2.4	4 0.2	111 6.2	132 7.4	388 21.7
30歳未満	105 100.0	49 46.7	10 9.5	3 2.9	0 0.0	8 7.6	4 3.8	4 3.8	1 1.0	8 7.6	5 4.8	13 12.4
30～39歳	137 100.0	75 54.7	4 2.9	5 3.6	3 2.2	12 8.8	5 3.6	4 2.9	0 0.0	10 7.3	2 1.5	17 12.4
40～49歳	188 100.0	92 48.9	11 5.9	8 4.3	2 1.1	12 6.4	2 1.1	9 4.8	1 0.5	13 6.9	16 8.5	22 11.7
50～59歳	276 100.0	112 40.6	8 2.9	13 4.7	4 1.4	28 10.1	5 1.8	6 2.2	1 0.4	19 6.9	26 9.4	54 19.6
60～64歳	204 100.0	74 36.3	13 6.4	16 7.8	1 0.5	21 10.3	4 2.0	5 2.5	0 0.0	16 7.8	15 7.4	39 19.1
65～69歳	252 100.0	100 39.7	14 5.6	12 4.8	1 0.4	20 7.9	4 1.6	3 1.2	0 0.0	11 4.4	16 6.3	71 28.2
70～74歳	204 100.0	85 41.7	7 3.4	7 3.4	2 1.0	19 9.3	1 0.5	6 2.9	0 0.0	14 6.9	9 4.4	54 26.5
75歳以上	386 100.0	145 37.6	11 2.8	18 4.7	3 0.8	37 9.6	5 1.3	6 1.6	1 0.3	17 4.4	40 10.4	103 26.7

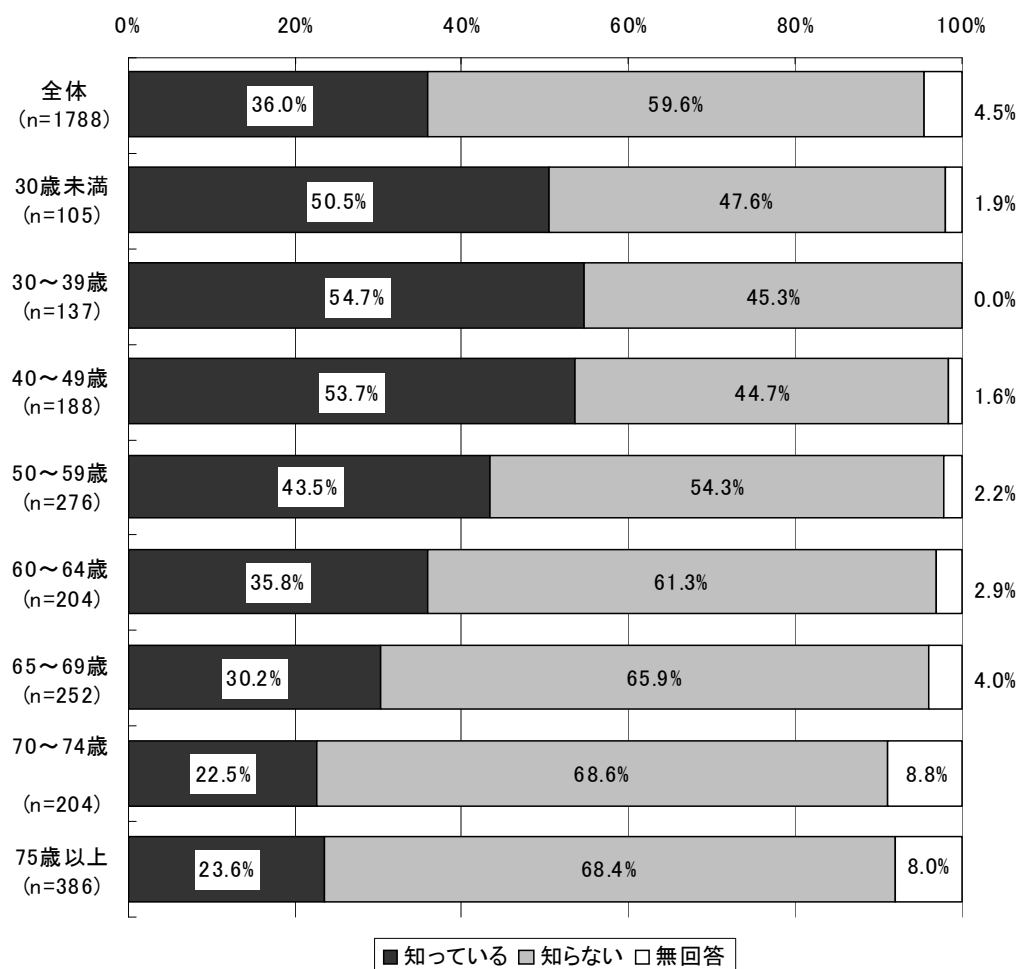
ジェネリック医薬品カードの認知度等

1)「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度

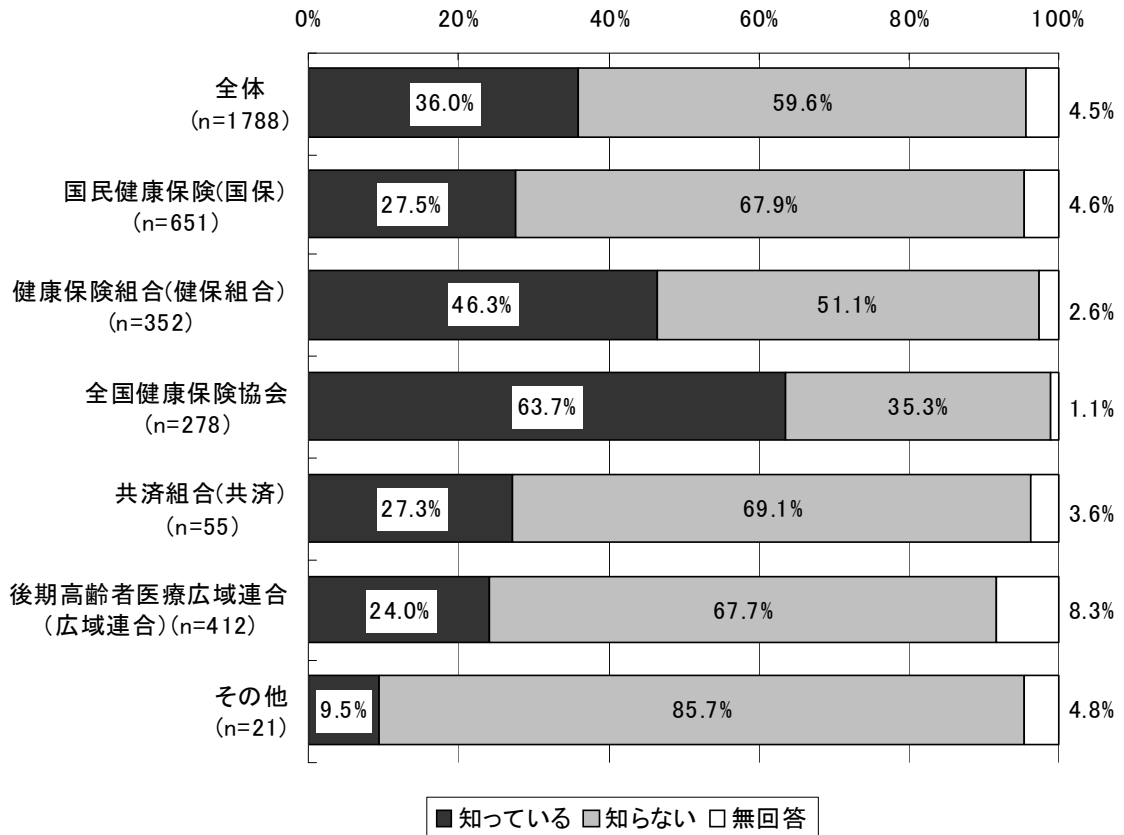
図表 172 「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度（男女別）



図表 173 「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度（年齢階級別）

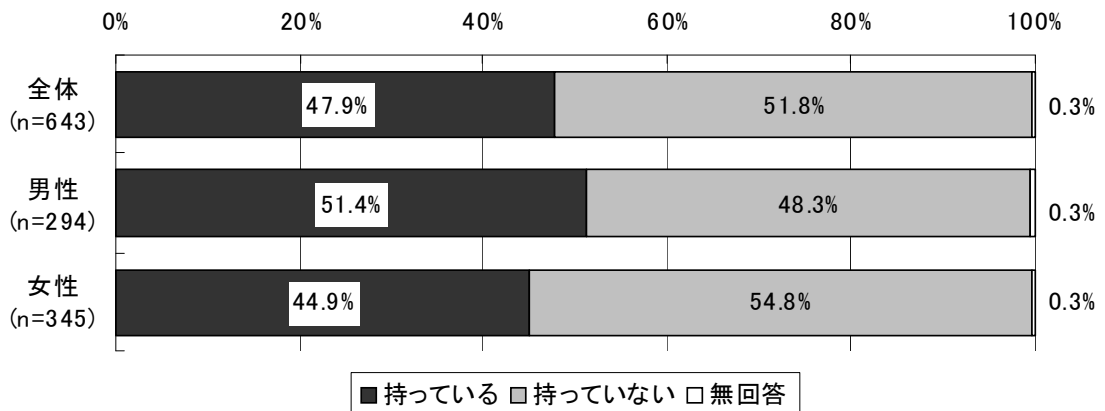


図表 174 「ジェネリック医薬品希望カード」の認知度（公的医療保険の種類別）

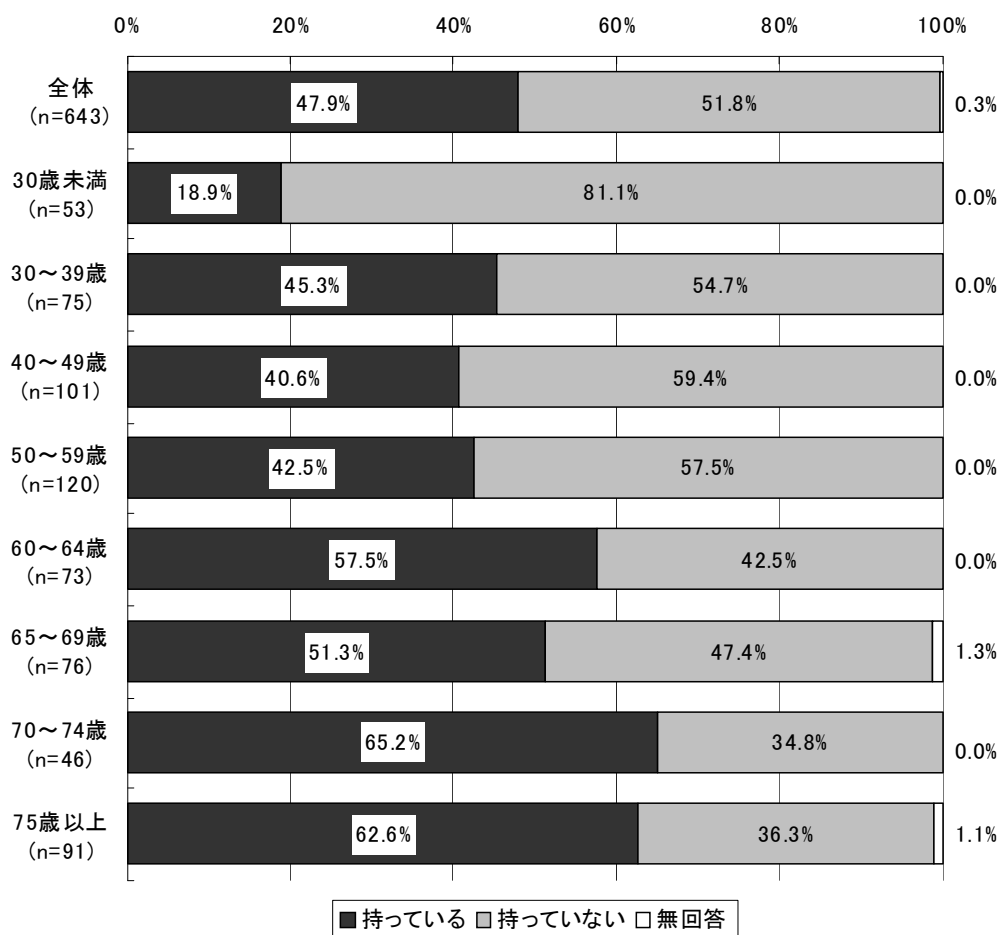


2) 「ジェネリック医薬品希望カード」の所有状況

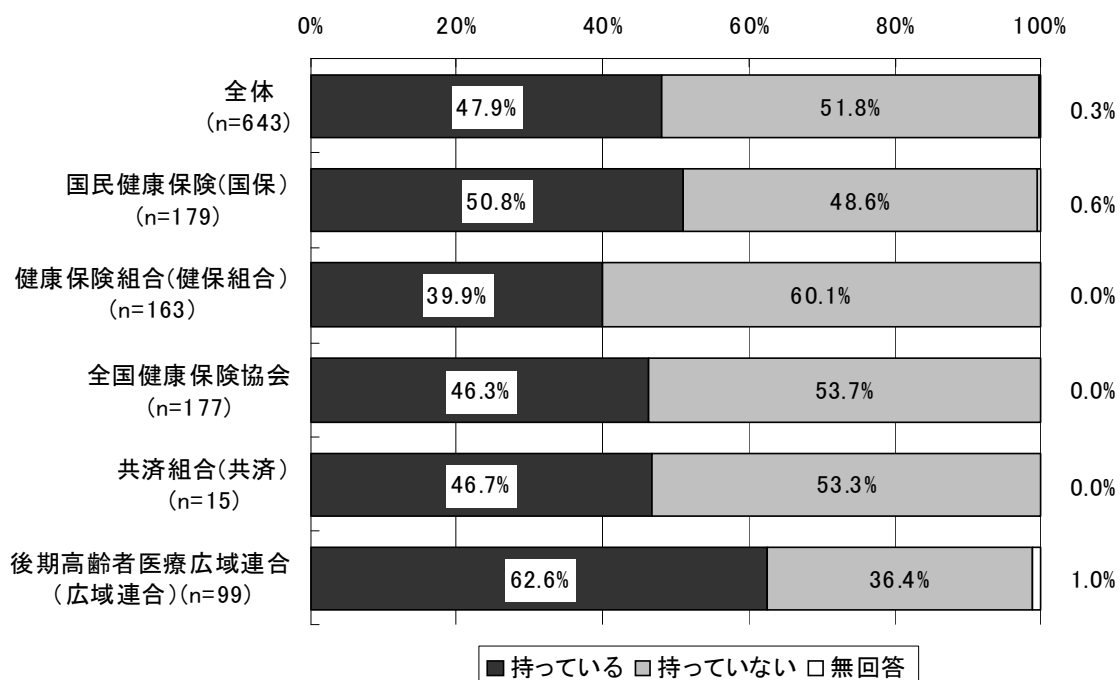
図表 175 「ジェネリック医薬品希望カード」の所有状況
 (「ジェネリック医薬品希望カード」を知っている人、男女別)



図表 176 「ジェネリック医薬品希望カード」の所有状況
 (「ジェネリック医薬品希望カード」を知っている人、年齢階級別)

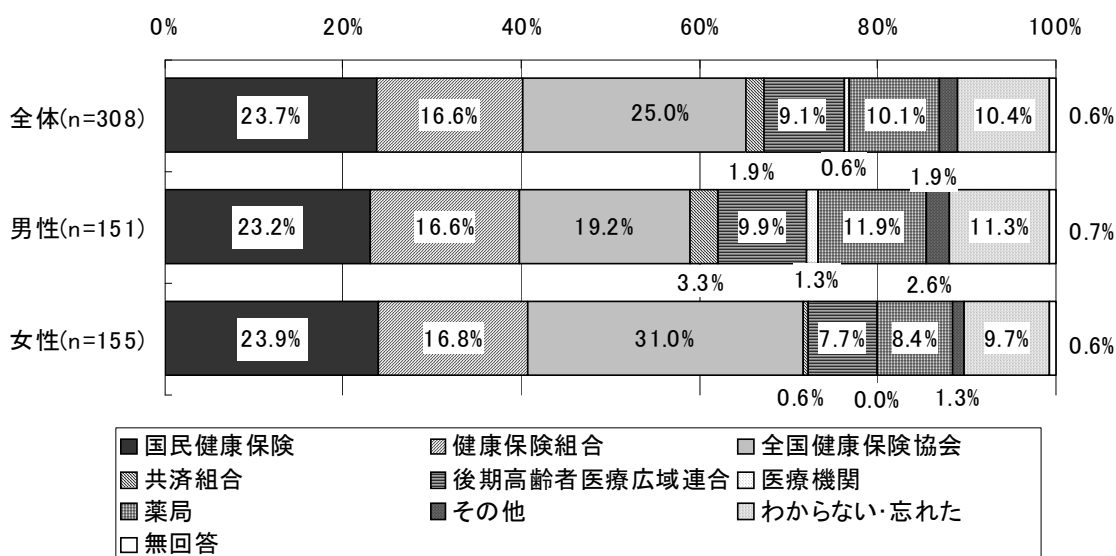


図表 177 「ジェネリック医薬品希望カード」の所有状況
 (「ジェネリック医薬品希望カード」を知っている人、公的医療保険の種類別)



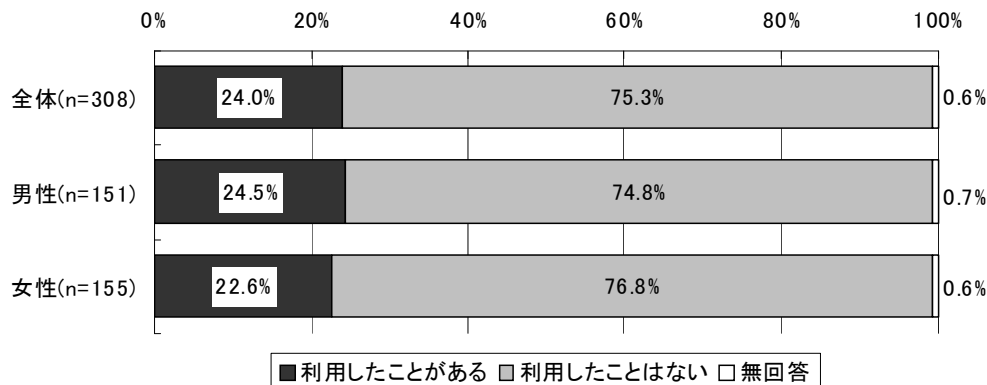
3) 「ジェネリック医薬品希望カード」の配布元

図表 178 「ジェネリック医薬品希望カード」の配布元
 (「ジェネリック医薬品希望カード」を持っている人、男女別)



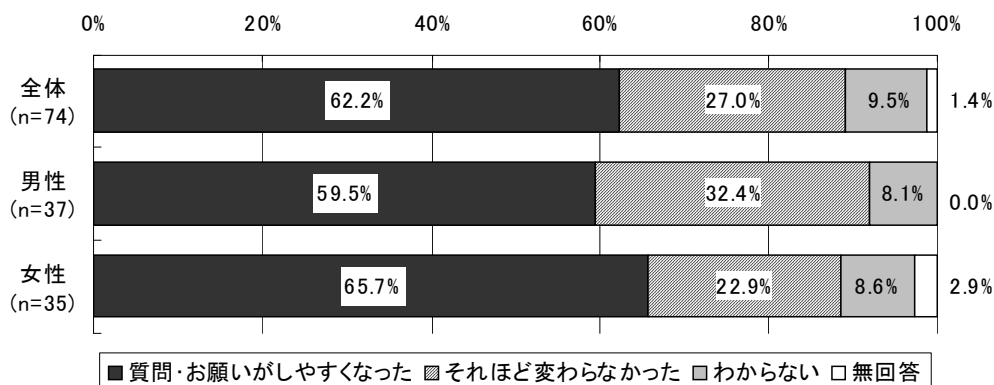
4)「ジェネリック医薬品希望カード」の利用経験の有無

図表 179 「ジェネリック医薬品希望カード」の利用経験の有無
(「ジェネリック医薬品希望カード」を持っている人、男女別)



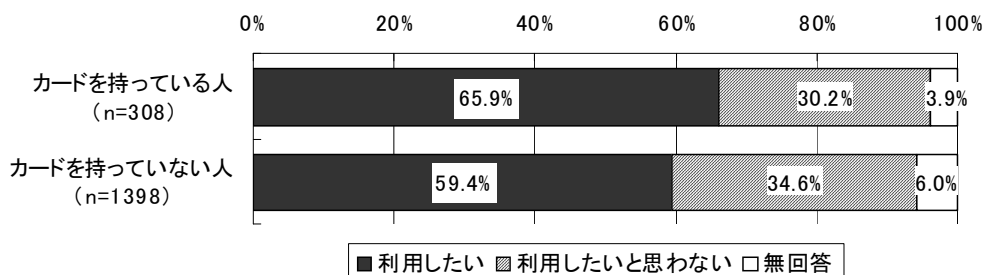
5)「ジェネリック医薬品希望カード」による医師や薬剤師への依頼のしやすさ

図表 180 「ジェネリック医薬品希望カード」による医師や薬剤師への依頼のしやすさ
(「ジェネリック医薬品希望カード」を利用した経験のある人、男女別)



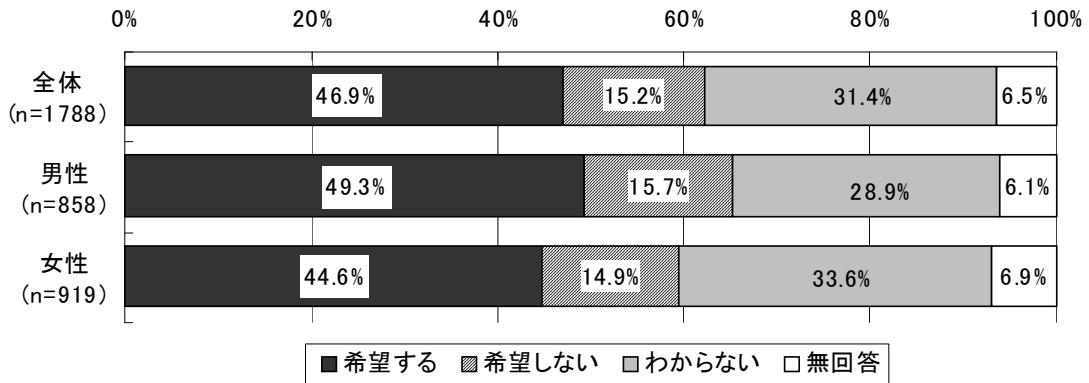
6)「ジェネリック医薬品希望カード」の今後の利用意向

図表 181 「ジェネリック医薬品希望カード」の今後の利用意向
(「ジェネリック医薬品希望カード」の所有状況別)

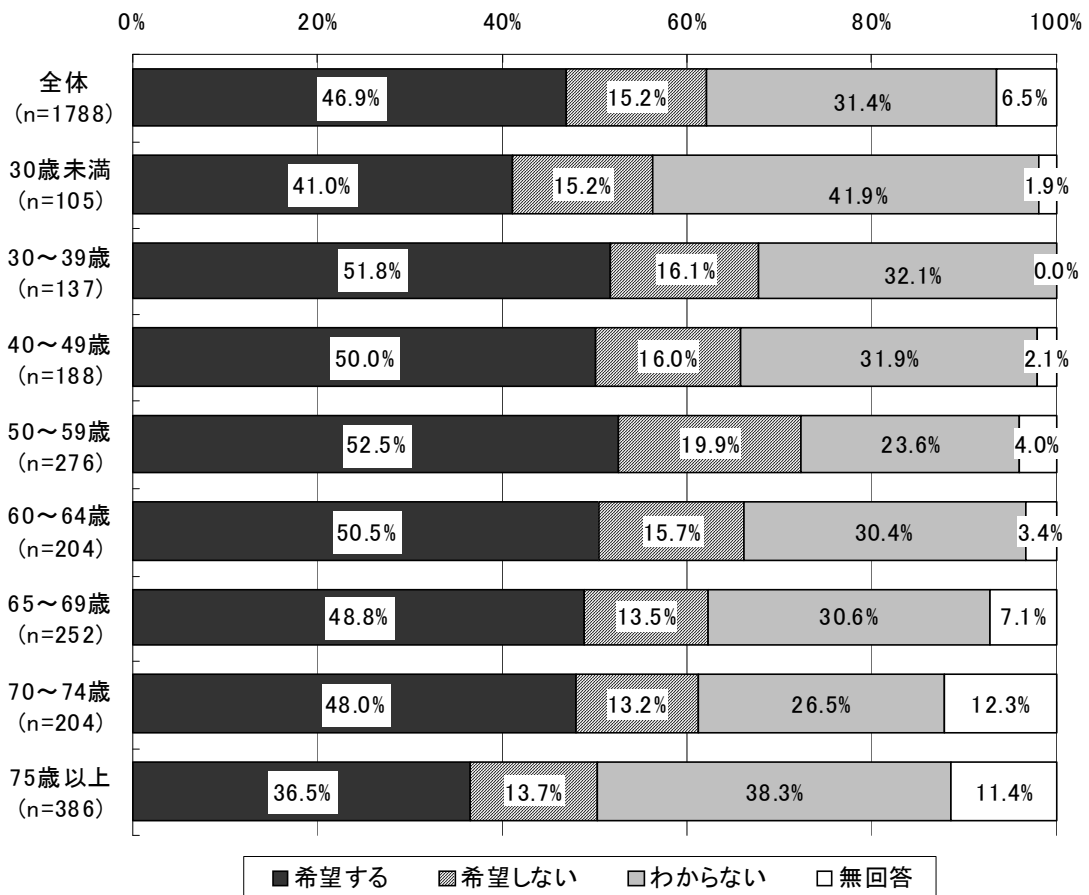


7)「ジェネリック医薬品軽減額通知」の受取り希望

図表 182 「ジェネリック医薬品軽減額通知」の受取り希望（男女別）



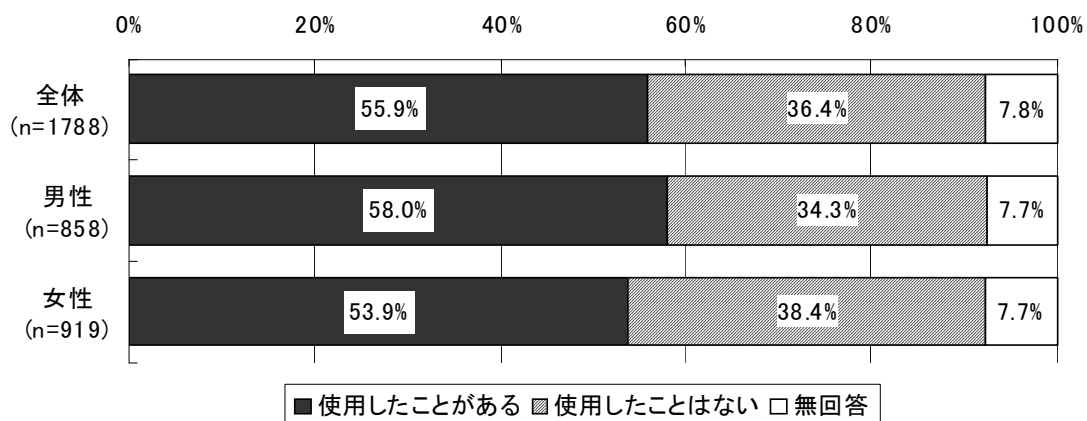
図表 183 「ジェネリック医薬品軽減額通知」の受取り希望（年齢階級別）



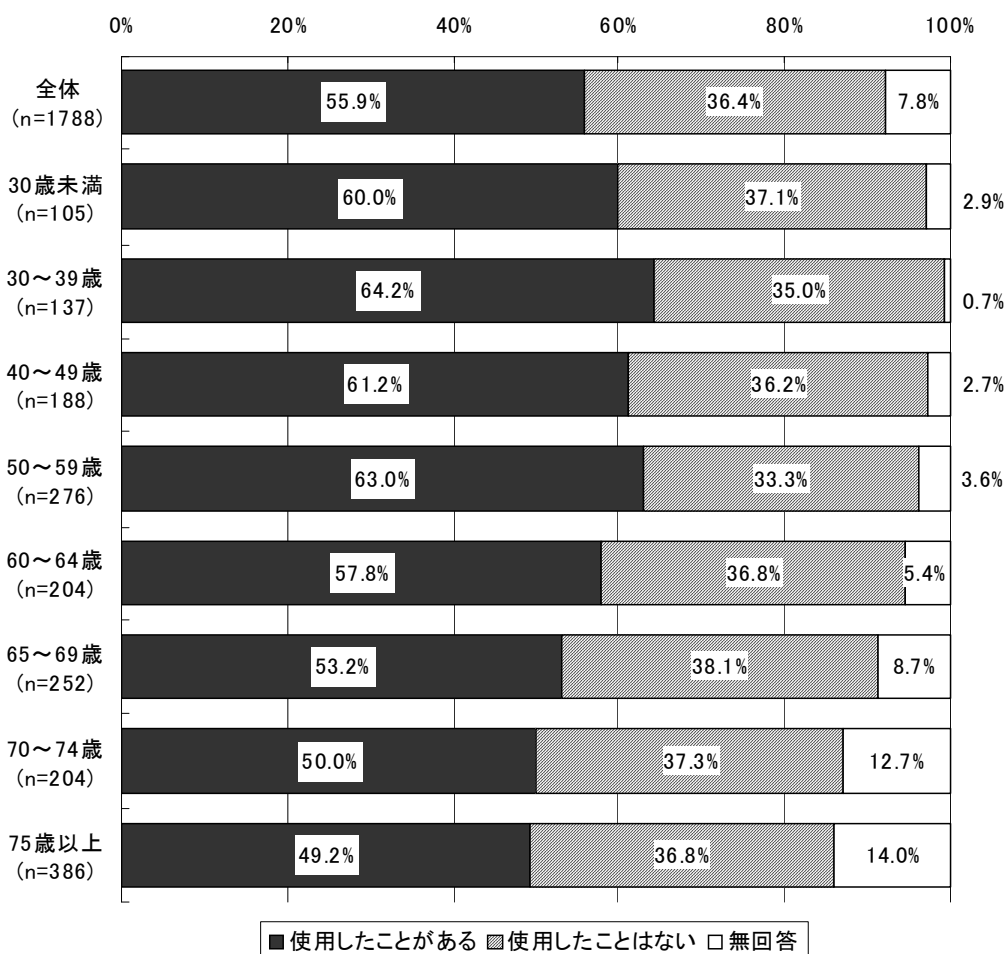
後発医薬品の使用経験等

1) 後発医薬品の使用経験の有無

図表 184 後発医薬品の使用経験の有無（男女別）

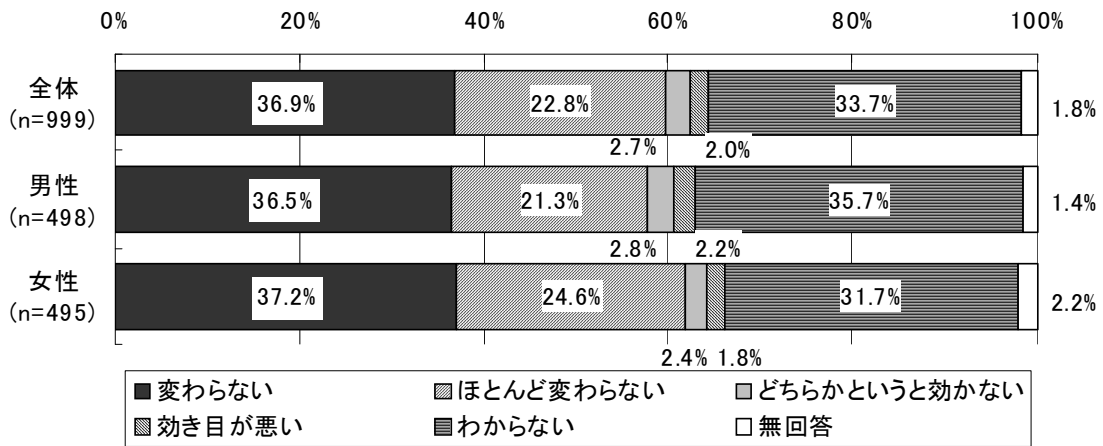


図表 185 後発医薬品の使用経験の有無（年齢階級別）

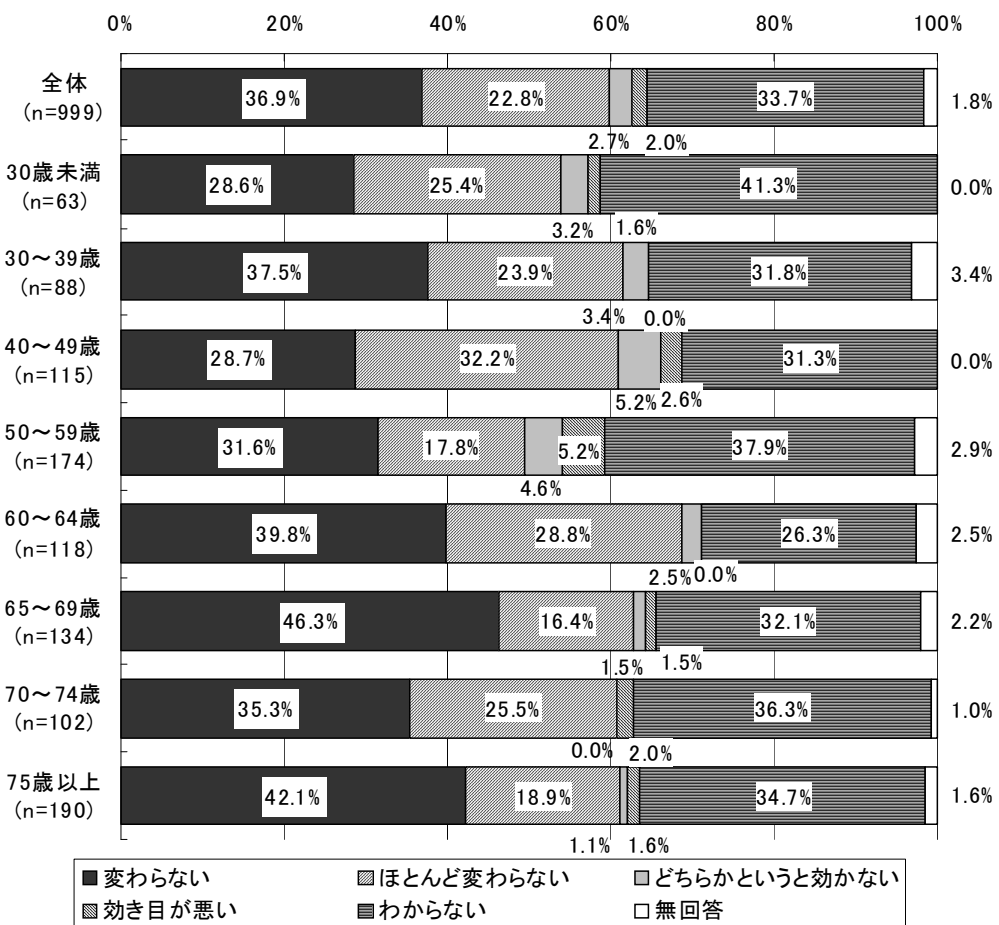


2) 先発医薬品と比較した後発医薬品の効果

図表 186 先発医薬品と比較した後発医薬品の効果
(後発医薬品を使用した経験のある人、男女別)

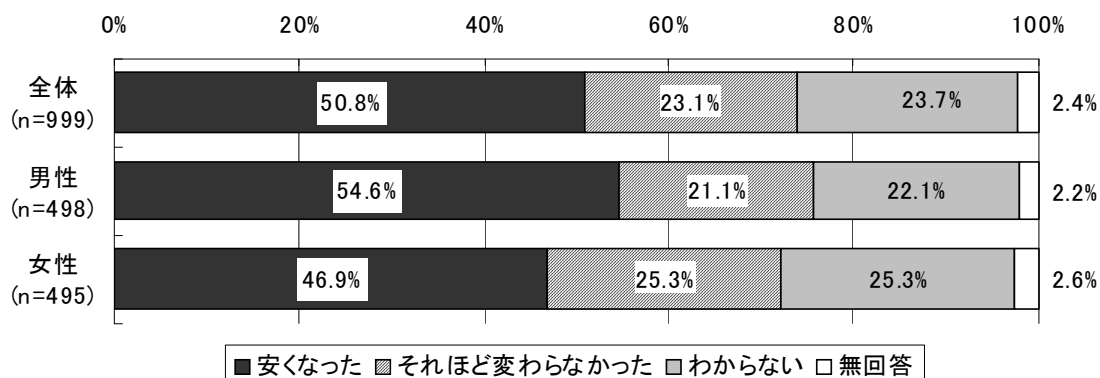


図表 187 先発医薬品と比較した後発医薬品の効果
(後発医薬品を使用した経験のある人、年齢階級別)

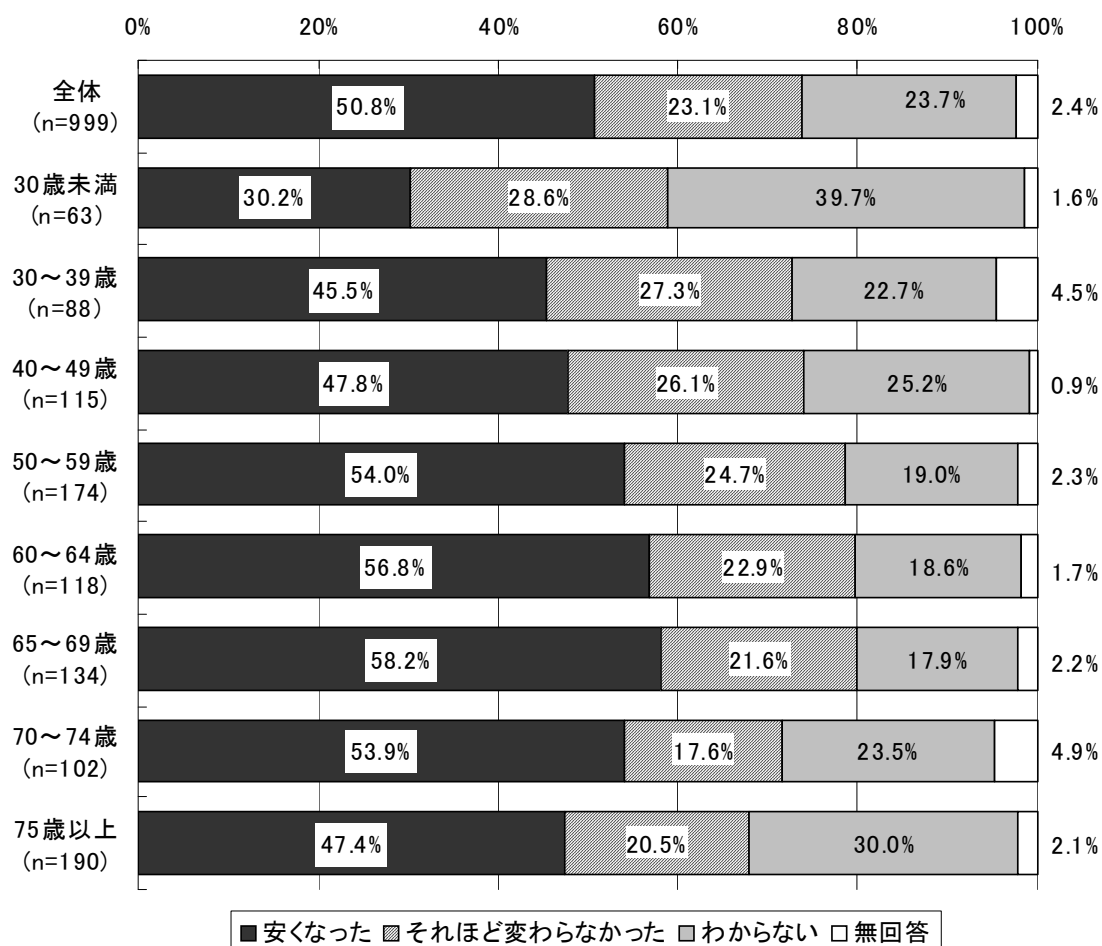


3) 窓口での薬代の負担感

図表 188 窓口での薬代の負担感（後発医薬品の使用経験のある人、男女別）



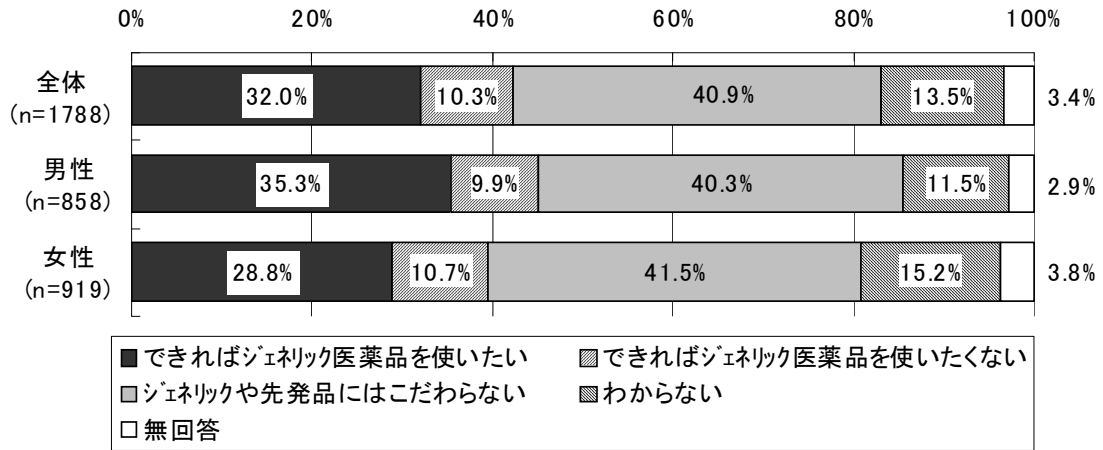
図表 189 窓口での薬代の負担感（後発医薬品の使用経験のある人、年齢階級別）



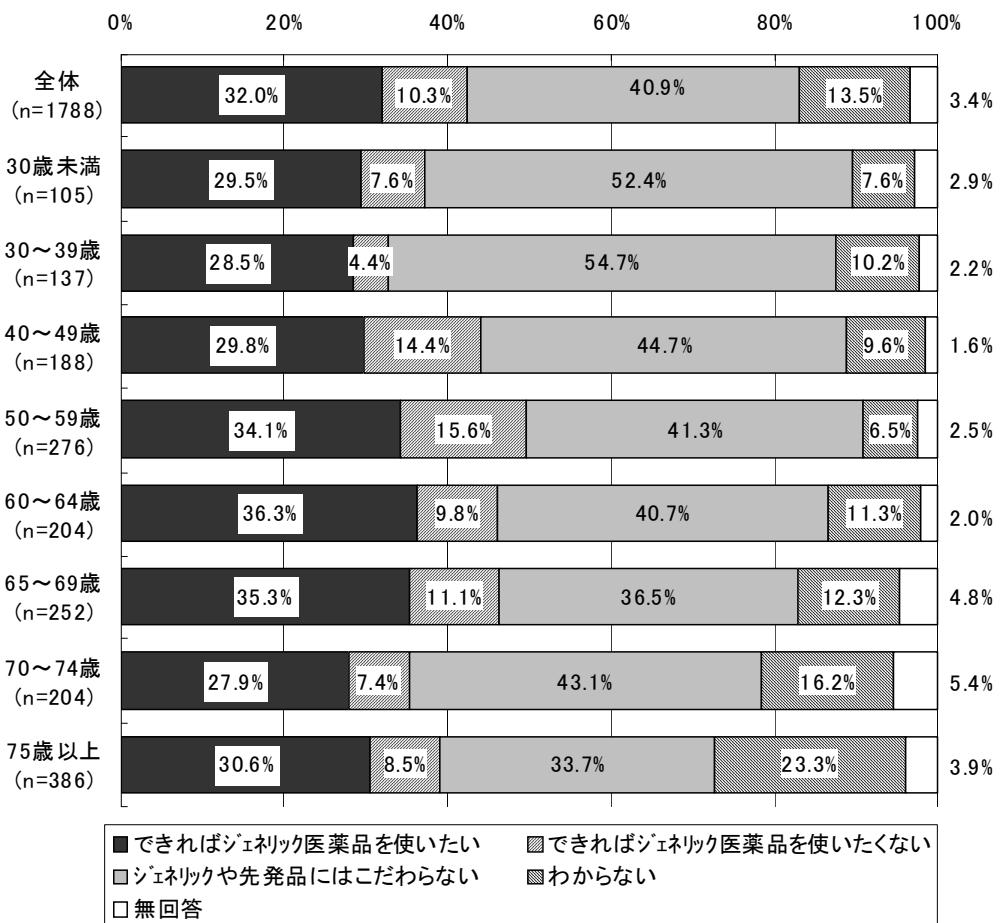
後発医薬品の使用に関する考え等

1) 後発医薬品の使用に関する考え等

図表 190 後発医薬品の使用に関する考え等（男女別）

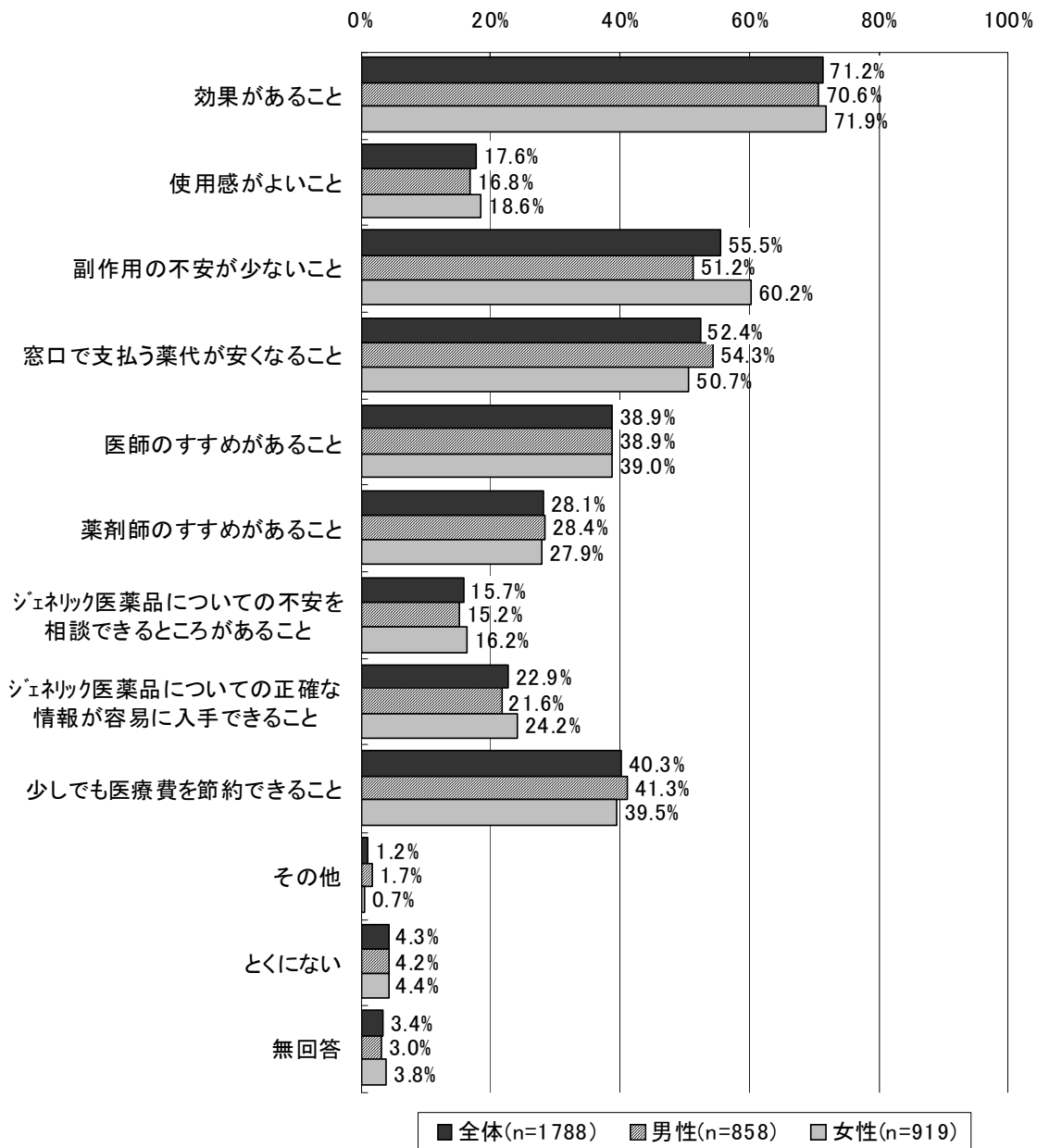


図表 191 後発医薬品の使用に関する考え等（年齢階級別）



2) 後発医薬品を使用するにあたって重要なこと

図表 192 後発医薬品を使用するにあたって重要なこと（男女別、複数回答）

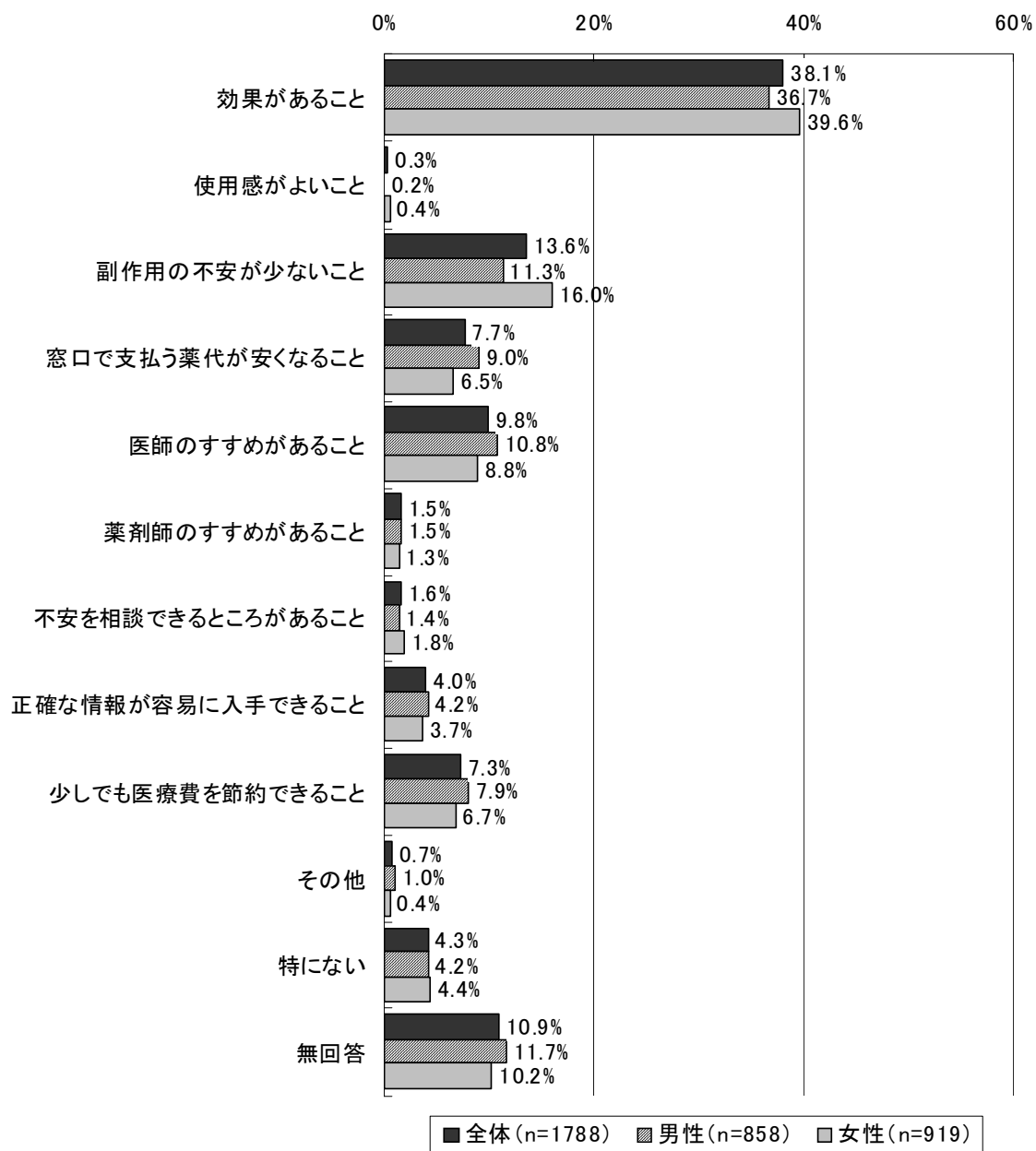


図表 193 後発医薬品を使用するにあたって重要なこと（年齢階級別、複数回答）

（上段：人、下段％）

	総数	効果があること	使用感がよいこと	副作用の不安が少ないこと	窓口で支払う薬代が安くなること	医師のすすめがあること	薬剤師のすすめがあること	ジェネリック医薬品についての不安を相談できることがあること	ジェネリック医薬品についての正確な情報が容易に入手できること	少しでも医療費を節約できること	その他	とくにない	無回答
全体	1,788 100.0	1,273 71.2	315 17.6	993 55.5	937 52.4	695 38.9	502 28.1	280 15.7	409 22.9	721 40.3	21 1.2	76 4.3	61 3.4
30歳未満	105 100.0	85 81.0	22 21.0	58 55.2	64 61.0	38 36.2	27 25.7	9 8.6	24 22.9	37 35.2	3 2.9	4 3.8	1 1.0
30～39歳	137 100.0	113 82.5	37 27.0	84 61.3	90 65.7	54 39.4	43 31.4	22 16.1	29 21.2	63 46.0	2 1.5	2 1.5	2 1.5
40～49歳	188 100.0	153 81.4	51 27.1	121 64.4	119 63.3	75 39.9	51 27.1	37 19.7	55 29.3	65 34.6	3 1.6	6 3.2	2 1.1
50～59歳	276 100.0	215 77.9	51 18.5	176 63.8	146 52.9	95 34.4	69 25.0	37 13.4	73 26.4	104 37.7	1 0.4	7 2.5	8 2.9
60～64歳	204 100.0	142 69.6	23 11.3	121 59.3	119 58.3	77 37.7	65 31.9	33 16.2	49 24.0	92 45.1	4 2.0	8 3.9	5 2.5
65～69歳	252 100.0	168 66.7	39 15.5	132 52.4	137 54.4	99 39.3	64 25.4	37 14.7	55 21.8	127 50.4	3 1.2	13 5.2	10 4.0
70～74歳	204 100.0	132 64.7	30 14.7	102 50.0	91 44.6	82 40.2	58 28.4	37 18.1	47 23.0	86 42.2	1 0.5	11 5.4	10 4.9
75歳以上	386 100.0	246 63.7	60 15.5	188 48.7	155 40.2	165 42.7	115 29.8	62 16.1	73 18.9	133 34.5	2 0.5	24 6.2	20 5.2

図表 194 後発医薬品を使用するにあたって最も重要なこと（男女別、単数回答）



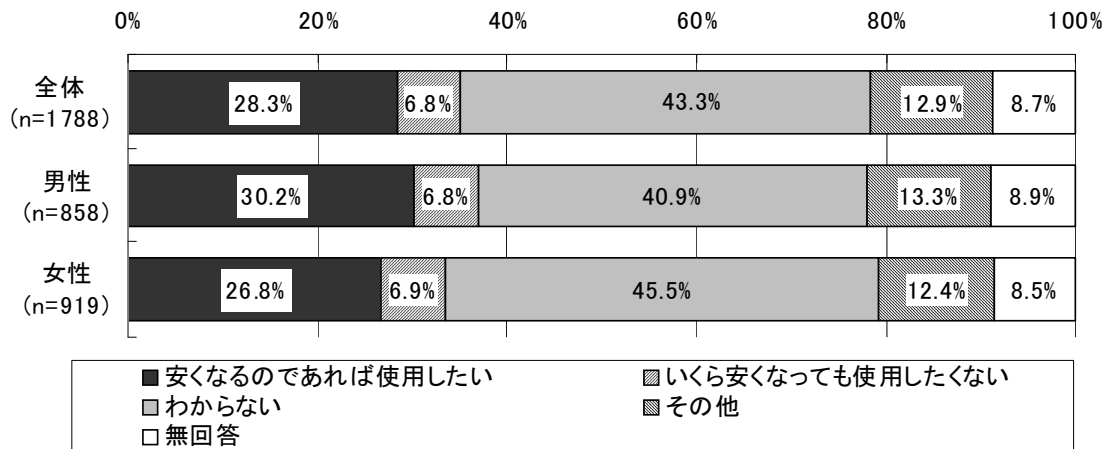
図表 195 後発医薬品を使用するにあたって最も重要なこと（年齢階級別、単数回答）

（上段：人、下段％）

	総数	効果があること	使用感がよいこと	副作用の不安が少ないこと	窓口で支払う薬代が安くなること	医師のすすめがあること	薬剤師のすすめがあること	ジェネリック医薬品についての不安を相談できる場所があること	ジェネリック医薬品についての正確な情報が容易に入手できること	少しでも医療費を節約できること	その他	とくにない	無回答
全体	1,788 100.0	682 38.1	6 0.3	244 13.6	138 7.7	176 9.8	27 1.5	29 1.6	71 4.0	131 7.3	13 0.7	76 4.3	195 10.9
30歳未満	105 100.0	46 43.8	1 1.0	16 15.2	9 8.6	11 10.5	0 0.0	2 1.9	3 2.9	4 3.8	3 2.9	4 3.8	6 5.7
30～39歳	137 100.0	65 47.4	0 0.0	21 15.3	19 13.9	11 8.0	2 1.5	2 1.5	1 0.7	6 4.4	1 0.7	2 1.5	7 5.1
40～49歳	188 100.0	84 44.7	2 1.1	32 17.0	18 9.6	17 9.0	0 0.0	2 1.1	6 3.2	10 5.3	3 1.6	6 3.2	8 4.3
50～59歳	276 100.0	122 44.2	1 0.4	31 11.2	22 8.0	16 5.8	6 2.2	7 2.5	18 6.5	19 6.9	1 0.4	7 2.5	26 9.4
60～64歳	204 100.0	74 36.3	0 0.0	35 17.2	16 7.8	17 8.3	8 3.9	1 0.5	8 3.9	17 8.3	0 0.0	8 3.9	20 9.8
65～69歳	252 100.0	76 30.2	0 0.0	39 15.5	19 7.5	28 11.1	2 0.8	2 0.8	11 4.4	30 11.9	3 1.2	13 5.2	29 11.5
70～74歳	204 100.0	70 34.3	0 0.0	28 13.7	12 5.9	22 10.8	1 0.5	6 2.9	10 4.9	18 8.8	0 0.0	11 5.4	26 12.7
75歳以上	386 100.0	132 34.2	2 0.5	40 10.4	21 5.4	52 13.5	6 1.6	7 1.8	13 3.4	24 6.2	1 0.3	24 6.2	64 16.6

3) 後発医薬品の使用意向

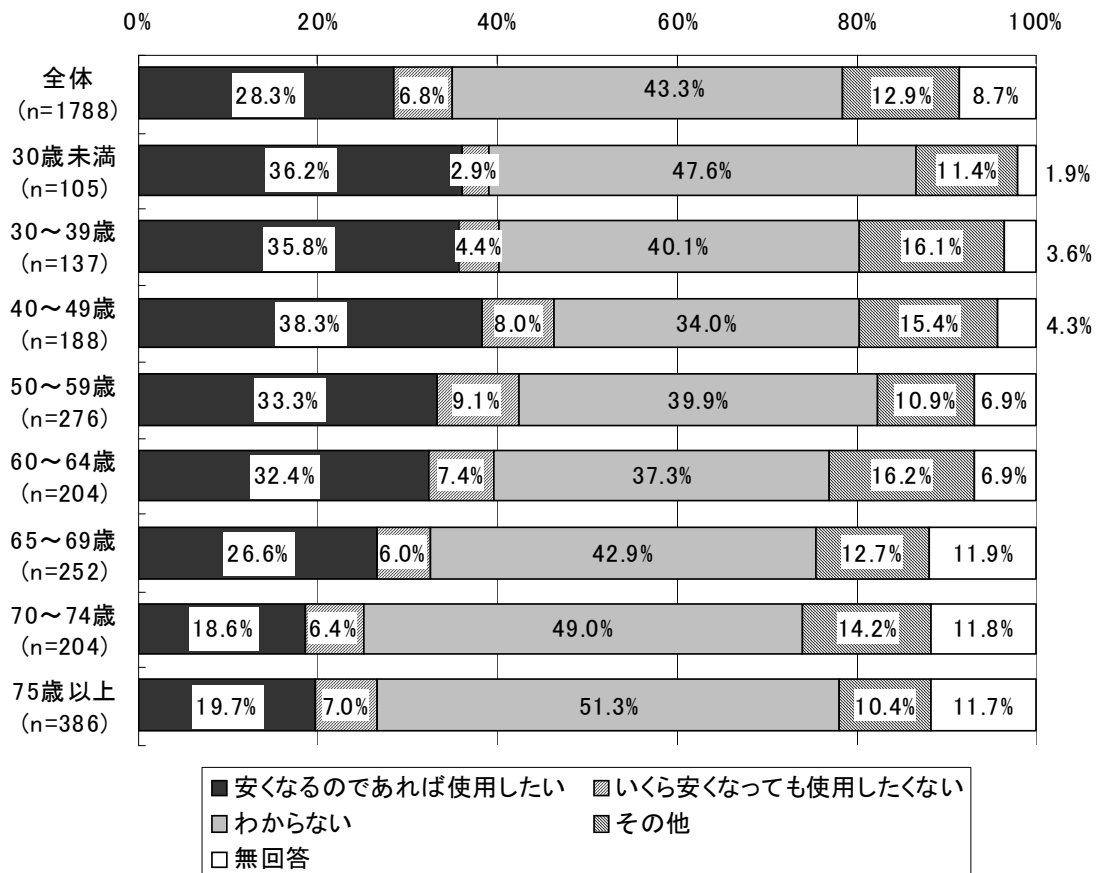
図表 196 後発医薬品の使用意向（男女別）



(注)・「安くなるのであれば使用したい」は、調査票では選択肢「()円くらい安くなれるのであれば使用したい」。

・「その他」の内容として「少しでも安くなるのであれば使用したい」「2割くらい安くなるのであれば使用したい」「半額くらいになるのであれば使用したい」といった回答があげられた。

図表 197 後発医薬品の使用意向（年齢階級別）



図表 198 後発医薬品を使用したいと思う軽減額
 (「安くなるのであれば使用したい」と回答した人、男女別)

(単位：円)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
全体	482	902.5	1042.5	500.0
男性	247	1012.6	1256.9	500.0
女性	234	788.0	740.8	500.0

(注) 金額の記入があったものを集計対象とした。

図表 199 後発医薬品を使用したいと思う軽減額
 (「安くなるのであれば使用したい」と回答した人、年齢階級別)

(単位：円)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
全体	482	902.5	1042.5	500.0
30歳未満	36	553.3	536.4	500.0
30～39歳	48	750.0	825.3	500.0
40～49歳	69	856.1	1287.0	500.0
50～59歳	91	914.8	829.1	500.0
60～64歳	65	1040.8	879.9	1000.0
65～69歳	66	1225.0	1535.2	1000.0
70～74歳	33	851.8	1036.6	500.0
75歳以上	66	845.5	905.4	500.0

(注) 金額の記入があったものを集計対象とした。

平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査
(平成22年度調査)
調査票

後発医薬品の使用状況調査

- ・ 薬局調査票(様式1) 1頁
- ・ 薬局調査票(様式2) 9頁
- ・ 病院調査票 10頁
- ・ 医師調査票 16頁
- ・ 診療所調査票 21頁
- ・ 患者調査票 30頁

厚生労働省保険局医療課委託事業
平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成22年度調査)
後発医薬品の使用状況調査 調査票

以下のラベルに、電話番号とご回答者のお名前をご記入ください。また、薬局名と薬局の所在地をご確認の上、記載内容に不備等がございましたら、赤書きで修正してください。ご記入頂いた電話番号とお名前は、本調査の照会で使用するためのものであり、それ以外の目的のために使用することはございません。また、適切に保管・管理致しますので、ご記入の程、よろしくお願い申し上げます。

薬局名	
薬局の所在地	
電話番号	()
ご回答者名	()

< ご回答方法 >

- ・ あてはまる番号を (マル) で囲んでください。 「 は1つだけ」という質問については、あてはまる番号を 1つだけ で囲んでください。
- ・ () 内には 具体的な数値、用語等 をご記入ください。
- ・ () 内に数値を記入する設問で、該当なしは「0 (ゼロ)」を、わからない場合は「 - 」 をご記入ください。

1. 貴薬局の状況(平成 22 年 8 月末現在)についてお伺いします。

①組織形態 ※法人の場合は、法人の形態にも○をつけてください	1. 法人 ……▶(1.株式会社 2.有限会社 3.合資会社 4.合名会社 5.その他) 2. 個人			
②職員数(常勤換算) ※小数点以下第1位まで	薬剤師	(.)人	その他(事務職員等)	(.)人
常勤換算については、以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第1位までお答えください。 1週間に数回勤務の場合 : (非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (貴薬局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間) 1か月に数回勤務の場合 : (非常勤職員の1か月の勤務時間) ÷ (貴薬局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)				
③調剤基本料 ※○は1つだけ	1. 調剤基本料 (40点)		2. 調剤基本料 (24点)	
④基準調剤加算 ※○は1つだけ	1. 基準調剤加算1 (10点)		2. 基準調剤加算2 (30点)	
⑤後発医薬品調剤体制加算 ※○は1つだけ	3. 算定していない			
⑥貴薬局の処方せんの応需状況として、最も近いものは次のうち、どれですか。 ※○は1つだけ	1. 後発医薬品調剤体制加算1 (6点) 2. 後発医薬品調剤体制加算2 (13点) 3. 後発医薬品調剤体制加算3 (17点) 4. 算定していない			
	1. 主に近隣にある特定の病院の処方せんを応需している薬局 2. 主に近隣にある特定の診療所の処方せんを応需している薬局 3. 主に同じ医療モール内の保険医療機関の処方せんを応需している薬局 4. 様々な保険医療機関からの処方せんを応需している薬局 5. その他(具体的に)			

⑦後発医薬品調剤率(平成 21 年および平成 22 年の 1 月から 8 月までの各月について) ※小数点以下第 1 位まで							
1)平成 21 年:処方せんベース:1 か月間の後発医薬品の調剤件数÷1 か月間の全調剤件数×100							
1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%
2)平成 22 年:処方せんベース:1 か月間の後発医薬品の調剤件数÷1 か月間の全調剤件数×100							
1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%
3)平成 22 年:数量ベース:1 か月間に調剤した後発医薬品について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量÷1 か月間に調剤した全調剤について薬価基準上の規格単位ごとに数えた数量×100							
1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%	(.)%

2. 貴薬局の処方せん受付状況(平成 22 年 8 月 1 日~8 月 31 日の 1 か月間)についてお伺いします。

①上記期間中に受け付けた処方せんの発行医療機関数、また処方せん枚数を()内にご記入ください。					
医療機関種別	1)処方せん発行医療機関数	2) 1)のうち、「変更不可」欄に処方医の署名等が 9 割以上ある機関数	3) 2)のうち、主として先発医薬品を銘柄指定している機関数	4) 2)のうち、主として後発医薬品を銘柄指定している機関数	5)処方せん枚数の合計
病院	()施設	()施設	()施設	()施設	()枚
一般診療所	()施設	()施設	()施設	()施設	()枚
歯科診療所	()施設	()施設	()施設	()施設	()枚
合計	()施設	()施設	()施設	()施設	()枚
② 上記①の医療機関のうち、上記期間中で最も取り扱い処方せん枚数の多い医療機関に係る処方せん枚数					()枚
③ 上記期間中の営業日数は何日ですか(半日の開局は、0.5 日として計算してください)。 ※小数点以下第 1 位まで					()日

3. 貴薬局の取り扱い処方せん枚数についてお伺いします。

平成 22 年 9 月 27 日(月)～10 月 3 日(日)の取り扱い処方せん枚数について、()内に枚数をご記入ください。	
① すべての取り扱い処方せん ※②と⑬の合計数になります。ご確認ください。	() 枚 ←
② ①のうち、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」欄に <u>処方医の署名等がない</u> 処方せん	() 枚 ←
③ ②のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	() 枚
④ ③のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん	() 枚
⑤ ④のうち、後発医薬品情報提供料(10点)を算定した処方せん	() 枚
⑥ ④のうち、後発医薬品分割調剤加算(5点)を算定した処方せん	() 枚
⑦ ③のうち、1品目でも、後発医薬品を他の銘柄の後発医薬品に変更した処方せん	() 枚
⑧ ③のうち、1品目でも、含量違いの後発医薬品に変更した処方せん	() 枚
⑨ ③のうち、1品目でも、類似した別剤形の後発医薬品に変更した処方せん	() 枚
⑩ ②のうち、いずれの先発医薬品にも後発医薬品が薬価収載されておらず、後発医薬品に変更できなかった処方せん	() 枚
⑪ ②のうち、 <u>患者が希望しなかったため、1品目も後発医薬品に変更できなかった</u> 処方せん(過去に確認済みの場合を含む)	() 枚
⑫ ②のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった処方せん(クリーム、ローション、軟膏はそれぞれ別剤形となります)	() 枚
⑬ ①のうち、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」欄に <u>処方医の署名等がある</u> 処方せん	() 枚 ←
⑭ ⑬のうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん	() 枚

+
= となりますのでご確認ください

4. 後発医薬品への対応状況についてお伺いします。(平成 22 年 4 月以降)

(1) 後発医薬品の調剤に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 ※○は1つだけ

1. 後発医薬品を積極的に患者に説明して、調剤するように取り組んでいる
2. 薬効によっては後発医薬品を患者に説明して、調剤するように取り組んでいる
3. 後発医薬品の説明・調剤にはあまり積極的には取り組んでいない
4. その他 (具体的に)

→ 4-(1)-1 どのような理由によるものでしょうか。
※あてはまる番号すべてに○

1. 後発医薬品の品質に疑問がある
2. 後発医薬品の効果に疑問がある
3. 後発医薬品の副作用に不安がある
4. 後発医薬品の安定供給体制に不備がある
5. 後発医薬品の情報提供体制に不備がある
6. 後発医薬品に関する患者への普及啓発が不足している
7. 近隣の医療機関が後発医薬品の使用に消極的
8. 後発医薬品の説明に時間がかかる
9. 後発医薬品の使用増に伴う薬剤料の減少に不安がある
10. 後発医薬品の備蓄増に伴う不働在庫の拡大等、在庫管理の負担が大きい
11. 後発医薬品への変更希望を確認する前に、薬を取り揃えてしまっている
12. その他 (具体的に)

【選択肢 1～5 を選ばれた方】

→ 4-(1)-1-1 根拠となった経験の内容や時期、問題点を具体的にお書きください。

【選択肢 10 を選ばれた方】

→ 4-(1)-1-2 経験や問題点を具体的にお書きください。

↓

【4-(1)-1 にお答えいただいたすべての方にお伺いします】

→ 4-(1)-2 上記の選択肢 1～12 のうち、最もあてはまる番号を 1つだけ お書きください。

(2) 後発医薬品への変更が可能な処方せんで、かつ、変更可能な先発医薬品が処方された患者のうち、後発医薬品についての説明※1を行った患者は、平成 22 年 4 月以降、現在までにどの程度いましたか。

※1 「後発医薬品についての説明」とは、後発医薬品と先発医薬品とが同等であること(例えば、品質、安定性、生物学的同等性試験結果など)の説明に加え、患者の処方せんにおける変更前の薬剤料と変更後の薬剤料の差額等についての説明などを指します。

約 () 割

(3) 上記(2)で、後発医薬品についての説明※1を行わなかった患者がいた場合、その理由は何ですか。
※あてはまる番号すべてに○

1. 簡潔な説明で十分だと思ったから
2. 今回は2回目以降の調剤であり、初回の受付時に十分な説明を行ったから
3. 待っている患者が多く、説明する時間的余裕がなかったから
4. 説明をしようとしたが、患者が急いでおり、説明不要と言われたから
5. 患者が後発医薬品について十分理解していたから
6. 調剤室での薬の取り揃えの前に後発医薬品について説明する業務手順になっていないから
7. システム上、薬剤料の差額がすぐに計算できないので、患者の質問にその場で答えることができないから
8. 後発医薬品の備蓄品目数が少ないから
9. その他 (具体的に)

(3)-1 上記(3)の選択肢1~9のうち、最もあてはまる番号を <u>1つだけ</u> お書きください。							
(4) 上記(2)の後発医薬品についての説明※1を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者は、どの程度いましたか。		約()割					
(5) <u>患者が後発医薬品の使用を希望しなかった理由として、最も多いものは、次のうちのどれですか。</u> ※〇は1つだけ							
0. 希望しなかった患者はいなかった 1. これまでに使っていた薬(ラベルの色や剤形など)を変えることに抵抗があったから 2. 薬剤料等(患者自己負担額)の差額が小さいから 3. 公費負担の患者であるため、経済的インセンティブがないから 4. 過去に後発医薬品を使用したか、体調不良となった経験があるから 5. 後発医薬品に対する不安があるから 6. 具体的な理由は不明(患者が理由を言わなかった) 7. その他(具体的に)							
(6) 後発医薬品へ変更したが、その後、患者の希望により後発医薬品から先発医薬品に戻した患者は、平成22年4月以降、現在までにどの程度いましたか。		約()割					
(7) 上記(6)で、 <u>後発医薬品から先発医薬品に戻した理由として、最も多いものは、次のうちのどれですか。</u> ※〇は1つだけ							
1. 使用した後発医薬品の効果に疑問があったため 2. 使用した後発医薬品により体調不良となったため 3. 使用した後発医薬品の使用感が合わなかったため 4. 後発医薬品に対する不安が消えなかったため 5. 具体的な理由は不明(患者が理由を言わなかった) 6. その他(具体的に)							
(8) 後発医薬品への変更を希望したが、後発医薬品に変更できなかった患者は、平成22年4月以降、現在までにどの程度いましたか。		約()割					
(9) 上記(8)のうち、後発医薬品の備蓄がなかったため直ちに切り揃えることができなかった患者に対して、主にどのような対応をしましたか。 ※最も多いケース1つに〇							
0. そのようなケースはなかった 1. 直ちに切り揃えることができないことを患者に説明し、後発医薬品への変更は行わなかった 2. 直ちに手配し、後から患者宅等に届けた 3. 直ちに手配し、再度来局してもらった 4. その他(具体的に)							
(10) 医薬品の備蓄状況・廃棄額等	①備蓄品目		1)全品目	平成21年8月または把握可能な21年度の1か月分	約()品目	平成22年8月または把握可能な直近1か月分	約()品目
			2)うち後発医薬品		約()品目		約()品目
	②在庫金額		1)全品目		約()円		約()円
			2)うち後発医薬品		約()円		約()円
	③医薬品廃棄額		1)全品目		約()円		約()円
			2)うち後発医薬品		約()円		約()円

	④上記①-1)のうち、複数銘柄の後発医薬品を備えている先発医薬品の備蓄品目数 ※平成 22 年 8 月	約 () 品目 例) (先発医薬品 10mg ┌ 後発医薬品 A 10mg 先発医薬品 20mg ┌ 後発医薬品 B 10mg └ 後発医薬品 A 20mg └ 後発医薬品 B 20mg) 複数銘柄の後発医薬品を備えている先発医薬品が 2 品目なので、「2 品目」と数えます。
	⑤上記質問(9)のようなケースがないようにするためには、合計でどの程度の後発医薬品の品目数の備蓄が必要だと思いますか。	約 () 品目
(11) 含量違いまたは類似した別剤形の後発医薬品への変更調剤を行えるようになりましたが、この影響としてあてはまるものに○をつけてください。 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 後発医薬品の調剤量が増えた 2. 在庫がないため、後発医薬品に変更できないというケースが減った 3. 医薬品の廃棄額(品目)が減った 4. 信頼できる後発医薬品を調剤できるようになった 5. 含量違いまたは類似した別剤形の後発医薬品への変更調剤を行ったことはない		
(11) - 1 含量違いまたは類似した別剤形の後発医薬品への変更調剤を行ったことがない理由は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 処方銘柄の先発・後発医薬品の在庫があり、変更調剤の必要性がないため 2. どのように患者に説明するかなどといった薬局内での変更調剤の手順が整備されていないため 3. 患者に説明しても理解を得られないため 4. 後発医薬品へ変更調剤することに医師の理解が得られないため 5. その他(具体的に)		
(12) 貴薬局における後発医薬品の採用基準は何ですか。 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 後発医薬品メーカーが品質について情報開示をしていること 2. MRからの情報提供が頻繁にあること 3. 他の後発医薬品よりも薬価が安価であること 4. 大病院で採用されていること 5. 近隣の保険医療機関(病院・診療所)で採用されている処方銘柄であること 6. 迅速かつ安定的に製造販売業者や卸業者から入手できること 7. 患者からの評価がよいこと 8. 調剤がしやすい(例;容易に半割ができる、一包化調剤がしやすい)こと 9. 後発医薬品メーカー本社の問い合わせ窓口における対応が充実していること 10. 信頼できるメーカーの後発医薬品であること 11. 古くから販売されている後発医薬品であること 12. その他(具体的に)		

(13) 処方せん受付時に、患者に対して、「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」の両方を行っていますか。 ※○は1つだけ

1. はい

2. いいえ → (13)-1 説明や確認を行っているのはいつですか。 ※○は1つだけ

- | | |
|--|---|
| <p>1. 「後発医薬品についての説明」及び「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」のいずれについても、調剤室での薬の取り揃えの後に行っている</p> <p>2. 「後発医薬品についての説明」は、調剤室での薬の取り揃えの前に行っている</p> <p>3. 「薬剤服用歴を踏まえた服薬状況・副作用発現状況等の確認」は、調剤室での薬の取り揃えの前に行っている</p> <p>4. その他（具体的に</p> |) |
|--|---|

(14) 変更調剤の際、先発医薬品と後発医薬品の効能の違いがある場合はどのような対応をしていますか。 ※○は1つ

1. すべて疑義照会している

2. 必要に応じて疑義照会している

3. 後発医薬品へ変更しない

4. 処方せんに変更不可の指示がない限り、変更可として取り扱っている

5. その他（具体的に

)

(15) 後発医薬品への変更が可能な処方せんを受け付けたが、変更しなかった場合について、今後、どのような対応が進めば、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めてもよいと思いますか。 ※あてはまる番号すべてに○

1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底
2. 後発医薬品メーカーによる情報提供体制の確保
3. 後発医薬品メーカーによる安定供給体制の確保
4. 後発医薬品に対する患者の理解
5. 後発医薬品に関する説明の手間や後発医薬品の調剤による薬剤料の減などを考慮した調剤報酬上の一層の評価
6. 調剤室での薬の取り揃えの前に患者に後発医薬品について説明する等、薬局における調剤手順の見直し
7. 医学教育、薬学教育の中での取り上げ
8. 特に対応は必要ない
9. その他（具体的に

)

(15)-1 上記(15)の選択肢1～9のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。

5. 「ジェネリック医薬品希望カード」の提示など、患者からの意思表示の状況等についてお伺いします。

(1) 「ジェネリック医薬品希望カード」を知っていますか。 ※○は1つだけ

1. 知っている

2. 知らない → 質問(4)へ

(2) 「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示されたことがありますか。 ※○は1つだけ

1. 提示されたことがある

2. 提示されたことはない → 質問(4)へ

(3) 平成22年4月以降、「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された患者に対して、先発医薬品から後発医薬品に変更調剤を行った割合は、患者ベースでどのくらいですか。

約()割

(4) 被保険者に「ジェネリック医薬品希望カード」が配布されるようになった平成21年4月以降、後発医薬品を希望する患者は増えましたか。 ※○は1つだけ

1. 増えた

2. 変わらない

(5) 貴薬局では、患者が後発医薬品を頼みやすくなるような工夫をされていますか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 薬局内に後発医薬品に関するポスターや案内板等を掲示している 2. 受付窓口に「ジェネリック医薬品希望カード」を用意している 3. 薬局内に後発医薬品の普及啓発に関するリーフレット等を用意し、患者が入手できるようにしている 4. 後発医薬品に関心がある患者のために、専用の相談窓口を設けたり、説明担当の薬剤師を配置している 5. 薬局内で後発医薬品に関するビデオを流している 6. 処方せん受付時に、患者の意向を容易に確認できるような資材を配布している 7. その他（具体的に 8. 特に工夫していない)

6. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題、要望等についてお伺いします。

(1) 貴薬局で、後発医薬品の使用を進める上で医師に望むことはありますか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 患者への積極的な働きかけ 2. 後発医薬品への変更調剤に関する薬剤師への信頼感 3. 後発医薬品に対する理解 4. 疑義照会への誠実な対応 5. 患者が後発医薬品の使用を希望している場合、処方せんに変更不可の署名を行わないこと 6. その他（具体的に 7. 医師に望むことは特にな)

(1)-1 上記(1)の選択肢 1~7のうち、最もあてはまる番号を <u>1つだけ</u> お書きください。	
--	--

(2) 貴薬局で、後発医薬品の使用を進める上で後発医薬品メーカーや卸業者に望むことはありますか。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 患者1人分での量など、分割や少量での販売をしてほしい 2. MRや卸の営業担当者を増やしてほしい 3. 後発医薬品の販売名に一般的名称を使うなど、わかりやすいものにしてほしい 4. DI (Drug Information) 業務（副作用や調剤時に必要な品質に関する個別の照会等）に、迅速かつ適切な対応をしてほしい 5. 安定的に供給できる体制としてほしい 6. その他（具体的に 7. 後発医薬品メーカーや卸業者に望むことは特にな)

(2)-1 上記(2)の選択肢 1~7のうち、最もあてはまる番号を <u>1つだけ</u> お書きください。	
--	--

(3) 上記(1)(2)以外に、後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題、ご要望等がございましたら、お書きください。	
--	--

--

質問は以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

※引き続き、**様式2**のご記入もよろしくお願ひいたします。

厚生労働省保険局医療課委託事業
平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成22年度調査)
後発医薬品の使用状況調査 調査票

平成 22 年 9 月 27 日 (月) から 10 月 3 日 (日) までの 1 週間の状況をご記入ください。

「後発医薬品への変更がすべて不可」欄に処方医の署名等がなく、かつ実際に後発医薬品に変更したすべての処方せん (1 品目でも変更した場合を含む) についてご記入ください。

上記の処方せんについて、1 から番号を振り、「処方せん番号 (NO.)」欄にご記入ください。ただし、必ずしも発行の日付順にする必要はありません。(下記に記載した処方せんの合計枚数が、様式 1 の 3. 「 のうち、1 品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん」の項の枚数と同じであることを確認してください。)

各々の処方せんについては、処方せんに記載された銘柄どおりに調剤した場合の薬剤料を (A) 欄に、また、実際に (後発医薬品へ変更して) 調剤した薬剤料を (B) 欄にご記入ください。薬剤料は処方せん 1 枚ごと、単位は「点」でご記入ください。

各々の処方せんについて、その処方せんを持参した患者の一部負担金の割合を (C) 欄にご記入ください (例 : 組合健保の被保険者 3 割の場合 「 3 」 とご記入ください) 。患者の一部負担金がない場合は「 0 」 とご記入ください。

処方せん番号 (NO.)	記載銘柄により 調剤した場合の 薬剤料 (A)		実際に調剤した 薬剤料 (B)		患者一部 負担金の 割合 (C)	
	点	割	点	割	点	割

処方せん番号 (NO.)	記載銘柄により 調剤した場合の 薬剤料 (A)		実際に調剤した 薬剤料 (B)		患者一部 負担金の 割合 (C)	
	点	割	点	割	点	割

回答用紙が足りない場合には、大変恐縮ですが、本用紙をコピーしてお使いください。

回答用紙	枚中	枚
------	----	---

記入例 (全 3 枚のうち 1 枚目の場合)

回答用紙	3	枚中	1	枚
------	---	----	---	---

厚生労働省保険局医療課委託事業
平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成22年度調査)

後発医薬品の使用状況調査 調査票

以下のラベルに、電話番号とご回答者のお名前をご記入ください。また、施設名と施設の所在地をご確認の上、記載内容に不備等がございましたら、赤書きで修正してください。ご記入頂いた電話番号とお名前は、本調査の照会で使用するものであり、それ以外の目的のために使用することはございません。また、適切に保管・管理致しますので、ご記入の程、よろしくお願い申し上げます。

施設名	
施設の所在地	
電話番号	()
ご回答者名	()

この「病院票」は、病院の開設者・管理者の方に、貴施設における後発医薬品の使用状況やお考えについてお伺いするものです。ご回答の際は、あてはまる番号を（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「-」をご記入ください。特に断りのない場合は、平成22年8月末現在の状況についてご記入ください。

1. 貴施設の状況についてお伺いします。

開設者は1つだけ	1. 国立 2. 公立 3. 公的 4. 社会保険関係団体 5. 医療法人 6. 個人 7. 学校法人 8. その他の法人															
標榜している診療科 あてはまる番号すべてに	1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. 小児科 5. 産婦人科 6. 呼吸器科 7. 消化器科 8. 循環器科 9. 精神科 10. 眼科 11. 耳鼻咽喉科 12. 泌尿器科 13. 皮膚科 14. その他（具体的に)															
病院種別 あてはまる番号すべてに	1. 特定機能病院 2. 地域医療支援病院 3. がん診療連携拠点病院 4. 臨床研修指定病院															
DPC対応は1つだけ	1. DPC対象病院 2. DPC準備病院 3. 対応していない															
オーダリングシステムは1つだけ	1. 後発医薬品名が表示されるオーダリングシステムを導入している 2. オーダリングシステムを導入しているが、後発医薬品名は表示されない 3. オーダリングシステムは導入していない															
院内・院外処方の割合	院内処方 () % + 院外処方 () % = 100% 処方せん枚数ベース															
特定入院料の状況 貴施設で算定しているものすべてに	<table border="1"> <tr> <td>1. 回復期リハビリテーション病棟入院料</td> <td rowspan="7">許可病床数</td> <td>1) 一般病床 () 床</td> </tr> <tr> <td>2. 亜急性期入院医療管理料</td> <td>2) 療養病床 () 床</td> </tr> <tr> <td>3. 救命救急入院料</td> <td>3) 精神病床 () 床</td> </tr> <tr> <td>4. 特定集中治療室管理料</td> <td>4) 結核病床 () 床</td> </tr> <tr> <td>5. 小児入院医療管理料</td> <td>5) 感染症病床 () 床</td> </tr> <tr> <td>6. その他、投薬・注射に係る薬剤料が包括されている特定入院料(精神科救急入院料等)</td> <td>6) 全体 () 床</td> </tr> <tr> <td>7. いずれも算定していない</td> <td></td> </tr> </table>	1. 回復期リハビリテーション病棟入院料	許可病床数	1) 一般病床 () 床	2. 亜急性期入院医療管理料	2) 療養病床 () 床	3. 救命救急入院料	3) 精神病床 () 床	4. 特定集中治療室管理料	4) 結核病床 () 床	5. 小児入院医療管理料	5) 感染症病床 () 床	6. その他、投薬・注射に係る薬剤料が包括されている特定入院料(精神科救急入院料等)	6) 全体 () 床	7. いずれも算定していない	
1. 回復期リハビリテーション病棟入院料	許可病床数	1) 一般病床 () 床														
2. 亜急性期入院医療管理料		2) 療養病床 () 床														
3. 救命救急入院料		3) 精神病床 () 床														
4. 特定集中治療室管理料		4) 結核病床 () 床														
5. 小児入院医療管理料		5) 感染症病床 () 床														
6. その他、投薬・注射に係る薬剤料が包括されている特定入院料(精神科救急入院料等)		6) 全体 () 床														
7. いずれも算定していない																

後発医薬品使用体制加算の状況	1. 算定している 施設基準届出時期：平成 22 年 () 月 算定回数：() 回 平成 22 年 8 月 1 か月間 2. 算定していない		
医師数(常勤換算) 小数点以下第 1 位まで	(.) 人	薬剤師数(常勤換算) 小数点以下第 1 位まで	(.) 人
1 か月間の外来延べ患者数 (平成 22 年 8 月 1 か月間)	() 人		
1 か月間の外来診療実日数 (平成 22 年 8 月 1 か月間)	(.) 日 半日診療の場合は「0.5 日」として計算してください。 小数点以下第 1 位まで		

2. 貴施設における後発医薬品の使用状況等についてお伺いします。

医薬品備蓄品目数	約 () 品目 平成 22 年 8 月末現在
上記 のうち後発医薬品の備蓄品目数	約 () 品目 平成 22 年 8 月末現在
調剤用医薬品費(購入額)	約 () 円 平成 22 年 8 月 1 か月間
上記 のうち後発医薬品費(購入額)	約 () 円 平成 22 年 8 月 1 か月間
調剤用医薬品廃棄額	約 () 円 平成 22 年 8 月 1 か月間
上記 のうち後発医薬品廃棄額	約 () 円 平成 22 年 8 月 1 か月間
後発医薬品の備蓄品目数について今後どのようにお考えですか。 は 1 つだけ	1. 増やす予定 2. 現状維持の予定 3. 減らす予定
後発医薬品の供給体制は、1 年前と比較して、どう思いますか。 は 1 つだけ	1. 改善した 2. 変化はない 3. 悪化した
後発医薬品の採用・選定の際に行ったこと あてはまる番号すべてに	1. 院内に診療部門や薬剤部門などからなる後発医薬品採用のための委員会の設置・開催 2. 後発医薬品採用基準の作成 3. 後発医薬品名が表示されるオーダリングシステムの導入 4. 後発医薬品の価格調査 5. 医師に対する採用予定の後発医薬品の品質などについての説明 6. 薬剤師の増員 7. 地域薬剤師会・近隣薬局等への後発医薬品採用リストの提供 8. その他(具体的に) 9. 特になし
後発医薬品に関する情報の収集源 あてはまる番号すべてに	1. 後発医薬品メーカーの MR などからの情報提供 2. 後発医薬品メーカーや関連団体のホームページ 3. 学会(学会が発行する学術雑誌・ホームページも含む) 4. 学術雑誌等(学会が発行するものを除く) 5. 他医療機関との情報交換 6. 医師会との情報交換 7. 薬剤師会との情報交換 8. その他(具体的に) 9. 特に行っていない

<p>薬剤部門が収集した後発医薬品情報の使い方 は1つだけ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 収集した情報を評価し、その結果を薬事委員会などの検討に反映させている 2. 収集した情報は特に評価せずに薬事委員会に提出している 3. 特に情報収集は行っていない 																		
<p>後発医薬品の採用をする際に重視すること あてはまる番号すべてに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 治療効果の同等性 2. 適応症の同一性 3. 副作用のリスクの小ささ 4. 経営的視点からの影響 5. 医療事故防止（表示、容器、品名、色調、剤形など） 6. 患者負担軽減 7. 安定供給 8. 必要な規格の整備 9. 院外処方の際の保険薬局での対応の可否 10. その他（具体的に) 11. 特になし 質問 へ 																		
<p>上記 で つけたもの（選択肢 1～10）について、1) 1 番目に（最も）重視すること、2) 2 番目以降重視すること等、あてはまる番号をお書きください。</p>	<p>1) 1 番目に（最も）重視すること <input type="text"/></p> <p>2) 2 番目以降重視すること</p> <table border="1" data-bbox="659 902 1484 996"> <thead> <tr> <th>2 番目</th> <th>3 番目</th> <th>4 番目</th> <th>5 番目</th> <th>6 番目</th> <th>7 番目</th> <th>8 番目</th> <th>9 番目</th> <th>10 番目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table>	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目	6 番目	7 番目	8 番目	9 番目	10 番目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2 番目	3 番目	4 番目	5 番目	6 番目	7 番目	8 番目	9 番目	10 番目											
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>											
<p>後発医薬品導入の際に苦労したこと あてはまる番号すべてに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師の理解を得ること 2. 後発医薬品チェックリストの作成 3. 後発医薬品メーカーの選定 4. 切り替える先発医薬品の選定 5. その他（具体的に) 6. 特になし 																		
<p>貴施設で使用している後発医薬品リストを近隣の薬局や地域の薬剤師会等に提供していますか。 は1つだけ 【院内投薬のみの場合はご回答いただく必要ありません】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近隣薬局や地域の薬剤師会に提供している 2. 地域の薬剤師会に提供している 3. 近隣の薬局に提供している 4. 提供していない 5. その他（具体的に) 																		
<p>貴施設では、患者が後発医薬品を頼みやすくなるような工夫をされていますか。 あてはまる番号すべてに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 院内に後発医薬品に関するポスターや案内板等を掲示している 2. 受付窓口に「ジェネリック医薬品希望カード」を用意している 3. 院内に後発医薬品の普及啓発に関するリーフレット等を用意し、患者が入手できるようにしている 4. 後発医薬品に関心がある患者のために、専用の相談窓口を設けたり、説明担当の薬剤師を配置している 5. 院内で後発医薬品に関するビデオを流している 6. 診察時に、患者の意向を容易に確認できるような資材を配布している 7. その他（具体的に) 8. 特に工夫していない 																		

<p>後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むことはありますか。 あてはまる番号すべてに 【院内投薬のみ場合はご回答いただく必要ありません】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤師の後発医薬品に対する理解 2. 患者へのきちんとした説明 3. 先発医薬品と後発医薬品で効能が異なる場合の確認 4. 変更した調剤内容についての医療機関へのフィードバック 5. その他（具体的に _____） 6. 保険薬局や薬剤師に望むことは特にない
<p>上記 の選択肢 1~6 のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>	
<p>後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むことはありますか。 あてはまる番号すべてに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者1人分での販売など、分割や少量での販売をしてほしい 2. MRや卸の営業担当者を増やしてほしい 3. 後発医薬品の販売名に一般的名称を使うなど、わかりやすいものにしてほしい 4. 副作用や調剤時に必要な品質に関する個別の照会に対して、迅速かつ適切に対応してほしい 5. 安定的に供給できる体制としてほしい 6. その他（具体的に _____） 7. メーカーや卸業者に望むことは特にない
<p>上記 の選択肢 1~7 のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>	

3. **外来患者**に対する後発医薬品の使用状況等（平成22年8月末現在または平成22年8月1か月間の状況）についてお伺いします。

<p>院外処方せんを発行している診療科のうち後発医薬品の使用割合が相対的に高い診療科は1つだけ</p>	<table border="0"> <tr> <td>1. 内科</td> <td>2. 外科</td> <td>3. 整形外科</td> </tr> <tr> <td>4. 小児科</td> <td>5. 産婦人科</td> <td>6. 呼吸器科</td> </tr> <tr> <td>7. 消化器科</td> <td>8. 循環器科</td> <td>9. 精神科</td> </tr> <tr> <td>10. 眼科</td> <td>11. 耳鼻咽喉科</td> <td>12. 泌尿器科</td> </tr> <tr> <td>13. 皮膚科</td> <td>14. その他（具体的に _____）</td> <td></td> </tr> </table>	1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 小児科	5. 産婦人科	6. 呼吸器科	7. 消化器科	8. 循環器科	9. 精神科	10. 眼科	11. 耳鼻咽喉科	12. 泌尿器科	13. 皮膚科	14. その他（具体的に _____）	
1. 内科	2. 外科	3. 整形外科														
4. 小児科	5. 産婦人科	6. 呼吸器科														
7. 消化器科	8. 循環器科	9. 精神科														
10. 眼科	11. 耳鼻咽喉科	12. 泌尿器科														
13. 皮膚科	14. その他（具体的に _____）															
<p>院外処方せんを発行している診療科のうち後発医薬品の使用割合が相対的に低い診療科は1つだけ</p>	<table border="0"> <tr> <td>1. 内科</td> <td>2. 外科</td> <td>3. 整形外科</td> </tr> <tr> <td>4. 小児科</td> <td>5. 産婦人科</td> <td>6. 呼吸器科</td> </tr> <tr> <td>7. 消化器科</td> <td>8. 循環器科</td> <td>9. 精神科</td> </tr> <tr> <td>10. 眼科</td> <td>11. 耳鼻咽喉科</td> <td>12. 泌尿器科</td> </tr> <tr> <td>13. 皮膚科</td> <td>14. その他（具体的に _____）</td> <td></td> </tr> </table>	1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 小児科	5. 産婦人科	6. 呼吸器科	7. 消化器科	8. 循環器科	9. 精神科	10. 眼科	11. 耳鼻咽喉科	12. 泌尿器科	13. 皮膚科	14. その他（具体的に _____）	
1. 内科	2. 外科	3. 整形外科														
4. 小児科	5. 産婦人科	6. 呼吸器科														
7. 消化器科	8. 循環器科	9. 精神科														
10. 眼科	11. 耳鼻咽喉科	12. 泌尿器科														
13. 皮膚科	14. その他（具体的に _____）															
<p>外来における院外処方せん発行枚数</p>	<p>（ _____ ）枚 平成22年8月1か月間</p>															
<p>上記 のうち、後発医薬品を銘柄指定した処方せん又は「後発医薬品への変更不可」欄に署名等をしなかった処方せんの割合</p>	<p>約（ _____ ）割</p>															
<p>外来患者に院内投薬する場合、後発医薬品の使用について、施設としてどのように対応していますか。 最も近い番号1つだけに</p>	<table border="0"> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後発医薬品を積極的に使用する 2. 後発医薬品をほとんど使用しない </td> <td rowspan="2"> <p>↓ 具体的に理由をお書きください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> </td> </tr> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> 3. 個々の医師の判断による 4. その他（具体的に _____） </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後発医薬品を積極的に使用する 2. 後発医薬品をほとんど使用しない 	<p>↓ 具体的に理由をお書きください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	<ol style="list-style-type: none"> 3. 個々の医師の判断による 4. その他（具体的に _____） 												
<ol style="list-style-type: none"> 1. 後発医薬品を積極的に使用する 2. 後発医薬品をほとんど使用しない 	<p>↓ 具体的に理由をお書きください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>															
<ol style="list-style-type: none"> 3. 個々の医師の判断による 4. その他（具体的に _____） 																

<p>外来患者に院外処方する場合、後発医薬品の使用について、施設としてどのように対応していますか。 最も近い番号 <u>1</u> つだけに</p>	<p>1. 後発医薬品を積極的に使用*する } 2. 後発医薬品をほとんど使用しない } 具体的に理由をお書きください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; margin: 5px 0;"></div> 3. 個々の医師の判断による 4. その他（具体的に)</p>
--	---

* 後発医薬品の銘柄処方のほか、院外処方せんの「後発医薬品への変更不可」欄に署名等を行わない場合を含みます。

4. **入院患者**に対する後発医薬品の使用状況等（平成 22 年 8 月末現在または平成 22 年 8 月 1 か月間の状況）についてお伺いします。ここでは、造影剤などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬および外用薬の全てを対象とします。

<p>入院患者に対する後発医薬品の使用状況は、いかがでしょうか。 最も近い番号 <u>1</u> つだけに</p>	<p>1. 後発医薬品があるものは積極的に使用 2. 後発医薬品のあるものの一部を使用 3. 後発医薬品をほとんど使用していない 4. その他（具体的に)</p> <p>-1 後発医薬品を選択しなかった理由としてあてはまる番号すべてにつけてください。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1. 患者からの強い要望 2. 後発医薬品に適応がない 3. 後発医薬品の治療効果に疑問 4. 後発医薬品の副作用が心配 5. 後発医薬品の供給体制に不安 6. 作用が強く治療域がせまい医薬品 7. 患者に適した剤形が他にない 8. 処方銘柄を長く使用しており信頼している 9. 病院として使用する医薬品の銘柄を指定している 10. 後発医薬品の使用による薬剤料減など経営上の不安 11. 先発医薬品メーカーに対する遠慮 12. その他（具体的に)</p> </div>
---	--

<p>平成 22 年 4 月以降、入院患者に後発医薬品を使用して問題が生じたことはありますか。 1 つだけ選択し、「ある」場合は、 -1 の質問についてあてはまる番号すべてにつけてください。</p>	<p>1. ない 2. ある } -1 「ある」場合、その内容はどのようなものでしたか。次の中からあてはまる番号すべてにつけてください。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1. 後発医薬品の品質上の問題 2. 後発医薬品の副作用の問題 3. 後発医薬品の効果の問題 4. 後発医薬品の使用感の問題 5. 後発医薬品メーカーの情報提供体制上の問題 6. 後発医薬品の供給体制上の問題 7. その他（具体的に)</p> </div>
---	---

<p>今後、どのような対応が進めば、病院として、入院患者への投薬・注射および外来患者への院内投薬における後発医薬品の使用を進めてもよいと思いますか。</p> <p>あてはまる番号すべてに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底 2. 後発医薬品メーカーによる情報提供体制や安定供給体制の確保 3. 後発医薬品に対する患者の理解 4. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価 5. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価 6. 院内で後発医薬品の情報を独自に収集し、後発医薬品の選定・採用を行える体制の整備 7. 医学教育、薬学教育の中での取り上げ 8. 特に対応は必要ない 9. その他（具体的に）
<p>上記の選択肢1～9のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>	

5. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題等について、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。（例：患者に対する後発医薬品についての説明が業務負担として大きいこと など）

「病院票」の質問はこれで終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

厚生労働省保険局医療課委託事業
 平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成22年度調査)
後発医薬品の使用状況調査 調査票

この「医師票」は、貴施設において、院外処方せんを発行している外来診療を担当する医師の方に、後発医薬品の使用状況やお考えについてお伺いするものです。

ご回答の際は、あてはまる番号を（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「-」をご記入ください。

ご回答頂いた調査票は、専用の返信用封筒(切手不要)にて、直接事務局までご返送いただけますよう、お願い申し上げます。特に断りのない場合は、平成22年8月末現在の状況についてご記入ください。

1. あなたご自身についてお伺いします。

性別	1. 男性	2. 女性	年齢	() 歳
主たる担当診療科 は1つだけ	1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 小児科
	5. 産婦人科	6. 呼吸器科	7. 消化器科	8. 循環器科
	9. 精神科	10. 眼科	11. 耳鼻咽喉科	12. 泌尿器科
	13. 皮膚科	14. その他(具体的に)		
(ご自身の) 1日当たり平均外来診察患者数	() 人程度 ※平成22年8月1か月間			

2. 外来診療における院外処方せん発行時の状況や後発医薬品の処方に関するお考えについてお伺いします。

後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。	は1つだけ
1. 特にこだわりはない ……▶ 質問 へ 2. 後発医薬品を積極的に処方*する ……▶ 質問 へ 3. ケースバイケースで後発医薬品を処方する ……▶ 質問 へ 4. 後発医薬品は基本的には処方しない ……▶ 問 -1の後、質問 へ * 後発医薬品の銘柄処方のほか、「後発医薬品への変更不可」欄に署名等を行わない場合を含みます。	
<上記質問 で「4.」と回答された方にお伺いします> ▶ -1 「後発医薬品は基本的には処方しない」のはどのような理由によるものでしょうか。 あてはまる番号すべてに 。また、「6.後発医薬品の情報提供体制の不備」を選択された場合、必要な情報を()内に記入してください。	
1. 後発医薬品の品質への疑問 2. 後発医薬品の効果への疑問 3. 後発医薬品の副作用への不安 4. 後発医薬品の安定供給体制の不備 5. 後発医薬品に関する患者への普及啓発不足 6. 後発医薬品の情報提供体制の不備 -1-1 どのような情報が必要ですか。 { 例：先発医薬品との同等性に関するデータ、種々の副作用の症例報告 } 7. その他 { 具体的に }	
……▶ 質問 へお進みください	

1年前と比較して、後発医薬品の処方（後発医薬品への変更不可としない処方せんも含みます）は、変化しましたか。 は1つだけ	
1. 多くなった	2. 変わらない
3. 少なくなった	
平成22年4月以降、「後発医薬品への変更不可」欄に署名等をした処方せんを発行したことはありますか。 は1つだけ	
1. ある	
2. ない 質問 へ	
▶ -1 院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄に署名等をした（すべての医薬品について後発医薬品への変更不可とした）処方せん枚数の割合は、どの程度ありますか。	約（ ）割
平成22年4月以降、一部の医薬品についてのみ後発医薬品への「変更不可」と記載した処方せんを発行したことはありますか。 は1つだけ	
1. ある	
2. ない 質問 へ	
▶ -1 院外処方せん枚数全体に占める、一部の医薬品について「変更不可」と記載した処方せん枚数の割合は、どの程度ありますか。	約（ ）割
-2 一部の医薬品について後発医薬品への「変更不可」とするのは、どのようなケースが最も多いですか。最も多いものの番号に をつけてください。 は1つだけ	
1. 先発医薬品から後発医薬品への変更不可とすることが多い	
2. 後発医薬品について他銘柄の後発医薬品への変更不可とすることが多い	
3. 先発医薬品・後発医薬品の区別なく変更不可とすることが多い	
4. その他（具体的に ）	
-3 一部の医薬品について「変更不可」とする理由は何ですか。 あてはまる番号すべてに	
1. 患者からの強い要望があったから	2. 後発医薬品に適応がないから
3. 後発医薬品の品質が不安だから	4. 後発医薬品メーカーの供給体制が不安だから
5. 後発医薬品の情報提供体制が不安だから	6. 後発医薬品の剤形が患者に適していないから
7. 薬局での後発医薬品の備蓄が不安だから	
8. 後発医薬品の治療効果の違いを経験したから	
-3-1 いつ頃、どのような経験をしましたか。具体的にご記入ください。	
〔 〕	
9. 後発医薬品の副作用を経験したから	
-3-2 いつ頃、どのような経験をしましたか。具体的にご記入ください。	
〔 〕	
10. 作用が強く治療域のせまい医薬品だから	
11. 先発医薬品を長く使用し信頼しているから	
12. 病院として使用する医薬品の銘柄を指定されているから	
13. 薬局で実際に調剤された後発医薬品名を診療録に記載するのが面倒だから	
14. 薬局でどのような薬剤に調剤されるか心配だから	
15. 薬剤料が安くないから	
16. 特に理由はない（処方方針として）	
17. その他（具体的に ）	
-4 上記 -3の選択肢1～17のうち、最も多い理由は何ですか。あてはまるものの番号を1つだけお書きください。	

4. 後発医薬品の使用についてお伺いします。

後発医薬品について、薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るためには、どのようなデータ（例えば、人での血中濃度を測定する臨床試験データなど）が必要か、ご存知ですか。 は1つだけ	
1. だいたい知っている 2. 少しは知っている 3. ほとんど知らない	
今後、どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いと思いますか。 あてはまる番号すべてに	
1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底 2. 後発医薬品メーカーによる情報提供体制や安定供給体制の確保 3. 後発医薬品に対する患者の理解 4. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価 5. 院内で後発医薬品の情報を独自に収集し、後発医薬品の選定・採用を行える体制の整備 6. 医学教育、薬学教育の中での取り上げ 7. 特に対応は必要ない 8. その他（具体的に)	
-1 上記 の選択肢1～8のうち、最もあてはまるものの番号を1つだけお書きください。	
後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むことはありますか。 あてはまる番号すべてに	
1. 薬剤師の後発医薬品に対する理解 2. 患者へのきちんとした説明 3. 先発医薬品と後発医薬品で効能が異なる場合の確認 4. 変更した調剤内容についての医療機関へのフィードバック 5. その他（具体的に) 6. 保険薬局や薬剤師に望むことは特にない	
-1 上記 の選択肢1～6のうち、最もあてはまるものの番号を1つだけお書きください。	
後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むことはありますか。 あてはまる番号すべてに	
1. 患者1人分での販売など、分割や少量での販売をしてほしい 2. MRや卸の営業担当者を増やしてほしい 3. 後発医薬品の販売名に一般的名称を使うなど、わかりやすいものにしてほしい 4. 副作用や処方時に必要な品質に関する個別の照会に対して、迅速かつ適切に対応してほしい 5. 安定的に供給できる体制としてほしい 6. その他（具体的に) 7. メーカーや卸業者に望むことは特にない	
-1 上記 の選択肢1～7のうち、最もあてはまるものの番号を1つだけお書きください。	

5. 後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題等について、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。(例：患者に対する後発医薬品についての説明が業務負担として大きいこと など)

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

厚生労働省保険局医療課委託事業
 平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成22年度調査)
後発医薬品の使用状況調査 調査票

この「診療所票」は医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設における後発医薬品の使用状況やお考えについてお伺いするものです。

ご回答の際は、あてはまる番号を (マル) で囲んでください。また、() 内には具体的な数値、用語等をご記入ください。() 内に数値を記入する設問で、該当なしは「0 (ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。

特に断りのない場合は、平成22年8月末現在の状況についてご記入ください。

ご回答者についてご記入ください。

性別	1. 男性	2. 女性	年齢	() 歳
主たる担当診療科 は1つだけ	1. 内科	2. 外科	3. 整形外科	4. 小児科
	5. 産婦人科	6. 呼吸器科	7. 消化器科	8. 循環器科
	9. 精神科	10. 眼科	11. 耳鼻咽喉科	12. 泌尿器科
	13. 皮膚科	14. その他 (具体的に)	

1. 貴施設の状況についてお伺いします。

医療機関名	()
所在地	() 都・道・府・県
開設者	1. 個人 2. 法人 3. その他
種別 は1つだけ	1. 無床診療所 2. 有床診療所 許可病床数 () 床
主たる診療科 は1つだけ	1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. 小児科 5. 産婦人科 6. 呼吸器科 7. 消化器科 8. 循環器科 9. 精神科 10. 眼科 11. 耳鼻咽喉科 12. 泌尿器科 13. 皮膚科 14. その他 (具体的に)
オーダリングシステム は1つだけ	1. 後発医薬品名が表示されるオーダリングシステムを導入している 2. オーダリングシステムを導入しているが、後発医薬品名は表示されない 3. オーダリングシステムは導入していない
院内・院外処方の割合	院内処方 () % + 院外処方 () % = 100% 処方せん枚数ベース
医師数 (常勤のみ)	() 人
薬剤師数 (常勤のみ)	() 人 ゼロの場合は「0」とご記入ください。

2. 貴施設における後発医薬品の使用状況等についてお伺いします。

医薬品備蓄品目数	約 () 品目	平成22年8月末現在
上記のうち後発医薬品の備蓄品目数	約 () 品目	平成22年8月末現在
調剤用医薬品費 (購入額)	約 () 円	平成22年8月1か月間または直近1か月分
上記のうち後発医薬品費 (購入額)	約 () 円	平成22年8月1か月間または直近1か月分

調剤用医薬品廃棄額	約 () 円 平成 22 年 8 月 1 か月間または直近 1 か月分																		
上記 のうち後発医薬品廃棄額	約 () 円 平成 22 年 8 月 1 か月間または直近 1 か月分																		
後発医薬品の備蓄品目数について今後どのようにお考えですか。 は1つだけ	1. 増やす予定 2. 現状維持の予定 3. 減らす予定																		
後発医薬品の供給体制は、1年前と比較して、どう思いますか。 は1つだけ	1. 改善した 2. 変化はない 3. 悪化した																		
後発医薬品の採用・選定の際に行ったことあてはまる番号すべてに	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤部門又は薬剤師が後発医薬品の品質等の情報を収集・評価し、その結果を踏まえ後発医薬品の採用を決定する体制の整備 2. 後発医薬品採用基準の作成 3. 後発医薬品名が表示されるオーダーリングシステムの導入 4. 後発医薬品の価格調査 5. 薬剤師の採用又は増員 6. 地域薬剤師会・近隣薬局等への後発医薬品採用リストの提供 7. その他 (具体的に) 8. 特になし 																		
後発医薬品に関する情報の収集源あてはまる番号すべてに	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後発医薬品メーカーのMRなどからの情報提供 2. 後発医薬品メーカーや関連団体のホームページ 3. 学会 (学会が発行する学術雑誌・ホームページも含む) 4. 学術雑誌等 (学会が発行するものを除く) 5. 他医療機関との情報交換 6. 医師会との情報交換 7. 薬剤師会との情報交換 8. その他 (具体的に) 9. 特に行っていない 																		
後発医薬品の採用をする際に重視することあてはまる番号すべてに	<ol style="list-style-type: none"> 1. 治療効果の同等性 2. 適応症の同一性 3. 副作用のリスクの小ささ 4. 経営的視点からの影響 5. 医療事故防止 (表示、容器、品名、色調、剤形など) 6. 患者負担軽減 7. 安定供給 8. 必要な規格の整備 9. 院外処方の際の保険薬局での対応の可否 10. その他 (具体的に) 11. 特になし 質問 へ 																		
上記 で をつけたもの (選択肢 1~10) について、1) 1 番目に (最も) 重視すること、2) 2 番目以降重視すること等、あてはまる番号をお書きください。	<p>1) 1 番目に (最も) 重視すること <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/></p> <p>2) 2 番目以降重視すること</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">2 番目</th> <th style="width: 10%;">3 番目</th> <th style="width: 10%;">4 番目</th> <th style="width: 10%;">5 番目</th> <th style="width: 10%;">6 番目</th> <th style="width: 10%;">7 番目</th> <th style="width: 10%;">8 番目</th> <th style="width: 10%;">9 番目</th> <th style="width: 10%;">10 番目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目	6 番目	7 番目	8 番目	9 番目	10 番目									
2 番目	3 番目	4 番目	5 番目	6 番目	7 番目	8 番目	9 番目	10 番目											

<p>後発医薬品導入の際に苦労したこと あてはまる番号すべてに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後発医薬品チェックリストの作成 2. 後発医薬品メーカーの選定 3. 切り替える先発医薬品の選定 4. その他（具体的に) 5. 特になし
<p>貴施設で使用している後発医薬品リストを近隣の薬局や地域の薬剤師会等に提供していますか。 は1つだけ 【院内投薬のみの場合はご回答いただく必要ありません】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近隣薬局や地域の薬剤師会に提供している 2. 地域の薬剤師会に提供している 3. 近隣の薬局に提供している 4. 提供していない 5. その他（具体的に)
<p>貴施設では、患者が後発医薬品を頼みやすくなるような工夫をされていますか。 あてはまる番号すべてに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 院内に後発医薬品に関するポスターや案内板等を掲示している 2. 受付窓口に「ジェネリック医薬品希望カード」を用意している 3. 院内に後発医薬品の普及啓発に関するリーフレット等を用意し、患者が入手できるようにしている 4. 後発医薬品に関心がある患者のために、専用の相談窓口を設けたり、説明担当の薬剤師を配置している 5. 院内で後発医薬品に関するビデオを流している 6. 診察時に、患者の意向を容易に確認できるような資材を配布している 7. その他（具体的に) 8. 特に工夫していない
<p>後発医薬品の使用を進める上で保険薬局や薬剤師に望むことはありますか。 あてはまる番号すべてに 【院内投薬のみの場合はご回答いただく必要ありません】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤師の後発医薬品に対する理解 2. 患者へのきちんとした説明 3. 先発医薬品と後発医薬品で効能が異なる場合の確認 4. 変更した調剤内容についての医療機関へのフィードバック 5. その他（具体的に) 6. 保険薬局や薬剤師に望むことは特になし
<p>上記 の選択肢1～6のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>	
<p>後発医薬品の使用を進める上でメーカーや卸業者に望むことはありますか。 あてはまる番号すべてに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者1人分での販売など、分割や少量での販売をしてほしい 2. MRや卸の営業担当を増やしてほしい 3. 後発医薬品の販売名に一般的名称を使うなど、わかりやすいものにしてほしい 4. 副作用や処方時に必要な品質に関する個別の照会に対して、迅速かつ適切に対応してほしい 5. 安定的に供給できる体制としてほしい 6. その他（具体的に) 7. メーカーや卸業者に望むことは特になし
<p>上記 の選択肢1～7のうち、最もあてはまる番号を1つだけお書きください。</p>	

3. 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等（平成 22 年 8 月末現在または平成 22 年 8 月 1 か月間の状況）についてお伺いします。ここでは、造影剤などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬および外用薬の全てを対象とします。（無床診療所の方は、5 ページの 4 . へお進みください。）

<p>入院患者に対する後発医薬品の使用状況は、いかがでしょうか。 最も近いものの番号 1 つだけに</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 後発医薬品があるものは積極的に使用 2. 後発医薬品のあるものの一部を使用 3. 後発医薬品をほとんど使用していない 4. その他（具体的に _____ ） <p>→ -1 後発医薬品を選択しなかった理由としてあてはまる番号すべてに _____ をつけてください。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者からの強い要望 2. 後発医薬品に適応がない 3. 後発医薬品の治療効果に疑問 4. 後発医薬品の副作用が心配 5. 後発医薬品の供給体制に不安 6. 作用が強く治療域がせまい医薬品 7. 患者に適した剤形が他にない 8. 処方銘柄を長く使用しており信頼している 9. 診療所として使用する医薬品の銘柄を指定している 10. 後発医薬品の使用による薬剤料減など経営上の不安 11. 先発医薬品メーカーに対する遠慮 12. その他（具体的に _____ ） </div>
<p>平成 22 年 4 月以降、入院患者に後発医薬品を使用して問題が生じたことはありますか。 1 つだけ選択し、「ある」場合は、-1 の質問についてあてはまる番号すべてに _____ をつけてください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ない 2. ある <p>→ -1 「ある」場合、その内容はどのようなものでしたか。 次の中からあてはまる番号すべてに _____ をつけてください。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後発医薬品の品質上の問題 2. 後発医薬品の副作用の問題 3. 後発医薬品の効果の問題 4. 後発医薬品の使用感の問題 5. 後発医薬品メーカーの情報提供体制上の問題 6. 後発医薬品の供給体制上の問題 7. その他（具体的に _____ ） </div>
<p>今後、どのような対応が進めば、診療所として、入院患者への投薬・注射および外来患者への院内投薬における後発医薬品の使用を進めてもよいと思いますか。 あてはまる番号すべてに _____</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 厚生労働省による、医師や薬剤師に対する後発医薬品の品質保証が十分であることの周知徹底 2. 後発医薬品メーカーによる情報提供体制や安定供給体制の確保 3. 後発医薬品に対する患者の理解 4. 後発医薬品を処方する際の診療報酬上の評価 5. 後発医薬品の使用割合についての診療報酬上の評価 6. 院内で後発医薬品の情報を独自に収集し、後発医薬品の選定・採用を行える体制の整備 7. 医学教育、薬学教育の中での取り上げ 8. 特に対応は必要ない 9. その他（具体的に _____ ）
<p>上記 の選択肢 1 ~ 9 のうち、最もあてはまる番号を 1 つだけお書きください。</p>	

4. 貴施設における院外処方せん発行状況等についてお伺いします。

貴施設では、平成 22 年 4 月以降、院外処方せんを発行していますか。 は1つだけ	1. 発行している 2. 発行していない
--	-------------------------

院外処方せんを発行していない場合は、8 ページの「6. 外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします」の質問 へお進みください。

外来診療の状況についてお伺いします。	
1) 1 か月間の外来診療実日数 (平成 22 年 8 月 1 か月間) 半日診療は「0.5 日」としてください。小数点以下第 1 位まで	(.) 日
2) 1 か月間の外来延べ患者数 (平成 22 年 8 月 1 か月間)	() 人
外来における院外処方せん発行枚数 (平成 22 年 8 月 1 か月間)	() 枚

5. < 院外処方せんを発行している施設の方にお伺いします >

外来診療における処方せん発行時の状況や後発医薬品の処方に関するお考えをお伺いします。

後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 は1つだけ
--

1. 特にこだわりはない▶ 質問 へ
2. 後発医薬品を積極的に処方* する▶ 質問 へ
3. ケースバイケースで後発医薬品を処方する▶ 質問 へ
4. 後発医薬品は基本的には処方しない▶ 質問 -1 の後、質問 へ

* 後発医薬品の銘柄処方のほか、「後発医薬品への変更不可」欄に署名等を行わない場合を含みます。

-1 「後発医薬品は基本的には処方しない」のはどのような理由によるものでしょうか。
 あてはまる番号すべてに 。また、「6. 後発医薬品の情報提供体制の不備」を選択された場合、必要な情報を () 内に記入してください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 後発医薬品の品質への疑問 | 2. 後発医薬品の効果への疑問 |
| 3. 後発医薬品の副作用への不安 | 4. 後発医薬品の安定供給体制の不備 |
| 5. 後発医薬品に関する患者への普及啓発不足 | |
| 6. 後発医薬品の情報提供体制の不備 | |

-1-1 どのような情報が必要ですか。

例：先発医薬品との同等性に関するデータ、種々の副作用の症例報告

7. その他 (具体的に

.....▶ 質問 へお進みください

1 年前と比較して、後発医薬品の処方 (後発医薬品への変更不可としない処方せんも含みます) は、変化しましたか。
 は1つだけ

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 多くなった | 2. 変わらない | 3. 少なくなった |
|----------|----------|-----------|

平成 22 年 4 月以降、「後発医薬品への変更不可」欄に署名等をした処方せんを発行したことはありますか。
 は1つだけ

- | | |
|---------------|------------|
| 1. ある 質問 -1 へ | 2. ない 質問 へ |
|---------------|------------|

上記の後発医薬品について関心がある（質問する、使用を希望する）患者数は、1年前と比較して、どうですか。 は1つだけ		
1. 非常に増えた	2. 増えた	3. 変わらない
4. 減った	5. 非常に減った	
保険薬局で後発医薬品に変更した場合に、変更された銘柄等についての情報提供はありますか。 は1つだけ		
1. ある	2. だいたいある	3. まったくない
保険薬局で後発医薬品に変更した場合に、どのような情報提供が望ましいと思いますか。お考えに最も近いものの番号1つだけにをつけてください。 は1つだけ		
1. 変更調剤が行われた都度、保険薬局からすぐに情報が提供されればよい 2. 次の診療時に、患者を通じて情報が提供されればよい 3. 一定期間分をまとめて、保険薬局から情報が提供されればよい 4. 新たに調剤を変更した時だけ、保険薬局から情報提供がされればよい 5. 調剤内容についての情報は必要ではない 6. その他（具体的に _____ ）		
投薬又は処方せんの交付を行う際、患者が後発医薬品を選択しやすくするためにどのような対応をしていますか。 あてはまる番号すべてに		
1. 患者の後発医薬品の使用意向を確認している 2. 患者に対して先発医薬品と後発医薬品の品質面での同等性や価格の違いなどを説明している 3. 患者に保険薬局で変更調剤が可能であることを伝えている 4. 患者に保険薬局で後発医薬品の使用に関する相談の対応が可能であることを伝えている 5. その他（具体的に _____ ） 6. 特になし		

.....▶ 8ページの「7.「ジェネリック医薬品希望カード」の提示など、患者からの意思表示の状況等について
 お問い合わせ」の質問へお進みください。

6. < 院外処方せんを発行していない施設の方にお伺いします >

外来診療時における院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関するお考えについてお伺いします。

後発医薬品の処方に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 は1つだけ	
1. 特にこだわりはない▶ 質問 へ 2. 後発医薬品を積極的に処方する▶ 質問 へ 3. ケースバイケースで後発医薬品を処方する▶ 質問 へ 4. 後発医薬品は基本的には処方しない▶ 質問 -1の後、質問 へ	
-1 「後発医薬品は基本的には処方しない」のはどのような理由によるものでしょうか。 あてはまる番号すべてに 。また、「7.後発医薬品の情報提供体制の不備」を選択された場合、必要な情報を()内に記入してください。	
1. 後発医薬品の品質への疑問 2. 後発医薬品の効果への疑問 3. 後発医薬品の副作用への不安 4. 後発医薬品の安定供給体制の不備 5. 後発医薬品に関する患者への普及啓発不足 6. 後発医薬品の使用による薬剤料減への不安 7. 後発医薬品の情報提供体制の不備 -1-1 どのような情報が必要ですか。 { 例：先発医薬品との同等性に関するデータ、種々の副作用の症例報告 } 8. その他 { 具体的に }	
投薬を行う際、患者が後発医薬品を選択しやすくするためにどのような対応をしていますか。 あてはまる番号すべてに	
1. 患者の後発医薬品の使用意向を確認している 2. 患者に対して先発医薬品と後発医薬品の品質面での同等性や価格の違いなどを説明している 3. その他(具体的に) 4. 特になし	

7. < 全施設の方にお伺いします >

「ジェネリック医薬品希望カード」の提示など、患者からの意思表示の状況等についてお伺いします。

「ジェネリック医薬品希望カード」を知っていますか。 は1つだけ	
1. 知っている 2. 知らない→9ページの8. の質問①へ	
「ジェネリック医薬品希望カード」を患者から提示されたことがありますか。 は1つだけ	
1. 提示されたことがある 2. 提示されたことはない→9ページの8. の質問①へ	
平成 22 年 4 月以降、「ジェネリック医薬品希望カード」を提示された患者に対して後発医薬品の処方又は「後発医薬品への変更不可」欄に署名等のない処方せんを発行した割合をご記入ください。	
約()割	
被保険者に「ジェネリック医薬品希望カード」が配布されるようになった平成 21 年 4 月以降、後発医薬品を希望する患者は増えましたか。 は1つだけ	
1. 増えた 2. 変わらない	

厚生労働省保険局医療課委託事業
平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成22年度調査)

後発医薬品の使用状況調査 調査票

この「患者票」は、患者の方に、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用状況やお考えについて
おうかがいするものです。

ご回答の際は、あてはまる番号を（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数字や理由などをご記入ください。

1. あなたご自身についておうかがいします。

性別	1. 男性 2. 女性	年齢	() 歳
診療を受けた診療科 あてはまる番号すべてに	1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. 小児科 5. 産婦人科 6. 呼吸器科 7. 消化器科 8. 循環器科 9. 精神科 10. 眼科 11. 耳鼻咽喉科 12. 泌尿器科 13. 皮膚科 14. その他 ()		
薬局への来局頻度 は1つだけ	1. 週に1回程度 2. 2週間に1回程度 3. 1か月に1回程度 4. 2か月に1回程度 5. 年に数回程度 6. その他 ()		
かかりつけの薬局がありますか。 は1つだけ	1. ある 2. ない		
お手持ちの健康保険証 の種類 お手持ちの健康保険証の 「保険者」名称をご確認く ださい。 は1つだけ	1. 国民健康保険（国保） 2. 健康保険組合（健保組合） 3. 全国健康保険協会（協会けんぽ） 4. 共済組合（共済） 5. 後期高齢者医療広域連合（広域連合） 6. その他（具体的に) 7. わからない		
本日、薬局の窓口で支払った自己負担額（一部 負担金）は、いくらでしたか。	() 円		
本日、医師からジェネ リック医薬品の処方 を受けましたか。 は1つだけ	1. ジェネリック医薬品の処方を受けた 2. ジェネリック医薬品の処方を受けなかった 3. わからない		
本日、薬局でジェネリ ック医薬品へ変更し ましたか。 は1つだけ	1. ジェネリック医薬品へ変更した 2. ジェネリック医薬品へ変更しなかった 3. わからない		

2. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用に関するお考えについておうかがいします。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される医薬品で、先発医薬品と同等であること（例えば、品質、安定性、服用後の血中濃度の推移など）を厚生労働省が認めたものですが、価格は安くなっています。

ジェネリック医薬品を知っていますか。 は1つだけ

1. 知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない→3ページの質問⑨へ

ジェネリック医薬品に関心がありますか。 は1つだけ

1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらともいえない

医師からジェネリック医薬品についての説明を受けたことがありますか。 は1つだけ

1. ある 2. ない 3. わからない

医師にジェネリック医薬品の処方をお願いしたことはありますか。 は1つだけ

1. ある 2. ない→質問⑤へ

-1 医師に「ジェネリック医薬品の処方」は頼みやすかったですか。 は1つだけ

1. 頼みやすかった 2. どちらともいえない
3. 頼みにくかった (その理由:)

薬剤師からジェネリック医薬品についての説明を受けたことがありますか。 は1つだけ

1. ある 2. ない 3. わからない

薬局で薬剤師にジェネリック医薬品の調剤をお願いしたことはありますか。 は1つだけ

1. ある 2. ない→3ページの質問⑧へ

-1 薬局で薬剤師に「ジェネリック医薬品の調剤」は頼みやすかったですか。 は1つだけ

1. 頼みやすかった 2. どちらともいえない
3. 頼みにくかった (その理由:)

薬局でジェネリック医薬品に変更してもらえなかったことはありますか。 は1つだけ

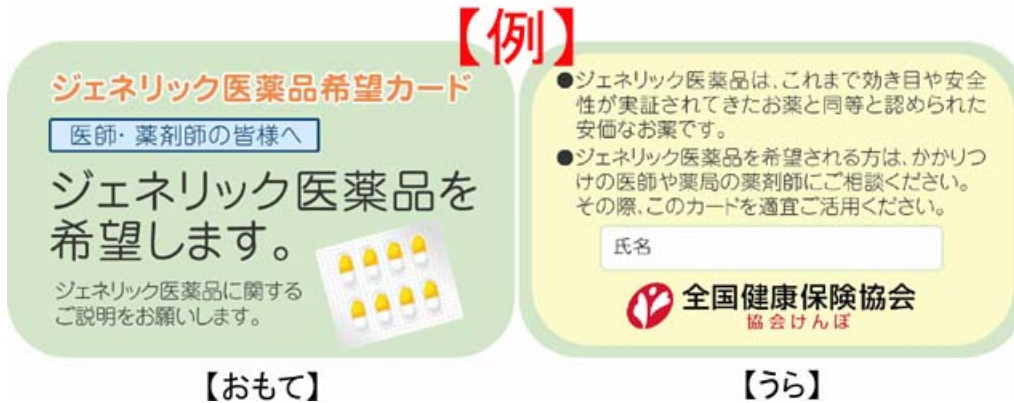
1. ある 2. ない→3ページの質問⑧へ

-1 薬局からはどのような説明がありましたか。 は1つだけ

1. 処方されている医薬品が、すでにジェネリック医薬品であるから
2. ジェネリック医薬品への変更が医師の指示によりできないから
3. 在庫がないので
4. この薬局での取り扱いがないので
5. 特に説明はなかった
6. その他（具体的に)

「ジェネリック医薬品希望カード」とは

ジェネリック医薬品の使用を希望することが記載されており、医師や薬剤師に提示するためのカードのことです。



ここに示しているのはあくまでも【ジェネリック医薬品希望カードの一例】です。詳細につきましては、加入している健康保険組合などにお問い合わせください。

【すべての方におうかがいします】

「ジェネリック医薬品希望カード」を知っていますか。		は1つだけ
1. 知っている	2. 知らない→5ページの質問⑫へ	

「ジェネリック医薬品希望カード」をお持ちですか。		は1つだけ
1. 持っている	2. 持っていない→5ページの質問⑫へ	

-1 お持ちの「ジェネリック医薬品希望カード」はどこからもらいましたか。		は1つだけ
1. 国民健康保険（国保）	2. 健康保険組合（健保組合）	
3. 全国健康保険協会（協会けんぽ）	4. 共済組合（共済）	
5. 後期高齢者医療広域連合（広域連合）	6. 医療機関（病院・診療所）	
7. 薬局	8. その他（	）
9. わからない・忘れた		

-2 「ジェネリック医薬品希望カード」を利用したことがありますか。		は1つだけ
1. 利用したことがある	2. 利用したことはない→質問⑪-3へ	

-2-1 「ジェネリック医薬品希望カード」をお持ちになってから、ジェネリック医薬品について医師や薬剤師に質問したり、ジェネリック医薬品の使用をお願いしたりしやすくなりましたか。		は1つだけ
1. 質問・お願いがしやすくなった	2.それほど変わらなかった	
3. わからない		

-3 「ジェネリック医薬品希望カード」を今後利用したいと思いますか。		は1つだけ
1. 利用したい→5ページの質問⑬へ		
2. 利用したいと思わない	-3-1 その理由を具体的にお書きください	
[]		

【質問 で「2.知らない」、質問 で「2.持っていない」とお答えいただいた方のみご回答ください。】

「ジェネリック医薬品希望カード」が手元があれば、それを利用したいと思いますか。

は1つだけ

1. 利用したい→質問⑬へ
2. 利用したいと思わない

-1 その理由を具体的にお書きください。

「ジェネリック軽減額通知（差額通知等）」とは

処方された薬をジェネリック医薬品に切り替えることにより、どのくらい薬代（薬剤料）の自己負担額が軽減されるかを健康保険組合や市町村国保などの保険者が具体的に試算して、例えば「ジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代の自己負担の軽減額に関するお知らせ」のような名前で通知してくれるサービスです。

【すべての方におうかがいします】

「ジェネリック軽減額通知」の受取りを希望しますか。

は1つだけ

1. 希望する
2. 希望しない -1 その理由を具体的にご記入ください。
〔 〕
3. わからない

ジェネリック医薬品を使用したことがありますか。

は1つだけ

1. ある
2. ない→6ページの質問⑮へ

-1 先発医薬品と比較してジェネリック医薬品の効果（効き目）はどうですか。 は1つだけ

1. 変わらない
2. ほとんど変わらない
3. どちらかというとかからない
4. 効き目が悪い
5. わからない

-1-1 どのような経験をされましたか。具体的にお書きください。

-2 窓口での薬代の負担感をお聞かせください。

は1つだけ

1. 安くなった
- 2.それほど変わらなかった
3. わからない

【すべての方におうかがいします】

ジェネリック医薬品の使用に関するお考えとして、最も近いものはどれですか。 は1つだけ

1. できればジェネリック医薬品を使いたい
2. できればジェネリック医薬品を使いたくない
3. ジェネリック医薬品や先発医薬品にはこだわらない
4. わからない

▶ -1 できればジェネリック医薬品を使いたくない理由を具体的にお書きください。

あなたがジェネリック医薬品を使用するにあたって重要なことは何ですか。

あてはまる番号すべてに

1. 効果（効き目）があること
2. 使用感がよいこと
3. 副作用の不安が少ないこと
4. 窓口で支払う薬代が安くなること
5. 医師のすすめがあること
6. 薬剤師のすすめがあること
7. ジェネリック医薬品についての不安を相談できるところがあること
8. ジェネリック医薬品についての正確な情報が容易に入手できること
9. 少しでも医療費を節約できること
10. その他（具体的に
11. とくにない

-1 上記 の選択肢 1～11 のうち、最も重要なことは何ですか。あてはまる番号を1つだけお書きください。

本日、薬局の窓口で支払った自己負担額がどのくらい安くなるのであれば、今後ジェネリック医薬品を使用したいと思いますか。 は1つだけ

1. ()円くらい安くなるのであれば使用したい
2. いくら安くなっても使用したくない
3. わからない
4. その他（具体的に

3. ジェネリック医薬品を使用する上でのご意見・ご要望等がございましたらお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。